実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2023年度　　美容師学科／サスーンスクールシップヘアスタイリスト学科

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	美容技術理論	150	150	美容師免許取得、美容実務経験	
2	運営管理	30	20	労務管理事務所を経営。経営管理、人的資源管理、マーケティング等幅広い知識を有す。	
			10	美容師免許取得、美容実務経験	
3	文化論	60	20	美容師免許取得、美容実務経験	
			40	美容師免許取得、美容実務経験	
4	衛生管理	90	30	歯科医師免許取得　歯科医院開院、勤務 歯科医師経験36年	
			30	薬剤師免許取得　病院勤務 薬剤師経験25年	
			30	歯科医師免許取得　歯科医院勤務 歯科医師経験34年	
5	保健	90	50	歯科医師免許取得　歯科医院勤務 歯科医師経験34年	
			40	歯科医師免許取得　歯科医院開院、勤務 歯科医師経験36年	
6	デッサン	30	30	日本理容美容教育センター　インストラクター24年	
	実務経験のある教員等による 授業科目合計時間数		450		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2023年度　　理容修得者学科

	授業科目	授業時間数	内)実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	美容技術理論	120	120	美容師免許取得、美容実務経験	
	実務経験のある教員等による授業科目合計時間数		120		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（省令で定める単位数等の基準数相当分）

2023年度　　美容師学科／サスーンスクールシップヘアスタイリスト学科

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	美容技術理論	150	150	美容師免許取得、美容実務経験	
2	保健	90	50	歯科医師免許取得　歯科医院勤務 歯科医師経験31年	
			40	歯科医師免許取得　歯科医院開院、勤務 歯科医師経験36年	
	実務経験のある教員等による 授業科目省令で定める基準数相当分時間数		240		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（省令で定める単位数等の基準数相当分）

2023年度　　理容修得者学科

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	美容技術理論	120	120	美容師免許取得、美容実務経験	
	実務経験のある教員等による 授業科目省令で定める基準数相当分時間数		120		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2023年度　ビューティスタイリスト学科
（メイクアップ＆コスメティックアドバイザーコース）

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	メーキャップ技術理論Ⅰ	20	20	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
2	メーキャップ技術理論Ⅱ	20	20		
3	メーキャップ文化論	20	20	ヘアメイク業歴25年。日本眉毛ｴｸｽﾃﾝｼｮﾝ協会特別講師。	
4	メイクセラピーⅠ	20	20	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
5	メイクセラピーⅡ	30	30		
6	フェイシャルエステティック理論	30	30	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
7	ネイル技術理論Ⅰ	20	20	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
8	秘書実務Ⅰ	30	30	社会保険労務士事務所の経営、新入社員研修会、ビジネスマナー研修などの講師を17年務める。役員秘書歴5年や秘書検定1級、秘書実務士、プロトコール モナコインストラクターも有し、知識・経験が豊富である	
9	秘書実務Ⅱ	30	30		
10	ベーシックメーキャップⅠ	40	40	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
11	ベーシックメーキャップⅡ	80	80		
12	ｱｰﾃｨｽﾃｨｯｸﾒｰｷｬｯﾌﾟⅠ	130	60		
			70	ヘアメイク業歴25年。日本眉毛ｴｸｽﾃﾝｼｮﾝ協会特別講師。	

13	ｱｰﾃｨｽﾃｨｯｸﾒｰｷｬｯﾌﾟⅡ	300	180	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
			120	ヘアメイク業歴25年。日本眉毛ｴｸｽﾃﾝｼｮﾝ協会特別講師。	
14	ｾﾚﾓﾆｰﾒｰｷｬｯﾌﾟⅠ	90	90		
15	ｾﾚﾓﾆｰﾒｰｷｬｯﾌﾟⅡ	140	140		
16	フォトセッション	60	60	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
17	ベーシックネイルⅠ	60	50	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			10	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
18	フェイシャルエステティック	60	60	エステティックサロン及び化粧品販売に従事。アロマセラピストおよび認定エステティシャンも有する。エステティシャン歴15年。アロマインストラクター歴10年	
19	和装着物着付けⅠ	30	30	ブライダル業界で8年勤務し、美容師免許・BIAアシスタントブライダルコーディネーター・WBJ認定ドレスコーディネーターを有する。	
	実務経験のある教員等による 授業科目合計時間数		1210		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2023年度　ビューティスタイリスト学科
（ネイリストコース）

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	ネイル技術理論Ⅰ	20	20	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
2	ネイル技術理論Ⅱ	20	20		
3	ネイルケア理論	20	20		
4	メーキャップ技術理論Ⅰ	20	20	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
5	フェイシャルエステティック理論	30	30	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
6	秘書実務Ⅰ	30	30	社会保険労務士事務所の経営、新入社員研修会、ビジネスマナー研修などの講師を17年務める。役員秘書歴5年や秘書検定1級、秘書実務士、プロトコール モナコインストラクターも有し、知識・経験が豊富である	
7	秘書実務Ⅱ	30	30		
8	ベーシックネイルⅠ	60	50	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			10	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
9	ベーシックネイルⅡ	120	120		
10	ベーシックネイルⅢ	110	110		
11	エクステンションネイルⅠ	100	100		

12	エクステンションネイルⅡ	300	60	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			240	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
13	ジェルネイルⅠ	100	50	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			50	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
14	ジェルネイルⅡ	150	50	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			100	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
15	ベーシックメーキャップⅠ	40	40	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
16	フェイシャルエステティック	60	60	エステティックサロン及び化粧品販売に従事。アロマセラピストおよび認定エステティシャンも有する。エステティシャン歴15年。アロマインストラクター歴10年	
17	和装着物着付けⅠ	30	30	ブライダル業界で8年勤務し、美容師免許・BIAアシスタントブライダルコーディネーター・WBJ認定ドレスコーディネーターを有する。	
	実務経験のある教員等による 授業科目合計時間数		1240		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2023年度　ビューティスタイリスト学科
（シデスコインターショナルコース）

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	ウエルネス理論Ⅰ	90	40	シデスコインターナショナルエステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
			50	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
2	ウェルネス理論Ⅱ	90	90		
3	インナービューティー関係論Ⅰ	70	70	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
4	インナービューティー関係論Ⅱ	60	60	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
5	ビューティービジネス理論Ⅰ	50	50	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
6	ビューティービジネス理論Ⅱ	40	40	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
7	ボディエステティック理論Ⅰ	20	20	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
8	シデスコ理論	60	60	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
9	メーキャップ技術理論Ⅰ	20	20	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
10	ネイル技術理論Ⅰ	20	20	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
11	アロマテラピーⅠ	30	30	エステティックサロン及び化粧品販売に従事。アロマセラピストおよび認定エステティシャンも有する。エステティシャン歴15年。アロマインストラクター歴10年	
12	アロマテラピーⅡ	30	30		

13	秘書実務Ⅰ	30	30	社会保険労務士事務所の経営、新入社員研修会、ビジネスマナー研修などの講師を17年務める。役員秘書歴5年や秘書検定1級、秘書実務士、プロトコール モナコインストラクターも有し、知識・経験が豊富である	
14	秘書実務Ⅱ	30	30		
15	フェイシャルエステティックⅠ	110	60	エステティックサロン及び化粧品販売に従事。アロマセラピストおよび認定エステティシャンも有する。エステティシャン歴15年。アロマインストラクター歴10年	
			50	シデスコインターナショナルエステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
16	フェイシャルエステティックⅡ	120	120	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
17	ボディエステティックⅠ	90	90	シデスコインターナショナルエステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
18	ボディエステティックⅡ	150	150	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
19	脱毛Ⅰ	40	40		
20	脱毛Ⅱ	40	40		
21	ベーシックメーキャップⅠ	40	40	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
22	ベーシックネイルⅠ	60	50	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			10	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
	実務経験のある教員等による 授業科目合計時間数		1290		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2023年度　ビューティテクニカル学科（エステティシャンコース）　1年制

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	ウエルネス理論Ⅰ	90	40	シデスコインターナショナルエステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
			50	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
2	ボディエステティック理論Ⅰ	20	20	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
3	インナービューティ関係論Ⅰ	70	70	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
4	ビューティビジネス理論Ⅰ	50	50		
5	メーキャップ技術理論Ⅰ	20	20	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
6	ネイル技術理論Ⅰ	20	20	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
7	アロマテラピーⅠ	30	30	エステティックサロン及び化粧品販売に従事。アロマセラピストおよび認定エステティシャンも有する。エステティシャン歴15年。アロマインストラクター歴10年	
8	秘書実務Ⅰ	30	30	社会保険労務士事務所の経営、新入社員研修会、ビジネスマナー研修などの講師を17年務める。役員秘書歴5年や秘書検定1級、秘書実務士、プロトコール モナコインストラクターも有し、知識・経験が豊富である	
9	フェイシャルエステティックⅠ	110	60	エステティックサロン及び化粧品販売に従事。アロマセラピストおよび認定エステティシャンも有する。エステティシャン歴15年。アロマインストラクター歴10年	
			50	シデスコインターナショナルエステティシャンとしてエステサロン勤務経験があ	

10	ボディエステティックⅠ	90	90	る。また、認定エステティシャンも有する。	
11	脱毛Ⅰ	40	40	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
12	ベーシックメーキャップⅠ	40	40	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
13	ベーシックネイルⅠ	60	50	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			10	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
	実務経験のある教員等による 授業科目合計時間数		580		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2023年度 ビューティテクニカル学科（ネイリストコース） 1年制

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	ネイル技術理論Ⅰ	20	20	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
2	ネイルケア理論	20	20		
3	メーキャップ技術理論Ⅰ	20	20	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
4	フェイシャルエステティック理論	30	30	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
5	秘書実務Ⅰ	30	30	社会保険労務士事務所の経営、新入社員研修会、ビジネスマナー研修などの講師を16年務める。役員秘書歴5年や秘書検定1級、秘書実務士、プロトコール モナコインストラクターも有し、知識・経験が豊富である	
6	ベーシックネイルⅠ	60	50	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			10	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
7	ベーシックネイルⅡ	120	120		
8	エクステンションネイルⅠ	100	100		
9	ジェルネイルⅠ	100	50	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			50	ネイリストとして10年活動し、JNA本部認定講師も務める。	
10	ベーシックメーキャップ	40	40	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	

11	フェイシャルエステティック	80	60	エステティックサロン及び化粧品販売に従事。アロマセラピストおよび認定エステティシャンも有する。エステティシャン歴15年。アロマインストラクター歴10年	
12	和装着物着付け	30	30	ブライダル業界で8年勤務し、美容師免許・BIAアシスタントブライダルコーディネーター・WBJ認定ドレスコーディネーターを有する。	
	実務経験のある教員等による授業科目合計時間数		630		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	関係法規・制度	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　(無)	実務経験概要	教職経験28年
学習の目的	美容師法、それに関連する法規を理解する。		
指導目標	法社会の中、スムーズな対応ができるよう法律の基礎を学ぶ、美容師試験の合格意欲を向上させる。		
指導の要点及び留意点	・美容業界に必要な法知識を習得させる。 ・美容師試験に対応する基礎力をつける。		
評価の方法	中間、期末試験、授業における小テスト		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	関係法規・制度	社会生活における法の仕組み	板書を中心に学習内容を確認する。	
2	〃	法の形式	〃	
3	〃	美容師法と附属法令	〃	
4	〃	衛生行政	小テスト実施	
5	〃	美容師法の目的、定義	板書を中心に学習内容を確認する。	
6	〃	美容師に関する規定	〃	
7	〃	美容所に関する規定	〃	
8	〃	立入検査	〃	
9	〃	行政処分 司法処分	プリントにより行政処分の種類を確認する。	
10	〃	罰則	小テスト実施	
11	〃	総まとめ	期末試験対策	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	関係法規・制度	講義	10時間

配当時間	1コマ90分　前期6コマ	担当授業時数	12時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　(無)	実務経験概要	教職経験28年
学習の目的	受験の準備として、法規全体の解釈を深める。		
指導目標	国家試験に必要な基礎力を身に着け、受験の準備をする。		
指導の要点及び留意点	出題頻度の高い単元を徹底的に学習し、理解させる		
評価の方法	中間、期末試験による。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	関係法規 ワークブック	・行政処分 ・司法処分（罰則）	テキストで再確認し、練習問題を解く	
2	〃	美容師法の目的、定義	〃	
3	〃	・免許申請 ・免許変更届 ・試験	〃	
4	〃	・美容所の開設 ・開設者の衛生措置	〃	
5	〃	・関連法規 ・保健所	〃	
6	〃	・美容師の衛生措置 ・管理美容師	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	衛生管理（公衆衛生）	講義	50時間

配当時間	1コマ90分　前期16コマ	担当授業時数	32時間
実務経験のある教員科目の有無	（有）・　無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験34年

学習の目的	公衆衛生学の総合的な知識を身につけ、国家試験問題に正解できるようにする。
指導目標	美容師として、公衆衛生の維持と増進に責務を担っていることを理解させ、公衆衛生の概要、予防医学と保健、環境衛生の始祖知識を身につけさせる。
指導の要点及び留意点	なるべく復習を繰り返しながら、知識の定着をはかる
評価の方法	毎回の授業中に行う小試験、および定期試験の成績で評価する

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	1編1章 公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生の発展の歴史 　欧米の公衆衛生の歩み 　我が国の公衆衛生の歩み	教科書説明 小試験＆国家試験問題演習	
2	〃	公衆衛生の発展の歴史 　消毒法の歴史 理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業	〃	
3	1編2章 保健	母子保健	〃	
4	〃	成人・高齢者保健 　死亡率、平均寿命 　生活習慣病	〃	
5	〃	成人・高齢者保健 　健康増進対策 　がん、心臓病	〃	
6	〃	成人・高齢者保健 　脳卒中、糖尿病、喫煙	〃	
7	〃	成人・高齢者保健 　アルコール、身体活動・運動 　高齢者の保健と福祉	〃	

8	〃	成人・高齢者保健 　介護保険制度 精神保健	〃	
9	中間テスト			
10	2 編 1 章 環境衛生	環境衛生の概要 空気環境 　空気成分	教科書説明 小試験＆国家試験問題演習	
11	〃	空気環境 　空気中に発生する有害物質 温度、湿度、気流(風)と健康 　温度、湿度、気流、輻射熱	〃	
12	〃	温度、湿度、気流(風)と健康 　温熱指標 衣服、住居の衛生 　衣服の衛生	〃	
13	〃	衣服と住居の衛生 　住居の衛生（採光と照明、換気）	〃	
14	〃	衣服と住居の衛生 　住居の衛生（冷暖房） 上下水道と廃棄物 　上水道	〃	
15	〃	上下水道と廃棄物 　下水道、廃棄物	〃	
16	〃	衛生害虫とネズミ 環境保全	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	衛生管理（管理技術）	講義	50時間

配当時間	1コマ90分　後期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	歯科医師免許　歯科医師経験36年
学習の目的	卒業後、美容所において法令に基づいた正しい消毒を行えるようになる。		
指導目標	一、美容業務を行う者、受けるものその両者を感染から守ることの重要性を理解している。 二、消毒法や消毒薬の基礎的知識や、関係法令を身につけている。		
指導の要点及び留意点	美容所における衛生管理について化学的根拠に基づいて理解させる。 関係法令を常に念頭に置いて指導する。		
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100点満点（配点未定） ただし授業態度点として20点を上限とし減点する場合がある。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学習活動	評価等
1	《4編》第1章 消毒法総論	消毒とは 消毒の意義	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
2	第1章　消毒法総論	美容業務と消毒との関係	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
3	第1章　消毒法総論	消毒法と適用上の注意	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
4	第1章　消毒法総論	問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
5	第2章 消毒法各論	理学的消毒法	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
6	第1章 消毒法総論	中間テスト	講師作成試験問題による 学習目標達成の確認	
7	第2章 消毒法各論	化学的消毒法	レジュメ及び板書教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
8	第2章 消毒法各論	化学的消毒法	レジュメ及び板書教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
9	第2章 消毒法各論 《5編》衛生管理の実践例	すぐれた消毒法とその実施上の注意 理容所及び美容所における衛生管理要領、自主管理点検表について	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
10	第2章 消毒法各論	問題練習	講師作成プリントによる問題練習	

11	第1章～第2章 まとめ	問題練習	講師作成プリントによる問題練習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	衛生管理（管理技術）	講義・実習	40時間

配当時間	1コマ90分　前期7コマ	担当授業時数	14時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	歯科医師免許　歯科医師経験36年
学習の目的	卒業後、美容所において、法令に基づいた正しい消毒を実践応用できる。		
指導目標	一、消毒法実習を通じて、より確実な技術を身につけ、実践に備える。 二、美容所で使用されるさまざまな器具それぞれに適した消毒法を使い分けることができる。		
指導の要点及び留意点	視覚的学習（DVD等）や、消毒法実習を行うことにより、より確実な技術を身につけさせる。		
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100点満点（配点未定） ただし授業態度点として20点を上限とし減点する場合がある。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第3章 消毒法実習	各種消毒薬	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、講師作成まとめ用プリント）	
2	第3章 消毒法実習	各種消毒薬	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、講師作成まとめ用プリント）	
3	第3章 消毒法実習	美容所の消毒の実際 美容所の清潔法の実際	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、講師作成まとめ用プリント）	
4	実習	消毒薬の調製 器具等の消毒	DVDによる視覚学習 実際に器具等を消毒する。 逆性石けん希釈液を調製する。 紫外線消毒を体験する。 アルコール綿を作る。	
5	第3章	計算問題	計算問題に特化した講師作成プリントによる問題練習	
6	第3章	問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
7	第1章～第3章	復習 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	衛生管理（感染症）	講義	40時間

配当時間	1コマ90分　前期16コマ	担当授業時数	32時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	薬剤師免許・薬剤師経験25年

学習の目的	※授業の存在意義、めざす事柄を記入 国家試験の特徴、問題文を解釈し解答を導ける。
指導目標	※授業終了後学生にできるようになってほしい能力を具体的に記入 感染症の総論を理解する。 感染症の各論を理解する。 国家試験の合格点をとる。
指導の要点及び留意点	感染症のポイントをまとめて整理し国家試験問題の引っかけ文章等の特徴をとらえる。
評価の方法	中間試験、期末試験、

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	感染症の総論 人と感染症、感染症と法律	板書 プリント	
2	教科書 プリント	感染症の分類	板書 プリント	
3	教科書 プリント	病原微生物1	板書 プリント	
4	教科書 プリント	病原微生物2	板書 プリント	
5	教科書 プリント	感染症の予防1	板書 プリント	
6	教科書 プリント	感染症の予防2	板書 プリント	
7	教科書 プリント	感染症の予防3	板書 プリント	
8	中間試験	感染症の総論	プリント	
9	教科書 プリント	感染症の各論 理容、美容の感染症	板書 プリント	
10	教科書 プリント	主な感染症1	板書 プリント	

11	教科書 プリント	主な感染症２	板書 プリント	
12	教科書 プリント	主な感染症３	板書 プリント	
13	教科書 プリント	具体的な対策の例	板書 プリント	
14	教科書 プリント	感染症の各論まとめ	板書 プリント	
15	教科書 プリント	感染症の総論まとめ 感染症の総論まとめ	板書 プリント	
16	教科書 プリント	期末試験前のテスト問題	板書 プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	保健（生理解剖）	講義	50時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	歯科医師免許　歯科医師経験36年
学習の目的	人体の生理解剖学に基づいた、安全で確実な施術を行える美容師となる。		
指導目標	一、美容業務を安全かつ効果的に行うために、生理学、解剖学の知識が不可欠であることを理解する。 二、美容技術の基礎となる人体（特に頭部、顔部、頸部）の構造と機能の知識を身に付ける。		
指導の要点及び留意点	映像（DVDなど）の視覚的学習を取り入れ、人体をより身近な実体として理解させる。		
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100点満点（配点未定） ただし、授業態度点として20点を上限とし減点する場合がある。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第1章　頭部、顔部、頸部の体表解剖学	頭部、顔部、頸部の部位、名称、基準点などについて	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込みまとめ）	
2	第1章　頭部、顔部、頸部の体表解剖学	頭部、顔部、頸部の部位、名称、基準点などについて 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
3	第2章　骨格器系	骨の種類、構造、連結、働きについて	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込みまとめ）	
4	第2章　骨格器系	骨の種類、構造、連結、働きについて 問題練習	DVD鑑賞による視覚的学習 講師作成プリントによる問題練習	
5	第1章～第2章	中間テスト（筆記）	講師作成問題による学習の確認	
6	第3章　筋系	筋の種類、特徴、働きについて	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込みまとめ）	
7	第3章　筋系	筋の種類、特徴、働きについて 問題練習	DVD鑑賞による視覚的学習 講師作成プリントによる問題練習	
8	第4章　神経系	神経系の成り立ち、中枢神経と末梢神経の働きについて	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込みまとめ）	

9	第 4 章　神経系	神経系の成り立ち、中枢神経と末梢神経の働きについて 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
10	第 5 章　感覚器系	視覚、聴覚、平衡感覚について 問題練習	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込みまとめ） 講師作成プリントによる問題練習	
11	第 1 章～第 5 章	まとめ 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	保健（生理解剖）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	歯科医師免許　歯科医師経験36年
学習の目的	人体の生理と解剖を学ぶことにより、卒業後、高齢化・多様化する社会に求められる美容師として、安全かつ高度な活躍ができる。		
指導目標	1年時に学んだ人体の解剖・生理をさらに詳しく系統的に理解する。		
指導の要点及び留意点	より具体的、系統的な理解ができるように指導する。 DVDなどを使用し、視覚的な理解を深める。		
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100点満点（配点未定） ただし、授業態度点として20点を上限とし減点する場合がある。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第6章 血液・循環器系	血液のあらまし 血液循環	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込みまとめ）	
2	第6章 血液・循環器系	血管と心臓 リンパ管系 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
3	第7章 呼吸器系	呼吸器系のあらまし 気道	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込みまとめ）	
4	第7章 呼吸器系	肺の仕組みとガス交換 呼吸運動 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
5	第6章 第7章	まとめ 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
6		中間テスト	講師作成問題にて学習目標到達度の判定 DVD驚異の小宇宙・人体～心臓血管	
7	第8章 消化器系	消化器系のあらまし 消化管の仕組み	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込みまとめ）	
8	第8章 消化器系	消化管の働き 消化と物質代謝 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	

9	第 8 章 消化器系	消化器について まとめ	DVD 鑑賞による視覚的学習 驚異の小宇宙・人体～消化器	
10	第 6 章～第 8 章	まとめ 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
11	第 1 章～第 5 章	復習 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	保健（皮膚科学）	講義	50時間

配当時間	1コマ90分　後期16コマ	担当授業時数	32時間
実務経験のある教員科目の有無	（有）・　無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験34年
学習の目的	皮膚科学の総合的な知識を身につけ、国家試験問題に正解できるようにする		
指導目標	美容師として必要な皮膚科学の基礎と、疾患についての知識を身につけさせる		
指導の要点及び留意点	なるべく復習を繰り返しながら、知識の定着をはかる		
評価の方法	毎回授業中に行う小試験、および定期試験の成績で評価する		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第1章 皮膚の構造	皮膚の表面 皮膚の断面	教科書説明 小試験＆国家試験問題演習	
2	〃	表皮 表皮と真皮の境	〃	
3	〃	真皮、皮下組織 皮膚の部位差	〃	
4	第2章 皮膚付属器官の構造	毛の構造 成長周期	〃	
5	〃	毛の型の変化、立毛筋 毛の成長 毛の性状	〃	
6	〃	脂腺 汗腺 爪	〃	
7	第3章 皮膚の循環系と神経系	血管 リンパ管 神経	〃	
8	中間テスト			

9	第４章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	対外保護作用	〃	
10	〃	体温調節作用 知覚作用と皮膚反射	〃	
11	〃	分泌排泄作用、呼吸作用 吸収作用	〃	
12	〃	貯蔵作用 免疫・解毒・排除作用 再生作用 毛の働き・爪の働き	〃	
13	第５章 皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態、皮膚と体内病変 皮膚と精神 皮膚と栄養 皮膚と嗜好品	〃	
14	第５章 皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚の水分と脂の状態	教科書説明 小試験＆国家試験問題演習	
15	〃	皮膚付属器官とホルモン 皮膚の保護と手入れ	〃	
16	〃	毛の保護と手入れ 爪の保護と手入れ 子供たちのおしゃれによる皮膚のトラブル		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	保健（皮膚科学）	講義	40時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験34年

学習の目的	皮膚科学の総合的な知識を身につけ、国家試験問題に正解できるようにする
指導目標	美容師として必要な皮膚科学の基礎と、疾患についての知識を身につけさせる
指導の要点及び留意点	なるべく復習を繰り返しながら、知識の定着をはかる
評価の方法	毎回授業中に行う小試験、および定期試験の成績で評価する

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚付属器とホルモン 皮膚の保護と手入れ	教科書説明 小試験＆国家試験問題演習	
2	〃	皮膚の保護と手入れ 爪の保護と手入れ 子供たちのおしゃれによる皮膚トラブル	〃	
3	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因 皮膚疾患の治療法	〃	
4	〃	皮膚炎と湿疹・ 蕁麻疹・薬疹	〃	
5	〃	口唇の疾患 温熱・寒冷による皮膚障害 角化異常による皮膚疾患	〃	
6	〃	色素異常による皮膚疾患 血管腫 脂腺母斑	〃	
7	〃	下肢静脈瘤 分泌異常による皮膚疾患	〃	

8	〃	化膿菌による皮膚疾患 ウイルスによる皮膚疾患		
9	〃	真菌による皮膚疾患 衛生害虫による皮膚疾患 感染症の皮膚疾患の予防	〃	
10	〃	毛と爪の疾患 皮膚の腫瘍	〃	
11	第５、６章	総合演習	プリントによる問題演習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	香粧品	講義	40時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	小中高理科教員免許(専修)経験25年
学習の目的	国家試験の範囲と出題傾向の把握		
指導目標	教科書の要点をまとめながら実践問題（過去問）に取り組み、国家試験範囲の出題傾向を捉える		
指導の要点及び留意点	各テーマごとにまとめと実際に出題された国家試験の過去問題を解くことで苦手意識をなくすとともに、出題傾向を捉える		
評価の方法	中間試験、期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書、学習プリント	第1編　1章　香粧品総論 2章　香粧品を使用する際に気を付けるべきこと	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	教科書、学習プリント	3章　香粧品の成り立ち（水性原料、油性原料）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	教科書、学習プリント	3章　香粧品の成り立ち（界面活性剤）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	教科書、学習プリント	3章　香粧品の成り立ち(色材、香料)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	教科書、学習プリント	3章　香粧品の成り立ち（配合原料）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	中間試験			
7	教科書、学習プリント	第2編　1章スキンケア製品（クレンジング用香粧品）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
8	教科書、学習プリント	1章スキンケア製品（コンディショニング用香粧品、サンケア製品） 2章　メイクアップ製品	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

9	教科書、学習プリント	３章　ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品（シャンプー、リンス、トリートメント）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
10	教科書、学習プリント	３章　パーマ剤	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
11	教科書、学習プリント	３章　（パーマ剤）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	香粧品	講義	40時間

配当時間	1コマ90分　後期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	小中高理科教員免許(専修)経験25年
学習の目的	国家試験の範囲と出題傾向の把握		
指導目標	教科書の要点をまとめながら実践問題（過去問）に取り組み、国家試験範囲の出題傾向を捉える		
指導の要点及び留意点	各テーマごとにまとめと実際に出題された国家試験の過去問題を解くことで苦手意識をなくすとともに、出題傾向を捉える		
評価の方法	中間試験、進級試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書、学習プリント	3章　（ヘアカラー製品）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	教科書、学習プリント	3章　（ヘアカラー製品）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	教科書、学習プリント	3章　（その他のヘアカラー製品）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	教科書、学習プリント	3章　スキャルプヘア製品	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	香粧品概論、香粧品原料	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	界面活性剤、色材	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
7	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	配合成分	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

8	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	石けん、クリーム、乳液	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
9	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	シャンプー	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
10	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	パーマ剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
11	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	カラー剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	香粧品	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	小中高理科教員免許(専修)経験25年
学習の目的	国家試験の範囲の出題傾向の把握と苦手分野の克服、要点の確認		
指導目標	国家試験範囲の出題傾向を確認し、苦手意識の持ちやすいところはあらためてまとめ直し、実践問題（過去問題）に取り組みながら克服する		
指導の要点及び留意点	実践問題に取り組みながら出題傾向を確認し、化学の復習も重点をおく。また、覚えるべきことの確認をする。		
評価の方法	中間試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント①②	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント③④	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑤⑥	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑦⑧	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑨⑩	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	中間試験			
7	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑪⑫	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
8	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑬⑭	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
9	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑮⑯	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
10	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑰⑱ 香粧品まとめのまとめプリント	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
11	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント 香粧品原料、界面活性剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	香粧品	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　(無)	実務経験概要	小中高理科教員免許(専修)経験25年
学習の目的	国家試験の範囲の出題傾向の把握と苦手分野の克服、要点の確認		
指導目標	国家試験範囲の出題傾向を確認し、苦手意識の持ちやすいところはあらためてまとめ直し、実践問題（過去問題）に取り組みながら克服する		
指導の要点及び留意点	実践問題に取り組みながら出題傾向を確認し、化学の復習も重点をおく。また、覚えるべきことの確認をする。		
評価の方法	中間試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント①②	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント③④	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑤⑥	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑦⑧	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑨⑩	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	中間試験			
7	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑪⑫	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
8	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑬⑭	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
9	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑮⑯	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
10	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑰⑱ 香粧品まとめのまとめプリント	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
11	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント 香粧品原料、界面活性剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	文化論	講義	40時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ　後期11コマ	担当授業時数	44時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	美容師免許・実務経験14年
学習の目的	歴史の最古から、理美容のかかわりがあって今の美しさが創り上げられたということ。人がどのような時代背景の中でどのような美しさを求めたのかを知ってほしい。		
指導目標	国内外におけるファッションの変換　用語の理解を深める。 あまり難しく考えず、まずは時系列で時代の変化を楽しんで覚えていってほしい。		
指導の要点及び留意点	主にパワーポイントで授業を行う。重要ポイントをレポートにまとめていく。 ノート、レポートのチェックも行ないます。		
評価の方法	前期中間試験100点満点中60点以上で合格　レポートの完成度と提出状況0～10点加算 前期末試験100点満点中60点以上で合格　レポートの完成度と提出状況0～10点加算		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	文化論	第1章　総論	理容、美容の語義 化粧の定義と歴史 文化的記号としての髪の毛	
2	文化論 資料プリント	第2章　日本の理容業･美容業の歴史	理容業の発生 制度に守られた理容業 近代の理容業明治時代～第2次世界大戦 美容業の歴史	
3	文化論 資料プリント	第3章ファッション文化史 （縄文・弥生・古墳時代） 紀元前7000～592年	土偶や埴輪からわかるもの	
4	文化論 資料プリント	古代（飛鳥・奈良・平安時代） 592～1086年	唐風ファッション文化から日本風へ 唐衣裳と垂髪	
5	文化論 資料プリント	中世（平安・鎌倉・室町・戦国時代） 1086～1575年	まとめ　確認テスト	
6		中間試験		
7	文化論	第4章 古代　エジプト 古代　ギリシャ・ローマ	宗教的な意味を持つかつら、髪型、化粧 一枚の布の造形 男性は短髪、女性は毛染め 命をかけた色白メイク シースルールック	
8	文化論 資料プリント	古代　ゲルマン	裁断・縫製をしたツーピース型の服装	
9	文化論	中世ヨーロッパ	エナンとエスコフィオンの流行	

	資料プリント	5～15 世紀		
10	文化論 資料プリント		まとめ　対策プリント	
11		期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	文化論	近世（戦国・安土桃山時代） 1574～1603 年	男性の月代の普及 女性の結髪の始まり	
2	文化論 資料プリント	近世　（江戸時代） 1603～1868 年	月代の形	
3	文化論 資料プリント	近世　（江戸時代）	髷の種類おしろい お歯黒の普及	
4	文化論 資料プリント	近世　（ルネサンス時代） 16 世紀	スペインの影響 コルセット　ファージンゲール イタリアの絹織物と合理的裁断法 ドイツ風幻想的装飾	
5	文化論 資料プリント		まとめ　確認テスト	
6		中間試験		
7	文化論 資料プリント	近世　（バロック時代） 17 世紀	自然らしさの回復 フランス　モードの確立	
8	文化論 資料プリント	近世　（ロココ時代） 18 世紀	明るい色彩と豊富な装飾	
9	文化論 資料プリント	近代 18 世紀末～19 世紀初め	貴族文化の崩壊	
10	文化論 資料プリント	近代 19 世紀	革命期 まとめ　対策プリント	
11		期末試験		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	文化論	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験5年

学習の目的	・美容の歴史を学ぶ中で、コンサンスを得るためのヒントや想像の幅を広げるエッセンスが多く存在することを知り、今後の経験の中で理解を膨らませる。 ・国家試験合格のための知識の修得。
指導目標	・日本史における近世（明治時代）から現代及び、西洋史における（1910年代から）現代までをリンクさせることで、日本と世界の歴史を学ぶ。
指導の要点及び留意点	・日本史と西洋史をリンクさせ理解を深める。 ・日本史の範囲においては国家試験の範囲となるため、習熟度を高める。
評価の方法	・中間試験・期末試験において100点満点中60点以上を合格とする ・授業への取り組みや、課題の提出状況。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	現代Ⅰ 現代Ⅱ	髪型・服装	
2		現代Ⅲ 現代Ⅳ	髪型・服装	
3		現代Ⅴ、現代Ⅵ 現代Ⅶ	髪型・服装	
4		中間試験対策	現代Ⅰ～Ⅶまで復習 模擬テスト	
5	中間試験			
6		近代	髪型・化粧・服装	
7		現代Ⅰ 現代Ⅱ		
8		現代Ⅲ 現代Ⅳ		
9		DVD	プリントチェック	
10		期末試験対策	模擬テスト・復習	
11		〃		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	美容技術理論	講義	90時間

配当時間	1コマ90分　前期23コマ	担当授業時数	46時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験5年
学習の目的	・序章から第5章までの美容の基礎的な理論の習得。 ・実習とのリンクにより、理解を深める。		
指導目標	・国家試験合格基準の知識の習得。 ・美容師としての知識の習得。		
指導の要点及び留意点	・ポイントを明確にし、理論に基づく知識を理解させる。 ・問題を理解できる能力をつけさせる。		
評価の方法	・授業における態度及び定期試験など。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書、プリント パワーポイント	序章	作業姿勢、各部名称 頭部の基準となるポイント	
2		序章豆テスト	テストを行い誤りを訂正、復習	
3		1章　用具	各用具の名称 選定法と手入れ法	
4		1章豆テスト	テストを行い誤りを訂正、復習	
5		2章　シャンプーイング （シャンプー）	目的、成分 種類、注意事項、ブラッシング	
6		（リンス・コンディショナー・ トリートメント）	役割、成分、目的 毛髪が痛む原因	
7			リンス剤を選ぶポイント トリートメントの種類、技術	
8			スキャルプトリートメントの種類 育毛剤の成分とはたらき	
9		中間対策 序章からの復習	テストを行い誤りを訂正、復習	
10		中間試験		
11		3章　ヘアデザイン	錯視現象	
12			デザインの要素・原理	

13		3 章豆テスト	テストを行い誤りを訂正、復習 3 章からの復習	
14		第 4 章　ヘアカッティング	ヘアカッティングとは シザーズ、レザーの扱い方	
15			美容刃物、姿勢、ブロッキング 基礎理論、カット技法	
16			シザーズによるカット技法 レザーによるカット技法	
17		4 章豆テスト	テストを行い誤りを訂正、復習	
18		5 章　パーマネントウェービング	歴史と現在 理論、分類、	
19			種類、注意事項	
20			技術	
21		期末対策 3 章から復習	テストを行い誤りを訂正、復習	
22		期末対策	要点を絞って理解させる	
23		〃	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	美容技術理論	講義	90時間

配当時間	1コマ90分　後期24コマ	担当授業時数	48時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験5年
学習の目的	・第5章から第8章までの美容の基礎的な理論の習得。 ・実習とのリンクにより、理解を深める。		
指導目標	・国家試験合格基準の知識の習得。 ・美容師としての知識の習得。		
指導の要点及び留意点	・ポイントを明確にし、理論に基づく知識を理解させる。 ・問題を理解できる能力をつけさせる。		
評価の方法	・授業における態度及び定期試験など。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書、プリント パワーポイント	第6章　ヘアセッティング	セッティングとは・ヘアーパーティング ヘアシェーピング・ヘアーカーリング	
2			ヘアウェービング・ローラーカール ブロードライ・アイロンセッティング	
3			バックコーミング、アップスタイル ウィッグとヘアピース	
4		6章豆テスト	テストを行い誤りを訂正、復習	
5		第7章　ヘアカラーリング	概論、種類	
6			タイプ別特徴	
7			染毛のメカニズム 色の基本	
8			毛髪レベルとアンダートーン パッチテスト	
9			注意事項 道具	
10			技術手順	
11		7章豆テスト	テストを行い誤りを訂正、復習	
12		中間対策 6章から復習	練習問題	

13		8章　エステティック	概論、皮膚の生理と構造 カウンセリング	
14			マッサージ理論 フェイシャルケア	
15			フェイシャルパック	
16			ボディケア	
17			ボディマッサージ	
18		8章豆テスト	テストを行い誤りを訂正、復習	
19		9章ネイル技術	概論、種類、機能 カット形状	
20			カウンセリング ネイルケア、技術	
21			アーティフィシャルネイル 技術、手足のマッサージ	
22		9章豆テスト	テストを行い誤りを訂正、復習	
23		期末対策 8章から復習	要点を絞って理解させる 練習問題	
24		〃		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	美容技術理論	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　前期15コマ・後期15コマ	担当授業時数	60時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・実務経験14年
学習の目的	技術の習得には美容の基礎的な理論と技術をまず学ばなければならない。それぞれの理論と動作を並行して履修を目指す。「なぜそうしなければならないのか」を理解する。文化論との関連性も含め学ぶ。		
指導目標	技術には理論的根拠があるということを念頭に、正しい技術の習得を目指す。 中間試験、期末試験合格 国家試験合格		
指導の要点及び留意点	パワーポイントにて授業を行う ノート及びレポートチェック 前回までの復習と確認テストを章の終わりごとに行う		
評価の方法	中間試験100点満点中60点以上で合格 前期期末試験100満点中60点以上で合格 卒業見込み試験60点以上で合格 卒業試験60点以上で合格		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論2 美容実習2	10章メイクアップ	1. メイクアップ概論 2. 顔の形態学的な観察	
2	美容技術理論2 美容実習2	10章メイクアップ	3. メイクアップと色彩 4. 皮膚の生理と構造	
3	美容技術理論2 美容実習2	10章メイクアップ	5. メイクアップの道具 6. スキンケア	
4	美容技術理論2 美容実習2	10章メイクアップ	7. ベースメイクアップ 8. アイメイクアップ	
5	美容技術理論2 美容実習2	10章メイクアップ	9. アイブロウメイクアップ 10. リップメイクアップ	
6	美容技術理論2 美容実習2	10章メイクアップ	11. ブラッシュオンメイクアップ	
7	美容技術理論2 美容実習2 ワークブック	10章メイクアップ	12. まつ毛エクステンション 中間試験対策	
8		中間試験		
9	美容技術理論2	11章　日本髪	1. 日本髪の由来	

	美容実習 2		2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	
10	美容技術理論 2 美容実習 2	11 章　日本髪	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ	
11	美容技術理論 2 美容実習 2	11 章　日本髪 12 章　着付けの理論と技術	9. かつら 確認テスト 1. 着付けの目的	
12	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章　着付けの理論と技術	2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物	
13	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章　着付けの理論と技術	7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方 9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方	
14	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章　着付けの理論と技術	13. 男子礼装羽織、袴着付け技術 14. 羽織ひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁	
15	美容技術理論 2 美容実習 2 ワークブック	12 章　着付けの理論と技術	18. 洋装花嫁 確認テスト 期末試験対策	
16	美容技術理論 1 美容技術理論 2	卒業見込み対策	対策問題と解説	
17	美容技術理論 1 美容技術理論 2	卒業見込み対策	対策問題と解説	
18	美容技術理論 1 美容技術理論 2	卒業見込み対策	対策問題と解説	
19	美容技術理論 1 美容実習 1	序章 1 章　美容用具	パワーポイントにて解説 対策プリント	
20	美容技術理論 1 美容実習 1	2 章　シャンプーイング	パワーポイントにて解説 対策プリント	
21	美容技術理論 1 美容実習 1	3 章　ヘアデザイン	パワーポイントにて解説 対策プリント	

22	美容技術理論 1 美容実習 1	4 章　ヘアカッティング	パワーポイントにて解説 対策プリント	
23	美容技術理論 1 美容実習 1	5 章　パーマネントウエーブ	パワーポイントにて解説 対策プリント	
24	美容技術理論 1 美容実習 1	6 章　ヘアセッティング	パワーポイントにて解説 まとめプリント	
25	美容技術理論 1 美容実習 1	7 章　ヘアカラーリング	パワーポイントにて解説 対策プリント	
26	美容技術理論 2 美容実習 2	8 章　エステティック	パワーポイントにて解説 対策プリント	
27	美容技術理論 2 美容実習 2	9 章　ネイル技術	パワーポイントにて解説 対策プリント	
28	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章　メイクアップ	パワーポイントにて解説 対策プリント	
29	美容技術理論 2 美容実習 2	11 章　日本髪	パワーポイントにて解説 対策プリント	
30	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章　着付けの理論と技術	パワーポイントにて解説 対策プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	運営管理	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	「運営管理」講師経験、社員教育経験

学習の目的	美容業は競争が激しく、経営は非常に厳しいものとなっている。お客様に選んでもらえる店づくりを進めることは、すべての経営者にとって重要なテーマであり、それに貢献できることが新人にも求められている。この科目では、就職するうえでの心構えから、就職し経営に参画することの意味や働くうえでの義務、権利について学ぶ。そして、最終的には美容師国家試験の合格を目指す。
指導目標	1. 経営とは何か。経営とは何を目的に、どのようなことを行っていくかといった経営の基礎を理解する。 2. 美容のサービスでは人が大きな役割を果たす。人を雇ううえで経営者が考えることを学ぶと共に、従業員として働いていくうえで求められることについて理解する。 3. 顧客が喜んでくれるサービスはどのように創られ、提供されるのか。その背景にある考え方を理解し、良いサービスの実現に貢献するための知識や方法を理解する。
指導の要点及び留意点	1. 適宜、レポート等の課題を与える。場合によっては小テストを実施します。 2. 講義形式でなく授業内でグループワークおよび発表も取り入れます。 3. 各授業には、教科書の該当ページを熟読し臨んでください。また、クラスメートの意見を尊重し、お互いに高め合う姿勢で授業に臨んでください。
評価の方法	1. 知識（小テスト、定期試験） 2. 態度（授業におけるとりくみ） 3. 技能（プレゼンテーション）

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	「運営管理」	ガイダンス：授業の概要と方法 経営とは何か 経営戦略とは何か	経営や経営者についての基本的な考え方や経営戦略を立案する基本的な流れを理解する。	
2	「運営管理」	理容業・美容業の経営 美容業界の概要と人口動態	理容・美容業界の現状と競争と顧客の状況について理解する。	
3	「運営管理」	資金の管理 会計の考え方 固定費と変動費	会計の基本的な用語を理解し、会計の全体のイメージを把握できるようになること。	確認試験
4	「運営管理」	利益の仕組み 税金の種類とその内容	利益やコストについて理解する。 税金の種類とその内容について理解する。	

5	「運営管理」	人という資源 給与、待遇・福利厚生 労働基準法	社会の変化と労働の関係について理解する。 労働基準法の内容について理解できること。	確認試験
6	「運営管理」	社会保険の基礎①公的年金 国民年金・厚生年金保険	国民年金と厚生年金保険の違いを説明できるようになること。	
7	「運営管理」	社会保険の基礎②医療保険 健康保険・国民健康保険	健康保険と国民健康保険の違いを説明できるようになること。	
8	「運営管理」	社会保険の基礎③労働保険 雇用保険・労働者災害補償保険	雇用保険と労働者災害補償保険の違いを説明できるようになること	
9	「運営管理」	健康管理の基礎 メンタルヘルスケア サービス・デザイン	健康管理は強制される者ではないことを理解する。 サービス業はどのような仕事で、サービスはどうやってつくられているのかを理解する。	確認試験
10	「運営管理」	サービス・マーケティング マーケティングとは何か	マーケティングの基礎を理解する。 価値を実現するための基本的な考え方・方法を理解する。	
11	「運営管理」	サービスにおける人の役割 総まとめ	人の行うサービスについて理解する。 よい接客を実現するためのポイントを理解する。	定期試験

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	運営管理	講義	10時間

配当時間	1コマ90分　前期6コマ	担当授業時数	12時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・実務経験4年

学習の目的	経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ 人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ 顧客を満足させるサービスとは何か。それをどう実現するかについて学ぶ
指導目標	経営者が果たす責任・役割の理解 労働者の権利、健康・安全な職場環境の実現の理解 社会保険制度の理解 サービスにおける人の役割の理解
指導の要点及び留意点	教科書に沿って事例などを入れながら進める
評価の方法	前期期末試験100点満点60点合格

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書	第3編　顧客の為に 第1章　サービス・デザイン	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
2	教科書	第3編　顧客の為に 第1章　サービス・デザイン	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
3	教科書	第2章　マーケティング	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
4	教科書	第2章　マーケティング	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
5	教科書	第3章　サービスにおける人の役割	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
6	教科書	第3章　サービスにおける人の役割	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	デッサン	講義・実習	30時間

配当時間	1コマ90分　前期17コマ	担当授業時数	34時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	理美教センター インストラクター　24年
学習の目的	・顔のプロポーション、立体、基礎バランスの理解 ・イラスト画を通じてヘアスタイル、メイクアップなどの想像力を身につける。		
指導目標	・ヘアメイクイラストを通じて平面からの立体表現を理解し、また影のつけ方による変化を学び、美容業における技術に役立たせる。 ・ヘアスタイル画を描くことにより、スタイルのバリエーションなど造形に役立たせる		
指導の要点及び留意点	・基礎的な顔のバランスを理解して、美容業の創作の基礎をつくる。		
評価の方法	・提出物、作品制作による採点７０％ ・出席状況３０％		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	・テキスト ・ノート	・顔のプロポーションの理解 ・部分練習（目の描き方）	テキストに沿っての学習	
2	・鉛筆６B ・練り消し	・部分練習（鼻、口の描き方） ・正面向きの描き方	テキストに沿っての学習	
3	・さっぴつ ・カッター	・ヘアスタイルの描き方 ストレート～ウェーブなど	テキストに沿っての学習	
4	・消しゴム ・ティッシュ	・斜め向きの描き方	テキストに沿っての学習	
5	・ヘア雑誌 ・携帯	・横向きの描き方	テキストに沿っての学習	
6	（上記毎回使用）	・省略画の描き方	テキストに沿っての学習	
7	イラストボード	・パターン画の描き方	テキストに沿っての学習	
8		・写実画の描き方	テキストに沿っての学習	
9		・メイク画	・同じ顔型ベースを使用して イメージの異なる作品を作る	
10		・イメージイラスト画	・同じ顔型ベースを使用して イメージの異なる作品を作る	

11		・作品制作１	テーマをもとにイラストボードに 自由に作品を制作する	
12		・作品制作２	テーマをもとにイラストボードに 自由に作品を制作する	
13		・作品制作３	テーマをもとにイラストボードに 自由に作品を制作する	
14		・作品制作４	テーマをもとにイラストボードに 自由に作品を制作する	
15		・作品制作５	テーマをもとにイラストボードに 自由に作品を制作する	
16		・作品制作６	テーマをもとにイラストボードに 自由に作品を制作する	
17		・作品制作７	テーマをもとにイラストボードに 自由に作品を制作する	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（運営管理）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　後期8コマ	担当授業時数	16時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	「運営管理」講師経験、社員教育経験

学習の目的	美容業は競争が激しく、経営は非常に厳しいものになっている。お客様に選んでもらえる店づくりを進めることは、すべての経営者にとって重要なテーマであり、それに貢献できることが新人にも求められている。この科目では、就職するうえでの心構えから、就職し経営に参画することの意味や働くうえでの義務、権利について学ぶ。そして、最終的には美容師国家試験の合格を目指す。
指導目標	1. 経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を習得する。 2. 人を雇うことの責任や働くうえで求められることを習得する。 3. 顧客を満足させるサービスとは何か。それをどう実現するかについて習得する。
指導の要点及び留意点	1. 毎回、授業の中で確認テストを行う。 2. 各授業には、教科書の該当ページを熟読し臨むこと。
評価の方法	1. 知識（確認テスト、定期試験） 2. 態度（授業におけるとりくみ）

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	「運営管理」	国家試験直前対策① 確認テスト	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	
2	「運営管理」	国家試験直前対策② 確認テスト	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	
3	「運営管理」	国家試験直前対策③ 確認テスト	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	
4	「運営管理」	国家試験直前対策④ 確認テスト	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	
5	「運営管理」	国家試験直前対策⑤ 確認テスト	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	
6	「運営管理」	国家試験直前対策⑥ 確認テスト	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	

7	「運営管理」	国家試験直前対策⑦ 確認テスト	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	
8	「運営管理」	国家試験直前対策⑧ 確認テスト まとめ	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（感染症）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　後期8コマ	担当授業時数	16時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	薬剤師免許・薬剤師経験25年

学習の目的	国家試験の特徴、問題を解釈し解答を導ける
指導目標	感染症を理解し、国家試験の合格点をとれるようにする
指導の要点及び留意点	感染症のポイントをまとめる 4択問題
評価の方法	卒業試験

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	国家試験プリント	感染症の総論1	プリント	
2	国家試験プリント	感染症の総論2	プリント	
3	国家試験プリント	感染症の総論3	プリント	
4	国家試験プリント	感染症の総論4	プリント	
5	国家試験プリント	感染症の各論	プリント	
6	国家試験プリント	感染症国家試験AO３１～３５	プリント	
7	国家試験プリント	感染症国家試験AO３６～４０	プリント	
8	国家試験プリント	感染症国家試験まとめ	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（管理技術）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　後期8コマ	担当授業時数	16時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	歯科医師免許　歯科医師経験36年
学習の目的	国家試験に合格する。		
指導目標	国家試験問題に慣れ、確実に合格点をとれる力を身につける。		
指導の要点及び留意点	重要項目を確認し、問題練習を繰り返し行う。 国家試験形式の模擬試験を行う。 必要に応じて計算練習を行う。		
評価の方法	卒業試験（筆記） 100点満点（配点未定）		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第1章 消毒法総論	重要ポイントの確認 国家試験過去問題などの問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
2	第1章 消毒法総論	国家試験過去問題、ワークブックなどの問題練習	レジュメ及び板書 ワークブック、講師作成プリントによる問題練習	
3	第2章 消毒法各論	重要ポイントの確認 国家試験過去問題などの問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
4	第2章 消毒法各論	国家試験過去問題、ワークブックなどの問題練習	レジュメ及び板書 ワークブック、講師作成プリントによる問題練習	
5	第3章 消毒法実習	重要ポイントの確認 国家試験過去問題などの問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
6	第3章 消毒法実習	国家試験過去問題、ワークブックなどの問題練習	レジュメ及び板書 ワークブック、講師作成プリントによる問題練習	
7	第1章～第3章	まとめ 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成模擬試験	
8	第1章～第3章	まとめ 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成模擬試験	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（関係法規）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　前期8コマ	担当授業時数	16時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　(無)	実務経験概要	教職経験28年
学習の目的	重要事項を反復学習し、得点力をアップさせる。		
指導目標	国家試験合格を目指し、関係法規の再確認をする。		
指導の要点及び留意点	過去問題を中心に反復学習し、試験直前までの学習プランを探る。		
評価の方法	卒業見込み、卒業試験による。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	関係法規 過去問題集	法規、制度の復習Ⅰ	・関係法規、制度の総復習 ・ワークを解く	
2	〃	法規、制度の復習Ⅱ	〃	
3	〃	法規、制度の復習Ⅲ	〃	
4	〃	過去問題傾向と対策Ⅰ	過去問題を解き、傾向を探る	
5	〃	過去問題傾向と対策Ⅱ	〃	
6	〃	過去問題傾向と対策Ⅲ	〃	
7	〃	過去問題傾向と対策Ⅳ	〃	
8	〃	試験への最終チェック	試験直前までの課題を検討	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（公衆衛生）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　後期8コマ	担当授業時数	16時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験34年

学習の目的	国家試験の合格を目指す
指導目標	公衆衛生学全般の総復習を行い、国家試験問題に正解できる力を身につけさせる
指導の要点及び留意点	総復習を行いながら、練習問題になるべく多く取り組み、慣れさせる
評価の方法	期末テストの成績、及び授業態度を総合的に考慮して評価する

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	公衆衛生の概要	教科書の総復習 （歴史、保健所）	プリントによる問題演習 （過去問を中心に）	
2	保健	教科書の総復習 （母子保健、成人･高齢者保健）	〃	
3	保健	教科書の総復習 （成人・高齢者保健）	〃	
4	保健	教科書の総復習 （成人・高齢者保健、精神保健）	〃	
5	環境衛生	教科書の総復習 （空気環境）	〃	
6	環境衛生	教科書の総復習 （衣服、住居の衛生、上下水道）	〃	
7	環境衛生	教科書の総復習 （廃棄物、衛生害虫、公害）	〃	
8	ワークブック 問題集	総合範囲	問題演習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（香粧品）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　後期8コマ	担当授業時数	16時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　(無)	実務経験概要	小中高理科教員免許(専修)経験25年
学習の目的	国家試験の範囲の出題傾向の把握と苦手分野の克服、要点の確認		
指導目標	国家試験範囲の出題傾向を確認し、苦手意識の持ちやすいところはあらためてまとめ直し、実践問題（過去問題）に取り組みながら克服する		
指導の要点及び留意点	実践問題に繰り返し取り組みながら出題傾向を確認し、化学の復習も重点をおく。また、覚えるべきことの確認をする。		
評価の方法	中間試験、卒業試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント 色材、配合成分	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント 石けん、化粧水、クリーム、乳液	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント シャンプー、リンス、トリートメント	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント パーマ剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント 染毛剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント 芳香製品、サンケア製品、取り扱合い	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
7	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント 基礎化学、高分子化合物	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
8	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント	総合問題プリントを使用し、今までの実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（生理解剖）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　後期8コマ	担当授業時数	16時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	歯科医師免許　歯科医師経験36年
学習の目的	国家試験に合格する。		
指導目標	一、国家試験問題に慣れ、確実に合格点をとれる力を身に付ける。 二、図や表も読み取れる。		
指導の要点及び留意点	重要項目を確認し、問題練習を繰り返し行う。 国家試験形式の模擬試験を行う。		
評価の方法	卒業試験（筆記） 100点満点（配点未定）予定		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第1章　頭部、顔部、頸部の体表解剖学 第2章　骨格器系	重要ポイントの確認 過去の国家試験問題等の問題練習 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
2	第3章　筋系 第4章　神経系	重要ポイントの確認 過去の国家試験問題等の問題練習 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
3	第5章　感覚器系 第6章　血液・循環器系	重要ポイントの確認 過去の国家試験問題等の問題練習 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
4	第7章　呼吸器系 第8章　消化器系	重要ポイントの確認 過去の国家試験問題等の問題練習 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
5	第1章第2章	重要ポイントの確認 ワークブック 模擬試験	レジュメ及び板書 ワークブック 講師作成プリントによる問題練習	
6	第3章第4章	重要ポイントの確認 ワークブック 模擬試験	レジュメ及び板書 ワークブック 講師作成プリントによる問題練習	

7	第5章第6章	重要ポイントの確認 ワークブック 模擬試験	レジュメ及び板書 ワークブック 講師作成プリントによる問題練習	
8	第7章第8章	重要ポイントの確認 ワークブック 模擬試験	レジュメ及び板書 ワークブック 講師作成プリントによる問題練習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（皮膚科学）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　後期8コマ	担当授業時数	16時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験34年

学習の目的	国家試験の合格を目指す
指導目標	皮膚科学全般の総復習を行い、国家試験問題に正解できる力を身につけさせる
指導の要点及び留意点	総復習を行いながら、練習問題になるべく多く取り組み、慣れさせる
評価の方法	期末テストの成績、及び授業態度を総合的に考慮して評価する

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第1章 皮膚の構造	教科書の総復習 （表皮・真皮・皮下組織）	プリントによる問題演習 （過去問を中心に）	
2	第2章 皮膚付属器官の構造	〃 （毛、脂腺、汗腺、爪）	〃	
3	第3章 皮膚の循環器系と神経系	〃 （血管、リンパ管、神経）	〃	
4	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	〃 （皮膚の作用について）	〃	
5	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健	〃 （全身状態、病変、水分皮脂、保護など）	〃	
6	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	〃 （さまざまな疾患の特徴など）	〃	
7	ワークブック 問題集	総合	問題演習	
8	ワークブック 問題集	〃	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（美容技術理論）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　後期15コマ	担当授業時数	30時間
実務経験のある教員科目の有無	（有）・　無	実務経験概要	美容師免許・実務経験14年

学習の目的	技術の習得には美容の基礎的な理論と技術をまず学ばなければならない。それぞれの理論と動作を並行して履修を目指す。「なぜそうしなければならないのか」を理解する。文化論との関連性も含め学ぶ。
指導目標	技術には理論的根拠があるということを念頭に、正しい技術の習得を目指す。 中間試験、期末試験合格 国家試験合格
指導の要点及び留意点	パワーポイントにて授業を行う ノート及びレポートチェック 前回までの復習と確認テストを章の終わりごとに行う
評価の方法	中間試験100点満点中60点以上で合格 前期期末試験100満点中60点以上で合格 卒業見込み試験60点以上で合格 卒業試験60点以上で合格

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論1 美容技術理論2	卒業見込み対策	対策問題と解説	
2	美容技術理論1 美容技術理論2	卒業見込み対策	対策問題と解説	
3	美容技術理論1 美容技術理論2	卒業見込み対策	対策問題と解説	
4	美容技術理論1 美容実習1	序章 1章　美容用具	パワーポイントにて解説 対策プリント	
5	美容技術理論1 美容実習1	2章　シャンプーイング	パワーポイントにて解説 対策プリント	
6	美容技術理論1 美容実習1	3章　ヘアデザイン	パワーポイントにて解説 対策プリント	
7	美容技術理論1 美容実習1	4章　ヘアカッティング	パワーポイントにて解説 対策プリント	
8	美容技術理論1 美容実習1	5章　パーマネントウエーブ	パワーポイントにて解説 対策プリント	
9	美容技術理論1 美容実習1	6章　ヘアセッティング	パワーポイントにて解説 まとめプリント	

10	美容技術理論 1 美容実習 1	7 章　ヘアカラーリング	パワーポイントにて解説 対策プリント	
11	美容技術理論 2 美容実習 2	8 章　エステティック	パワーポイントにて解説 対策プリント	
12	美容技術理論 2 美容実習 2	9 章　ネイル技術	パワーポイントにて解説 対策プリント	
13	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章　メイクアップ	パワーポイントにて解説 対策プリント	
14	美容技術理論 2 美容実習 2	11 章　日本髪	パワーポイントにて解説 対策プリント	
15	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章　着付けの理論と技術	パワーポイントにて解説 対策プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（文化論）	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　後期8コマ	担当授業時数	16時間
実務経験のある教員科目の有無	（有）・　無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験5年

学習の目的	美容文化論を学び、当時の髪型や化粧、服装を知る。 時代の変化と流行を知り、現代ファッションやヘアメイクとのつながりを知る。 和装礼装、洋装礼装の種類とTPOを理解する。 国家試験　合格レベルの知識と理解。
指導目標	年代別の流行のポイントを理解する。 国家試験に向けて復習し、練習問題などを行う。
指導の要点及び留意点	国家試験の範囲に集中させ、理解させる。 国家試験対策を行う。
評価の方法	後期卒業試験　100点満点中60点以上合格

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	国家試験範囲 日本のファッション文化史	明治時代・大正時代・昭和時代の髪型及び服装	
2		〃	〃	
3		〃	〃	
4		〃	〃	
5		礼装の種類	和装・洋装の種類	
6		〃	〃	
7		国試対策	全範囲	
8		〃	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	美容技術理論	講義	120時間

配当時間	1コマ90分　前期23コマ・後期24コマ	担当授業時数	94時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・美容実務経験14年
学習の目的	技術の習得には美容の基礎的な理論と技術をまず学ばなければならない。それぞれの理論と動作を並行して履修を目指す。「なぜそうしなければならないのか」を理解する。		
指導目標	期末試験合格を目指す		
指導の要点及び留意点	パワーポイントにて授業を行う ノート及びレポートチェック 確認テストを行う		
評価の方法	期末試験60点以上　合格		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価　(前期23コマ)

No.	教科書教材	学習内容(単元・内容)	学習活動	評価等
1	美容技術理論1 美容実習1	序章	1美容理論と美容技術 2作業姿勢 3人体各部の名称 板書・確認テスト	
2	美容技術理論1 美容実習1	1章　美容用具	1用具 2コーム 3ブラシ	
3	美容技術理論1 美容実習1		4シザーズ 5レザー 6ピン類、ヘアクリップ 7ロッド	
4	美容技術理論1 美容実習1		8ローラー 9ヘアアイロン 10ヘアドライヤー 板書・確認テスト	
5	美容技術理論1 美容実習1		11ヘアスチーマー 12遠赤外線機	
6	美容技術理論1 美容実習1	2章　シャンプーイング	1シャンプーイング総論	
7	美容技術理論1 美容実習1		2サイドシャンプー 3バックシャンプー	
8	美容技術理論1 美容実習1		4リンス・コンディショナー・トリートメント	

9	美容技術理論 1 美容実習 1		5 スキャルプトリートメント 6 ヘッドスパ	
10		中間試験	板書・確認テスト	
11	美容技術理論 1 美容実習 1	3 章　ヘアデザイン	1 美容とデザイン　錯覚現象 デザイン要素	
12	美容技術理論 1 美容実習 1		デザインの原理 板書・確認テスト	
13	美容技術理論 1 美容実習 1	4 章　ヘアカッティング	1 ヘアカッティングとは 2 シザーズとレザーの扱い方	
14	美容技術理論 1 美容実習 1		3 美容刃物	
15	美容技術理論 1 美容実習 1		4 ヘアカッティングの正しい姿勢 5 ブロッキング	
16	美容技術理論 1 美容実習 1		6 ヘアカッティングの基礎理論	
17	美容技術理論 1 美容実習 1		7 ベーシックなカット技法 8 シザーズによるカット技法	
18	美容技術理論 1 美容実習 1		9 レザーによるカット技法 板書・確認テスト	
19	美容技術理論 1 美容実習 1	5 章　パーマネントウエービング	1 パーマネントウエーブの歴史と現在 2 パーマネントウエーブの理論	
20	美容技術理論 1 美容実習 1		3 パーマ剤の分類 4 パーマ剤に関する注意事項	
21	美容技術理論 1 美容実習 1		5 パーマネントウエーブ技術 6 ワインディングのバリエーション	
22	美容技術理論 1 美容実習 1		7 縮毛矯正 板書・確認テスト	
23		期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価　（後期 24 コマ）

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論 1 美容実習 1	5 章　パーマネントウエービング	試験解説 板書・確認テスト	
2	美容技術理論 1 美容実習 1	6 章　ヘアセッティング	1 ヘアセッティングとは	
3	美容技術理論 1 美容実習 1		2 ヘアパーティング	
4	美容技術理論 1 美容実習 1		3 ヘアシェーピング	
5	美容技術理論 1 美容実習 1		4 ヘアカーリング	

6	美容技術理論 1 美容実習 1		5 ヘアウエービング	
7	美容技術理論 1 美容実習 1		6 ローラーカーリング 7 ブロードライ	
8	美容技術理論 1 美容実習 1		8 アイロンセッティング 9 バックコーミング	
9	美容技術理論 1 美容実習 1		10 アップスタイル 11 ウイッグとヘアピース	
10		中間試験	板書・確認テスト	
11	美容技術理論 1 美容実習 1	7 章　ヘアカラーリング	1 ヘアカラーリング概論 2 ヘアカラーの種類	
12	美容技術理論 1 美容実習 1		3 ヘアカラーのタイプ別特徴	
13	美容技術理論 1 美容実習 1		4 染毛のメカニズム	
14	美容技術理論 1 美容実習 1		5 色の基本 6 毛髪のレベルとアンダートーン	
15	美容技術理論 1 美容実習 1		7 パッチテスト 8 染毛剤使用時の注意事項 9 ヘアカラーリングの道具	
16	美容技術理論 1 美容実習 1		10 酸化染毛剤の技術手順 11 酸性染毛料の技術手順	
17	美容技術理論 2 美容実習 2		12 ヘアブリーチ 板書・確認テスト	
18	美容技術理論 2 美容実習 2	8 章　エステティック	1 エステティック概論	
20	美容技術理論 2 美容実習 2		2 皮膚の生理と構造	
21	美容技術理論 2 美容実習 2		3 カウンセリング 4 美容におけるマッサージ理論	
22	美容技術理論 2 美容実習 2		5 フェイシャルケア技術 6 フェイシャル及びデコルテマッサージ	
23	美容技術理論 2 美容実習 2		7 フェイシャルマッサージ 8 ボディケア技術 9 ボディマッサージ	
24		期末試験	板書・確認テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	部長	部長代理	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	美容技術理論	講義	120時間

配当時間	1コマ90分　前・後期15コマ	担当授業時数	30時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	美容師免許・美容実務経験4年

学習の目的	**確かな技術には、それを裏付ける理論があるということを理解させる** **歴史や美容文化との関連、与えたい印象などによる調和の大切さを知る**
指導目標	理論に基づいた技術の習得 歴史や美容文化に興味を持ち、調和のとれた創造の実践 国家試験合格
指導の要点及び留意点	教科書に沿って、実習と関連付けながらすすめる。 パワーポイントを活用。 毎時間初めに前回の復習を行ってから次にすすめる。
評価の方法	前期中間試験　　60%正解で合格（期末試験の20点分に反映される） 前期期末試験　100点満点（内60点は中間試験）中　60点合格 卒業見込み試験　100点満点中　60点合格 後期期末試験　100点満点中　　60点合格

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論2	第9章　ネイル技術	パワーポイント・板書・説明・DVD	
2	美容技術理論2	第9章　ネイル技術	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
3	美容技術理論2	第9章　ネイル技術	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
4	美容技術理論2	第9章　ネイル技術 第10章　メイクアップ	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
5	美容技術理論2	第10章　メイクアップ	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
6	美容技術理論2	第10章　メイクアップ	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
7	美容技術理論2	第10章　メイクアップ 中間試験対策	復習（プリント）・試験対策 パワーポイント・板書・説明・DVD	
8	中間テスト	第9章　第10章		
9	美容技術理論2	第10章　メイクアップ	復習（プリント）	

		まつ毛エクステンション	パワーポイント・板書・説明・DVD	
10	美容技術理論2	第 11 章　日本髪	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
11	美容技術理論2	第 11 章　日本髪	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
12	美容技術理論2	第 11 章　日本髪 第 12 章　着付け	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
13	美容技術理論2	第 12 章　着付け	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
14	美容技術理論2	第 12 章　着付け	復習（プリント） パワーポイント・板書・説明・DVD	
15	美容技術理論2	第 12 章　着付け ワークブック・試験対策	復習（プリント）・試験対策 パワーポイント・板書・説明・DVD	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	メーキャップ技術理論Ⅰ	講　義	20時間

配当時間	1コマ90分　前期　11コマ	担当授業時数	22時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	メイクアップは生活環境のあらゆる場面に広がりをみせ、どんな人にも、どんな目的にも対応できる基本的なメイクアップ理論を学ぶことにより、感性や感覚だけのメイクアップではない理論をもとに成り立つ基本的なメイクアップを理解する。
指導目標	・メイクアップに必要な基礎的知識を習得し、メイクアップ検定3級取得をめざす。 ・メイクアップの技術、道具の使用方法、モデルへの接し方など、技術者のマナーを身につける。 ・メイクアップに必要な化粧品の特徴を理解し、さまざまな要望に応えられる知識を身につける。
指導の要点及び留意点	美容技術理論2の教科書にそって、メイクアップの基本知識を習得し、実習とリンクしやすいように進める。
評価の方法	期末試験で60点以上を合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	テキスト	光と影のメイクアップ	光と影のメイクアップの法則、キレイに見える陰影を理解する	
2	テキスト	メイクアップテクニック ・顔の構造 ・スキンケアの基礎知識 ・クレンジング	顔の構造を理解し、スキンケアメイクアップの知識と、テクニックを学ぶ。	
3	テキスト	メイクアップテクニック ・ベースメイクアップ	ベースメイクアップの基礎知識とテクニックを学ぶ。	
4	テキスト	メイクアップテクニック ・アイメイクアップ	アイメイクアップの基礎知識とテクニックを学ぶ。	
5	テキスト	メイクアップテクニック ・アイブロウメイクアップ	アイブロウメイクアップの基礎知識とテクニックを学ぶ。	
6	テキスト	メイクアップテクニック ・リップメイクアップ	リップメイクアップの基礎知識とテクニックを学ぶ。	

7	テキスト	メイクアップテクニック ・ブラッシュオンメイクアップ	ブラッシュオンメイクアップの 基礎知識とテクニックを学ぶ。	
8	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	
9	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	
10	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	
11	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	

教課指導案(シラバス)

部長	部長代理	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティック理論	実習	30時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　　17コマ	担当授業時数	34時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師

学習の目的	日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャンの資格取得のための理論を学び、資格試験の合格を目指す。
指導目標	エステティック全般の理論、及びフェイシャルエステティックの理論を習得させ、資格試験に合格できるよう指導する。
指導の要点及び留意点	要点をまとめて分かりやすく、かつ的確に指導する。
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記および実技試験の結果を考慮して成績を評価する。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	授業概要説明 C1　エステティックとは	講義	
2	教科書 プリント	C2　ホメオスタシスとは	講義	
3	教科書 プリント	C3　身体のしくみと働きⅠ	講義	
4	教科書 プリント	C5　皮膚のしくみと働きⅠ	講義	
5	教科書 プリント	C6　皮膚のしくみと働きⅡ	講義	
6	教科書 プリント	C7　エステティックカウンセリング	講義	
7	教科書 プリント	C8　化粧品の種類と働き	講義	
8	教科書 プリント	C9　栄養の知識	講義	
9	教科書 プリント	C10　衛生と消毒	講義	
10	教科書 プリント	C11　エステティックの基礎知識	講義	
11	教科書 プリント	C13　Fエステティックの基礎知識	講義	

12	教科書 プリント	まとめ①	プリント	
13	教科書 プリント	まとめ②	プリント	
14	教科書 プリント	まとめ③	プリント	
15	教科書 プリント	試験対策①	プリント	
16	教科書 プリント	試験対策②	プリント	
17	教科書 プリント	試験対策③	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ネイル技術理論Ⅰ	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　11コマ	担当授業時数	22時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 美容師免許

学習の目的	安全で安心なネイルサービスを提供できるように衛生や病気についての知識を身につけさせる 基本となるネイルケアの理論を学び、正しい技術を習得させる
指導目標	皮膚学や爪の構造を学び、健康な爪を維持するための理論を学ぶ
指導の要点及び留意点	ネイルに関する正しい知識及び、適切な技術を提供できるように理解させる
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カットスタイル ネイルケア ネイルケア技術体系	・板書　・ｳｯﾄﾞｽﾃｨｯｸを削る ・用具用材の説明 ・ﾃｰﾌﾞﾙｾｯﾃｨﾝｸﾞ、ﾈｲﾙｹｱの手順を説明 ・ﾌｧｲﾙの角度、爪の形の違いを説明	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア 爪の構造と働き	・実際にﾃｰﾌﾞﾙｾｯﾃｨﾝｸﾞを行う ・爪の各部、名称を細かく学ぶ	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	爪の構造と働き ネイルの歴史	・プリントを使用し爪の各部、名称を覚える ・マニキュアの語源について	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルのための皮膚科学 ﾈｲﾙのための生理解剖学Ⅰ、Ⅱ 爪や皮膚の病気とトラブル	・皮膚の構造や働きを学ぶ。 ・骨の構造、骨の付属組織を説明 ・病気とトラブルについて	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	爪や皮膚の病気とトラブル 消毒法	・プリントを使用し爪や皮膚のトラブルの名称を記入 ・衛生に関することを理解させる	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	化粧品学（ネイル用化粧品） 色彩理論	・板書 ・化粧品の定義について理解させる ・色への理解を深めさせる	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑ・ﾈｲﾙｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ ネイルサロン環境 衛生基準と関係法規	・ﾌﾟﾛとしてお客様から信頼されるために必要な知識を伝える ・衛生基準や法規などを説明	

8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ﾄﾘｰﾄﾒﾝﾄ理論・ﾊﾝﾄﾞﾄﾘｰﾄﾒﾝﾄ リペア・チップラップ	・目的や効果を知り、基本手順を説明 ・ナチュラルネイルの修復及びイクステンションを知る	
9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	復習・まとめ	・練習問題を解く	
10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	復習・まとめ	・練習問題を解く	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	復習・まとめ	・練習問題を解く	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	秘書実務Ⅰ	講義	30時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　17コマ	担当授業時数	34時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	秘書検定1級。役員秘書歴5年。 マナー研修講師歴17年。
学習の目的	インターンシップや就職活動、入社後に新入社員として求められるコミュニケーションスキルや基礎的なビジネスマナーを身につける。		
指導目標	社会人に必要とされる電話応対、来客応対、ビジネス文書作成等のビジネスマナーを身に付け、2024年2月の秘書検定3級合格を目指す。		
指導の要点及び留意点	テキスト「新秘書特講」で基礎知識を身に付け、秘書検定3級実問題集で理解度を確認する。		
評価の方法	授業態度、演習の参加意欲、課題提出、期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新秘書特講 第4章	オリエンテーション あいさつ、身だしなみ 基本動作	テキストを使用して説明。	
2	新秘書特講 第4章	話し方、聞き方、接遇用語 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
3	新秘書特講 第4章	電話応対 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
4	新秘書特講 第4章	来客応対 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
5	新秘書特講 第4章	慶事、弔辞 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
6	新秘書特講 第4章	贈答、交際業務 第4章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
7	新秘書特講 第5章	会議 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
8	新秘書特講 第5章	ビジネス文書作成 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
9	新秘書特講 第5章	ビジネス文書の取扱い 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
10	新秘書特講 第5章	資料管理、スケジュール管理	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
11	新秘書特講 第５章	環境整備 第５章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
12	新秘書特講 第１章	必要とされる資質 第１章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
13	新秘書特講 第２章	職務知識 第２章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
14	新秘書特講 第３章	一般知識、問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
15	新秘書特講 第３章	一般知識 第３章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
16	新秘書特講 模擬テスト	模擬テスト、答え合わせ	過去問題演習	
17	過去の本試験問題	模擬試験	模擬試験	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	秘書実務Ⅱ	講義	30時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　17コマ	担当授業時数	34時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	秘書検定1級。役員秘書歴5年。 マナー研修講師歴17年。
学習の目的	秘書実務Ⅰで学んだ基礎知識を実践に生かせるような力を身に付ける。状況を的確に把握し、自ら考えて判断し、行動できる力を養う。		
指導目標	状況や相手によって対応の仕方が異なることを理解し、適切な言葉を選び、行動できるようになる。2024年2月の試験で2級合格を目指す。		
指導の要点及び留意点	グループワークを取り入れ、理解を深める。秘書検定2級過去問題の演習により、理解度を確認する。		
評価の方法	授業態度、演習の参加意欲、課題提出、期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新秘書特講	オリエンテーション あいさつ、身だしなみ、基本動作チェック	実際に基本動作を行い、立ち居振る舞いを確認する。	
2	新秘書特講 実問題集2級	人間関係、話し方、聞き方	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
3	新秘書特講 実問題集2級	敬語、接遇用語	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
4	新秘書特講 実問題集2級	電話応対	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
5	新秘書特講 実問題集2級	来客応対	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
6	新秘書特講 実問題集2級	贈答、交際業務	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
7	新秘書特講 実問題集2級	会議	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
8	新秘書特講 実問題集2級	ビジネス文書作成	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
9	新秘書特講 実問題集2級	ビジネス文書の取扱い	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
10	新秘書特講 実問題集2級	資料管理、スケジュール管理、環境整備	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
11	新秘書特講 実問題集２級	必要とされる資質分野問題演習	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
12	新秘書特講 実問題集２級	必要とされる資質分野問題演習	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
13	新秘書特講 実問題集２級	職務知識分野問題演習	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
14	新秘書特講 実問題集２級	職務知識分野問題演習	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
15	新秘書特講 実問題集２級	一般知識分野問題演習	過去問題を解き、テキストで周辺知識を確認する。	
16	新秘書特講	２級模擬テスト、答え合わせ	過去問題演習	
17	過去の本試験問題	模擬試験	模擬試験	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	パーソナルカラーコーディネートⅠ	※講義もしくは実習	30時間

配当時間	1コマ90分　前･後期17コマ	担当授業時数	34時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	美容部員経験4年 美容師免許 1級色彩コーディネーター パーソナルカラリスト1級 日本カラリスト協会 色彩指導員歴5年

学習の目的	色の理論を理解させ、理論に基づいた配色ができるようにする。 パーソナルカラーを意識する事で、お客様への的確なアドバイスを行えるような知識を身につける
指導目標	色のしくみを知り、色に対して興味を持つようにする
指導の要点及び留意点	実践で役立つ色の知識を身に付けさせる。
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	公式テキスト P14~17 P4~7.P8~13	第1章　色彩と文化 色と生活・四季の自然を表す色 日本の色の歴史	・身の回りにある身近なものを通して、日々色に触れていることを感じさせる ・歴史を学び、時代の色の持つ効果を知る	
2	公式テキスト P8~13	第1章　色彩と文化 日本の色の歴史	・歴史を学び、時代の色の持つ効果を知る ・時代の流れをつかむ	
3	公式テキスト P18~25	第1章　色彩と文化 色の種類	・色に対してのイメージを学び、心理に与える影響を学ばせる ・プリントに書き出す	
4	公式テキスト P18~25 P26~30	第1章　色彩と文化 色の種類 第2章　色彩心理　色のしくみ	・色に対してのイメージを学び、心理に与える影響を学ばせる ・色の感じる仕組みを学ぶ	
5	公式テキスト P31~40 P41~43. P44~43	第2章　色彩心理 色の感情効果 ＣＵＳ表色系・色の三属性と対比現象	・色相環を理解させる ・色々な配色を理解させる ・色の効果について学ぶ	
6	公式テキスト	第2章　色彩心理	・色相環を理解させる	

	P41~43. P44~43	ＣＵＳ表色系 色の三属性と対比現象 ＣＵＳ表色系	・色々な配色を理解させる ・色の効果について学ぶ	
7	公式テキスト P44~45 P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ表色系・色の三属性と対比現象 ＣＵＳ配色効果	・24 色相環を理解させる ・9 色調の名称を覚える	
8	公式テキスト P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ配色効果	・アンダートーン配色を学ぶ ・プリントを使い、色調との関連や理解を深める	
9	公式テキスト P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ配色効果	・アンダートーン配色を学ぶ ・プリントを使い、色調との関連や理解を深める	
10	公式テキスト P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ配色効果	・24 色相環の理解を深める為、3 色の絵の具を使い、24 色をつくる	
11	公式テキスト P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ配色効果	・24 色相環の理解を深める為、3 色の絵の具を使い、24 色をつくる	
12.	公式テキスト P59~65	第 3 章　色彩とファッション ファッション概論	・服飾文化やファッションの配色を学ぶ ・イメージ用語の基礎知識、配色を覚えるため、プリントに配色事例を作成する	
13	公式テキスト P66~70	第 3 章　色彩とファッション ブライダルと色彩	・ウェディングの歴史を学ぶ ・ウェディングに関連した配色調和を学ぶ	
14	公式テキスト P70~74	第 4 章　パーソナルカラー パーソナルカラー	・パーソナルカラーとは ・パーソナルカラーによってその人の魅力をより引き出すコーディネートを学ぶ ・イメージ用語との関連を学ぶ	
15	公式テキスト P70~74	第 4 章　パーソナルカラー パーソナルカラー	・パーソナルカラーとは ・パーソナルカラーによってその人の魅力をより引き出すコーディネートを学ぶ ・イメージ用語との関連を学ぶ	
16		色相環	・3 色の絵の具を使って 24 色相環を作る	
17		色相環	・3 色の絵の具を使って 24 色相環を作る	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックメーキャップⅠ	実習	40時間

配当時間	1コマ90分　前期　22コマ	担当授業時数	44時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	本来持っている美しさを引き出す、ナチュラルなメイクアップを実際に表現する力を養い、感性や感覚だけのメイクアップではない、理論のもとに成り立つ基礎的なメイクアップを学びます。
指導目標	・メイクアップに必要な基礎的知識を習得し、メイクアップ検定3級取得をめざす ・メイクアップの技術、道具の使用方法、モデルへの接し方など、技術者のマナーを身につける ・メイクアップの技術に必要化粧品の特徴を理解し、お客様の肌の状態を最低限の範囲で考慮し、本来もっている自然な美しさをさらに引き出せるようなメイクアップ技術を学ぶ
指導の要点及び留意点	肌が敏感な場合は学生自身の化粧品等を使用し、なるべく負担のないよう、できるだけ相モデルで実習を行えるよう考慮する。
評価の方法	期末試験で60点以上を合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	テキスト	・事前準備のやり方 ・技術者の身だしなみやマナー	・道具や化粧品を機能的に配置でき、衛生的に使う方法や、お客様に対する基本的なマナーや清潔感のある身だしなみを学ぶ	
2	テキスト	・クレンジングの種類 ・スキンケアの工程	・オイルクレンジングの特徴及び手順やトーニング及びプロてくてぃんぐの目的やふき取りの手順を学ぶ	
3	テキスト	・ポイントクレンジング ・全体クレンジング ・スキンケアの工程	・マスカラ、リップのクレンジング方法や全体クレンジングの乳化方法を学ぶ	
4	テキスト	・ポイントクレンジング ・全体クレンジング ・スキンケアの工程	・全体クレンジング、ポイントクレンジングの復習及び、ふき取り、トーニングの特徴や注意点を学ぶ	
5	テキスト	・ベースメイクアップ ・地色とハイライトの色味 ・スポンジワーク	・モデルの肌色を見極め、適するファンデーションを選択し、スポンジテクニックを学ぶ	
6	テキスト	・ベースメイクアップ ・地色とハイライトの色味 ・スポンジワーク	・モデルの肌色を見極め、適するファンデーションを選択し、ファンデーションを塗るときのスポンジテクニッ	

			クを学ぶ	
7	テキスト	・ファンデーションの復習 ・パウダリングの目的、手順	・ファンデーションの特徴や、塗り方のテクニックを学び、パウダリングの目的や注意点を学ぶ。	
8	テキスト	・ファンデーションの復習 ・パウダリングの目的、手順 ・ポイントメイクアップ	・ベースメイクの復習やブラシの扱い方や目の周りのアイシャドーのつけ方や注意点を学ぶ	
9	テキスト	・ポイントメイクの注意点 ・カラー選択の注意点 ・アイメイクの種類	・アイシャドーのブラシワークやグラデーションの作り方や、アイラインの入れ方及び道具の選択を学ぶ	
10	テキスト	・ポイントメイクの注意点 ・カラー選択の注意点 ・アイメイクの種類	・アイシャドーのブラシワークやグラデーションの作り方や、アイラインの入れ方及び道具の選択を学ぶ	
11	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・アイブロウの描き方、種類	・アイライン、マスカラのやり方、アイブロウのシェーディングのやり方及び、効果	
12	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果	・アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、チークルージュの形、位置、入れ方を学ぶ	
13	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果	・アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、チークルージュの形、位置、入れ方を学ぶ	
14	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果 ・リップの形、印象	・アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類、及び使い方、ライン取りのテクニックを学ぶ	
15	テキスト	・ファンデーションの復習 ・ポイントメイクアップの復習 ・リップの形及び、注意点	・アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類、及び使い方、ライン取りのテクニックを学ぶ	
16	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習	・セッティングの復習及び、クレンジング 20 分で仕上げる練習 ベースメイクの仕上がり確認	
17	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習	・セッティングの復習及び、クレンジング 20 分で仕上げる練習 ベースメイクの仕上がり確認	
18	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習及びリップ	・クレンジング 20 分で仕上げる練習 ベースメイクの仕上がり確認及びポイントメイク、リップの仕上げ	
19	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取り	

20	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を50分でタイム取りし、全体バランスを確認	
21	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を50分でタイム取り	
22	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を50分でタイム取りし、全体バランスを確認	

教課指導案（シラバス）

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックネイルⅠ	実習	60時間

配当時間	1コマ90分　前・後期　26コマ	担当授業時数	52時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	美容師免許　美容師歴3年 日本ネイリスト協会本部認定講師 全国美容生活衛生同業組合連合会 SBSネイル指導講師 日本美容講師会会員 日本理容美容教育センターまつ毛エクステンション指導員資格 ストーリージェル３６５エデュケーター資格 クリストリオ社シルバーエデュケーター資格 ネイルサロン経営(14年)

学習の目的	JNEC日本ネイリスト技能検定試験３級 ネイリストとしての基礎知識の習得 サロンワークに対応する技術の基礎とタイム管理
指導目標	ネイルに関連する基本的な道具と使い方の理解 ネイルケア、カラーの塗布、デザインなど総合的に習得する JNEC日本ネイリスト技能検定試験３級取得 検定取得に伴うネイル技術全般と、タイム管理を理解させる
指導の要点及び留意点	授業の準備物、内容を伝え徹底させる ネイルを通して、顧客の心理や時間の大切さ、楽しさを伝える
評価の方法	各学年末試験によって決定　　１００点満点(配点未定) 授業態度、意欲、出席も考慮対象とする

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学習活動	評価等
1	JNA テクニカルシステム	基本的なテーブルセッティング	使いやすさを目的とした配置 衛生的なセッティング確認	
2	P69-72	用具、用材と使用目的	洗浄方法と消毒衛生管理 各材料の使用方法	
3	P73-81	ネイルケアの手順	ネイルケアに必要な工程の理解	
4		消毒方法と手順	手記消毒方法の手順と汚物管理	
5		ネイルファイリング	爪の成型方法 エメリーボードの使い方と注意点	

6	P73-81	ネイルファイリング 爪の様々な形の理解	基本的な 5 種類の形を理解 正しいラウンドの削り方、揃え方	
7		ネイルケア メタルプッシャー	プッシャーの角度、強さの理解 プッシュバック、プッシュアップ	
8		ネイルケア プッシュアップ技術	ルースキューティクル、キューティクルの違い	
9		ネイルケア クリーンナップ	爪周りの汚れの処理	
10		ネイルケア ガーゼクリーン	ガーゼの使用目的	
11		ネイルケア キューティクルニッパー	持ち方、支え方	
12		ネイルケア ガーゼとニッパー	ルースキューティクルの処理方法	
13	P82-84	カラーリング 前処理と手順		
14		カラーリング 塗布方法		
15		カラーリング ブラシワーク		
16	P75	カラーリング カラー修正とポリッシュオフ		
17	P117-129	ネイルアート 用具用材と使用方法	アクリル絵の具とアートブラシの使用方法	
18		ネイルアート 基礎知識と描き方	筆の動かし方 色々なパーツの描き方	
19		ネイルアート デザイン考案	フラワーとその他のデザイン	
20		ネイルアート タイム管理	10 分間タイムトライアル	
21		ネイリスト検定３級対策	タイム管理	
22		ネイリスト検定３級対策	手順の総確認	
23		ネイリスト検定３級対策	タイムトライアル	
24		ネイリスト検定３級対策	タイムトライアル	
25		定期試験	ネイリスト検定３級に準ずる	
26		定期試験	ネイリスト検定３級に準ずる	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックネイルI	※講義もしくは実習	60時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　7コマ	担当授業時数	14時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	ネイル道具を安全に使用し、ネイル検定3級合格を目指す。
指導目標	安全で安心なネイルサービスを提供できるように正しい技術を習得させる
指導の要点及び留意点	ネイルに関する正しい知識及び、適切な技術を提供できるように理解させる
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・道具の名称を覚えさせる セッティングの練習を行う	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア・カラーリング	一通りの流れを行う。 タイムを意識しながら行う。	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア・カラーリング	一通りの流れを行う。 タイムを意識しながら行う。	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	検定タイムを計りながら指導を行う	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	検定タイムを計りながら指導を行う	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	検定タイムを計りながら指導を行う	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	検定タイムを計りながら指導を行う	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティック	実習	60時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　33コマ	担当授業時数	66時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	認定エステティシャン・経験15年

学習の目的	1、顔の骨格や筋肉、リンパ節などについてしっかり学び、各トリートメントの目的や効果を十分に理解させる。 2、マッサージの基本手技の手法、効果・作用を把握させ、実践する。相モデルで行うことで快・不快の感覚を学ぶ。 3、施術中の姿勢を正しく身に付けさせる。 4、お客様への気配り、心遣いを身につけさせ、衛生面にも配慮させる。
指導目標	1、筋肉の走行、血液やリンパの流れを理解し、正しい位置に施術を施せるようにする。 2、正しい姿勢を身につけ、施術者の体に負担のないように施術できるようにする。 3、クレンジング、マッサージの手順を覚え、手が止まることなく流れるように施術が行えるようにする。相モデルで行い、感想を言い合う。 4、お客様への気配り、心遣いを身につけさせる。
指導の要点及び留意点	1、お客様への細やかな心遣いを常に意識させる。 2、モデルになり施術を受けている間も眠ることなく、お客様の立場に立った感覚を理解させる。 3、施術中の姿勢も乱れることがないよう、意識させる。
評価の方法	授業態度 実技試験：100点満点予定

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学　技術編Ⅰ	事前準備	配布物の確認、ベッド、ワゴンセッティング、ホットタオルのつくり方、モデル準備等	
2	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
3	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
4	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
5	新エステティック学　技術編Ⅰ	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目	

	P14～19		的、手法を理解させる。	
6	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
7	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
8	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
9	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
10	新エステティック学　技術編Ⅰ P36～37	マッサージ 軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
11	新エステティック学　技術編Ⅰ P36～37	マッサージ 軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
12	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 軽擦法、強擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
13	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 軽擦法、強擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
14	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 強擦法、揉捻法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
15	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 強擦法、揉捻法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
16	新エステティック学　技術編Ⅰ P38～39	マッサージ 揉捻法、打法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
17	新エステティック学　技術編Ⅰ P38～39	マッサージ 揉捻法、打法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
18	新エステティック学　技術編Ⅰ P39～40	マッサージ 打法、振動法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
19	新エステティック学　技術編Ⅰ	マッサージ 打法、振動法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	

20	新エステティック学　技術編Ⅰ P40～41	マッサージ 振動法、圧迫法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
21	新エステティック学　技術編Ⅰ P40～41	マッサージ 振動法、圧迫法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
22	新エステティック学　技術編Ⅰ P41	マッサージ 圧迫法、軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
23	新エステティック学　技術編Ⅰ P41	マッサージ 圧迫法、軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
24	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
25	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
26	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
27	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
28	新エステティック学　技術編Ⅰ	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
29	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
30	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
31	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
32	新エステティック学　技術編Ⅰ	期末テスト	手順だけでなく、身だしなみ、ベッドメイキングを含めた総合評価	
33	新エステティック学　技術編Ⅰ	期末テスト	手順だけでなく、身だしなみ、ベッドメイキングを含めた総合評価	

教課指導案(シラバス)

校長	部長	部長代理	課長	担当教員

2023年度 １年生	科　目	授業方法	総授業時数
	和装着物着付けⅠ	実習	３０時間

配当時間	１コマ９０分 前・後期　１７コマ	担当授業時数	３４時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	美容師免許・着付け技能検定１級・ブライダル美容実務８年

学習の目的	着物の基本的知識を理解し、ブライダル美容業界で即戦力として活躍できる着付け技術を習得する。
指導目標	１．着付け技術を行うにあたっての必要な基礎的知識、技術を習得させる。 ２．着付け技術を仕事として活かせる様に、用具の使用方法、モデルへの接し方及技術者のマナーを身につけさせる。 ３．現場の即戦力となれる様、モデルの体型に合った着付け技術とスピーディーな技術を身に付けさせる。
指導の要点及び留意点	基礎的な着物、着付け用語を理解させると共にシーン、体型別に的確な着付けが出来る技術を習得させる。また、相モデルが不可な事由が起きた際にはボディにて行う。
評価の方法	・学期末試験成績：１００点満点（配点未定）予定 ・授業態度及び出席率

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論２	・事前準備	・技術者の身だしなみ、マナー、用具の名称、用途、着物の部位の名称の説明	
2	美容技術理論２	・たたみ方 ・肌着、裾よけ、体型補整	・準備、補正技術の展示と実習	
3		・浴衣着付け	・補正、浴衣着付けの展示と実習	
4		・浴衣着付け ・帯結び（文庫）	・文庫結びの展示と実習 ・帯結びアレンジの展示	
5		・小紋着付け	・小紋と袋帯、小物の説明と技術展示	
6		・補正の作成	・ガーゼ補正の作成方法の実習 ・タオル補正のたたみ方の実習	
7		・小紋着付け	・補正の展示と実習 ・長襦袢着付けの展示と実習	
8		・小紋着付け	・小紋着付けの展示と実習	
9		・小紋着付け	・帯結び（二重太鼓）の展示と実習	
10		・小紋着付け	・帯結び（二重太鼓）の実習	

11		・小紋着付け	・補正～仕上げまでの実習	
12		・小紋着付け	・補正～仕上げまでの実習	
13		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	
14		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	
15		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	
16		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	
17		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	メーキャップ技術理論Ⅱ	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	・日本メイクアップ連盟主催メイクアップ技能検定1級取得 ・メイクアップの技術と知識のほか、接客マナーも含め、プロのメイクアップアーティストとして仕事ができるようにする。
指導目標	・光と影の法則について理解させる。 ・光と影をメイクアップで再現させるテクニックができるようにする。 ・顔の構造について詳しく理解させる。 ・アーティスティックメーキャップⅡにおいてスキンケア～ブラッシュオンメイクまでの応用ができるようにする。
指導の要点及び留意点	・メイクアップ技能検定1級「サロン」「ウエディング」カテゴリー受験 ・筆記試験はすべて記述式問題
評価の方法	筆記期末試験を行い100点満点中60点以上で合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	メイクアップメソッド	・メイクアップの光と影の法則 ・キレイに見える7パターン	汚く見える影を消し、美しい光と影を再現することを理解する。	
2	メイクアップメソッド	・光と影をメイクアップで再現 ・光と影メイクの違い	7つのパターンから今後表現の幅を広げるためのテクニックを確認。	
3	メイクアップメソッド	・顔の構造について ・顔の骨格・顔の筋肉	キャンバスとも言える顔の構造について名称や特徴を覚える。	
4	メイクアップメソッド	・スキンケアメイクアップ ・肌質の状態について	メイクの土台となる素肌を美しい状態にする方法を理解する。	
5	メイクアップメソッド	・ベースメイクアップ ・光と影をベースメイクで再現	光と影の法則をベースにハイライトローライトを使い分ける。	
6	メイクアップメソッド	・各ポイントメイクアップ ・メイクアップの応用	メイクアップのバリエーションを検証しお客様の要望を表現する。	
7	確認プリント	メイクアップ連盟配布 確認プリント	記述式による回答の注意点	
8	練習問題	練習プリント①	解答解説後重要ポイント確認、復習家庭学習プリント配布	
9	練習問題	練習プリント②	解答解説後重要ポイント確認、復習家庭学習プリント配布	

10	練習問題	練習プリント③	解答解説後重要ポイント確認、復習 家庭学習プリント配布	
11	期末試験	記述式による出題	全 50 問 試験時間 30 分	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	メーキャップ文化論	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　前・後期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	美容師免許 ヘアメイク歴　25年
学習の目的	・メイクアップの歴史とその時代背景を理解し、ファッションと美について学ぶ。 ・日本と世界の文化と美学をトータルで学ぶ		
指導目標	・メイクアップの年代別流行の特徴について習得させる。 ・1950年代～2010年代に流行した、メイク、ファッション、ヘアスタイルの特徴について習得させる。 ・各年代の時代背景、カルチャーについて総合的に習得させる。		
指導の要点及び留意点	・メイクアップの歴史を学び、そこからその時代背景やファッション、カルチャーなどアーティストとして最低限必要な知識について理解する。		
評価の方法	・定期期末試験において60点以上を合格とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	映像資料 DVD	・年代別メイク、ファッション ・『流行』について	・安室奈美恵×VIDAL SASSOON 60ｓ70ｓ80ｓ	
2	映像資料 映画	・モード界の巨匠 アレキサンダーマックイーン	・McQUEEN モードの反逆児①	
3	映像資料 映画	・モード界の巨匠 アレキサンダーマックイーン	・McQUEEN モードの反逆児②	
4	映像資料 映画	・ファッション界の巨匠 ヴィヴィアンウエストウッド	・WESTWOOD 最強のエレガンス①	
5	映像資料 映画	・ファッション界の巨匠 ヴィヴィアンウエストウッド	・WESTWOOD 最強のエレガンス②	
6	映像資料 DVD	・世界で活躍する日本人 ヘアデザイナー加茂克也	・プロフェッショナル仕事の流儀 ～あきらめないから、美しい～	
7	KERA REATION	・1950年代のヘアメイク ・1960年代のヘアメイク	・映画女優へのあこがれ ・元気でポップなカルチャー	
8	KERA REATION	・1970年代のヘアメイク ・1980年代のヘアメイク	・カウンターカルチャー ・多様なカルチャー	
9	KERA REATION	・1990年代のヘアメイク ・2000年代のヘアメイク	・スーパーモデルブーム ・トレンドの細分化	
10	KERA REATION	・2010年代のヘアメイク ・20xx年代のヘアメイク	・SNSの普及 ・自らが生み出す流行	
11	KERA REATION	・2010年代のヘアメイク ・20xx年代のヘアメイク	・SNSの普及 ・自らが生み出す流行	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	メイクセラピーⅠ	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期11コマ	担当授業時数	22時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	1．メイクセラピーガイドに必要なカウンセリングの基礎知識習得し、メイクアップの特徴やメイクセラピーの流れを理解する。 2．メイクセラピー検定3級を目指す。
指導目標	「メイクセラピー」の概要である、目的や役割、メイクセラピーの現状や活かし方、メイクセラピーに必要な手法や知識について理解する。
指導の要点及び留意点	事例（DVDやテキスト）をもとに、実際のメイクセラピーの流れを理解させる。
評価の方法	受験の合否は評価の対象とせず、別に行われる定期試験のテスト、授業の姿勢での評価を行う。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	テキスト	メイクセラピーとは メイクセラピーを理解する	・テキストを用い背景、定義、簡単な流れを説明。 ・DVDによる視覚的学習と解説。	
2	テキスト	メイクセラピーとは メイクセラピーを理解する	・検定内容、合格基準、活かし方の説明。	
3	テキスト	カウンセリング概論	・テキスト及び板書。 ・美容のカウンセリングとの比較を説明。 ・具体的な事例をもとに解説。	
4	テキスト	カウンセリング概論 顔と心と化粧の関係	・テキスト及び板書。 ・感情と顔の表情、化粧をする理由について説明。	
5	テキスト	スキンケア概論	・テキスト及び板書。 ・顔の部位と名称、肌のタイプ、顔の筋肉、基礎的なスキンケアについて説明。	

6	テキスト	メイクアップ概論	・メイクアップに必要な要素、パーツバランスについて説明。 ・遠心・求心の比較、印象分析実習と解説。	
7	テキスト	メイクアップ概論	・流行のメイク、テクニック、商品の把握をする。 ・基本のメイクアップ道具について説明。 ・パーツバランス変化させるメイク実習。	
8	テキスト	メイクアップ概論	・メイクアップに必要な要素、色彩、質感について説明。 ・質感の違う商品等を用いて比較し、解説。	
9	練　習　問　題	模擬テスト	・模擬試験形式の練習問題を解く。 ・30～40分程度で設定し、解答解説。	
10	練　習　問　題	練習問題	・練習問題 ・間違えやすい問題のみ抜粋し、解説しながら復習。	
11	練　習　問　題	練習問題	・練習問題 ・間違えやすい問題のみ抜粋し、解説しながら復習。	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	メイクセラピーⅡ	講義	30時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期17コマ	担当授業時数	34時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	「メイクセラピー」のメイクアップやカウンセリングの手法、化粧心理学や人間関係論、カウンセリング理論について理解する。
指導目標	1．メイクセラピーアドバイザーに必要な基礎知識とメイクアップ技法習得をする。 2．美容のカウンセリングとメイクセラピーのカウンセリングの違いを理解し、心理的に配慮のできる技術者としての姿勢を身につける。 3．メイクセラピー検定2級合格を目指す。
指導の要点及び留意点	・実技対策において、オーダーに即したメイクが出来るよう印象分析、メイク内容のプランニングを理解させる。 ・筆記対策において、カウンセリング概論・カウンセリング実習の内容を理解させる。
評価の方法	・受験の合否は評価の対象とせず、別に行われる定期試験のテスト、授業の姿勢での評価。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	テキスト	メイクセラピーとは 2級の検定内容確認	・テキストを用い背景、定義、簡単な流れを復習。 ・検定内容、合格基準、活かし方の説明。	
2	テキスト	メイクセラピーとは 事例に学ぶ	・DVDによる視覚的学習と解説。（2級内容） ・テキスト（事例）を用い、メイクセラピーの実際の流れを説明。	
3	テキスト	化粧心理学	・テキストを用い、化粧の歴史、化粧をする理由、印象管理と役割、情報伝達、 第一印象、役割、承認欲求と自己承認を説明。	

4	テキスト	化粧心理学 小テスト（復習）	・テキストを用い、アイデンティティ、自己意識、自己と他者の視線、化粧の効用、評価と心理について説明。 ・プリント穴埋め	
5	テキスト	メイクセラピー的心理学	・テキストを用い、メイクセラピーに用いる関係の深い心理学について、例題などを上げながら説明。	
6	テキスト	メイクセラピー的心理学	・テキストを用い、メイクセラピーに用いる関係の深い心理学について、例題などを上げながら説明。	
7	テキスト	カウンセリング概論 小テスト（復習） メイクセラピーのカウンセリング	・テキストを用い、メイクセラピーのカウンセリングの種類と手法の流れ、クライアントとの　接し方、注意点について説明。	
8	テキスト	印象分析	・テキストを用い、メイクセラピーに必要な要素のパーツバランス、色彩、コスメティックの質感、錯視効果について説明。	
9	テキスト	印象分析 小テスト（復習）	・テキストを用い、印象分析のコミュニケーション、について説明。	
10	テキスト	色彩とメイク 色彩学・色彩心理学 パーソナルカラー	・テキストを用いメイクセラピーのメイクアップに反映させるよう色彩について説明。	
11	メイク実習	モデルの印象分析 オーダー例に伴ったメイク実習	・相モデルでメイクはパーツバランス、色、質感を中心に指導。同時に表情、口調、姿勢などのマナー面も指導。	
12	メイク実習	モデルの印象分析 オーダー例に伴ったメイク実習	・相モデルでメイクはパーツバランス、色、質感を中心に指導。同時に表情、口調、姿勢などのマナー面も指導。	
13	練習問題	マークシート過去問題 検定当日の注意事項伝達	・多くの事例を用いて記述問題を練習。 ・解答の解説、テキストを用いて参考ページの確認。	

14	練習問題	マークシート過去問題 記述例題	・多くの事例を用いて記述問題を練習。 ・解答の解説、テキストを用いて参考ページの確認。	
15	練習問題 テキスト	全体復習 練習問題・記述問題 半顔メイク練習 コミュニケーション	・練習問題の復習。 ・間違えやすい問題のみ抜粋し、解説しながら復習。 ・タイム取りメイクアップ実習	
16	練習問題	マークシート過去問題 記述例題	・多くの事例を用いて記述問題を練習。 ・解答の解説、テキストを用いて参考ページの確認。	
17	練習問題 テキスト	全体復習 練習問題・記述問題 半顔メイク練習 コミュニケーション	・練習問題の復習。 ・間違えやすい問題のみ抜粋し、解説しながら復習。 ・タイム取りメイクアップ実習	

教課指導案(シラバス)

校長	部長	部長代理	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックメイクアップⅡ	実習	80時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期44コマ	担当授業時数	88時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	1．メイクアップアーティストに必要な知識、技術を習得させる。 2．道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付ける。 3．現場の即戦力となれる様、技術者として必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディーさを学び、提案力と再現力を持った技術を身に付けさせる。 4．メイク検定2級を目指す。
指導目標	一般的に行われている美容技術を中心に、その目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせ、社会の中での美容技術の重要性を理解させる。
指導の要点及び留意点	メイクアップを通して、モデルの本来持っている美しさを引出し、近代メイクアップ技術とマナーを習得させる。
評価の方法	・定期試験、授業の姿勢での評価。 ・総合評価で60点以上を合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1		メイク検定2級対応	・カラーコーディネーション ・色の特徴、配色について理解させる。 ・肌の色が一番美しく見える色選び。	
2		メイク検定2級対応	・カラーコーディネーション ・類似の調和・対照の調和（実習） ・角度配色を理解させる。	
3		メイク検定2級対応	・スペースバランシング ・メイクアップにおける錯視効果を理解させる。 ・顔のパーツバランス。	
4		メイク検定2級対応	・スペースバランシング ・顔のパーツバランスにおけるスペースの違いによるイメージの変化。	
5		メイク検定2級対応	・スペースバランシング ・顔のパーツバランスにおけるスペースの違いによるイメージの変化。	
6	参考資料	メイク検定2級対応	・顔立ちマップを理解させる ・パーツの形と印象の関係について理	

			解させる。 ・大人が顔と子供顔の違いについて学ぶ	
7	参考資料	メイク検定２級対応	・顔立ちマップを理解させる ・パーツの形と印象の関係について理解させる。 ・大人が顔と子供顔の違いについて学ぶ。	
8	参考資料	メイク検定２級対応	・コスメティックの質感について ・メイクアップにおける質感の特徴	
9	テキスト	メイク検定２級対応	光のベースメイクアップ ・ファンデーションの色の明暗 ・ハイライトの効果	
10	テキスト	メイク検定２級対応	光のベースメイクアップ ・ファンデーションの色の明暗 ・ハイライトの効果	
11	テキスト	メイク検定２級対応	影のベースメイクアップ ・ファンデーションの色の明暗 ・ローライトの効果	
12	テキスト	メイク検定２級対応	影のベースメイクアップ ・ファンデーションの色の明暗 ・ローライトの効果	
13	テキスト	メイク検定２級対応	・アイメイクアップ （ソフト） ・アイメイクの基本プロポーション。 変化を学ぶ。・光のメイクアップ実習	
14	テキスト	メイク検定２級対応	・アイメイクアップ （ソフト） ・アイメイクの基本プロポーション。 変化を学ぶ。・光のメイクアップ実習	
15	テキスト	メイク検定２級対応	・アイメイクアップ （ソフト） ・アイメイクの基本プロポーション。 変化を学ぶ。・光のメイクアップ実習	
16	テキスト	メイク検定２級対応	・アイメイクアップ（ソフト） ・アイメイクの基本プロポーション。 変化を学ぶ。・光のメイクアップ実習	
17	テキスト	メイク検定２級対応	・アイメイクアップ（シャープ） ・アイシャドー、アイライン、マスカラ ・陰のメイクアップ実習	
18	テキスト	メイク検定２級対応	・アイメイクアップ（シャープ） ・アイシャドー、アイライン、マスカラ ・陰のメイクアップ実習	
19	テキスト	メイク検定２級対応	・アイメイクアップ（ダブルライン） ・アイシャドー、アイライン、マスカラ ・ダブルラインの実習	

20	テキスト	メイク検定２級対応	・アイメイクアップ（ダブルライン） ・ダブルラインの実習	
21	テキスト	メイク検定２級対応	・アイブロウメイクアップ(アーチ型) ・基本のプロポーションを理解させる。 ・代表的なアイブロウの形	
22	テキスト	メイク検定２級対応	・アイブロウメイクアップ(アーチ型) ・基本のプロポーションを理解させる。 ・代表的なアイブロウの形	
23	テキスト	メイク検定２級対応	・アイブロウメイクアップ（コーナー型） ・基本のプロポーションを理解させる。	
24	テキスト	メイク検定２級対応	・アイブロウメイクアップ（コーナー型） ・基本のプロポーションを理解させる。	
25	テキスト	メイク検定２級対応	・アイブロウメイクアップ(ストレート型) ・基本のプロポーションを理解させる。	
26	テキスト	メイク検定２級対応	・アイブロウメイクアップ(ストレート型) ・基本のプロポーションを理解させる。	
27	テキスト	メイク検定２級対応	・リップメイクアップ ・丸みのある形・鋭角的な形 ・リップペンシルの使い方。	
28	テキスト	メイク検定２級対応	・リップメイクアップ ・丸みのある形・鋭角的な形 ・リップペンシルの使い方の復習。	
29	テキスト	メイク検定２級対応	・リップメイクアップ ・丸みのある形・鋭角的な形 ・リップペンシルの使い方の復習	
30	テキスト	メイク検定２級対応	・リップメイクアップ ・丸みのある形・鋭角的な形 ・リップペンシルの使い方の復習	
31	テキスト	メイク検定２級対応	・プロポーション ・光の当たる角度によってそれぞれ異なる凹凸をライト使って見せて、理解させる。	
32	テキスト	メイク検定２級対応	・プロポーション ・光の当たる角度によってそれぞれ異なる凹凸をライト使って見せて、理解させる。	
33	テキスト	メイク検定２級対応	・まとめ ・モデルに合わせたテーマでフルメイ	

			クを仕上げる。 ・苦手箇所の克服。	
34	テキスト	メイク検定２級対応	・まとめ ・モデルに合わせたテーマでフルメイクを仕上げる。 ・苦手箇所の克服。	
35	テキスト	メイク検定２級対応	・まとめ ・モデルに合わせたテーマでフルメイクを仕上げる。 ・苦手箇所の克服。	
36	テキスト	メイク検定２級対応	・まとめ ・モデルに合わせたテーマでフルメイクを仕上げる。 ・苦手箇所の克服。	
37	テキスト	メイク検定２級対応	・クレンジング復習 ・モデルに合わせたテーマでフルメイクを仕上げる。	
38	テキスト	メイク検定２級対応	・クレンジング復習 ・モデルに合わせたテーマでフルメイクを仕上げる。	
39	テキスト	メイク検定２級対応	・クレンジング復習 ・モデルに合わせたテーマでフルメイクを仕上げる。	
40	テキスト	メイク検定２級対応	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取り	
41	テキスト	メイク検定２級対応	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取り	
42	テキスト	メイク検定２級対応	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取り	
43	テキスト	メイク検定２級対応	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取り	
44	テキスト	メイク検定２級対応	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取り	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	アーティスティックメーキャップⅠ	実習	130時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期33コマ	担当授業時数	66時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	一般的に行われている美容技術を中心に、その目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせ、社会の中での美容技術の重要性を理解させる。
指導目標	1．メイクアップアーティストに必要な知識、技術を習得させる。 2．技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 3．現場の即戦力となれる様、技術者として必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディーさを学び、提案力と再現力を持った技術を身に付けさせる。
指導の要点　及び留意点	メイクアップを通して、モデルの本来持っている美しさを引出し、近代メイクアップ技術とマナーを習得させる。
評価の方法	・定期試験のテスト、授業の姿勢、作品制作での評価。 ・総合評価60点以上で合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス メイクアップと色彩	・色の感情効果 ・肌色の構成・日本人の肌色 ・色がもたらす感情の効果について学ぶ ・イメージの違いについて学ぶ	
2	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス メイクアップと色彩	・色の感情効果 ・肌色の構成・日本人の肌色 ・色がもたらす感情の効果について学ぶ ・イメージの違いについて学ぶ	
3	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス メイクアップと色彩	・色の感情効果 ・肌色の構成・日本人の肌色 ・色がもたらす感情の効果について学ぶ ・イメージの違いについて学ぶ	
4	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス メイクアップと色彩	・色の感情効果 ・肌色の構成・日本人の肌色 ・色がもたらす感情の効果について学ぶ ・イメージの違いについて学ぶ	

5	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス 顔の骨格	・顔のブロッキング（面取り）練習（実習） ・顔の凹凸や奥行き（骨格の仕組み）の構成を説明し理解させる。	
6	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス 顔の骨格	・顔のブロッキング（面取り）練習（実習） ・顔の凹凸や奥行き（骨格の仕組み）の構成を説明し理解させる。	
7	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス スキンケア 光と陰 道具の知識	・化粧下地の種類・マッサージ ・メイクアップで必要とされる光の知識を学ぶ ・現場で必要とされる道具について学ぶ	
8	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス スキンケア 光と陰	・マッサージ・アクアパック ・メイクアップで必要とされる光の知識を学ぶ	
9	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス スキンケア 光と陰	・マッサージ・アクアパック ・メイクアップで必要とされる光の知識を学ぶ	
10	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス ファンデーション	・コンシーラーの種類・ファンデーションの種類 ・現場で必要とされる道具や化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	
11	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス ファンデーション	・コンシーラーの種類・ファンデーションの種類 ・現場で必要とされる道具や化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	
12	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス ファンデーション復習 フェイスパウダー	・パウダーの種類の種類 ・現場で必要とされる道具や化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	
13	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス ファンデーション復習 フェイスパウダー	・パウダーの種類の種類 ・現場で必要とされる道具や化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	
14	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス アイメイク化粧品	・アイカラーの種類 ・アイライナーの種類 ・現場で必要とされる道具や化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	

15	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス アイメイク化粧品	・アイカラーの種類 ・アイライナーの種類 ・現場で必要とされる道具や化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	
16	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス マスカラ・リップ	・マスカラの種類・頬紅 ・リップ製品の種類 ・化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	
17	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス マスカラ・リップ	・マスカラの種類・頬紅 ・リップ製品の種類 ・化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	
18	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス	・ハイライト・モデリング・ニュアンスカラー ・化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	
19	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス	・ハイライト・モデリング・ニュアンスカラー ・化粧品の種類を知ることで、多様なニーズに対応できる知識を学ぶ	
20	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス 道具	・ブラシ・チップ・指 ・現場で必要とされる道具について学ぶ ・メイク業界の種類と必要な知識について説明	
21	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス 道具	・ブラシ・チップ・指 ・現場で必要とされる道具について学ぶ・メイク業界の種類と必要な知識について説明	
22	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス アイブロウ	・アイブロウメイクアップ(アーチ型) ・基本のプロポーションを理解させる。 ・代表的なアイブロウの形	
23	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス アイブロウ	・アイブロウメイクアップ(アーチ型) ・基本のプロポーションを理解させる。 ・代表的なアイブロウの形	
24	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス アイブロウ	・アイブロウメイクアップ(アーチ型) ・基本のプロポーションを理解させる。 ・代表的なアイブロウの形	
25	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス アイブロウ	・アイブロウメイクアップ（コーナー型） ・基本のプロポーションを理解させる。 ・リップメイクアップ	

26	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス アイブロウ	・アイブロウメイクアップ（コーナー型） ・基本のプロポーションを理解させる。 ・リップメイクアップ	
27	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス アイブロウ	・アイブロウメイクアップ(ストレート型) ・基本のプロポーションを理解させる。 ・リップメイクアップ(アウトカーブ)	
28	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス アイブロウ	・アイブロウメイクアップ(ストレート型) ・基本のプロポーションを理解させる。 ・リップメイクアップ(アウトカーブ)	
29	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス リップメイクアップ	・リップメイクアップ ・丸みのある形・鋭角的な形 ・リップペンシルの使い方の復習	
30	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス	・光のベースメイクアップと影のベース メイクアップ復習。 ・プロポーション　（実習）	
31	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス	・作品制作 ・テーマ、コンセプトについて ・準備の仕方、作品のつくり方	
32	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス	・作品制作 ・テーマ、コンセプトについて ・準備の仕方、作品のつくり方	
33	参考資料 美容技術理論Ⅱ	メイクアップアドバンス	・作品制作 ・テーマ、コンセプトについて ・準備の仕方、作品のつくり方	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	アーティスティックメーキャップⅠ	実習	130時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期39コマ	担当授業時数	78時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許 ヘアメイク歴　25年

学習の目的	一般的に行われている美容技術を中心に、その目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせ、社会の中での美容技術の重要性を理解させる。
指導目標	1．メイクアップアーティストに必要な知識、技術を習得させる。 2．技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 3．現場の即戦力となれる様、技術者として必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディーさを学び、提案力と再現力を持った技術を身に付けさせる。
指導の要点及び留意点	メイクアップを通して、モデルの本来持っている美しさを引出し、近代メイクアップ技術とマナーを習得させる。
評価の方法	・定期試験のテスト、授業の姿勢、作品制作での評価。 ・総合評価60点以上で合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	参考資料	スキンタイプの特徴 季節と肌	資料で学び、実践でスキルを習得	
2	参考資料	肌色の知識 肌のトラブルと修正メイク	資料で学び、実践でスキルを習得	
3	参考資料	コントロールカラーと コンシーラーの種類と特徴	資料で学び、実践でスキルを習得	
4	参考資料	肌作りの基礎 多色塗り	資料で学び、実践でスキルを習得	
5	参考資料	肌作りの基礎 ・マット肌	資料で学び、実践でスキルを習得	
6	参考資料	肌作りの基礎 ・マット肌	資料で学び、実践でスキルを習得	
7	参考資料	肌作りの基礎 ・艶肌	資料で学び、実践でスキルを習得	
8	参考資料	肌作りの基礎 ・グラマラス肌	資料で学び、実践でスキルを習得	
9	参考資料	肌作りの基礎 ・グラマラス肌	資料で学び、実践でスキルを習得	

10	参考資料	アイブローの基礎 形、角度、太さ、濃さなどによる印象の変化	資料で学び、実践でスキルを習得	
11	参考資料	アイブローの基礎 描き方、様々な道具を使い、様々な手法を学ぶ	資料で学び、実践でスキルを習得	
12	参考資料	アイブローの基礎 適切な手法を見極める 眉の形を変える	資料で学び、実践でスキルを習得	
13	参考資料	まつ毛の基礎 様々な手法を学ぶ	資料で学び、実践でスキルを習得	
14	参考資料	アイラインの基礎 目の形の違いによる描き方を学ぶ	資料で学び、実践でスキルを習得	
15	参考資料	アイラインの基礎 角度の違い(目尻)による印象の違いを学ぶ	資料で学び、実践でスキルを習得	
16	参考資料	アイブローの基礎 筆のタッチによる印象の違い	資料で学び、実践でスキルを習得	
17	参考資料	アイブローの基礎 ダブルライン(ナチュラル、cat)	資料で学び、実践でスキルを習得	
18	参考資料	リップの基礎 描き方の違いを学ぶ	資料で学び、実践でスキルを習得	
19	参考資料	リップの基礎 印象の違うリップを描くための手法を学ぶ	資料で学び、実践でスキルを習得	
20	参考資料	アイシャドーの基礎 縦のグラデーション	参考資料使用、実践でスキルを習得	
21	参考資料	アイシャドーの基礎 横のグラデーション	参考資料使用、実践でスキルを習得	
22	参考資料	アイシャドーの基礎 下瞼とのつながり アイラインとのつながり	参考資料使用、実践でスキルを習得	
23	参考資料	アイシャドーの基礎 立体に見えるアイメイク(縦)	参考資料使用、実践でスキルを習得	
24	参考資料	アイシャドーの基礎 立体に見えるアイメイク(横)	参考資料使用、実践でスキルを習得	
25	参考資料	色相によるイメージ レッド	テーマにあった色相メイクを行い、イメージを深める	
26	参考資料	色相によるイメージ レッド	テーマにあった色相メイクを行い、イメージを深める	
27	参考資料	色相によるイメージ ブルー	テーマにあった色相メイクを行い、イメージを深める	

28	参考資料	色相によるイメージ ブルー	テーマにあった色相メイクを行い、イメージを深める	
29	参考資料	色相によるイメージ ブラック	テーマにあった色相メイクを行い、イメージを深める	
30	参考資料	色相によるイメージ ブラック	テーマにあった色相メイクを行い、イメージを深める	
31	参考資料	色相によるイメージ ピンク	テーマにあった色相メイクを行い、イメージを深める	
32	参考資料	色相によるイメージ ピンク	テーマにあった色相メイクを行い、イメージを深める	
33	参考資料	トーンによるイメージ 薄い	テーマにあったトーンメイクを行い、イメージを深める	
34	参考資料	トーンによるイメージ 鮮やか	テーマにあったトーンメイクを行い、イメージを深める	
35	参考資料	トーンによるイメージ 暗い	テーマにあったトーンメイクを行い、イメージを深める	
36	参考資料	明度対比 リップ	明度の違うメイクを施し、対比理解を深める	
37	参考資料	色相対比 リップ	明度の違うメイクを施し、対比理解を深める	
38	参考資料	メイクアップの心理効果 相モデル	メイクアップによる心理効果を理解してモデルにあったメイクをする	
39	参考資料	メイクアップの心理効果 相モデル	メイクアップによる心理効果を理解してモデルにあったメイクをする	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	アーティスティックメーキャップⅡ	実習	300時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期90コマ	担当授業時数	180時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	一般的に行われている美容技術を中心に、その目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせ、社会の中での美容技術の重要性を理解させる。
指導目標	1．メイクアップアーティストに必要な知識、技術を習得させる。 2．技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 3．現場の即戦力となれる様、技術者として必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディーさを学び、提案力と再現力を持った技術を身に付けさせる。 4．メイク検定2級、化粧品検定2級合格を目指す。
指導の要点及び留意点	メイクアップを通して、モデルの本来持っている美しさを引出し、近代メイクアップ技術とマナーを習得させる。
評価の方法	・受験の合否は評価の対象とせず、別に行われる定期試験のテスト、授業の姿勢での評価。 ・総合評価で60点以上を合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学習活動	評価等
1	テキスト	皮膚について	・皮膚の構造とそのしくみを理解する。 ・皮膚の働きと機能を理解する。 ・肌のタイプと見分け方の説明。	
2	テキスト	化粧品の基本知識	・クレンジング・洗顔・化粧水・乳液・クリーム　　・美容液 ・スキンケアの手順	
3	テキスト	メイクアップ基本テクニック ヘアケア	・メイクアップの基本テクニックの復習。 ・似合う色の見つけ方・まつ毛ケア	
4	テキスト	肌悩みの原因とお手入れ 肌悩みに応じた化粧品の使い方	・肌のさまざまな悩みと原因を理解し、タイプ別に応じた手入れと、化粧品の使い方を理解する。	
5	テキスト	美しい肌をつくる生活習慣	・美しい肌をつくる秘訣について （睡眠・食事&飲み物・運動・入浴）	

6	テキスト	肌を劣化させるさまざまな要因 紫外線について 効果的なマッサージについて	・肌を劣化させる外的要因と内的要因を理解する。 ・紫外線が与える影響について ・効果的なマッサージの必要性と方法	
7	テキスト	美しい肌をつくる生活習慣	・美しい肌をつくる秘訣について （睡眠・食事&飲み物・運動・入浴）	
8	テキスト	練習問題	・練習問題・解答解説 苦手箇所の克服	
9	テキスト	練習問題	・練習問題・解答解説	
10	テキスト	練習問題	・練習問題・解答解説	
11	美容実習Ⅱ	メイク検定３級実技復習	・メイク検定に必要なマナーから、テーブルセッティング、スキンケア～メイクアップの総復習。	
12	美容実習Ⅱ	メイク検定３級実技復習 スキンケア～ブラッシュオン	・メイク検定に必要なマナーから、テーブルセッティング、スキンケア～メイクアップの総復習。	
13	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習 一人の顔から５つの表情を引き出す 「キュートメイク」	・メイク検定２級のテーマの説明。 ・「キュートメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。 （実習）	
14	美容実習Ⅱ 美容雑誌	メイク検定２級実習 「キュートメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「キュートメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。 （実習）	
15	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習 「キュートメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「キュートメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。 （実習）	
16	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習 「キュートメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「キュートメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。 （実習）	

17	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習 「エレガントメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「エレガントメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。(実習)	
18	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習 「エレガントメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「エレガントメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。(実習)	
19	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習 「エレガントメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「エレガントメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。(実習)	
20	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習 「エレガントメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「エレガントメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。(実習)	
21	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習	・検定モデルの印象分析・テーマ決定 ・タイムを意識した実習 （スキンケア～メイクアップ）	
22	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習	・検定モデルの印象分析・テーマ決定 ・タイムを意識した実習 （スキンケア～メイクアップ）	
23	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習	・タイムを意識した実習・注意事項確認 （トータルメイクアップ） ・苦手部分の克服	
24	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習	・タイムを意識した実習・注意事項確認 （トータルメイクアップ） ・苦手部分の克服	
25	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習	・タイムを意識した実習・注意事項確認 （トータルメイクアップ） ・苦手部分の克服	
26	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習	・タイムを意識した実習・注意事項確認 （トータルメイクアップ） ・苦手部分の克服	

27	美容実習Ⅱ	メイク検定２級実習	・タイムを意識した実習・注意事項確認 （トータルメイクアップ） ・苦手部分の克服	
28	参考資料	エアーブラシメイクアップ 基礎知識	・テキストを用いて 特徴と利点、エアーブラシの現状、道具の種類、機器の使い方、洗浄法説明。	
29	参考資料	エアーブラシメイクアップ 基礎知識	・テキストを用いて 特徴と利点、エアーブラシの現状、道具の種類、機器の使い方、洗浄法説明。	
30	参考資料	エアーブラシメイクアップ 基本操作と練習	・テキストを用い、点、線、面、立体の吹きつけ方（実習）。 ・光彩立体での練習。	
31	参考資料	エアーブラシメイクアップ 基本操作と練習	・テキストを用い、点、線、面、立体の吹きつけ方（実習）。 ・光彩立体での練習。	
32	参考資料	エアーブラシメイクアップ 基本操作と練習	・テキストを用い、点、線、面、立体の吹きつけ方（実習）。 ・光彩立体での練習。	
33	参考資料	エアーブラシメイクアップ 基本操作と練習	・テキストを用い、点、線、面、立体の吹きつけ方（実習）。 ・光彩立体での練習。	
34	参考資料	エアーブラシメイクアップ 基本操作と練習 基礎完成	・テキストを用い、平面顔の立体化、アイシャドー、アイブロウを描く練習。	
35	参考資料	エアーブラシメイクアップ 基本操作と練習 基礎完成	・テキストを用い、平面顔の立体化、アイシャドー、アイブロウを描く練習。	
36	参考資料	エアーブラシメイクアップ 基本操作と練習 基礎完成	・テキストを用い、平面顔の立体化、アイシャドー、アイブロウを描く練習。	

37	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法 ベースメイク	・プライマー、コンシール、カントアまでの技法を練習。 ・色選択、モデルとの距離を習得。	
38	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法 ベースメイク	・プライマー、コンシール、カントアまでの技法を練習。 ・色選択、モデルとの距離を習得。	
39	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法 ポイントメイク	・ブラッシュ、アイブロウ、アイシャドウまでの技法を練習。 ・色選択、モデルとの距離を習得。	
40	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法 ポイントメイク	・ブラッシュ、アイブロウ、アイシャドウまでの技法を練習。 ・色選択、モデルとの距離を習得。	
41	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法 ポイントメイク	・ブラッシュ、アイブロウ、アイシャドウまでの技法を練習。 ・色選択、モデルとの距離を習得。	
42	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法 ポイントメイク	・ブラッシュ、アイブロウ、アイシャドウまでの技法を練習。 ・色選択、モデルとの距離を習得。	
43	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「キュート」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
44	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「キュート」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
45	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「クール」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
46	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「クール」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	

47	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「エレガント」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
48	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「エレガント」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
49	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「ファンタジー」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
50	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「ファンタジー」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
51	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「ポップ」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
52	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「ポップ」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
53	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「エスニック」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
54	参考資料	エアーブラシメイクアップ メイクアップ方法（応用） フルメイクアップ	・テーマ別作品制作 「エスニック」 ・色彩選択、パーツバランス、形の習得。	
55	参考資料	エアーブラシメイクアップ タトゥーメイクアップ	・タトゥーメイクアップ ・ステンシルを用いたエアーブラシタトゥー技法の説明。 ・展示・実習	

56	参考資料	エアーブラシメイクアップ タトゥーメイクアップ	・タトゥーメイクアップ ・ステンシルを用いたエアーブラシタトゥー技法の説明。 作品制作準備。	
57	参考資料	エアーブラシメイクアップ タトゥーメイクアップ	・様々なステンシルを用いて、 作品制作。	
58	参考資料	エアーブラシメイクアップ カモフラージュメイクアップ	・道具の種類、色の選択、カバーのポイントを説明。 ・展示・実習	
59	参考資料	エアーブラシメイクアップ カモフラージュメイクアップ	・道具の種類、色の選択、カバーのポイントを説明。 ・展示・実習	
60	参考資料	エイジングメイク	・老けて見えるポイントと道具の使い方。 ・展示・実習	
61	参考資料	エイジングメイク	・老けて見えるポイントと道具の使い方。 ・ハイライトとローライトの錯視効果 ・展示・実習	
62	参考資料	フェイシャルヘアー	・髭、眉毛、もみ上げの特徴、種類を説明。 ・現場での制作方法の説明。 ・用具の使い方、装脱着法の実習。	
63	参考資料	フェイシャルヘアー	・髭、眉毛、もみ上げの特徴、種類を説明。 ・現場での制作方法の説明。 ・用具の使い方、装脱着法の実習。	
64	参考資料	作品制作	・エイジング、フェイシャルヘアの技法を用いて、作品制作を行う。	
65	参考資料	作品制作	・エイジング、フェイシャルヘアの技法を用いて、作品制作を行う。	

66	参考資料	特殊メイク	・特殊メイクの歴史、現状、種類について説明。 ・傷あざメイク展示・実習	
67	参考資料	特殊メイク	・特殊メイクの歴史、現状、種類について説明。 ・傷あざメイク展示・実習	
68	参考資料	特殊メイク アプライアンス	・特殊メイクパーツを用いて、装着の仕方や、色の付け方、見え方について説明。	
69	参考資料	特殊メイク アプライアンス	・特殊メイクパーツを用いて、装着の仕方や、色の付け方、見え方について説明。	
70	参考資料	フェイス& ボディーペインティング	・ボディーペインティングの歴史、現状、道具、技法を説明。 ・展示･実習	
71	参考資料	フェイス& ボディーペインティング	・ボディーペインティングの歴史、現状、道具、技法を説明。 ・展示･実習	
72	参考資料	フェイス& ボディーペインティング デッサン	・様々な技法を使用し、創造性豊かな作品を制作する。 ・テーマの決定･デッサン	
73	参考資料	フェイス& ボディーペインティング	・様々な技法を使用し、創造性豊かな作品を制作する。	
74	参考資料	フェイス& ボディーペインティング	・様々な技法を使用し、創造性豊かな作品を制作する。	
75	参考資料	フェイス& ボディーペインティング	・様々な技法を使用し、創造性豊かな作品を制作する。	
76	参考資料	フェイス& ボディーペインティング	・様々な技法を使用し、創造性豊かな作品を制作する。	

77	参考資料	フェイス＆ ボディーペインティング	・様々な技法を使用し、創造性豊かな作品を制作する。	
78	参考資料	キャラクターメイクアップ 「キャッツ」	・参考資料をもとに、キャッツメイク（猫のメイクのポイント）や舞台映えするメイクのポイントを説明、展示と実習。	
79	参考資料	キャラクターメイクアップ 「キャッツ」	・参考資料をもとに、キャッツメイク（猫のメイクのポイント）や舞台映えするメイクのポイントを説明、展示と実習。	
80	参考資料	キャラクターメイクアップ 宝塚メイク	・宝塚の歴史やメイクのポイントや、女役と男役のメイクの違いについて説明。展示と実習。	
81	参考資料	キャラクターメイクアップ 宝塚メイク	・宝塚の歴史やメイクのポイントや、女役と男役のメイクの違いについて説明。展示と実習。	
82	参考資料	キャラクターメイクアップ 宝塚メイク	・宝塚の歴史やメイクのポイントや、女役と男役のメイクの違いについて説明。展示と実習。	
83	参考資料	キャラクターメイクアップ 宝塚メイク	・宝塚の歴史やメイクのポイントや、女役と男役のメイクの違いについて説明。展示と実習。	
84	参考資料	作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・細部までこだわり、インパクト、リアリティのある作品を制作。	
85	参考資料	作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・細部までこだわり、インパクト、創造性豊かな作品を制作。	

86	参考資料	キャラクターメイクアップ 宝塚メイク	・宝塚の歴史やメイクのポイントや、 女役と男役のメイクの違いについて説明。展示と実習。
87	参考資料	キャラクターメイクアップ 宝塚メイク	・宝塚の歴史やメイクのポイントや、 女役と男役のメイクの違いについて説明。展示と実習。
88	参考資料	キャラクターメイクアップ 宝塚メイク	・宝塚の歴史やメイクのポイントや、 女役と男役のメイクの違いについて説明。展示と実習。
89	参考資料	作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・細部までこだわり、インパクト、リアリティのある作品を制作。
90	参考資料	作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・細部までこだわり、インパクト、創造性豊かな作品を制作。

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	アーティスティックメーキャップⅡ	実習	300時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期75コマ	担当授業時数	150時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許 ヘアメイク歴　25年 日本眉毛エクステンション協会特別講師

学習の目的	・様々な色使い、道具、手法を学ぶことで、あらゆるシーンに対応できる能力を養う。 ・プレゼンを通して、言葉選びや人との距離感を学ぶ。
指導目標	・より深いメイクスキル、知識を習得し、ヘアメイクアップアーティストとして、社会の現場で対応できる人物にすること。 ・自由な発想に自信を持ち、それを形にすることが出来るようにすること。 ・人の気持ちに寄り添った、対応が出来るようにすること。
指導の要点及び留意点	・生徒の自由な発想を大切にし、引き出せるようにする。 ・それを形にできるように指導する。
評価の方法	学期末テスト（パーツ別、全体バランス、など） 授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教材 メイク道具 MY資料	メイク検定1級の学習	・メイク検定1級の内容説明 ・道具のチェック・お手入れ ・テーマの決定	
2	教材 メイク道具 MY資料	メイク検定1級の学習	・デッサン画を仕上げる ・時間配分を決める	
3	教材 メイク道具 MY資料	メイク検定1級の学習 ＊お試し実践	実際の時間でフルメイクをする。その後、各パーツ仕上がり目標時間を改めて設定する。(準備・チェンジなど含む)	
4	教材 メイク道具 MY資料	メイク検定1級の学習 ＊お試し実践	実際の時間でフルメイクをする。その後、各パーツ仕上がり目標時間を改めて設定する。(準備・チェンジなど含む)	
5	教材 メイク道具 MY資料	メイク検定1級の学習 ＊全体タイム実践	目標時間のペースでフルメイクを仕上げる。自己採点表に、自己採点をし、次の目標を記入する。	
6	教材 メイク道具 MY資料	メイク検定1級の学習 ＊全体タイム実践	目標時間のペースでフルメイクを仕上げる。自己採点表に、自己採点をし、次の目標を記入する。	

7	教材 メイク道具 MY 資料	メイク検定１級の学習 ＊各パーツ確認実践	各パーツごとに時間を区切り、チェック、自己採点、講師によるチェックを行い、完成度を上げていく。	
8	教材 メイク道具 MY 資料	メイク検定１級の学習 ＊各パーツ確認実践	各パーツごとに時間を区切り、チェック、自己採点、講師によるチェックを行い、完成度を上げていく。	
9	教材 メイク道具 MY 資料	メイク検定１級の学習 ＊各パーツ確認実践	各パーツごとに時間を区切り、チェック、自己採点、講師によるチェックを行い、完成度を上げていく。	
10	教材 メイク道具 MY 資料	メイク検定１級の学習 ＊各パーツ確認実践	各パーツごとに時間を区切り、チェック、自己採点、講師によるチェックを行い、完成度を上げていく。	
11	教材 メイク道具 MY 資料	メイク検定１級の学習 ＊通し練習	通し練習を行う。 自己採点・講師によるアドバイス	
12	教材 メイク道具 MY 資料	メイク検定１級の学習 ＊通し練習	通し練習を行う。 自己採点・講師によるアドバイス	
13	教材 メイク道具 MY 資料	メイク検定１級の学習 ＊チェックテスト	本番と同じ流れで実践する。 講師から評価を出す。（アドバイス）	
14	教材 メイク道具 MY 資料	メイク検定１級の ＊チェックテスト	本番と同じ流れで実践する。 講師から評価を出す。（アドバイス）	
15	MY 資料 メイク道具 カメラ	パーツ別撮影 ＊リップ（４パターンを撮影）	・マットリップ（基本の形） ・アートリップ（バービーリップ） ・縦のグラデーション（B 系リップ） ・横のグラデーション（レインボーリップ）	
16	MY 資料 メイク道具 カメラ	パーツ別撮影 ＊リップ（４パターンを撮影）	・マットリップ（基本の形） ・アートリップ（バービーリップ） ・縦のグラデーション（B 系リップ） ・横のグラデーション（レインボーリップ）	
17	MY 資料 メイク道具 カメラ	パーツ別撮影 ＊アイブロー（3 パターンを撮影）	・ソフト（ライトブラウン） ・ストロング（コンシーラー使用） ・アートアイブロー（アートメイク風）	
18	MY 資料 メイク道具 カメラ	パーツ別撮影 ＊アイブロー（3 パターンを撮影）	・ソフト（ライトブラウン） ・ストロング（コンシーラー使用） ・アートアイブロー（アートメイク風）	

19	MY 資料 メイク道具 カメラ	パーツ別撮影 ＊アイシャドー（1パターンを撮影）	・縦と横のグラデーション アイホール上←縦のグラデーション アイホール下←横のグラデーション	
20	MY 資料 メイク道具 カメラ	パーツ別撮影 ＊アイシャドー（1パターンを撮影）	・縦と横のグラデーション アイホール上←縦のグラデーション アイホール下←横のグラデーション	
21	MY 資料 メイク道具 カメラ	パーツ別撮影 ＊まつ毛&アイライン（2 パターンを撮影）	・ナチュラル（生え際アイライン＋パリジェンヌ風まつ毛） ・メイテル風（目尻長めつけまつ毛＋切れ長アイライン）	
22	MY 資料 メイク道具 カメラ	パーツ別撮影 ＊まつ毛&アイライン（2 パターンを撮影）	・ナチュラル（生え際アイライン＋パリジェンヌ風まつ毛） ・メイテル風（目尻長めつけまつ毛＋切れ長アイライン）	
23	参考資料 メイク道具 カメラ	面白メイク ＊ドラッククイーンメイク （大きめなつけまつ毛を準備。かつらをつけて撮影）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。（ドラッククイーンの歴史的背景も学ぶ。）	
24	MY 資料 メイク道具 カメラ	パーツ別撮影 ＊まつ毛&アイライン（2 パターンを撮影）	・ナチュラル（生え際アイライン＋パリジェンヌ風まつ毛） ・メイテル風（目尻長めつけまつ毛＋切れ長アイライン）	
25	参考資料 メイク道具 カメラ	面白メイク ＊ドラッククイーンメイク （大きめなつけまつ毛を準備。かつらをつけて撮影）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。（ドラッククイーンの歴史的背景も学ぶ。）	
26	参考資料 メイク道具 カメラ	面白メイク ＊ドラッククイーンメイク （大きめなつけまつ毛を準備。かつらをつけて撮影）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。（ドラッククイーンの歴史的背景も学ぶ。）	
27	参考資料 メイク道具 カメラ	面白メイク ＊バービーメイク （かつらをつけて撮影）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。（バービーの歴史的背景も学ぶ。）	

28	参考資料 メイク道具 カメラ	面白メイク ＊バービーメイク （かつらをつけて撮影）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。（バービーの歴史的背景も学ぶ。）	
29	参考資料 メイク道具 カメラ	面白メイク ＊バービーメイク （かつらをつけて撮影）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。（バービーの歴史的背景も学ぶ。）	
30	参考資料 メイク道具 カメラ	面白メイク ＊バービーメイク （かつらをつけて撮影）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。（バービーの歴史的背景も学ぶ。）	
31	参考資料 メイク道具 MY 資料 かつら	面白メイク ＊枯れ枝メイク	メイクイメージをデッサンに描いて、手順、道具を考える。計画を表にまとめる。 ヘアーを仕上げてイメージを膨らませる。	
32	参考資料 メイク道具 MY 資料 かつら	面白メイク ＊枯れ枝メイク	メイクイメージをデッサンに描いて、手順、道具を考える。計画を表にまとめる。 ヘアーを仕上げてイメージを膨らませる。	
33	参考資料 メイク道具 MY 資料	面白メイク ＊枯れ枝メイク	計画表と資料を参考に、メイク練習。 講師からのアドバイスや、改善点などを、プリントにまとめる。	
34	参考資料 メイク道具 MY 資料	面白メイク ＊枯れ枝メイク	計画表と資料を参考に、メイク練習。 講師からのアドバイスや、改善点などを、プリントにまとめる。	
35	参考資料 メイク道具 MY 資料 かつら・カメラ	面白メイク ＊枯れ枝メイク	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを仕上げる。 撮影した画像データーに作品として残す。	
36	参考資料 メイク道具 MY 資料 かつら・カメラ	面白メイク ＊枯れ枝メイク	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを仕上げる。 撮影した画像データーに作品として残す。	
37	参考資料 メイク道具 MY 資料	面白メイク ＊ブラックライトメイク	資料を参考に、デッサンを考える。 手順、道具などの計画を立て、プリントにまとめる。自分の腕をキャンパスにして、デザインの練習をする	

38	参考資料 メイク道具 MY 資料	面白メイク ＊ブラックライトメイク	資料を参考に、デッサンを考える。 手順、道具などの計画を立て、プリントにまとめる。自分の腕をキャンパスにして、デザインの練習をする	
39	参考資料 メイク道具 MY 資料	面白メイク ＊ブラックライトメイク	資料・プリントを参考に、アイモデルでメイクをする。 講師からのアドバイスや、改善点などを、プリントにまとめる。	
40	参考資料 メイク道具 MY 資料	面白メイク ＊ブラックライトメイク	資料・プリントを参考に、アイモデルでメイクをする。 講師からのアドバイスや、改善点などを、プリントにまとめる。	
41	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊ブラックライトメイク	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを仕上げる。 撮影した画像データーに作品として残す。	
42	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊ブラックライトメイク	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを仕上げる。 撮影した画像データーに作品として残す。	
43	参考資料・カメラ メイク道具	面白メイク ＊傷メイク	資料を参考に、手順通りに作品を仕上げる。	
44	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊トリックアートメイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
45	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊トリックアートメイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
46	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊宝塚メイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
47	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊宝塚メイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	

48	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊漫画メイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
49	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊漫画メイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
50	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊CAT メイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
51	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊CAT メイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
52	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊老けメイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
53	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊老けメイク	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
54	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊手のひらメイク （手のひらをひもで縛る）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
55	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊手のひらメイク （手のひらをひもで縛る）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
56	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊手のひらメイク （手のひらに穴が開く）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
57	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊手のひらメイク （手のひらに穴が開く）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	

58	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊手のひらメイク （手のひらにリップが乗っている）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
59	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊手のひらメイク （手のひらにリップが乗っている）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
60	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊手のひらメイク （手のひらに人の目が出現）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
61	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊手のひらメイク （手のひらに人の目が出現）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
62	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊下顔のみメイク （下顔だけを使い、顔面を表現）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
63	参考資料 メイク道具 MY 資料 カメラ	面白メイク ＊下顔のみメイク （下顔だけを使い、顔面を表現）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクを仕上げていく。仕上がったメイクを作品としてデーターとして残す。	
64	メイク道具 カメラ	作品撮り	与えられた課題を与えられた時間内に仕上げる。	
65	資料	パーツの印象①眉毛	資料をもとに実践。 意見交換。	
66	資料	パーツの印象②目元	資料をもとに実践。 意見交換。	
67	資料	成長による顔の変化①幼児顔	資料をもとに解説。 デッサン画。実践練習	
68	資料	成長による顔の変化②老人顔	資料をもとに解説。 デッサン画。実践練習	
69	資料	成長による顔の変化③男性顔	資料をもとに解説。 デッサン画。実践練習	
70	デッサン画	成長による顔の変化：撮影	実践。	
71	資料	顔の分析と修正メイク	資料をもとに実践。 更に修正メイクの実践	

72	資料	色彩とメイクアップ テーマ①	テーマをもとにデッサン画を仕上げる。 実践練習	
73	デッサン画	テーマ①撮影	撮影	
74	資料	色彩とメイクアップ テーマ②	テーマをもとにデッサン画を仕上げる。 実践練習	
75	デッサン画資料	テーマ②撮影	撮影	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	セレモニーメーキャップⅠ	実習	90時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期50コマ	担当授業時数	100時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	美容師免許 ヘアメイク歴　25年 日本眉毛エクステンション協会特別講師

学習の目的	セレモニーシーンで必要なヘアメイクの基本的知識を理解し、即戦力として、活躍できる技術を習得する。
指導目標	1　基礎を徹底することで、あらゆるシーンに対応できる基本的なスキルを身につけさせる。 2　実践を繰り返すことで、自分の技術を客観視し、学習目標を明確にさせる。 3　道具の手入れや扱いなどを指導し、美容接客者としての、自覚を身につけさせる。
指導の要点及び留意点	ウィッグ練習で基礎をつくり、実際に相モデルで実際に仕上げるよう進めていく
評価の方法	学期末テスト　実技試験100点満点　　60点合格 授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1		ヘアスタイルの基本 （十字ブロンキング、ホットカラー）	ブロッキング展示 ブラシの扱い方 ゴムのしばり方展示	
2		ヘアスタイル基礎 ブラッシング、 ホットカラーの巻き方	ブロッキング展示 ブラシの扱い方 ゴムのしばり方展示	
3		ヘアスタイル基礎 ブラッシング、 ホットカラーの巻き方	ブロッキング展示 ホットカラーの巻き方 ゴムのしばり方展示	
4		ヘアスタイル基礎 ブラッシング、 ホットカラーの巻き方	ブロッキング展示 ホットカラーの巻き方 電源なしでセンターを巻く	
5		ヘアスタイル基礎 ブラッシング、 ホットカラーの巻き方	ブロッキング展示 ブラシの扱い方 ゴムのしばり方展示	
6		ヘアスタイル基礎 ホットカラーの巻き方	ブロッキング展示 ホットカラーの巻き方	

		ツインテール	電源なしでセンターを巻く	
7		ヘアスタイル基礎 ホットカラーの巻き方 ツインテール	ツインテールの展示 ホットカラーの巻き方 電源なしでセンターを巻く	
8		ヘアスタイル基礎 ブラッシング、 ホットカラーの巻き方	ダウンスタイルの巻き方 しばり方 ホットカラーで全頭を巻く	
9		ホットカラーの練習	ホットカーラの電源を入れて、全頭を巻いてみる。（ダウンスタイル）	
10		アップ用巻き方 編み込み練習	アップスタイル用の巻き方を展示 サイドの編み込み展示	
11		アップ用巻き方練習 編み込み	いろいろな編み込みを習得 片編み込み、フィッシュボーン	
12		アップ用巻き方練習 編み込み	いろいろな編み込みを習得 片編み込み、フィッシュボーン	
13		夜会スタイル	すき毛の作り方展示 夜会ブロッキング展示	
14		夜会スタイル	ピンの止め方展示 スタイルを仕上げる	
15		夜会スタイル	ピンの止め方展示 スタイルを仕上げる	
16		ネープシニヨン	ブロッキングの展示 ロールの仕上げ方	
17		ネープシニヨン	ブロッキングの展示 ロールの仕上げ方 逆毛のやり方	
18		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドール	
19		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドールなど	
20		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドールなど	
21		ヘアスタイル基礎 ブラッシング、 ホットカラーの巻き方	ダウンスタイルの巻き方 しばり方 ホットカラーで全頭を巻く	
22		ホットカラーの練習	ホットカーラの電源を入れて、全頭を巻いてみる。（ダウンスタイル）	
23		アップ用巻き方 編み込み練習	アップスタイル用の巻き方を展示 サイドの編み込み展示	
24		アップ用巻き方練習 編み込み	いろいろな編み込みを習得 片編み込み、フィッシュボーン	

25		アップ用巻き方練習 編み込み	いろいろな編み込みを習得 片編み込み、フィッシュボーン	
26		夜会スタイル	すき毛の作り方展示 夜会ブロッキング展示	
27		夜会スタイル	ピンの止め方展示 スタイルを仕上げる	
28		夜会スタイル	ピンの止め方展示 スタイルを仕上げる	
29		ネープシニヨン	ブロッキングの展示 ロールの仕上げ方	
30		ネープシニヨン	ブロッキングの展示 ロールの仕上げ方 逆毛のやり方	
31		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドール	
32		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドールなど	
33		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドールなど	
34		夜会スタイル	すき毛の作り方展示 夜会ブロッキング展示	
35		夜会スタイル	ピンの止め方展示 スタイルを仕上げる	
36		夜会スタイル	ピンの止め方展示 スタイルを仕上げる	
37		ネープシニヨン	ブロッキングの展示 ロールの仕上げ方	
38		ネープシニヨン	ブロッキングの展示 ロールの仕上げ方 逆毛のやり方	
39		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドール	
40		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドールなど	
41		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドールなど	
42		夜会スタイル	すき毛の作り方展示 夜会ブロッキング展示	
43		夜会スタイル	ピンの止め方展示 スタイルを仕上げる	
44		夜会スタイル	ピンの止め方展示 スタイルを仕上げる	

45		ネープシニヨン	ブロッキングの展示 ロールの仕上げ方	
46		ネープシニヨン	ブロッキングの展示 ロールの仕上げ方 逆毛のやり方	
47		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなすスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドール	
48		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなすスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドールなど	
49		ヘアアイロン スタイル仕上げ	いろいろなすスタイルを仕上げる ツーポイントカール、ポンパドールなど	
50		夜会スタイル	すき毛の作り方展示 夜会ブロッキング展示	

教課指導案(シラバス)

校長	部長	部長代理	課長	担当教員

2023 年度 2 年生	科　目	授業方法	総授業時数
	セレモニーメーキャップⅡ	実習	140 時間

配当時間	1 コマ 90 分　　前・後期 70 コマ	担当授業時数	140 時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許 ヘアメイク歴　25 年 日本眉毛エクステンション協会特別講師

学習の目的	現場での実践に対応できる能力を養う。 様々な印象の違い、色の持つ効果、手法を学ぶことで、あらゆるニーズに応えられる豊かな表現力、スキルを身につけさせる。 相手の気持ちに寄り添ったメイクが実践できるスキルも学ぶ。
指導目標	現場でのあらゆる要求に対応できる知識・手法・表現力を身に着ける。 相手の気持ちを読み解き、満足して頂ける対応ができる人物に育つ。
指導の要点及び留意点	将来の目標を明確にして、実践を意識した授業になるよう心掛け、生徒のモチベーションを上げていく。
評価の方法	学期末テスト（パーツ別、全体バランス、など） 授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	MY 資料	ブライダルの歴史 ＊メイクの変化	参考を参考にブライダルの歴史を学び、ブライダルメイクの流れを知る。	
2	MY 資料 メイク道具 参考資料	年代別ブライダル ＊５０年代 （オードリーヘップバーン）	手順、ポイントを解説。資料の元、メイクの練習。 （オードリーの歴史的背景も学ぶ。）	
3				
4	MY 資料 ヘア道具 参考資料	年代別ブライダル ＊５０年代 （オードリーヘップバーン）	資料、プリントによる、手順、ポイントを解説。ヘアーを練習する。	
5				
6	MY 資料 ヘア・メイク道具 参考資料	年代別ブライダル ＊５０年代 （オードリーヘップバーン）	ヘアメイク（2 時間でヘアメイク。） 作品としてデーターに残す。 ・ドレス着用撮影	
7				
8	MY 資料 ヘア・メイク道具 参考資料	年代別ブライダル ＊５０年代 （オードリーヘップバーン）	ヘアメイク（2 時間でヘアメイク。） 作品としてデーターに残す。 ・ドレス着用撮影	
9				

10	MY 資料 メイク道具	年代別ブライダル ＊80 年代	資料、プリントによる、手順、ポイントを解説。資料の元、メイクの練習。	
11	参考資料	（バブルメイク） ・カラードレス	（バブルの歴史的背景も学ぶ。）	
12	MY 資料 ヘア道具	年代別ブライダル ＊80 年代	ヘアーを練習する。 手順、ポイントを解説。	
13	参考資料	（バブルメイク）		
14	MY 資料 ヘア・メイク道具	年代別ブライダル ＊80 年代	ヘアメイク（2 時間でヘアメイク。） 作品としてデーターに残す。	
15	参考資料	（バブルメイク）	・ドレス着用撮影	
16	MY 資料 ヘア・メイク道具	年代別ブライダル ＊80 年代	ヘアメイク（2 時間でヘアメイク。） 作品としてデーターに残す。	
17	参考資料	（バブルメイク）	・ドレス着用撮影	
18	MY 資料 メイク道具	年代別ブライダル ＊現代	ドレス決定後、ヘアメイクをデッサンする。 自由な発想による、創作メイク。	
19	参考資料		手順、手法の解説付きデッサンを仕上げる。	
20	MY 資料 ヘア道具	年代別ブライダル ＊現代	資料のもと、ヘアの練習。	
21	参考資料			
22	MY 資料 メイク道具	年代別ブライダル ＊現代	資料のもと、メイクの練習。	
23	参考資料			
24	MY 資料 ヘア・メイク道具	年代別ブライダル ＊現代	ヘアメイク（2 時間でヘアメイク。） 作品としてデーターに残す。	
25	参考資料		・ドレス着用撮影	
26	MY 資料 ヘア・メイク道具	年代別ブライダル ＊現代	ヘアメイク（2 時間でヘアメイク。） 作品としてデーターに残す。	
27	参考資料		・ドレス着用撮影	
28	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊キュートメイク	資料をもとにキュートを学ぶ。 メイクイメージをデッサンに描いて、手順、	
29	MY 資料		道具を考える。計画を表にまとめる。	

30	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊キュートメイク	計画表と資料を参考に、メイク練習。 講師からのアドバイスや、改善点などを、	
31	MY 資料		プリントにまとめる。	
32	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊キュートメイク	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを 仕上げる。	
33	MY 資料		撮影した画像データーに作品として残す。	
34	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊クール	資料をもとにクールを学ぶ。 メイクイメージをデッサンに描いて、手順、	
35	MY 資料		道具を考える。計画を表にまとめる。	
36	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊クール	計画表と資料を参考に、メイク練習。 講師からのアドバイスや、改善点などを、	
37	MY 資料		プリントにまとめる。	
38	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊クール	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを 仕上げる。	
39	MY 資料		撮影した画像データーに作品として残す。	
40	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊ポップ	資料をもとにポップを学ぶ。 メイクイメージをデッサンに描いて、手順、	
41	MY 資料		道具を考える。計画を表にまとめる。	
42	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊ポップ	計画表と資料を参考に、メイク練習。 講師からのアドバイスや、改善点などを、	
43	MY 資料		プリントにまとめる。	
44	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊ポップ	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを 仕上げる。	
45	MY 資料		撮影した画像データーに作品として残す。	
46	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊パンク	資料をもとにパンクを学ぶ。 メイクイメージをデッサンに描いて、手順、	
47	MY 資料		道具を考える。計画を表にまとめる。	
48	参考資料 メイク道具	印象メイク ＊パンク	計画表と資料を参考に、メイク練習。 講師からのアドバイスや、改善点などを、	
49	MY 資料		プリントにまとめる。	

50	参考資料 メイク道具 MY 資料	印象メイク ＊パンク	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを仕上げる。 撮影した画像データーに作品として残す。	
51				
52	参考資料 メイク道具 MY 資料	印象メイク ＊グラマラス	資料をもとにグラマラスを学ぶ。 メイクイメージをデッサンに描いて、手順、道具を考える。計画を表にまとめる。	
53				
54	参考資料 メイク道具 MY 資料	印象メイク ＊グラマラス	計画表と資料を参考に、メイク練習。 講師からのアドバイスや、改善点などを、プリントにまとめる。	
55				
56	参考資料 メイク道具 MY 資料	印象メイク ＊グラマラス	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを仕上げる。 撮影した画像データーに作品として残す。	
57				
58	メイク道具 MY 資料	課題メイク ＊レッド×印象（クール）	イメージからはあまり選ばれない色を課題にすることにより、より幅広い発想力を r 養う。自分の世界観を形にするトレーニング。パーツ練習。プリントにまとめる。	
59				
60	メイク道具 MY 資料	課題メイク ＊レッド×印象（クール）	計画表と資料を参考に、メイク練習。 講師からのアドバイスや、改善点などを、プリントにまとめる。	
61				
62	メイク道具 MY 資料	課題メイク ＊レッド×印象（クール）	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを仕上げる。 撮影した画像データーに作品として残す。	
63				
64	メイク道具 MY 資料	印象メイク ＊ゴールド×印象（ポップ）	イメージからはあまり選ばれない色を課題にすることにより、より幅広い発想力を r 養う。自分の世界観を形にするトレーニング。パーツ練習。プリントにまとめる。	
65				
66	メイク道具 MY 資料	印象メイク ＊ゴールド×印象（ポップ）	計画表と資料を参考に、メイク練習。 講師からのアドバイスや、改善点などを、 プリントにまとめる。	
67				
68	メイク道具 MY 資料	印象メイク ＊ゴールド×印象（ポップ）	撮影会。資料やプリントを参考に、メイクを仕上げる。 撮影した画像データーに作品として残す。	
69				
70	メイク道具	テスト ＊確認テスト	与えられた課題を与えられた時間内に仕上げる。	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フォトセッション	実習	60時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期33コマ	担当授業時数	66時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	プロのカメラマンによる撮影の基本的な知識を実践的に学び、メイクアップアーテストとしての作品作りへの携わり方やアプローチ方法を理解する。
指導目標	1．メイクアップを通して、本来持っている美しさを引出し、近代メイクアップ技術及び技術者としてのマナーを習得する。 2．美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる。
指導の要点及び留意点	イメージを表現する作品づくりの方法、また、撮影までの準備やカメラマン、モデルとのコミュニケーションの重要性についても理解させる。
評価の方法	作品の仕上がり、授業の姿勢（準備）での評価。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容・ファッション 雑誌表紙	「モード･クール」	・美容･ファッション雑誌を参考に、「モード･クール」とはどんな特徴かを復習。 ・モデルの印象分析	
2	美容･ファッション 雑誌表紙	「モード･クール」	・美容･ファッション雑誌を参考に、「モード･クール」とはどんな特徴かを復習。 ・モデルの印象分析	
3	美容･ファッション 雑誌表紙	「モード･クール」	・モデルの印象分析をもとに、雑誌の表紙に関わる、メイクアップの特徴、イメージに合う雑誌（ジャンル）を考える。相モデル練習。	

4	美容・ファッション 雑誌表紙	「モード･クール」	・モデルの印象分析をもとに、雑誌の表紙に関わる、メイクアップの特徴、イメージに合う雑誌（ジャンル）を考える。相モデル練習。	
5	美容・ファッション 雑誌表紙	「モード･クール」	・作品にあわせたライティング、バック紙の選択セッティング。モデルへのポーズ付け、 表情の提案を行う。	
6	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。デッサン画作成。	
7	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。デッサン画作成。	
8	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。モデル練習。	
9	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。モデル練習。	
10	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。	
11	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。	
12	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。	

13	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。	
14	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。	
15	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・作品にあわせたライティング、バック紙の選択、セッティング。モデルへのポーズ付け、表情の提案を行う。	
16	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。	
17	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。	
18	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	(特殊メイク含む)	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。	
19	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 (特殊メイク含む)	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。	
20	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 (特殊メイク含む)	・作品にあわせたライティング、バック紙の選択セッティング。モデルへのポーズ付け、表情の提案を行う。	
21	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 (特殊メイク含む)	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。デッサン画作成。	
22	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 (特殊メイク含む)	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・色彩、質感、形など詳細までこだわった作品に仕上げていく。デッサン画作成。	

23	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・イメージに合わせ、インパクトがあり、メッセージ性の高い作品を制作。	
24	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・イメージに合わせ、インパクトがあり、メッセージ性の高い作品を制作。	
25	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・イメージに合わせ、インパクトがあり、メッセージ性の高い作品を制作。	
26	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・イメージに合わせ、インパクトがあり、メッセージ性の高い作品を制作。	
27	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・イメージに合わせ、インパクトがあり、メッセージ性の高い作品を制作。	
28	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・イメージに合わせ、インパクトがあり、メッセージ性の高い作品を制作。	
29	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・イメージに合わせ、インパクトがあり、メッセージ性の高い作品を制作。	
30	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・作品にあわせたライティング、バック紙の選択 セッティング。モデルへのポーズ付け、表情の提案を行う。	

31	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・イメージに合わせ、インパクトがあり、メッセージ性の高い作品を制作。
32	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・自由な発想で自分のイメージを表現する。 ・イメージに合わせ、インパクトがあり、メッセージ性の高い作品を制作。
33	自然・芸術・建築など様々な分野からイメージを膨らませる	テーマに合わせた作品制作 （特殊メイク含む）	・作品にあわせたライティング、バック紙の選択 セッティング。モデルへのポーズ付け、表情の提案を行う。

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルコーディネートⅠ	実習	190時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期25コマ	担当授業時数	50時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	一般的に行われている美容技術を中心に、その目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせ、社会の中での美容技術の重要性を理解させる。
指導目標	1．ビューティースタイリストに必要な知識、技術を習得させる。 2．技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 3．現場の即戦力となれる様、技術者として必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディーさを学び、提案力と再現力を持った技術を身に付けさせる。
指導の要点及び留意点	メイクアップを通して、モデルの本来持っている美しさを引出し、近代メイクアップ技術とマナーを習得させる。
評価の方法	・作品制作の総合評価（技術力・インパクト・トータルバランス・授業の姿勢等）で60点以上を合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	参考資料	作品制作 テーマの設定	・イメージを形にする方法を説明。 ・雑誌やインターネットなどから各自で資料収集。コラージュし、まとめる。	
2	参考資料	作品制作 テーマの設定	・イメージを形にする方法を説明。 ・雑誌やインターネットなどから各自で資料収集。コラージュし、まとめる。	
3	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン。 ・色･形・質感・小物の素材など細部までトータルバランスを考える。	
4	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン。 ・色･形・質感・小物の素材など細部までトータルバランスを考える。	
5	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	

6	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	
7	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	
8	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	
9	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成。	
10	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成。	
11	参考資料	作品制作 コラージュ	・イメージを形にする方法を説明。 ・雑誌やインターネットなどから各自で資料収集。コラージュし、まとめる。	
12	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン。 ・色･形・質感・小物の素材など細部までトータルバランスを考える。	
13	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン。 ・色･形・質感・小物の素材など細部までトータルバランスを考える。	
14	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	
15	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	
16	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	
17	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	
18	参考資料	作品制作 小物作成	・作成した小物や材料を用いて、ﾄｰﾀﾙﾊﾞﾗﾝｽのとれた作品の制作	
19	参考資料	作品制作 小物作成	・作成した小物や材料を用いて、ﾄｰﾀﾙﾊﾞﾗﾝｽのとれた作品の制作	

20	参考資料	作品制作 コラージュ	・作成した小物や材料を用いて、ﾄｰﾀﾙﾊﾞﾗﾝｽのとれた作品の制作	
21	参考資料	作品制作 コラージュ	・イメージを形にする方法を説明。 ・雑誌やインターネットなどから各自で資料収集。コラージュし、まとめる。	
22	参考資料	作品制作 小物作成	・コラージュをもとにデッサン。 ・色･形・質感・小物の素材など細部までトータルバランスを考える。	
23	参考資料	作品制作 小物作成	・コラージュをもとにデッサン。 ・色･形・質感・小物の素材など細部までトータルバランスを考える。	
24	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	
25	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成。 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく。	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法		総授業時数
	トータルコーディネートⅡ	実習		240時間
配当時間	1コマ90分　前・後期50コマ		担当授業時数	100時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年	
学習の目的	一般的に行われている美容技術を中心に、その目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせ、社会の中での美容技術の重要性を理解させる。			
指導目標	1．ビューティスタイリストに必要な知識、技術を習得させる。 2．技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身につけさせる。 3．現場の即戦力となれる様、技術者として必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディさを学び、提案力と再現力を持った技術を身につけさせる。			
指導の要点及び留意点	メイクアップを通して、モデルの本来持っている美しさを引出し、近代メイクアップ技術とマナーを習得させる。			
評価の方法	・作品制作の総合評価（技術力・インパクト・トータルバランス・授業の姿勢等）で、６０点以上を合格とする			

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	参考資料	作品制作 テーマの設定 デッサン	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネット等から各自で資料収集、コラージュし、まとめる	
2	参考資料	作品制作 テーマの設定 デッサン	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネット等から各自で資料収集、コラージュし、まとめる	
3	参考資料	作品制作 メイクアップの練習	・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える ・メイクアップバランスを考える	
4	参考資料	作品制作	・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える ・メイクアップバランスを考える	
5	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	

6	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
7	参考資料	作品制作	・イメージに合わせたヘアメイクの練習 ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
8	参考資料	作品制作	・イメージに合わせたヘアメイクの練習 ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
9	参考資料	作品制作	・イメージに合わせたヘアメイクの練習 ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
10	参考資料	作品制作	・イメージに合わせたヘアメイクの練習 ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
11	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、トータルバランスのとれた作品の作成	
12	参考資料	作品制作 コラージュ	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネットなどから各自で資料収集、コラージュし、まとめる	
13	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
14	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
15	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
16	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
17	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	

18	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
19	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
20	参考資料	作品制作 コラージュ	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
21	参考資料	作品制作 コラージュ	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネットなどから各自資料収集 コラージュし、まとめる	
22	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
23	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
24	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
25	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
26	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
27	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
28	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
29	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
30	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	

31	参考資料	作品制作 コラージュ	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネットなどから各自で資料収集 コラージュし、まとめる	
32	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
33	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
34	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
35	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
36	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
37	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
38	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、トータルバランスのとれた作品の完成	
39	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、トータルバランスのとれた作品の完成	
40	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、トータルバランスのとれた作品の完成	
41	参考資料	作品制作 コラージュ	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネットなどから各自で資料収集 コラージュし、まとめる	
42	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
43	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	

44	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
45	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
46	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
47	参考資料	作品制作 小物制作	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成	
48	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成	
49	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成	
50	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルコーディネートⅡ	実習	240時間

配当時間	1コマ90分　前・後期50コマ	担当授業時数	100時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許 ヘアメイク歴　25年

学習の目的	一般的に行われている美容技術を中心に、その目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせ、社会の中での美容技術の重要性を理解させる。
指導目標	1．ビューティスタイリストに必要な知識、技術を習得させる。 2．技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身につけさせる。 3．現場の即戦力となれる様、技術者として必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディさを学び、提案力と再現力を持った技術を身につけさせる。
指導の要点及び留意点	メイクアップを通して、モデルの本来持っている美しさを引出し、近代メイクアップ技術とマナーを習得させる。
評価の方法	・作品制作の総合評価（技術力・インパクト・トータルバランス・授業の姿勢等）で、６０点以上を合格とする

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	参考資料	作品制作 テーマの設定	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネット等から各自で資料収集 コラージュし、まとめる	
2	参考資料	作品制作 テーマの設定	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネット等から各自で資料収集 コラージュし、まとめる	
3	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
4	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
5	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	

6	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
7	参考資料	作品制作	・イメージに合わせたヘアメイクの練習 ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
8	参考資料	作品制作	・イメージに合わせたヘアメイクの練習 ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
9	参考資料	作品制作	・イメージに合わせたヘアメイクの練習 ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
10	参考資料	作品制作	・イメージに合わせたヘアメイクの練習 ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
11	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成	
12	参考資料	作品制作 コラージュ	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネットなどから各自で資料収集 コラージュし、まとめる	
13	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
14	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
15	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
16	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
17	参考資料	作品制作 小物作成	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	

18	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
19	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
20	参考資料	作品制作 コラージュ	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
21	参考資料	作品制作 コラージュ	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネットなどから各自資料収集 コラージュし、まとめる	
22	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
23	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
24	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
25	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
26	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
27	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
28	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
29	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	
30	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の 完成	

31	参考資料	作品制作 コラージュ	・イメージを形にする方法を説明 ・雑誌やインターネットなどから各自で資料収集 コラージュし、まとめる	
32	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
33	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
34	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
35	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
36	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
37	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
38	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、トータルバランスのとれた作品の完成	
39	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、トータルバランスのとれた作品の完成	
40	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、トータルバランスのとれた作品の完成	
41	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
42	参考資料	作品制作 デッサン	・コラージュをもとにデッサン ・色、形、質感、小物の素材など細部までトータルバランスを考える	
43	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	

44	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
45	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
46	参考資料	作品制作 小物制作	・デッサン画をもとに小物作成 様々な素材を用い、創造性豊かな作品を目指していく	
47	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成	
48	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成	
49	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成	
50	参考資料	作品制作 作品完成	・作成した小物や材料を用いて、 トータルバランスのとれた作品の完成	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ネイル技術理論Ⅱ	※講義もしくは実習	20時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期11コマ	担当授業時数	22時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 美容師免許

学習の目的	爪の構造を理解し、安全に使用できるようにする
指導目標	お客様に適切な技術を提供するための知識を修得する
指導の要点及び留意点	視覚的に学ぶことから、実践につながるように理解させる。
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1		ｱｸﾘﾙﾈｲﾙとｼﾞｪﾙﾈｲﾙの材料学	・ｱｸﾘﾙﾈｲﾙ及びｼﾞｪﾙﾈｲﾙに使用する成分の説明	
2		ネイルケア	・基本のネイルケアの復習を行う ・爪の構造を理解させ、器具の扱い方を身に着ける	
3		ネイルケア	・基本のネイルケアの復習を行う ・爪の構造を理解させ、器具の扱い方を身に着ける	
4		ネイルケア	・きれいに仕上がる技術を身に着ける	
5		ネイルケア	・きれいに仕上がる技術を身に着ける	
6		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・マシーンを使う際の注意事項を指導	
7		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・手際よく行う練習	
8		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・安全に使用できるよう切り返し練習	
9		マシーン	・マシーンを使ってケアをする練習を行う	
10		マシーン	・マシーンを使ってケアをする練習を行う	
11		マシーン	・マシーンを使ってケアをする練習を行う	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ネイルケア理論	※講義もしくは実習	20時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期11コマ	担当授業時数	22時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	ネイリストに欠かすことの出来ないネイルケアを理解させ、実践力を身につけさせる 手及び足の爪の構造を学び、学術的裏づけをふまえ、将来安全で適切な技術が提供できるようにする
指導目標	ネイルテクニックの基本であるネイルケアを学ぶ
指導の要点及び留意点	爪の構造を理解させ、爪を美しく見せるための理論及び技術を身につけさせる
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア ファイリング	・爪の構造を理解し、適切なファイリングを覚える	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア ファイリング	・爪の構造を理解し、適切なファイリングを覚える	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・（ＰＨ）ペーハーを理解する ・キューティクルリムーバーの使用方法を覚える	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの角度に注意し、効率的にプッシュアップの方法を身につける	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの角度に注意し、効率的にプッシュアップの方法を身につける	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・正しいニッパーハンドリングを理解する ・的確な角度を身につける	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・正しいニッパーハンドリングを理解するため、繰り返し練習を行う	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾌｯﾄｹｱ	フットケア理論	・足の構造を理解させ、様々なトラブルに対応できる知識を身に着ける	

9	JNA テクニカルシステム フットケア	フットケア理論	・安全で安心な施術ができるように 爪や皮膚に関する知識を学ぶ	
10	JNA テクニカルシステム フットケア	フットケア理論	フットケアの手順を学ぶ。	
11	JNA テクニカルシステム フットケア	フットケア理論	フットケアの手順を学ぶ。	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックネイルⅡ	※講義もしくは実習	120時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期66コマ	担当授業時数	132時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	繰り返し行うことで高い技術力を身につけさせる
指導目標	一人ひとりの能力に合わせ、的確な指導を行う どんな環境においても実力が発揮できるメンタル面の向上
指導の要点及び留意点	タイム管理を意識させる
評価の方法	学期末試験成績

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・イクステンションを作るにあたってフォルムを理解させる ・道具の扱い方をレクチャー	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・チップ装着、サイズの確認及び適正な装着角度を学ぶ ・ラップ材の装着及びレジンの使用方法・操作方法を学ぶ	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・チップ装着、サイズの確認及び適正な装着角度を学ぶ ・ラップ材の装着及びレジンの使用方法・操作方法を学ぶ	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・ラップ材の装着及びレジンの使用方法 ・フォルムづくりを指導	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・ラップ材の装着及びレジンの使用方法 ・フォルムづくりを指導	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・ファイリング ・ファイルの持ち方及び爪に対しての角度を学ぶ ・アウトラインの取り方	

7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・ファイリング ・ファイルの持ち方及び爪に対しての角度を学ぶ ・厚み、形を整える	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・相モデルにて練習 ・手の扱い方に注意しながら行う ・爪に対しての角度や強さに注意	
9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・相モデルにて練習 ・手の扱い方に注意しながら行う ・爪に対しての角度や強さに注意	
10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・相モデルにて練習 ・手の扱い方に注意しながら行う ・爪に対しての角度や強さに注意	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・相モデルにて練習 ・手の扱い方に注意しながら行う ・爪に対しての角度や強さに注意	
12	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・手順を確認しながら復習する	
13	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・手順を確認しながら復習する	
14	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング及びチップラップ	・手際良く行うように繰り返し行う	
15	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング及びチップラップ	・手際良く行うように繰り返し行う	
16	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング及びチップラップ	・手際良く行うように繰り返し行う	
17	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング及びチップラップ	・手際良く行うように繰り返し行う	
18	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アート	・テーマに沿ったアートを描く ・筆の使い方や繊細な線の描き方を指導	
19	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アート	・テーマに沿ったアートを描く ・筆の使い方や繊細な線の描き方を指導	
20	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アート	・テーマに沿ったアートを描く ・筆の使い方や繊細な線の描き方を指導	
21	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アート	・テーマに沿ったアートを描く ・筆の使い方や繊細な線の描き方を指導	

22	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
23	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
24	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
25	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる	
26	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる	
27	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング、メタルプッシャー及びニッパーハンドリングチェックを行う	
28	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング、メタルプッシャー及びニッパーハンドリングチェックを行う	
29	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング、メタルプッシャー及びニッパーハンドリングのチェックを行う	
30	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング、メタルプッシャー及びニッパーハンドリングチェックを行う	
31	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
32	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
33	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
34	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
35	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
36	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
37	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	
38	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	

39	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	
40	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	
41	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	
42	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・刷毛の角度に注意させる	
43	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・刷毛の角度に注意させる	
44	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・刷毛の角度に注意させる	
45	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・刷毛の角度に注意させる	
46	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・艶良く塗る指導	
47	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・艶良く塗る指導	
48	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・艶良く塗る指導	
49	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・艶良く塗る指導	
50	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング指導 ・爪に対するファイルの角度に気を付ける	
51	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング指導 ・爪に対するファイルの角度に気を付ける	
52	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング指導 ・爪に対するファイルの角度に気を付ける ・全体のバランスを考える	

53	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング指導 ・爪に対するファイルの角度に気を付ける ・全体のバランスを考える	
54	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導	
55	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導	
56	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導	
57	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導 ・キューティクルラインを整える	
58	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導 ・キューティクルラインを整える	
59	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導 ・キューティクルラインを整える	
60	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
61	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
62	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
63	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
64	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	

65	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げ	
66	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げ	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックネイルⅢ	※講義もしくは実習	110時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期61コマ	担当授業時数	122時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	繰り返し行なうことで高い技術力を身につけさせる
指導目標	一人ひとりの能力に合わせ、的確な指導を行う 様々な技術の習得を目指す
指導の要点及び留意点	タイム管理を意識させる お客様への対応を意識させ、雑な扱いにならないように指導を行う
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・全体的なフォルムの作り方	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・全体的なフォルムの作り方	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング指導 ・スムーズなファイリングを行う	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング指導 ・スムーズなファイリングを行う	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・アプリケーション指導 ・ファイリング指導	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・アプリケーション指導 ・ファイリング指導	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・アプリケーション指導 ・ファイリング指導	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・アプリケーション指導 ・ファイリング指導	

9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・全体的なフォルムの作り方	
10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・全体的なフォルムの作り方	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・繰り返し練習を行う ・ファイリング指導	
12	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・タイムトライアル ・繰り返し練習を行う	
13		ミックスメディアアート	テーマに沿った作品になっているか	
14		ミックスメディアアート	テーマに沿った作品になっているか	
15	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムの縮め方を説明 ・全体の流れをつかむ ・手際良く行う	
16	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れをつかむ ・手際良く行う	
17	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れをつかむ ・全体の形の統一を図る	
18	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れをつかむ ・全体の形の統一を図る	
19	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・形の改善を行なう ・タイムを意識させる	
20	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・指導された改善点に注意しながら良い作品を作る ・作業における自分の癖を直す	
21	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・作業における自分の癖を直す	
22	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・作業における自分の癖を直す	
23	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア ファイリング	・ﾅﾁｭﾗﾙﾈｲﾙのファイリングの復習 ・ラウンドの取り方を説明 ・エメリーボードの角度の説明	
24	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア ファイリング	・ﾅﾁｭﾗﾙﾈｲﾙのファイリングの復習 ・ラウンドの取り方を説明 ・爪に適したﾌｧｲﾙの角度を説明	
25	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア メタルプッシャー	・メタルプッシャーの重要性を理解し、的確にプッシュアップする ・デモンストレーション	

26	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア メタルプッシャー	・メタルプッシャーの重要性を理解し、的確にプッシュアップする	
23	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア ニッパーハンドリング	・ハンドリングを改善する ・より繊細な作品に仕上げる	
24	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア ニッパーハンドリング	・ハンドリングを改善する ・より繊細な作品に仕上げる	
25	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア ニッパーハンドリング	・ハンドリングを改善する ・より繊細な作品に仕上げる	
26	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・指導された改善点に注意しながら良い作品を作る ・タイムを意識させる	
27	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・丁寧にキューティクルをプッシュアップする ・タイムを意識させる ・指導された改善点に注意しながら良い作品を作る	
28		アクリルスカルプチュア	・相モデルで行う。 ・フォームの装着指導	
29		アクリルスカルプチュア	・相モデルで行う。 ・フォームの装着指導	
30		アクリルスカルプチュア	・人体で行う際の支え方や削りの際の注意点などを指導	
31		アクリルスカルプチュア	・人体で行う際の支え方や削りの際の注意点などを指導	
32		アクリルスカルプチュア	・繰り返し行う ・全体を同じフォルムで作り上げる	
33		アクリルスカルプチュア	・繰り返し行う ・全体を同じフォルムで作り上げる	
34		アクリルスカルプチュア	・繰り返し行う ・全体を同じフォルムで作り上げる	
35		アクリルスカルプチュア	・繰り返し行う ・全体を同じフォルムで作り上げる	
36		エアーブラシ	・用具のセッティングを覚える ・ﾊﾝﾄﾞﾋﾟｰｽの使い方を身につける ・デモンストレーション ・絵の具の種類を理解させる	
37		エアーブラシ	・グラデーションをきれいに作る	
38		エアーブラシ	・グラデーションをきれいに作る ・ステンシルを使ってアートを行う	

39		エアーブラシ	・様々な技法を学ぶ ・いくつかの技法を組み合わせて、アートを作る	
40		エアーブラシ	・作品制作 ・５本１セットで作る	
41		エアーブラシ	・作品制作 ・５本１セットで作る	
42		エアーブラシ	・作品制作 ・５本１セットで作る	
43		エアーブラシ	・作品制作 ・５本１セットで作る	
44		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・繰り返し練習する	
45		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・マシーンを使う際の注意事項を指導	
46		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・繰り返し練習する	
47		イクステンション　オフ	・繰り返し練習する	
48		イクステンション　オフ	・繰り返し練習する	
49		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・繰り返し練習する	
50		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってパーツの取り外し等を行う。	
51		イクステンション　オフ	・繰り返し練習する	
52		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・マシーンを使う際の注意事項を指導	
53		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・繰り返し練習する	
54		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・マシーンを使う際の注意事項を指導	
55		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・繰り返し練習する	
56		イクステンション　オフ	・マシーンを使ってのオフを学ぶ ・マシーンを使う際の注意事項を指導	
57		フィルイン	・マシーンでの削りを学ぶ	
58		フィルイン	・マシーンでの削りを学ぶ	
59		フィルイン	・フィルインの際のアプリケーション方法を学ぶ	

60		アクリルスカルプチュア	・全体的なフォルムの作り方	
61		アクリルスカルプチュア	・ファイリング指導 ・スムーズなファイリングを行う ・ジェルカラーで仕上げる。 ・デザインを入れる	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 5 年度 1 年生	科　目	授業方法	総授業時数
	エクステンションネイル I	※講義もしくは実習	100 時間

配当時間	1 コマ 90 分　　前・後期 55 コマ	担当授業時数	110 時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	ネイリスト経験 10 年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	ネイルの基本となる技術をしっかりと身につける
指導目標	ネイルケアの重要性を理解させ、様々な技術に展開させる カラーリングの技術の細やかな指導を行い、技術向上を目指す イクステンションの技術を身に付ける
指導の要点及び留意点	スムーズな器具の使い方を覚えさせる 安全に使用できるように指導する
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・筆の使い方及びマテリアルの扱い方を学ぶ	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・筆の使い方及びマテリアルの扱い方を学ぶ	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・筆の使い方及びマテリアルの扱い方を学ぶ	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・筆の使い方及びマテリアルの扱い方を学ぶ	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・フォームの理論を学ぶ ・正しいフォームの装着を学ぶ	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・フォームの理論を学ぶ ・正しいフォームの装着を学ぶ	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール目の操作を学ぶ	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール目の操作を学ぶ	
9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う	

10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う	
12	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・２、３ボール目の操作を学ぶ ・パウダーの特性を理解させる	
13	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・２、３ボール目の操作を学ぶ ・ﾋﾟﾝｸﾊﾟｳﾀﾞｰの扱い方をﾏｽﾀｰする	
14	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・２、３ボール目の操作を学ぶ ・パウダーの特性を理解させる	
15	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・２、３ボール目の操作を学ぶ ・ﾋﾟﾝｸﾊﾟｳﾀﾞｰの扱い方をﾏｽﾀｰする	
16	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・全体のフォルムの確認をする	
17	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・全体のフォルムの確認をする	
18	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・全体のフォルムの確認をする	
19	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・全体のフォルムの確認をする	
20	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・全体のフォルムの確認をする	
21	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・全体のフォルムの確認をする	
22	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ピンチの入れるタイミングを練習する ・サイズの選択を見極める	
23	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・ピンチの入れるタイミングを練習する	
24	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・ピンチの入れるタイミングを練習する	
25	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・ピンチング	
26	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング ・フォルムの整え方を学ぶ	
27	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング ・フォルムの整え方を学ぶ	
28	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング ・ファイルのあたる角度、強さに注意する	

29	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング ・ファイルのあたる角度、強さに注意する	
30	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・正しいチップ装着を学ぶ ・段差の取り方を練習する	
31	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・ボールの操作方法を学ぶ	
32	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・ボールの操作方法を学ぶ ・ピンチング	
33	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・ボールの操作方法を学ぶ ・ピンチング	
34	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・フォルムを揃える練習を行う	
35	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・フォルムを揃える練習を行う	
36	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・フォルムを揃える練習を行う	
37	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・フォルムを揃える練習を行う	
38	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・タイムトライラル ・タイムを意識しながら行う	
39	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・タイムトライラル ・タイムを意識しながら行う	
40	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・タイムトライラル ・タイムを意識しながら行う	
41	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・カラーパウダーの扱いを学ぶ	
42	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・カラーパウダーの扱いを学ぶ	
43	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・テーマに沿ったアートを考える	
44	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・テーマに沿ったアートを考える	
45	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・時間配分を考える ・手際よく行う	
46	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・時間配分を考える ・手際よく行う	
47	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
48	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	

49	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
50	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
51	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
52	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
53	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
54	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
55	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	エクステンションネイルⅡ	実習	300時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期30コマ	担当授業時数	60時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許　美容師歴3年 日本ネイリスト協会本部認定講師 全国美容生活衛生同業組合連合会 SBSネイル指導講師 日本美容講師会会員 日本理容美容教育センターまつ毛エクステンション指導員資格 ストーリージェル３６５エデュケーター資格 クリストリオ社シルバーエデュケーター資格 ネイルサロン経営(14年)

学習の目的	JNAネイリスト技能検定試験1級取得 JNAジェルネイル検定上級取得 各種ネイルコンクールや、大会出場 サロンワークに対応するネイル全般の基本と応用
指導目標	ネイリストとして必要な内容を伝授する また、その為に重要となるネイル全般の技術を理解させる 就職に必要な知識技術の伝達と、将来に役立つ知識の習得
指導の要点及び留意点	授業の準備物、内容を伝え徹底させる ネイルを通して、顧客に心理や時間の大切さ、楽しさを伝える
評価の方法	各学期末試験によって決定　　１００点満点(配点未定) 授業態度、意欲、出席なども考慮対象とする

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA テクニカルシステム	材料の説明 アクリリックネイルとは	検定試験内容 ミクスチュアの成り立ち	
2	P60-67	JNAネイリスト検定1級対応 内容の説明	時間配分、内容の理解 使用材料の説明、チップ合わせ	
3		アクリルチップオーバーレイ	チップに対するミクスチュアの操作	

4		アクリルチップオーバーレイ	アプリケーション、ピンチ ファイリング、仕上げ	
5		アクリルチップオーバーレイ	工程の確認	
6		アクリルチップオーバーレイ	複数の形を揃える	
7		アクリルチップオーバーレイ	タイムトライアル	
8	P35-49	フォームスカルプチュア	理想のフォルムの説明	
9		フォームスカルプチュア	フォーム装着方法 フォームカット	
10		アクリルチップオーバーレイ	フォーム装着 フォーム上のミクスチュアの操作	
11		フォームスカルプチュア	フリーエッジの形成	
12		フォームスカルプチュア	ピンクパウダーの操作方法 ネイルベッドへのアプリケーション	
13		フォームスカルプチュア	ピンチの場所の理解	
14		フォームスカルプチュア	ピンチのタイミングと要点 ピンチ棒の使い方	
15		フォームスカルプチュア	ファイリング手順、形の作り方 ファイリング復習	
16		フォームスカルプチュア	形の確認、制作	
17		フォームスカルプチュア	複数本の制作	
18		フォームスカルプチュア	タイムトライアル	
19		フォームスカルプチュア	５本制作 形を合わせる	
20		フォームスカルプチュア	5 本タイムトライアル	
21		JNA ネイリスト検定１級対応	チップオーバーレイ 2 本 フォームスカルプチュア 3 本	
22		JNA ネイリスト検定１級対応	タイムトライアル	
23		ミックスメディアアート	ミックスメディアとは 成り立ちと作り方	
24		ミックスメディアアート	パーツの作り方 デザイン考案	

25		ミックスメディアアート	デザインによるパーツ作り 組み立て、手順の確認	
26		ミックスメディアアート	タイムトライアル	
27		JNA ネイリスト検定１級対応	タイムトライアル	
28		JNA ネイリスト検定１級対応	タイムトライアル	
29		JNA ネイリスト検定１級対応	タイムトライアル	
30		定期試験	１級内容に準ずる	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	エクステンションネイルⅡ	※講義もしくは実習	300時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期135コマ	担当授業時数	270時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	サロンワークに対応するネイル技術全般の基本と応用
指導目標	適切なイクステンション及びアートを施すことの出来る技術力を身につけさせる 細かな指導を行なうことにより、より繊細な作品に仕上げることを目指す
指導の要点及び留意点	練習を重ねることで技術の向上へ導く
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・５本作り、全ての形を揃える	
2	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・繰り返し練習を行う	
3	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・繰り返し練習を行う	
4	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・繰り返し練習を行う	
5	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・７本同時に作る練習	
6	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・繰り返し練習を行う ・形を揃える	
7	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・繰り返し練習を行う ・形を揃える	
8	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・繰り返し練習を行う ・安定したファイリングを覚える	
9	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・繰り返し練習を行う ・安定したファイリングを覚える	
10	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・繰り返し練習を行う ・安定したファイリングを覚える	

11	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ｱｸﾘﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ及びﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	・繰り返し練習を行う ・安定したファイリングを覚える	
12	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイム内に形よく作る練習	
13	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する	
14	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する	
15	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する	
16	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する	
17	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する	
18	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する	
18	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する	
19	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する ・艶良く仕上げる	
20	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する ・艶良く仕上げる	
21	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する ・艶良く仕上げる	
22	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う ・タイムを意識する ・艶良く仕上げる	
23	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・エンボスアートの練習 ・立体的になる工夫を指導	
24	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・エンボスアートの練習 ・立体的になる工夫を指導	
24	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・エンボスアートの練習 ・繰り返し練習を行う	
25	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・エンボスアートの練習 ・繰り返し練習を行う	
26	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・デザインを埋め込む ・削る際の注意事項を指導	
27	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・デザインを埋め込む ・削る際の注意事項を指導	

28	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・デザインを埋め込む ・繰り返し練習を行う	
29	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・デザインを埋め込む ・繰り返し練習を行う	
30	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・ラメグラデーションの練習	
31	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・ラメグラデーションの練習	
32	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・ラメグラデーションの練習 ・デザインを埋め込む	
33	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・ラメグラデーションの練習 ・デザインを埋め込む	
34	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・繰り返し練習を行う	
35	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・マシンで行うケアを学ぶ	
36	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・マシンで行うケアを学ぶ	
37	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・マシンで行うケアを学ぶ	
38	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・マシンで行うケアを学ぶ	
39	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・アクリルスカルプチュアを土台にジェルデザインを行う	
40	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・アクリルスカルプチュアを土台にジェルデザインを行う	
41	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・アクリルスカルプチュアを土台にジェルデザインを行う	
42	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・アクリルスカルプチュアを土台にジェルデザインを行う	
43	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・デザインを埋め込む ・片手を仕上げる	
44	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・デザインを埋め込む ・バランスを考えて作る	
45	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・デザインを埋め込む ・片手を仕上げる	
46	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	デザインスカルプチュア	・デザインを埋め込む ・バランスを考えて作る	
47	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルスカルプチュア	・ジェルにて長さを出す練習を行う	
48	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルスカルプチュア	・ジェルにて長さを出す練習を行う	

49	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルスカルプチュア	・ジェルにて長さを出す練習を行う	
50	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルスカルプチュア	・ジェルにて長さを出す練習を行う	
51	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルデザイン	・長さ出しを行い、デザインを施す	
52	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルデザイン	・長さ出しを行い、デザインを施す	
53	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルデザイン	・長さ出しを行い、デザインを施す ・繰り返し練習を行う	
54	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルデザイン	・長さ出しを行い、デザインを施す ・繰り返し練習を行う	
55	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルデザイン	・長さ出しを行い、デザインを施す ・繰り返し練習を行う	
56	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・相手の要望を聞き、デザインを仕上げる	
57	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・様々なデザインを組み合わせる	
58	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・相手の要望を聞き、デザインを仕上げる	
59	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・様々なデザインを組み合わせる	
60	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・相手の要望を聞き、デザインを仕上げる	
61	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・様々なデザインを組み合わせる	
62	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルオフ	・サロンワーク対応 ・手際よく作業を行う	
63	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルオフ	・サロンワーク対応 ・手際よく作業を行う	
64	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・手際よく作業を行う	
65	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・様々なデザインを組み合わせる	
66	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・相手の要望を聞き、デザインを仕上げる	
67	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・様々なデザインを組み合わせる	

68	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルオフ	・サロンワーク対応 ・手際よく作業を行う	
69	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルオフ	・サロンワーク対応 ・手際よく作業を行う	
70	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・相手の要望を聞き、デザインを仕上げる	
71	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・相手の要望を聞き、デザインを仕上げる	
72	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・相手の要望を聞き、デザインを仕上げる	
73	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ジェルアート	・サロンワーク対応 ・相手の要望を聞き、デザインを仕上げる	
74	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フィルイン	・サロンワーク対応 ・ファイルやマシンを使って行う	
75	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フィルイン	・サロンワーク対応 ・ファイルやマシンを使って行う	
76	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フィルイン	・サロンワーク対応 ・ファイルやマシンを使って行う	
77	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フレンチスカルプチュア	・デモンストレーション	
78	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フレンチスカルプチュア	・ホワイトパウダーの扱い方を学ぶ	
79	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フレンチスカルプチュア	・ホワイトパウダーのミクスチュアの取り方を練習する	
80	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フレンチスカルプチュア	・ホワイトパウダーのミクスチュアの取り方を練習する	
81	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フレンチスカルプチュア	・デモンストレーション ・スマイルラインの作り方指導	
82	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フレンチスカルプチュア	・スマイルラインの練習	
83	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フレンチスカルプチュア	・スマイルラインの練習	
84	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	フレンチスカルプチュア	・スマイルラインの練習	
85	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	バーチャルネイル	・短いベッドを長く見せるための技術を学ぶ	
86		バーチャルネイル	・短いベッドを長く見せるための技術を学ぶ	

87		作品作り	・テーマに沿って作品のデザインを考える ・ベースの色を考える	
88		作品作り	・テーマに沿って作品のデザインを考える ・ベースの色を考える	
89		作品作り	・デザインのベースとなるモチーフを探し、デッサンを行う	
90		作品作り	・デザインのベースとなるモチーフを探し、デッサンを行う	
91		作品作り	・デザインのベースとなるモチーフを探し、デッサンを行う	
92		作品作り	・デザインのベースとなるモチーフを探し、デッサンを行う	
93		作品作り	・チップの形などを決める	
94		作品作り	・チップの形などを決める	
95		作品作り	・チップのファイリングを行う	
96		作品作り	・チップのファイリングを行う	
97		作品作り	・ベースカラーを塗布する	
98		作品作り	・ベースカラーを塗布する	
99		作品作り	・デザインをチップに落とし込む ・バランスを見ながら描く	
100		作品作り	・デザインをチップに落とし込む ・バランスを見ながら描く	
101		作品作り	・5 本もしくは 10 本のバランスを考え、作っていく	
102		作品作り	・5 本もしくは 10 本のバランスを考え、作っていく	
103		作品作り	・仕上がりのバランスを考える	
104		作品作り	・テーマに沿って作品のデザインを考える ・ベースの色を考える	
105		作品作り	・テーマに沿って作品のデザインを考える ・ベースの色を考える	

106		作品作り	・テーマに沿って作品のデザインを考える ・ベースの色を考える	
107		作品作り	・デザインのベースとなるモチーフを探し、デッサンを行う	
108		作品作り	・デザインのベースとなるモチーフを探し、デッサンを行う	
109		作品作り	・デザインのベースとなるモチーフを探し、デッサンを行う	
110		作品作り	・チップの形などを決める	
111		作品作り	・チップの形などを決める	
112		作品作り	・チップのファイリングを行う	
113		作品作り	・チップのファイリングを行う	
114		作品作り	・ベースカラーを塗布する	
115		作品作り	・ベースカラーを塗布する	
116		作品作り	・デザインをチップに落とし込む ・バランスを見ながら描く	
117		作品作り	・デザインをチップに落とし込む ・バランスを見ながら描く	
118		作品作り	・5 本もしくは 10 本のバランスを考え、作っていく	
119		作品作り	・5 本もしくは 10 本のバランスを考え、作っていく	
120		作品作り	・仕上がりのバランスを考える	
121		作品作り	・サロンワーク対応として、自分の爪をデザインする。	
122		作品作り	・サロンワーク対応として、自分の爪をデザインする。	
123		作品作り	・どのような技術で行うか決定し、作業を行う。	
124		作品作り	・色、スタイリングを決定する。	
125		作品作り	・カラーリング及びデザインを描く	

126		作品作り	・カラーリング及びデザインを描く	
127		作品作り	・カラーリング及びデザインを描く	
128		作品作り	・サロンワーク対応として、相モデルでの爪をデザインする。	
129		作品作り	・サロンワーク対応として、相モデルでの爪をデザインする。	
130		作品作り	・どのような技術で行うか決定し、作業を行う。	
131		作品作り	・色、スタイリングを決定する。	
132		作品作り	・カラーリング及びデザインを描く	
133		作品作り	・カラーリング及びデザインを描く	
134		作品作り	・カラーリング及びデザインを描く	
135		作品作り	・カラーリング及びデザインを描く	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ジェルネイルⅠ	実習	100時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期25　コマ	担当授業時数	50時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許　　美容師歴3年 日本ネイリスト協会本部認定講師 全国美容生活衛生同業組合連合会 SBSネイル指導講師 日本美容講師会会員 日本理容美容教育センターまつ毛エクステンション指導員資格 ストーリージェル３６５エデュケーター資格 クリストリオ社シルバーエデュケーター資格 ネイルサロン経営(14年)

学習の目的	JNAジェルネイル検定　　初級、中級の内容を伝授する サロンワークに対応するジェルネイル技術の基礎とタイム管理
指導目標	JNAジェルネイル検定　初級、中級の内容を伝授する また、その為に重要となるネイル技術全般を理解させる 就職に知識技術の伝達と、技術者として将来に役立つ知識の習得を目的とする
指導の要点及び留意点	授業の準備物、内容を伝え徹底させる ネイルを通して、顧客の心理や時間の大切さ、楽しさを伝える
評価の方法	各学期末試験によって決定　　１００点満点(配点未定) 授業態度、意欲、出席なども考慮対象とする

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA テクニカルシステム	オリエンテーション	ジェルの特徴と特性の説明 使用材料の説明	
2	P57-60	ジェル材料の説明 事前処理	ジェルの扱い方、セッティング ブラシワーク	
3	P82-83	ジェル検定初級	材料の説明、注意点 使い方、プレパレーション	
4		ジェルカラーリング	筆のメンテナンス、ジェルの塗り方 ブラシワーク	
5		ジェルカラーリング	カラージェルの塗り方 検定色【赤】	
6		ジェルプレパレーション	サンディングの重要性	

7	P82-83	ジェルオフ	正しいジェルの取り除き方	
8	P96-99	ジェルアート	カラーの色合わせ、ブラシワーク 手順、注意点	
9		ジェルアート	検定用ピーコックアート手順 色合わせと注意点	
10	P56-60	ジェルカラーリング ジェルアート	タイムトライアル	
11		ポリッシュカラーリング	復習	
12		ジェル検定初級対策	タイムトライアル	
13		ジェル検定初級対策	タイムトライアル	
14		定期試験	ジェル検定初級内容に準ずる	
15		ジェル検定中級対応	ジェル検定中級内容確認、説明	
16		ジェルアート	様々なピーコックアート	
17	P56-60	グラデーション	筆圧、ブラシワーク、手順	
18		グラデーション	塗布量、セルフレベリング	
19		フレンチ	フレンチとは、手順の確認 筆圧、ブラシワーク	
20		フレンチ	塗布量、セルフレベリング ラインの鮮明化	
21		フォームスカルプチュア	ジェルスカルプ、手順の確認 フォーム装着、アプリケーション	
22		フォームスカルプチュア	アプリケーション確認 ファイリングと仕上げ	
23	P62-66	ジェル検定中級対応	タイムトライアル	
24		ジェル検定中級対応	タイムトライアル	
25		定期試験	ジェル検定中級内容に準ずる	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ジェルネイルⅠ	※講義もしくは実習	100時間

配当時間	1コマ90分　前・後期30コマ	担当授業時数	60時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	安全で安心なネイルサービスを提供するための基礎知識を身につけさせる
指導目標	ジェルネイルに関する知識を学び、信頼されるネイリストを目指す
指導の要点及び留意点	正しい施術方法を身につけさせることにより、ジェルネイルでのトラブルを起こさないように指導をする。
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルネイル材料の基礎理論	・テキストを使用し、ジェルに関する基礎を学ぶ	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルネイル材料の基礎理論	・テキストを使用し、ジェルに関する基礎を学ぶ	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルネイル材料の基礎理論 ジェルネイルの安全な操作方法	・ジェルの主要成分を説明 ・各ﾒｰｶｰのｼﾞｪﾙの特徴などを説明	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルカラーリング	・ｼﾞｪﾙﾈｲﾙの硬化する仕組みを説明 ・用材に関する取扱いについて説明 ・ｱｸﾘﾙﾈｲﾙとｼﾞｪﾙﾈｲﾙの違いを説明 ・相モデルにて練習を行う	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルカラーリング	・ｼﾞｪﾙｶﾗｰﾘﾝｸﾞの基礎的な手順を説明。ハンドを使用する ・正しい扱い方を覚えさせる	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ソークオフジェルのオフ	・ｿｰｸｵﾌｼﾞｪﾙを除去する手順の説明 ・手際よくオフする練習を行う	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルアート	・細筆でラインを描く練習を行う ・ﾗｲﾝを描く具体的なやり方をﾚｸﾁｬｰ	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルアート	・細筆でラインを描く練習を行う ・ﾗｲﾝを描く具体的なやり方をﾚｸﾁｬｰ	
9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルアート	・細筆でラインを描く練習を行う ・ﾗｲﾝを描く具体的なやり方をﾚｸﾁｬｰ	

10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・ジェルカラーリング、アート、カラーポリッシュをタイムを計りながら行う。	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・ジェルカラーリング、アート、カラーポリッシュをタイムを計りながら行う。	
12	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・ジェルカラーリング、アート、カラーポリッシュをタイムを計りながら行う。	
13	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・ジェルカラーリング、アート、カラーポリッシュをタイムを計りながら行う。	
14	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・デモンストレーション ・ムラにならないような筆圧を覚える	
15	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・透けや不均一にならないようにｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝの練習を行う	
16	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・透けや不均一にならないようにｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝの練習を行う	
17	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・５本が均等になることを目指す	
18	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・５本が均等になることを目指す	
19	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・デモンストレーション ・スマイルラインの描き方	
20	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・スマイルラインの描き方 ・二種類の描き方を覚える	
21	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・５本のラインの幅、深さを揃える	
22	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・５本のラインの幅、深さを揃える	
23	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・両手の流れを確認し、スムーズに行う	
24	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・両手の流れを確認し、スムーズに行う	
25	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・両手の流れを確認し、スムーズに行う	
26	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	
27	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	

28	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	
29	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	
30	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	

教課指導案(シラバス)

校長	部長	部長代理	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ジェルネイルⅡ	実習	150時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期25　コマ	担当授業時数	50時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許　　美容師歴3年 日本ネイリスト協会本部認定講師 全国美容生活衛生同業組合連合会 SBSネイル指導講師 日本美容講師会会員 日本理容美容教育センターまつ毛エクステンション指導員資格 ストーリージェル３６５エデュケーター資格 クリストリオ社シルバーエデュケーター資格 ネイルサロン経営(14年)

学習の目的	JNAジェルネイル検定　　上級の内容を伝授する サロンワークに対応するジェルネイル技術の基礎とタイム管理
指導目標	JNAジェルネイル検定　上級の内容を伝授する また、その為に重要となるネイル技術全般を理解させる 就職に知識技術の伝達と、技術者として将来に役立つ知識の習得を目的とする
指導の要点及び留意点	授業の準備物、内容を伝え徹底させる ネイルを通して、顧客の心理や時間の大切さ、楽しさを伝える
評価の方法	各学期末試験によって決定　　１００点満点(配点未定) 授業態度、意欲、出席なども考慮対象とする

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA テクニカルシステム	ジェルネイル上級対応	ジェルの特徴と特性の説明 使用材料の説明、検定内容の確認	
2	P77-80	ジェルネイル上級対応 事前処理	ジェルの扱い方、セッティング ブラシワーク、手順の確認	
3		ジェルチップオーバーレイ ナチュラル	ハンドの使い方、チップ装着 アプリケーション	
4		ジェルチップオーバーレイ ナチュラル	ピンチのタイミング ファイリング手順	
5	P92-95	ジェルチップオーバーレイ フレンチ	ジェル単色コーティング方法 ブラシワーク	
6		ジェルチップオーバーレイ フレンチ	フレンチカラーリング 形の見極め	

7	P104-107	ジェルチップオーバーレイ フラワー	ジェルアート 色々な花の描き方	
8		ジェルチップオーバーレイ フラワー	カラーの色合わせ、ブラシワーク チップオーバーレイと合わせて	
9		ジェルチップオーバーレイ フラワー	検定内容に合わせてアートを決定 デザイン考案	
10		ジェルチップオーバーレイ フラワー、フレンチ	チップオーバーレイと組み合わせて 二種類制作	
11		ジェルチップオーバーレイ	三種類タイムトライアル 手順の確認、練習	
12	P67-72	ジェルスカルプチュア	フォームスカルプチュア 装着方法	
13		ジェルスカルプチュア	アプリケーション確認 ピンチのタイミング	
14		ジェルスカルプチュア	仕上がりの形の確認 ファイリング手順	
15		ジェルスカルプチュア	複数本の練習 形を揃える練習	
16		チップオーバーレイ	三種類の形を統一させる タイムトライアル	
17		フォームスカルプチュア	２本の形を統一させる タイムトライアル	
18		ジェルネイル検定上級対応	手順、時間配分確認	
19		ジェルネイル検定上級対応	苦手な部分の見直し	
20		ジェルネイル検定上級対応	ハンドの整え、セッティング確認 技術タイムトライアル	
21		ジェルネイル検定上級対応	タイムトライアル	
22		ジェルネイル検定上級対応	タイムトライアル	
23		ジェルネイル検定上級対応	タイムトライアル	
24		定期試験	ジェルネイル検定上級内容に準ずる	
25		ジェルネイル検定上級検定試験		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ジェルネイルⅡ	※講義もしくは実習	150時間

配当時間	1コマ90分　前・後期58コマ	担当授業時数	116時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	ジェルテクニックを増やし、サロンワークで対応できるようにする
指導目標	ジェルのさらなるレベルの高い技術が身につくように指導を行なう
指導の要点及び留意点	お客様から求められる質を目指すように指導する
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・ムラにならないように筆圧を注意して行う	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・ムラにならないように筆圧を注意して行う	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・繰り返し練習を行う ・透けに注意する	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・繰り返し練習を行う ・ムラ、透けに注意する ・すべての指が統一感のあるように仕上げる練習を行う	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・繰り返し練習を行う ・ムラ、透けに注意する ・すべての指が統一感のあるように仕上げる練習を行う	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・スマイルラインの描き方 ・二種類の描き方を練習する	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・スマイルラインの描き方 ・二種類の描き方を練習する	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・スマイルラインの描き方 ・すべてのラインの幅、深さを揃える練習を行う	

9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・繰り返し練習を行う ・統一感を出す	
10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・繰り返し練習を行う ・統一感を出す	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・デモンストレーション ・フォームの装着指導 ・イクステンションジェルの特徴を捉え操作方法を学ぶ	
12	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・フォームの装着指導 ・イクステンションジェルの特徴を捉え操作方法を学ぶ	
13	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・フォルムづくり ・削り方	
14	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・フォルムづくり ・削り方 ・繰り返し練習を行う	
15	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・フォルムづくり ・削り方 ・繰り返し練習を行う	
16	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・フォルムづくり ・削り方 ・繰り返し練習を行う	
17	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルオフ	・手際よくオフをする練習を行う	
18	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルオフ	・手際よくオフをする練習を行う	
19	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルオフ	・手際よくオフをする練習を行う	
20	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルオフ	・手際よくオフをする練習を行う	
21	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムを計り意識しながら作る	
22	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・全体のバランスを揃える	
23	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う	
24	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う	
25	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ	・チップサイズ選びの注意点を学び、きれいな土台作りができるように練習を行う	

26	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ	・チップサイズ選びの注意点を学び、きれいな土台作りができるように練習を行う	
27	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ	・筆の操作方法を学ぶ ・筆の動かしに注意し、バブルが入らないようにする	
28	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ	・繰り返し練習を行う ・ジェルの分量を覚える	
29	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ	・繰り返し練習を行う ・ジェルの分量を覚える	
30	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ	・繰り返し練習を行う ・ジェルの分量を覚える	
31	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルアート	・デモンストレーション ・花の描き方 ・様々な描き方を覚える	
32	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルアート	・花の描き方 ・ベースカラーとの調和を考える	
33	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルアート	・花の描き方 ・ベースカラーとの調和を考える ・繰り返し練習を行う	
34	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ	・デモンストレーション ・土台を作った上にジェルアートを描く	
35	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ ジェルデザイン	・土台を作った上にジェルアートを描く ・ジェルでオーバーレイする	
36	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ ジェルデザイン	・土台を作った上にジェルアートを描く ・ジェルでオーバーレイする	
37	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ ジェルデザイン	・繰り返し練習を行う	
38	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ フレンチカラーリング	・デモンストレーション ・土台を作り、ベースカラーを塗布する ・スマイルラインを描く	
39	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ フレンチカラーリング	・バランス良く描く	
40	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルチップオーバーレイ フレンチカラーリング	・繰り返し練習を行う	

41	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・デモンストレーション ・フォームの装着指導 ・イクステンションジェルの特徴を捉え、操作方法を学ぶ	
42	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・フォームの装着指導 ・イクステンションジェルの特徴を捉え、操作方法を学ぶ	
43	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・ﾋﾟﾝﾁの入れ方	
44	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・Ｃカーブの入れ方	
45	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・削り指導	
46	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・削り指導	
47	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・全体の流れを練習	
48	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・それぞれ作るものによってジェルの分量を調節	
49	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・全体の流れを練習 ・削り指導	
50	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う	
51	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・繰り返し練習を行う	
52		ジェルオフ	・マシーンによるオフを学ぶ	
53		ジェルオフ	・マシーンによるオフを学ぶ	
54		フィルイン	・マシーンによるフィルインの方法を学ぶ	
55		フィルイン	・マシーンによるフィルインの方法を学ぶ	
56		ジェルアート	・様々なアートの描き方を練習する	
57		ジェルアート	・様々なアートの描き方を練習する	
58		ジェルアート	・様々なアートの描き方を練習する	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルコーディネートI	※講義もしくは実習	190時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期50コマ	担当授業時数	100時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	アートセンスを磨き、サロンワークに対応できるようにする
指導目標	アートテーマに沿って作品制作を目指す アートテクニックを向上させる
指導の要点及び留意点	アート技術を学び、お客様への対応力を身につけさせる
評価の方法	作品提出により評価 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1		フラットアート	・絵の具の特徴を理解する	
2		フラットアート	・絵の具の特徴を理解する ・筆の使い方を学ぶ	
3		アートチップ	・デッサン画を描く ・テーマに沿ったアートを考える	
4		アートチップ	・デッサン画を描く ・テーマに沿ったアートを考える	
5		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・絵の具の特徴を理解する ・筆の使い方を学ぶ	
6		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・絵の具の特徴を理解する ・筆の使い方を学ぶ	
7		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・絵の具の特徴を理解する ・筆の使い方を学ぶ	

8		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・チップの中にバランスを考えながらデザインを描く	
9		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・チップの中にバランスを考えながらデザインを描く	
10		作品制作 アートチップ	・まとまりを考えながら作る	
11		作品制作 アートチップ	・まとまりを考えながら作る	
12.		作品制作 アートチップ	・ベースとなるポリッシュを選ぶ ・色合いを決める ・ﾍﾞｰｽｶﾗｰに対しﾊﾞﾗﾝｽ良く配色する	
13		作品制作 アートチップ	・ベースとなるポリッシュを選ぶ ・色合いを決める ・ﾍﾞｰｽｶﾗｰに対しﾊﾞﾗﾝｽ良く配色する	
14		作品制作 アートチップ	・テーマに沿ったデザインであるか ・繊細なアートに仕上げる	
15		３Ｄアート	・筆の使い方に注意させる	
16		３Ｄアート	・パウダーとリキッドの配合を理解させる	
17		３Ｄアート	・パウダーとリキッドの配合を理解させる	
18		３Ｄアート	・パウダーとリキッドの配合を理解させる	
19		３Ｄアート	・自分の好きなアートを作る	
20		３Ｄアート	・自分の好きなアートを作る	
21		エンボスアート	・筆の使い方に注意させる	
22		エンボスアート	・パウダーとリキッドの配合を理解させる	
23		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する	
24		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う	
25		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う	

			・様々な技法を使って練習を行う	
26		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う ・様々な技法を使って練習を行う	
27		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う ・様々な技法を使って練習を行う	
28		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う ・様々な技法を使って練習を行う	
29		ミックスメディアアート	・様々な 技法を合わせて作る	
30		ミックスメディアアート	・様々な 技法を合わせて作る	
31		ミックスメディアアート	・様々な 技法を合わせて作る	
32		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
33		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
34		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
35		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
36		レジンアート	・レジンの使用方法をレクチャーし、作り方の手順を理解させる	
37		レジンアート	・レジンの使用方法をレクチャーし、作り方の手順を理解させる	
38		レジンアート	・色々な型を使って作品をつくる ・仕上がりを意識しながら埋め込む	
39		レジンアート	・色々な型を使って作品をつくる ・仕上がりを意識しながら埋め込む	
40		レジンアート	・色々な型を使って作品をつくる ・仕上がりを意識しながら埋め込む	
41		レジンアート	・色々な型を使って作品をつくる ・仕上がりを意識しながら埋め込む	
42		レジンアート	・ミール皿にデザインして埋め込む	
43		レジンアート	・ミール皿にデザインして埋め込む	

44		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
45		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
46		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
47		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
48		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
49		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
50		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルコーディネートⅡ	※講義もしくは実習	240時間

配当時間	1コマ90分　100コマ	担当授業時数	200時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	ネイル技術の向上及びサロンワークに対応する能力の向上
指導目標	総合的なアートのセンスを身につけさせ、即サロンワークにつながる技術力を養う
指導の要点及び留意点	スピード及び仕上がりを重視したものを作らせる
評価の方法	作品提出による評価 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1		作品制作 アートチップ	・デッサンを行う ・自分でテーマを決める	
2		作品制作 アートチップ	・デッサンを行う ・自分でテーマを決める	
3		作品制作 アートチップ	・ﾃｰﾏを決め、ｵﾘｼﾞﾅﾘﾃｨのある作品を作る	
4		作品制作 アートチップ	・全体のバランス良くアート配置させる ・きれいな仕上がりを目指す	
5		作品制作 アートチップ	・全体のバランス良くアートを配置させる ・きれいな仕上がりを目指す ・自分のテーマに沿っているか	
6		作品制作 アートチップ	・デッサンを行う ・テーマを決め、それにちなんだ作品にする	
7		作品制作 アートチップ	・デッサンを行う ・モチーフを考える	
8		作品制作 アートチップ	・ベースカラーを決める ・アートを決める	

9		作品制作 アートチップ	・全体のバランス良くアート配置させる ・きれいな仕上がりを目指す	
10		作品制作 アートチップ	・全体のバランス良くアート配置させる ・きれいな仕上がりを目指す	
11		作品制作 アートチップ	・全体のバランス良くアート配置させる ・きれいな仕上がりを目指す	
12.		作品制作 アートチップ	・全体のバランス良くアート配置させる ・きれいな仕上がりを目指す	
13		作品制作 アートチップ	・エアーブラシを使ったアート ・ベースカラーを決定する ・どのような柄にするかを決める	
14		作品制作 アートチップ	・カッティングシートを使ったデザインを考える	
15		作品制作 アートチップ	・カッティングシートを使ったデザインを考える	
16		作品制作 アートチップ	・カッティングシートを切り出す ・デザイン配置に注意する	
17		作品制作 アートチップ	・カッティングシートを切り出す ・デザイン配置に注意する	
18		作品制作 アートチップ	・エアーブラシを使ったアート ・吹き付ける順番を注意しながら作る	
19		作品制作 アートチップ	・エアーブラシを使ったアート ・デザインの構成を考える ・吹き付ける順番を注意しながら作る	
20		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・デッサンを行う ・テーマを決め、それにちなんだ作品にする	
21		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・テーマを決め、それにちなんだ作品にする ・デッサンを行う	

22		作品制作 アートチップ	・テーマを決め、オリジナリティのある作品を作る	
23		作品制作 アートチップ	・テーマを決め、オリジナリティのある作品を作る	
24		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・アートの描く順序を間違えないように硬化させる	
25		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・アートの描く順序を間違えないように硬化させる	
26		作品制作 アートチップ	・デッサン ・テーマを決め、オリジナリティのある作品を作る	
27		作品制作 アートチップ	・デッサン ・テーマを決め、オリジナリティのある作品を作る	
28		作品制作 アートチップ	・テーマを決め、オリジナリティのある作品を作る ・チップサイズを測り、チップ削り	
29		作品制作 アートチップ	・カラーリング及びアート作成	
30		作品制作 アートチップ	・カラーリング及びアート作成 ・パーツ作り	
31		作品制作 アートチップ	・カラーリング及びアート作成 ・パーツ作り	
32		作品制作 アートチップ	・パーツ作り ・細かいパーツを組み合わせる ・全体のバランスをチェックする	
33		作品制作 アートチップ	・仕上げ ・細かいパーツを組み合わせる ・全体のバランスをチェックする ・トップコートで仕上げる	
34		作品制作 レジンアート	・デザインを決める	
35		作品制作 レジンアート	・オリジナルのアートを作成する	
36		作品制作 レジンアート	・オリジナルのアートを作成する	
37		作品制作	・ジェルアート ・テーマを考え、デッサンを行う	

38		作品制作	・ジェルアート ・テーマを考え、デッサンを行う ・色、チップの形などを考える	
39		作品制作	・ジェルアート ・様々な技法を組み合わせて作る	
40		作品制作	・ジェルアート ・様々な技法を組み合わせて作る	
41		作品制作	・ジェルアート ・様々な技法を組み合わせて作る ・パーツの組み合わせなどバランス良く仕上げる	
42		作品制作	・ジェルアート ・様々な技法を組み合わせて作る ・パーツの組み合わせなどバランス良く仕上げる	
43		作品制作	・ミックスメディアアート ・様々な技法を合わせて作る ・テーマを決める	
44		作品制作	・ミックスメディアアート ・様々な技法を合わせて作る ・デッサン	
45		作品制作	・ミックスメディアアート ・様々な技法を合わせて作る ・デッサン	
46		作品制作	・ミックスメディアアート ・様々な技法を合わせて作る ・色及び爪の長さを決める	
47		作品制作	・ミックスメディアアート ・様々な技法を合わせて作る ・色及び爪の長さを決める	
48		作品制作	・ミックスメディアアート ・様々な技法を合わせて作る ・パーツ作り	
49		作品制作	・ミックスメディアアート ・大まかなデザインを決め、バランスを見ながら作る	
50		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツ作り	
51		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツ作り	
52		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツ作り	

53		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツを組み合わせて仕上げる	
54		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツを組み合わせて仕上げる ・全体のバランスを考える	
55		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツを組み合わせて仕上げる ・全体のバランスを考える	
56		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツを組み合わせて仕上げる ・全体のバランスを考える	
57		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツを組み合わせて仕上げる ・全体のバランスを考える	
58		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツを組み合わせて仕上げる ・全体のバランスを考える	
59		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツを組み合わせて仕上げる ・全体のバランスを考える	
60		作品制作	・ミックスメディアアート ・パーツを組み合わせて仕上げる	
61		作品制作	・エンボスアート ・エンボスアートで作品を作る	
62		作品制作	・エンボスアート ・エンボスアートで作品を作る	
63		作品制作	・エンボスアート ・ベースカラーのデザインも行う	
64		作品制作	・エンボスアート ・ベースカラーのデザインも行う	
65		作品制作	・エンボスアート ・バランス良くなるようにデザインを組み合わせる	
66		作品制作	・エンボスアート ・バランス良くなるようにデザインを組み合わせる	
67		作品制作	・エンボスアート ・パーツの組み合わせる際の配置を考えて行う	
68		作品制作	・エンボスアート ・パーツの組み合わせる際の配置を考えて行う	

69		作品制作	・エンボスアート ・全体の仕上げ	
70		作品制作	・エンボスアート ・全体の仕上げ	
71		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・デッサンを行う ・テーマを決め、それにちなんだ作品にする	
72		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・テーマを決め、それにちなんだ作品にする ・デッサンを行う	
73		作品制作 アートチップ	・テーマを決め、オリジナリティのある作品を作る	
74		作品制作 アートチップ	・テーマを決め、オリジナリティのある作品を作る	
75		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・アートの描く順序を間違えないように硬化させる	
76		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・アートの描く順序を間違えないように硬化させる	
77		作品制作 アートチップ	・カラーリング及びアート作成	
78		作品制作 アートチップ	・カラーリング及びアート作成	
80		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・デッサンを行う ・テーマを決め、それにちなんだ作品にする	
81		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・テーマを決め、デッサンを行う	
82		作品制作 アートチップ	・テーマを決め、オリジナリティのある作品を作る	
83		作品制作 アートチップ	・テーマを決め、オリジナリティのある作品を作る	
84		作品制作 アートチップ	・ジェルアート ・アートの描く順序を間違えないように硬化させる	
85		作品制作 アートチップ	・カラーリング及びアート作成	

86		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける アクリルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
87		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける アクリルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する耐久性を持たせる指導	
88		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける アクリルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
89		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける アクリルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する耐久性を持たせる指導	
90		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける ジェルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
91		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける ジェルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
92		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける ジェルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
93		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける ジェルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
94		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける ジェルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
95		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける ジェルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
96		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける ジェルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
97		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける アクリルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
98		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける アクリルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する耐久性を持たせる指導	

99		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける アクリルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する	
100		サロンワーク練習	サロンで必要な技術を身に着ける アクリルスカルプチュア 人体に着ける技術を練習する耐久性を持たせる指導	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和５年度 １年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ウエルネス理論Ⅰ （皮膚科学）	講義	90 時間

配当時間	１コマ 90 分　　前･後期　28 コマ	担当授業時数	56 時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年

学習の目的	エステティック技術の基本となる皮膚とスキンケアの関係を「皮膚の基本知識、美容上大切な皮膚の６つの働き、肌の美しさを損ねる要因、さまざまな肌状態、肌と環境、肌分析」という視点から理解する
指導目標	皮膚は私たちの身体を守るバリアとして、体表面全体を覆う最大の臓器であり、紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしていることを理解させる。 皮膚の働きと仕組みを理解し、美しく健康な肌へと導くスキンケア方法を学習させる。
指導の要点及び留意点	エステティック技術の基礎となる皮膚の構造と機能に関する基本的な知識を学ばせる。 肌状態の種類、肌の健康への阻害要因、具体的な例を交えて理解させる
評価の方法	学期末試験成績：１００点満点（配点未定）予定 出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基本知識	板書＆教本ライン ・皮膚の役割 ・３面鏡（美しい肌を保つ条件） ・皮膚の構造と働き	
2	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基本知識	板書＆教本ライン ・皮膚の３層構造 ・発生過程（外胚葉由来：皮脳同根） ・皮膚の断面図（A4 用紙に図示） ・表皮の付属器官（名称のみ）	
3	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基礎知識	板書＆教本ライン ・表皮の層構造 ・角質層、顆粒層、有棘層、基底層 ・透明層 ・角質層（バリア機能） ・角化作用とターンオーバー	
4	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基礎知識	板書＆教本ライン ・表皮の付属器官（構造と働き） ・真皮の構造と働き ・乳頭層と網状層 ・皮下組織の構造と働き	

5	理論編Ⅰ	Lesson2 美容上大切な皮膚の６つの働き １．皮脂膜	板書&教本ライン ・皮脂膜&皮脂腺 ・皮脂分泌過剰による肌状態 ・皮脂分泌量の変化（要因） ・皮脂の主成分	
6	理論編Ⅰ	Lesson2 美容上大切な皮膚の６つの働き ２．角質層バリア ３．表皮ターンオーバー	板書&教本ライン ・角質層バリア（レンガ構造） ・表皮ターンオーバー ・不全角化の要因	
7	理論編Ⅰ	Lesson2 美容上大切な皮膚の６つの働き ４．メラノサイトの働き	板書&教本ライン ・人種による肌色の違い ・メラニンの種類&量 ・日焼け反応 ・メラニン色素生成のメカニズム	
8	理論編Ⅰ	Lesson2 美容上大切な皮膚の６つの働き ５．毛細血管の働き ６．線維芽細胞 ７．皮膚の働きのバランス	板書&教本ライン ・毛細血管の働き ・線維芽細胞の働き ・線維芽細胞の老化（真皮の変化） ・皮膚の働きのバランス	
9	理論編Ⅰ	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 １．紫外線	板書&教本ライン ・紫外線（UVA、UVB、UVC） ・紫外線の肌への影響 ・紫外線量の変化（環境及び季節）	
10	理論編Ⅰ	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 ２．寒気 ３．乾燥 ４．エイジング	板書&教本ライン ・寒気 ・乾燥 ・エイジング 各要因の肌への影響について説明	
11	理論編Ⅰ	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 ５．女性のリズム ６．精神的ストレス ７．胃腸の不調 ８．生活習慣	板書&教本ライン ・月経、妊娠、更年期 ・精神的ストレス ・胃腸の不調（消化不良、便秘） ・生活習慣 各要因の肌への影響について説明	
12	理論編Ⅰ	Lesson4 さまざまな肌状態 １．肌意識の年代変化 ２．美しい肌	板書&教本ライン ・肌悩みの年代別変化 ・美しい肌の条件（うなはだけつ） ・美肌を損なう要因 ・美肌ケアの基本	
13	理論編Ⅰ	Lesson4 ３．衰えた肌	板書&教本ライン ・トラブル肌「老化」 ・老化の要因、メカニズム、肌変化	

14	理論編Ⅰ	Lesson4 ３．衰えた肌	板書＆教本ライン ・トラブル肌「老化」 ・肌変化（表皮＆真皮） ・シワの種類 ・老化要因及びお手入れ方法	
15	理論編Ⅰ	Lesson4 ４．色素沈着を起こした肌	板書＆教本ライン ・トラブル肌「シミ」 ・シミの要因、メカニズム、肌変化 ・シミの種類（先天性＆後天性） ・シミ要因及びお手入れ方法	
16	理論編Ⅰ	Lesson4 ５．ニキビ	板書＆教本ライン ・トラブル肌「ニキビ」 ・ニキビの発生過程 ・ニキビの種類（白、黒、赤、黄） ・ニキビ発生のメカニズム	
17	理論編Ⅰ	Lesson4 ５．ニキビ ６．肌荒れと敏感	板書＆教本ライン ・トラブル肌「ニキビ」 ・ニキビの要因及びお手入れ方法 ・ニキビ肌お手入れポイント ・トラブル肌「敏感」 ・敏感肌の分類	
18	理論編Ⅰ	Lesson4 ６．肌荒れと敏感	板書＆教本ライン ・トラブル肌「敏感」 ・アレルギー＆アトピー体質 ・バリア機能低下による敏感 ・敏感要因及びお手入れ方法	
19	理論編Ⅰ	パック概論	板書 ・皮膚の経皮吸収について ・経皮吸収を高める条件 ・衛生面の重要性	
20	理論編Ⅰ	Lesson5 肌と環境 Lesson6 肌分析	板書＆教本ライン ・肌と地域気候 ・肌と気象の季節区分 ・肌分析 ・肌タイプ（４分類） ・カウンセリングシート記入法例	
21	プリント	肌トラブル別一覧表	プリント＆ライン ・肌トラブルの特徴 ・推奨化粧品＆トリートメント ・ホームケアアドバイス	
22	理論編Ⅰ プリント	肌トラブル小論文作成	小論文作成 テーマ：肌トラブル	

23	理論編Ⅰ プリント	肌トラブル小論文作成	小論文作成 テーマ：肌トラブル	
24	理論編Ⅰ	ウエルネス ◇テスト	筆記テスト	
25	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説＆解答 ・皮膚科学（プリント使用）	
26	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説＆解答 ・皮膚科学（プリント使用）	
27	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説＆解答 ・皮膚科学（プリント使用）	
28	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説＆解答 ・皮膚科学（プリント使用）	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ウェルネス理論Ⅰ	講義	90時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　22コマ	担当授業時数	44時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	エステティシャン実務経験 CIDESCO取得 AJESTHE 認定上級エステティシャン

学習の目的	1. エステティックのトリートメントを正しく行うために、人体の構造や機能についてしっかり理解させる。 2. 美容へのより深い知識に結びつける。
指導目標	1. 人体の構造などを正しく理解させ、禁忌施術を防ぐ。 2. 美容への知識を深め個々のカウンセリングに役立てる。
指導の要点及び留意点	学び得た知識がエステティックトリートメントに活用できるように、グループワークも含め自主的な学習を促していく。
評価の方法	出席状況や授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学理論編Ⅰ	C1-L1　生命	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
2	新エステティック学理論編Ⅰ	L2　　ホメオスタシス	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
3	新エステティック学理論編Ⅰ	L3　　ホメオスタシスを制御するしくみ	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
4	新エステティック学理論編Ⅰ	L4　　ストレス	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
5	新エステティック学理論編Ⅰ	まとめと復習	プリント	
6	新エステティック学理論編Ⅰ	C2-L1　身体の基本 身体の構成	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
7	新エステティック学理論編Ⅰ	L2　　骨格系・筋系	板書 プリント 教科書及び専門書を活用し講義	
8	新エステティック学理論編Ⅰ	L3　　神経系 神経細胞	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
9	新エステティック学理論編Ⅰ	中枢神経系	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
10	新エステティック学理論編Ⅰ	末梢神経系	板書 教科書及び専門書を活用し講義	

11	新エステティック学 理論編Ⅰ	自律神経系	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
12	新エステティック学 理論編Ⅰ	L4　感覚 感覚の分類	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
13	新エステティック学 理論編Ⅰ	L5　内分泌系 内分泌の役割	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
14	新エステティック学 理論編Ⅰ	復習	プリント	
15	新エステティック学 理論編Ⅰ	L6・L7　呼吸器系・循環器系 血液、リンパ循環	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
16	新エステティック学 理論編Ⅰ	L7・L8　循環器系・消化器系 血液、リンパ循環	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
17	新エステティック学 理論編Ⅰ	L9・L10　泌尿器系・生殖器系	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
18	新エステティック学 理論編Ⅰ	総復習	プリント	
19	新エステティック学 理論編Ⅰ	総復習	プリント	
20	新エステティック学 理論編Ⅰ	センター試験対策	プリント	
21	新エステティック学 理論編Ⅰ	センター試験対策	プリント	
22	新エステティック学 理論編Ⅰ	センター試験対策	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ウエルネス理論Ⅱ	講義	90時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　50コマ	担当授業時数	100時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	1年次で学んだ生理解剖学の基礎をベースに、シデスコレベルに向けて、より深い知識を習得させる。人体の構造と機能を深く理解することで、エステティック施術のクオリティを向上させる。
指導目標	人体を構成している最小単位「細胞」から「組織」「器官」「系統」と1年次の復習を兼ねて、1つ1つの項目を深く学び、シデスコ試験合格レベルの知識を習得させる。 理解度を高めて、個々にあった施術の組み立てや口頭質問に対応できる能力を身につけさせる。
指導の要点及び留意点	シデスコに向けて教本以外の理論も、板書や図示、プリント、資料を使用し、学習させるとともに、具体的な例やカラー写真等を交えて理解度を高める授業を行う。
評価の方法	学期末試験成績：１００点満点（配点未定）予定 出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント 参考資料	生理解剖学① ◇細胞	板書 ・生理解剖学とは（学ぶ必要性） ・人体構成の仕組み ・細胞の構造	
2	プリント 参考資料	生理解剖学② ◇組織と器官	板書&プリント①（確認用） ・細胞分裂 ・組織と器官 ・上皮組織	
3	プリント 参考資料	生理解剖学③ ◇組織	板書 ・支持組織 ・結合組織 ・骨組織と軟骨組織	
4	プリント 参考資料	生理解剖学④ ◇組織	板書&プリント②（確認用） ・血液とリンパ ・筋組織 ・神経組織	
5	プリント 参考資料	生理解剖学⑤ ◇骨格系	板書&プリント③（確認用） ・骨格系 ・骨の構造 ・骨の分類	

6	プリント 参考資料	生理解剖学①～⑤復習	プリント①～③配布 復習	
7	プリント 参考資料	生理解剖学⑥ ◇消化器系	板書 ・消化器系 ・消化器の構成 ・消化管の機能 ・口腔、咽頭、食道、胃	
8	プリント 参考資料	生理解剖学⑦ ◇消化器系	板書&プリント④（確認用） ・小腸、大腸、肛門 ・肝臓	
9	プリント 参考資料	生理解剖学⑧ ◇呼吸器系	板書 ・呼吸器系 ・呼吸器系の構成 ・呼吸器系の機能	
10	プリント 参考資料	生理解剖学⑨ ◇呼吸器系	板書&プリント⑤（確認用） ・ガス交換 ・肺の構造	
11	プリント 参考資料	生理解剖学⑥～⑨復習	プリント④～⑤配布 復習	
12	プリント 参考資料	生理解剖学⑩ ◇循環器系	板書 ・循環器系 ・大循環と小循環 ・心臓	
13	プリント 参考資料	生理解剖学⑪ ◇泌尿器系	板書 ・泌尿器系 ・泌尿器系の構成 ・腎臓（位置と構成） ・腎臓の機能	
14	プリント 参考資料	生理解剖学⑫ ◇泌尿器系	板書&プリント⑥（確認用） ・尿生成のしくみ ・ネフロン ・糸球体と尿細管 ・尿管、膀胱、尿道	
15	プリント 参考資料	生理解剖学⑩～⑫復習	プリント⑥配布 復習	
16	プリント 参考資料	生理解剖学⑬ ◇内分泌系	板書&プリント⑦（確認用） ・内分泌系 ・内分泌と外分泌 ・内分泌（ホルモン） ・ホルモンの総体的な働き ・内分泌腺（部位・・プリント使用）	

17	プリント 参考資料	生理解剖学⑭ ◇内分泌系	板書 ・下垂体 ・フィードバックの仕組み ・前葉 ・中間部 ・後葉 各分泌ホルモンの種類&働きを説明	
18	プリント 参考資料	生理解剖学⑮ ◇内分泌系	板書&プリント⑦（確認用） ・甲状腺 ・上皮小体（副甲状腺） ・副腎 ・副腎皮質&副腎髄質 各分泌ホルモンの種類&働きを説明	
19	プリント 参考資料	生理解剖学⑯ ◇内分泌系	板書 ・膵臓（ランゲルハンス島） ・卵巣 ・精巣 各分泌ホルモンの種類&働きを説明 ・ホルモン総復習（プリント）	
20	プリント 参考資料	生理解剖学⑬～⑯復習	プリント⑦配布 復習	
21	プリント 参考資料	生理解剖学⑰	総復習（テスト対策）	
22	プリント	生理解剖学⑱ ◇テスト	筆記テスト	
23	プリント	リンパドレナージュ理論①	板書 ・リンパとは ・生命の誕生 ・リンパドレナージュ ・リンパドレナージュの効果 ・禁忌事項 ・注意が必要な対象者	
24	プリント	リンパドレナージュ理論②	板書 ・リンパ液について ・リンパ系 ・リンパ管 ・２通りのリンパの大きな流れ	
25	プリント	リンパドレナージュ理論③	板書 ・リンパの流れ（静脈血に合流） ・血管系（循環器系） ・リンパ節 ・リンパ系の主な働き	

26	プリント	リンパドレナージュ理論④	板書 ・リンパドレナージュの技術 ・ＭＬＤのテクニック ・テクニックのポイント ・デモンストレーション（ウィッグ）	
27	プリント	ボディトラブル理論 ◇むくみ（水分停滞）	板書&プリントライン ・むくみとは ・原因&対処法	
28	プリント	ボディトラブル理論 ◇セルライト	板書&プリントライン ・セルライトとは ・セルライトの程度（３段階レベル） ・原因&対処法	
29	プリント	ボディトラブル理論 ◇冷え性	板書&プリントライン ・冷え性とは ・冷え性による身体の不調 ・原因&対処法	
30	プリント	ボディトラブル理論 ◇ストレッチマーク	板書&プリントライン ・ストレッチマークとは ・原因&対処法	
31	プリント	ボディトラブル理論 総合復習	板書&プリント ・ボディトラブル総合 ・むくみ（水分停滞）、セルライト 冷え症、ストレッチマーク ・ケースヒストリー対策	
32	プリント	低周波理論①	板書 ・ＥＭＳとは ・筋肉とは ・筋肉の構造 ・筋肉の収縮	
33	プリント	低周波理論②	板書 ・筋肉運動とその効果 ・筋肉疲労（原理） ・骨格筋とその機能について ※各名称と位置（プリント使用） ・拮抗筋と共同筋 ・アイソメトリックス	
34	プリント	低周波理論③	板書 ・モーターポイントについて ・セルライト ・ＥＭＳボディ機器とは ・周波数（パルス）	

35	プリント	低周波理論④	板書 ・ＥＭＳが刺激できる深さ ・パルス幅 ・出力 ・パルス電流 ・波形	
36	プリント	低周波理論⑤	板書 ・効果＆目的 ・トリートメント手順 ※３段階の感覚を含め説明 ・位相（モード） ・パディングの種類	
37	プリント	低周波理論⑥	板書 ・筋収縮が起きない理由 ・痛みを感じる場合の原因 ・注意事項＆禁忌事項 ・衛生面（パッド＆ストラップ）	
38	プリント	プライムライン ◇姿勢	板書＆プリントライン ・重力と姿勢 ・カウンターバランスと拮抗関係 ・骨盤の役割 ・骨盤のゆがみ ・正しい姿勢を保つには ・脊柱（前/後/側）弯症	
39	プリント	プライムライン ◇CIDESCO シート	プリント ・相モデルトレーニング プライムラインボディ分析	
40	プリント	３９の反復	プリント ・相モデルトレーニング プライムラインボディ分析	
41	プリント	体型	板書＆プリント ・体型の分類 ・外胚葉 ・中胚葉 ・内胚葉 ・体型に基づくボディ分析	
42	プリント	ボディ分析 採寸～プライムライン	板書＆プリント ・CIDESCO ボディ分析方法 ・採寸～プライムライン、体型 肌状態、ボディトラブルチェック ・デモンストレーション ※１連の流れを確認する	

43	プリント	ボディ分析 採寸～プライムライン	プリント ・相モデルトレーニング ※１連の流れを確認する	
44	プリント	４３の反復	プリント ・相モデルトレーニング ※１連の流れを確認する	
45	プリント	４３、４４の反復	プリント ・相モデルトレーニング ※ボディトラブルの確認 トラブルチェックのポイント	
46	プリント	４３、４４の反復	プリント ・相モデルトレーニング ※ボディトラブルの確認 トラブルチェックのポイント	
47	プリント	４５、４６の反復	プリント ・相モデルトレーニング ※タイムを計り手際よく行わせる	
48	プリント	４５、４６の反復	プリント ・相モデルトレーニング ※タイムを計り手際よく行わせる	
49	プリント 参考資料	ウエルネス ◇まとめ①	プリント ・ケースヒストリー ・MCQ 対策	
50	プリント 参考資料	ウエルネス ◇まとめ②	プリント ・ケースヒストリー ・MCQ 対策	

教課指導案(シラバス)

校長	部長	部長代理	課長	担当教員

2023 年度 1 年生	科　目	授業方法	総授業時数
	インナービューティー関係論Ⅰ	講義	70 時間

配当時間	1 コマ 90 分　前･後期　38 コマ	担当授業時数	76 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師
学習の目的	基礎的な栄養学や生理学、物理的反応を学び、その学びから得た知識をエステティックへ応用できるようにする。		
指導目標	身体の内側、または内面の状態を栄養学、生理学、物理的反応などから正しく読み取れる力を身に着けさせ、また、お客様とのコミュニケーションの中で役立つアドバイスに繋がる知識を身につけ、エステティックの効果を更に高められるよう指導する。		
指導の要点及び留意点	授業は講義とグループワークや発表などを中心とする。学生が自身のこれまでの経験や知識を活用しながら、学生が自ら学ぶ授業となるよう展開していく。		
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記試験の結果を考慮して成績を評価する。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学① ・学ぶ目的（Ｐ７） Ｌ１．栄養学の基礎知識（Ｐ８～） １、栄養素の種類 ２、５大栄養素 １）蛋白質、アミノ酸	講義	
2	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学② ２）脂質	講義	
3	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学③ ３）炭水化物 ４）無機質と水	講義	
4	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学④ ５）ビタミン ３、栄養価（Ｐ２５～） １）エネルギー価	講義	
5	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑤ ２）蛋白質の栄養価 ４、栄養所要量（Ｐ２６～） １）基礎代謝 ２）１日に必要な栄養所要量	講義	

6	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑥ ５、食物摂取とその消化吸収 １）飲食物摂取量の調節 ２）飲食物の消化吸収	講義	
7	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑦ ６、栄養学からみた食品 １）食品の分類 ２）各食品の栄養学的特徴	講義	
8	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑧ Ｌ２．健康と栄養（Ｐ３９～） １、栄養状態の判定 １）栄養歴 ２）視診と身体検査 ２、肥満 １）体型バランス ２）体型バランスの表現法	講義	
9	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑨ ３）美しく見えるプロポーション ４）体型バランスの加齢変化 ５）肥満の原因	採寸・メジャー 講義	
10	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑩ ６）肥満の生理状態 ７）肥満の治療 ３、中・老年期の栄養 １）中・老年期の特徴 ２）生活習慣病と栄養 ４、美容と栄養 １）ボディライン作りの栄養 ２）美肌作りの栄養 Ｌ３．サプリメント Ｌ４．食品添加物（Ｐ５０～） 教科書まとめ・センター対策	講義 プリント	
11	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学① ・学ぶ目的（Ｐ５３） Ｌ１．化粧品概論（Ｐ５４～） １、化粧品、医薬部外品と薬事法 ２、化粧品の分類 ３、化粧品の品質と品質保証 ４、化粧品の取り扱い上の留意点	講義	

12	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学② Ｌ２．フェイシャル化粧品 １、目的と働き ２、洗顔化粧品	講義	
13	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学③ ３、整肌 ４、賦活	講義	
14	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学④ Ｌ３．ボディ化粧品 １、目的と働き ２、洗顔料 ３、シェイプアップ料 ４、サンケア料 ５、制汗、防臭料	講義	
15	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑤ ６、浴用料 ７、脱毛料 Ｌ４．メイクアップ化粧品 １、目的と働き ２、ベースメイクアップ ３、ポイント Ｌ５．ネイル化粧品 １、目的と働き ２、ネイルポリッシュ ３、ポリッシュリムーバー Ｌ６．ヘアケア Ｌ７．フレグランス	講義	
16	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑥ Ｌ８．化粧品の原料	講義	
17	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑦ Ｌ９．薬剤とその働き	講義	
18	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑧ まとめ	プリント	
19	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング① ・学ぶ目的（Ｐ１０７） Ｌ１．エステティックカウンセラーの役割 １、カウンセリングとコンサルティング ２、ソワンエステティックの担い手として ３、悩みを解決へと導く心理学療法 ４、ストレスにより「ホメオスタシス」も低下 ５、エステティックサロンに求められるもの	講義	

20	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング② Ｌ２．心のメカニズムと顧客心理 １、「意識」「情動」「欲求」 ２、「顧客心理」４つのポイント ３、聴き上手になろう ４、話し上手になろう	講義	
21	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング③ Ｌ３．カウンセリングの流れ １、受付での対応 ２、ビフォーカウンセリング ３、施術中のカウンセリング ４、アフターカウンセリング ５、退店での対応	講義	
22	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング④ Ｌ４．カウンセリング手順 １、サロン内の環境 ２、コンサルテーションシート ３、肌性及びトラブルに対する判断 ４、体型と体質の判断 ５、カウンセリング機器	講義	
23	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング⑤ まとめ	プリント	
24	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング⑥ センター試験対策	プリント	
25	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学① ・学ぶ目的（Ｐ１４５） Ｌ１．運動生理学とは（Ｐ１４６～） １、運動の必要性 ２、運動の効果 ３、筋肉について ４、筋収縮のエネルギー	講義	
26	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学② ５、筋疲労と超回復 ６、呼吸・心臓と運動 ７、血液と運動 Ｌ２．運動とアンチエイジング １、筋肉と老化 ２、呼吸・心臓と老化 ３、骨・関節と老化 ４、メタボリックシンドローム	講義	
27	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学③ ５、ストレスと運動	講義	

		Ｌ３．運動と代謝（Ｐ１５４～） １、エネルギー代謝とは ２、糖質と代謝 ３、脂質と代謝 ４、蛋白質と代謝 ５、基礎代謝と運動 ６、消費カロリー		
28	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学④ Ｌ４．運動プログラム（Ｐ１５７～） １、運動プログラムの作り方 ２、運動の種類 ３、運動・トレーニングの原則 ４、運動の強度 ５、運動の持続時間・頻度 ６、運動と消費カロリー Ｌ５．姿勢・ポジショニング １、姿勢の維持	講義	
29	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学⑤ １）重力と姿勢 ２）カウンターバランスと拮抗関係 ３）骨盤の役割 ４）股関節の重要性	講義	
30	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学⑥ ２、動作と姿勢の関係 １）動作がおよぼす技術への影響 ２）姿勢と故障の関係性 Ｌ６．運動の実際（Ｐ１７０～）	講義	
31	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学⑦ まとめ	プリント	
32	新エステティック学 理論編Ⅱ	総まとめ・センター試験対策	プリント	
33	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学① ・学ぶ目的（Ｐ１７５） Ｌ１．電気理論（Ｐ１７６～） １、電機の基礎知識 １）原子と自由電子 ２）化学結合の３種類 ３）電流と電子 ４）オームの法則、電力及び電気量	講義	
34	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学② ５）動電気と静電気	講義	

		6）電流の３大作用 7）直流と交流		
35	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学③ Ｌ２．人体と電気（Ｐ１８６～） １、「化学物質による情報伝達」と「電気的情報伝達」 ２、電気信号伝達のメカニズム 1）細胞の活動電位とイオンの移動 2）活動電位と情報の伝播	講義	
36	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学④ Ｌ３．エステティック機器の種類と原理 １、エステティック機器の種類と原理 ２、エステティック機器の原理 1）トリートメント機器の原理 2）カウンセリング機器の原理	講義	
37	プリント	教科書総まとめ	プリント	
38	プリント	テスト対策	テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和５年度 ２年生	科　目	授業方法	総授業時数
	インナービューティー関係論Ⅱ	講義＆実習	60 時間

配当時間	１コマ 90 分　33 コマ	担当授業時数	66 時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年

学習の目的	シデスコレベルに向けて、より深く学ぶ必要がある美容電気学（フェイシャル：総合機器、高周波、低周波）（ボディ：Ｇ５、サクション、ＥＭＳ、ガルバニック）や化粧品学（シデスコ使用ランナップすべての化粧品）を学ぶ。
指導目標	美容電気学：シデスコ必須科目にあたる機器すべてのメカニズム、効果、禁忌、注意事項などを学び理解力を深め、施術しながらでも口頭質問に答えられるように指導する。 化粧品学：使用化粧品すべての主要成分とその効果、使用方法、クライアントへの選択理由などを学び、深く理解させるとともに、暗記させる。
指導の要点及び留意点	シデスコに向けて教本以外の理論も、板書や図示、プリント、資料を使用し、学習させるとともに、個々のクライアント向けに選定できる能力を身につけさせる。
評価の方法	学期末試験成績：１００点満点（配点未定）予定 出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	美容電気学① ◇フェイシャル総合機器	板書＆プリント ・アロマミスト ・フリマトール ・スプレイ ・ヴァキューム ・アイオノス 各工程、メカニズムや目的＆効果、注意、禁忌、選択ポイントを説明 ◇ディスインクラステーション ◇イオントフォレーゼ ◇極性効果	
2	プリント	美容電気学② ◇フェイシャル総合機器	板書＆プリント ・パター ・パター施術工程説明 ・ペルチェ ・ペルチェ施術工程説明 各工程、メカニズムや目的＆効果、注意、禁忌、選択ポイントを説明 ◇パター ◇リンパドレナージュ	

3	プリント	パター	デモンストレーション 相モデルトレーニング ・クレンジング～パター～仕上げ	
4	プリント	３の反復	相モデルトレーニング ・クレンジング～パター～仕上げ	
5	プリント	美容電気学③ ◇フェイシャル高周波	板書&プリント ・高周波 ・ダイレクト法 ・インダイレクト法 ・閃光法 各メカニズムや目的&効果、注意、禁忌、選択ポイントを説明	
6	プリント	高周波（フェイシャル）	デモンストレーション 相モデルトレーニング ・クレンジング～高周波～仕上げ ・ダイレクト法 ・インダイレクト法 ・閃光法	
7	プリント	６の反復	相モデルトレーニング ・クレンジング～高周波～仕上げ ・ダイレクト法 ・インダイレクト法 ・閃光法	
8	プリント	美容電気④ ◇フェイシャル低周波	板書&プリント ・低周波 ・表情筋と咬筋（プリント） 筋収縮のメカニズムや目的&効果、注意、禁忌、選択ポイントを説明	
9	プリント	低周波（フェイシャル）	デモンストレーション 相モデルトレーニング ・クレンジング～低周波～仕上げ	
10	プリント	９の反復	相モデルトレーニング ・クレンジング～低周波～仕上げ	
11	プリント	美容電気学⑤ ◇ボディＧ５	板書&プリントライン ・Ｇ５とは ・目的&効果 ・アタッチメントの種類 ・ヘッドと手技の関係性 ・セルライト（硬い脂肪） ・周波数 ・トリートメント時間&推奨頻度	

12	プリント	美容電気学⑥ ◇ボディＧ５	板書&プリントライン ・注意事項 ・禁忌事項 ・衛生面 ・口頭質問例	
13	プリント	美容電気学⑦ ◇ボディガルバニック	板書&プリントライン ・ボディガルバニックとは ・目的&効果（化粧品成分含む） ・セルライト ・プレトリートメント ・トリートメント時間 ・推奨頻度と期間 ・注意事項	
14	プリント	美容電気学⑧ ◇ボディガルバニック	板書&プリントライン ・施術不可の部位 ・禁忌事項 ・衛生面 ・口頭質問例	
15	プリント	美容電気学⑨ ◇ボディ低周波	板書&プリントライン ・ＥＭＳとは ・筋収縮のメカニズム ・筋組織の復習 ・電流の種類 ・目的&効果	
16	プリント	美容電気学⑩ ◇ボディ低周波	板書&プリントライン ・周波数 ・パルス幅 ・収縮と弛緩 ・位相（モノ or バイ） ・配列（パディングの種類） ・共同筋&拮抗筋 ・パディング例（前面） ・パディング例（後面）	
17	プリント	美容電気学⑪ ◇ボディ低周波	板書&プリントライン ・トリートメント時間 ・推奨頻度と期間 ・注意事項 ・良い筋収縮が得られない理由 ・禁忌事項 ・衛生面 ・口頭質問例	

18	プリント	美容電気学⑫ ◇ボディサクション	板書&プリントライン ・ボディサクションとは ・循環器系の復習 ・リンパ液 ・体循環経路 ・血管系 ・リンパ管系	
19	プリント	美容電気学⑬ ◇ボディサクション	板書&プリントライン ・リンパの流れ ・リンパ節 ・リンパ系の主な働き ・目的&効果 ・水分停滞&セルライト	
20	プリント	美容電気学⑭ ◇ボディサクション	板書&プリントライン ・トリートメント時間 ・推奨頻度と期間 ・注意事項 ・禁忌事項 ・施術を行う際の大切なテクニック ・施術を行う際のポイント ・衛生面 ・口頭質問例	
21	プリント	化粧品学① ◇CIDESCO フェイシャル	板書&プリント ・化粧品成分、効果、テクスチャー ・ポイント剤 ・クレンジング剤 ・ディープクレンジング剤	
22	プリント	化粧品学② ◇CIDESCO フェイシャル	板書&プリント ・化粧品成分、効果、テクスチャー ・イオン導入剤 ・マッサージ剤	
23	プリント	化粧品学③ ◇CIDESCO フェイシャル	板書&プリント ・化粧品成分、効果、テクスチャー ・マスク剤 ・美容液剤 ・仕上げ剤	
24	プリント	化粧品学④ ◇CIDESCO ボディ	板書&プリント ・化粧品成分、効果、テクスチャー ・洗浄剤 ・プレトリートメント剤 （スクラブ&ヒートアイテム）	

25	プリント	化粧品学⑤ ◇CIDESCO ボディ	板書&プリント ・化粧品成分、効果、テクスチャー ・機器使用化粧品 ・マッサージ剤	
26	プリント	化粧品学⑥ ◇CIDESCO ボディ	板書&プリント ・化粧品成分、効果、テクスチャー ・美容液剤 ・マスク剤	
27	プリント	化粧品学⑦ ◇CIDESCO ボディ ◇CIDESCO ワックス	板書&プリント ・仕上げ剤 ・ワックス使用化粧品	
28	プリント	化粧品学⑧　まとめ ◇CIDESCO フェイシャル	板書&プリント ・フェイシャル化粧品まとめ	
29	プリント	化粧品学⑨　まとめ ◇CIDESCO ボディ ◇CIDESCO ワックス	板書&プリント ・ボディ＆ワックス化粧品まとめ	
30	プリント	化粧品学⑩	総復習	
31	プリント	美容電気学&化粧品学	総復習	
32	プリント	美容電気学&化粧品学	総復習（テスト対策）	
33	プリント	インナービューティ関係論Ⅱ	筆記テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ビューティービジネス理論Ⅰ	講義	50時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　28コマ	担当授業時数	56時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師
学習の目的	エステサロンビジネスの現状を理解し、より良いエステ業界、サロン経営について自ら考え、行動できる力を身に付ける。		
指導目標	エステサロンビジネスにおいて必要な基礎的な知識、法律、衛生管理などを正しく理解させ、トラブルや、事故の起こらない、また、起こってしまった際に対応できる力を身に付けさせる。		
指導の要点及び留意点	授業は講義とグループワークや発表などを中心とする。		
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記試験の結果を考慮して成績を評価する。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論① ・学ぶ目的（Ｐ８） Ｌ１.エステティックの概念（Ｐ９～） １、エステティックとは何か ２、内面美容としてのエステティック Ｌ２．心のメカニズムと顧客心理 １、エステティックの語源と歴史 ２、エステティックの領域	講義	
2	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論② Ｌ３．ソワンエステティック １、ソワンエステティックの語源 ２、目的とされる効果 ３、スキンタッチの重要性 ４、五感美容	講義	
3	新エステティック学	エステティック概論③	講義	

	理論編Ⅲ	Ｌ４．美と健康 １、健康美は心身のバランスから ２、ウエルネス ３、アンチエイジング Ｌ５．エステティシャンとしての心構え １、エステティシャンの資質 ２、ホスピタリティーマインドの意義 Ｌ６．日本のエステティック １、歴史と業界の現状		
4	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論④ ２、エステティック市場の現状と展望 Ｌ７．世界のエステティック １、欧米における歴史と現状 ２、アジアにおける歴史と現状 ３、各国のエステティシャン	講義	
5	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論⑤ 教科書まとめ・センター試験対策	プリント	
6	新エステティック学 理論編Ⅲ	関連法規① ・学ぶ目的（Ｐ３７） Ｌ１．法の基礎知識（Ｐ３８～） １、社会生活と法 ２、法とは社会規範 ３、法の強制力 ４、法の原則 ５、日本の資格制度 ６、エステティックと法律 Ｌ２．消費者保護法 １、消費者政策 ２、エステティックに関連する消費者トラブル	講義	
7	新エステティック学 理論編Ⅲ	関連法規② ３、トラブル対応の心得 Ｌ３．人の身体に直接触れる職業に関連する法律 １、四つの衛生法規 ２、エステティックに関わりの深い衛生法規	講義	
8	新エステティック学	関連法規③	講義	

	理論編Ⅲ	Ｌ４．経済行為に関連する法律 １、商法 ２、集客 ３、個人情報の保護に関する法律 ４、民法 ５、消費者契約 ６、消費者契約法 ７、特定商取引に関する法律 ８、割賦販売法 ９、都道府県条例		
9	プリント	関連法規④ Ｌ５.エステティック業界の統一自主基準 １、自主基準策定の目的 ２、エステティックの定義 ３、日本エステティック振興協議会の倫理網領 ４、サロン遵守事項 教科書まとめ・センター試験対策	プリント	
10	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理① ・学ぶ目的（Ｐ７３） Ｌ１．公衆衛生（Ｐ７４～） １、公衆衛生とは何か ２、世界における公衆衛生の歴史 ３、日本における公衆衛生の歴史	講義	
11	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理② Ｌ２．衛生管理（Ｐ７７～） １、衛生管理全般 ２、消毒方法の種類とその基本的な使用方法 ３、消毒の準備・用具 １）物理的方法で消毒する場合の準備 ２）化学的方法で消毒する場合の準備 ３）消毒に必要な器具・備品類	講義	
12	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理③ ４、施術にかかわるものの消毒方法 １）施術で皮膚に接する器具・用具類の消毒方法 ２）そのほかの器具・用具 ３）サロン内の施設・設備 ４）エステティシャンの手指の消毒 Ｌ．３感染症（Ｐ８５～） １、感染のメカニズム	講義	
13	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理④ ２、エステティックに関連する感染症	講義	

		Ｌ４．衛生管理の実践（Ｐ９０～）		
14	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理⑤ 教科書まとめ・センター対策 ・学ぶ目的（Ｐ９５） Ｌ１．サロン開設のシュミレーション	講義・プリント	
15	新エステティック学 理論編Ⅲ	サロン経営① １、サロンコンセプトを打ち出す Ｌ２．サロンの運営と管理 １、就業規則を作る ２、資産管理	講義	
16	新エステティック学 理論編Ⅲ	サロン経営② ３、スタッフマネジメント ４、サロンの１日の流れ ５、顧客マネジメント	講義 プリント（レポート）	
17	新エステティック学 理論編Ⅲ	サロン経営③ Ｌ３．サロン繁栄のために １、繁栄するサロンとは ２、サロン経営者としての心構え 教科書まとめ・センター試験対策	プリント	
18	新エステティック学 理論編Ⅲ	接客マナー① ・学ぶ目的（Ｐ１０９） Ｌ１．笑顔・あいさつ（Ｐ１１０～） １、接客の基本 ２、心の持ちようが美しい笑顔を作る ３、言葉・表情・動作が一体化したあいさつが理想	講義	
19	新エステティック学 理論編Ⅲ	接客マナー② Ｌ２．身だしなみ １、第一印象が重要 ２、身だしなみは「無言の招待状」 Ｌ３．言葉遣い １、サロンにおける１５の接客基本用語 ２、言葉遣いにも心を込めて	講義	
20	新エステティック学 理論編Ⅲ	接客マナー③ Ｌ４．態度・振る舞い １、サロンの代表として振る舞う	講義	

		２、来客対応の美しい流れ ３、真心のある効率的なサービスを Ｌ５．電話対応の心得 １、電話は声と口調が頼り ２、電話対応の一連の流れ ３、電話をかけるときの注意点 Ｌ６．基本動作 Ｌ７．お客様への心遣い Ｌ８．クレーム処理 Ｌ９．サロン実習		
21	新エステティック学 理論編Ⅲ	救急法① ・学ぶ目的（Ｐ１４７） Ｌ１．救急法の基本（Ｐ１４８～） １、正しい救急法 ２、応急手当と一次救命処置 １）応急手当 ２）一次救命処置 ３、救助者の心構え ４、救助者が行ってはいけないこと	講義	
22	新エステティック学 理論編Ⅲ	救急法② Ｌ２.エステティシャンにかかわる救急法 １、事前準備が大切 ２、コンサルテーションで留意すること ３、救急の「記録帳」を用意する ４、サロンやスパなどで起こりうるアクシデント ５、救急車の適正な利用 Ｌ３.エステティシャンが行う「応急手当」 １、傷病者の見方と手当の方法 ２、応急手当で気をつけること ３、止血法の実際 ４、三角巾の活用法 ５、救急箱の設置 Ｌ４.エステティシャンが行う「一次救命処置」 １、「一次救命処置」とは ２、一次救命処置の方法 ３、「四つの連鎖行動」がキーポイント ４、手当の基本は「傷病者の反応の観察から」 ５、救命処置の「流れ」と「具体的な方法」 Ｌ５．傷病者の移動（Ｐ１７０～）	講義	
23	プリント	教科書まとめ・センター試験対策	プリント	

24	プリント	教科書総復習	プリント	
25	プリント	センター試験対策総まとめ①	プリント	
26	プリント	センター試験対策総まとめ②	プリント	
27	プリント	テスト対策	プリント	
28	プリント	テスト対策	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ビューティービジネス理論Ⅱ	講義＆実習	40時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　22コマ	担当授業時数	44時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	シデスコ受験条件にあたるケースヒストリー及び論文の作成。1年次で学んだサロン経営学や衛生管理、接客マナーなど、ビューティビジネス基礎理論を活かし、外部のクライアントに向けて実践学習を行う。
指導目標	ケースヒストリー及び８０００文字の論文作成において、シデスコ受験資格として評価基準７０点以上となっているため、クリアできるよう指導していく。CIDESCOカウンセリングシートを基に、肌分析＆ボディ分析方法、トリートメントの組み立て、推奨ホームケアアドバイス等、クライアントに合わせた選択ができるように学習させる。
指導の要点及び留意点	８０００文字論文を作成するにあたり、参考文献や作成ポイント等を伝え、自主的に行わせるとともに、必ず期日までに提出させるように促す。ケースヒストリーは3名4トリートメントが必須になるため、夏休みや放課後を活用し指導していく。
評価の方法	ケースヒストリー＆論文評価 出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント 参考資料 参考文献	ケースヒストリー＆論文	プリント ・ケースヒストリーとは ・論文とは ・作成方法（ポイント） （学生→USB持参）	
2	プリント 参考資料 参考文献	ケースヒストリー＆論文 ◇テーマ確定 ◇モデル選定	プリント ・テーマ選定 ・モデル選定のポイント ・大まかなスケジュール作成	
3	プリント 理論編Ⅲ	衛生管理学①	板書＆プリント ・衛生管理の目的 ・エステティックサロンで感染する可能性のある皮膚病 ・皮膚＆爪トラブル ・感染経路	
4	プリント 理論編Ⅲ	衛生管理学② ◇CIDESCO使用アイテムの具体的消毒法について ～フェイシャル～	板書＆プリント ・消毒法 ・使用備品、機器備品の消毒法 ※有効的な具体的方法	

5	プリント 理論編Ⅲ	衛生管理学③ ◇CIDESCO 使用アイテムの 具体的消毒法について ～ボディ～	板書&プリント ・使用備品、機器備品の消毒法 ※有効的な具体的方法 ・オートクレーブについて	
6	プリント	カウンセリングシート解説 ◇CIDESCO ケースヒストリー ～フェイシャル～ ※学生→USB 資料各自印刷	プリント ・カウンセリンシート作成方法 ※ケースヒストリー用シート ・記入方法&図示ポイント ・トリートメントプラン ・３名４トリートメントプラン ・プレゼン資料（写真必須）	
7	プリント	カウンセリングシート作成 ～フェイシャル～	相モデルトレーニング ・カウンセリングシート作成	
8	プリント	カウンセリングシート解説 ◇CIDESCO ケースヒストリー ～ボディ～ ※学生→USB 資料各自印刷	プリント ・カウンセリンシート作成方法 ※ケースヒストリー用シート ・記入方法&図示ポイント ・トリートメントプラン ・３名４トリートメントプラン ・プレゼン資料（写真必須）	
9	プリント	カウンセリングシート作成 ～ボディ～	相モデルトレーニング ・カウンセリングシート作成 ・プライムライン&ボディ分析法 ・動線確認	
10	プリント	９の反復	相モデルトレーニング ・カウンセリングシート作成 ・プライムライン&ボディ分析法 ・動線確認	
11	プリント	CIDESCO 論文 ◇８０００文字作成構成 ◇要約文作成について	プリント ・CIDESCO 論文作成ポイント ・構成について ・要約文作成ポイント	
12	プリント	カウンセリングシート解説 ◇CIDESCO 国際試験 ～フェイシャル～	プリント ・カウンセリンシート作成方法 ※国際試験用シート ・記入方法&図示ポイント ・トリートメントプラン ・シート全体の統一性	
13	プリント	カウンセリングシート作成 ～フェイシャル	相モデルトレーニング ・カウンセリングシート作成 ・シートチェック（修正アドバイス）	

14	プリント	１３の反復	相モデルトレーニング ・カウンセリングシート作成 ・シートチェック（修正アドバイス）	
15	プリント	カウンセリングシート解説 ◇CIDESCO 国際試験 ～ボディ～	プリント ・カウンセリンシート作成方法 ※国際試験用シート ・記入方法&図示ポイント ・トリートメントプラン ・シート全体の統一性 ・プライムライン&ボディ分析法 ・BMI ・動線確認	
16	プリント	カウンセリングシート作成 ～ボディ～	相モデルトレーニング ・カウンセリングシート作成 ・プライムライン&ボディ分析法 ・BMI（学生→電卓準備） ・動線確認 ・シートチェック（修正アドバイス）	
17	プリント	１６の反復	相モデルトレーニング ・カウンセリングシート作成 ・プライムライン&ボディ分析法 ・BMI（学生→電卓準備） ・動線確認 ・シートチェック（修正アドバイス）	
18	プリント	カウンセリングシート作成 ～フェイシャル&ボディ～	相モデルトレーニング ・カウンセリングシート作成 ・シートチェック（修正アドバイス）	
19	プリント	カウンセリングシート作成 ～フェイシャル&ボディ～	相モデルトレーニング ・カウンセリングシート作成 ・シートチェック（修正アドバイス）	
20	プリント	CIDESCO 論文 ◇論文提出→チェック	論文提出 ※チェック後学生に戻す	
21	プリント	CIDESCO 論文 ◇要約文提出→チェック	要約文提出 ※チェック後学生に戻す	
22	プリント	CIDESCO 論文 ◇要約文&論文提出	要約文提出 論文提出 ※クリアファイルにキレイに製本	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 5 年度 1 年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ボディエステティック理論 I	講義	20 時間

配当時間	1 コマ 90 分　　11 コマ	担当授業時数	22 時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師

学習の目的	日本エステティック協会認定エステティシャンの資格取得のためのボディ理論を学び、資格試験の合格を目指す。
指導目標	エステティック全般、及びボディエステティックの理論を習得させ、資格試験に合格できるよう指導する。
指導の要点及び留意点	要点をまとめて分かりやすく、かつ的確に指導する。
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記試験の結果を考慮して成績を評価する。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書	授業概要説明 L1、ボディエステティックとは	講義	
2	教科書	L2、流れ　L3、事前準備 L4、ボディトリートメント	講義	
3	教科書	L6、ボディマッサージ①	講義 プリント	
4	教科書	マッサージに必要なボディの知識	講義 プリント	
5	教科書	L6、ボディマッサージ②	講義 プリント	
6	教科書	L6、ボディマッサージ③	講義 プリント	
7	教科書	L6、ボディマッサージ④	講義 プリント	
8	教科書	L6、ボディマッサージ⑤	講義 プリント	
9	教科書	L7、ボディマッサージ⑥	講義 プリント	
10	教科書	まとめ	プリント	
11	プリント	センター試験対策	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	シデスコ理論	講義	60時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　33コマ	担当授業時数	66時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	国際ライセンス「CIDESCO」取得のため、シデスコ筆記対策に特化した１０科目の分野の解説を行う。◇自然科学・生理解剖学・皮膚科学・皮膚病学・衛生管理学・エステティックトリートメント・化粧品学・美容外科・栄養学・職業倫理・経営学を学ぶ。
指導目標	国際ライセンス「CIDESCO」とはどんな資格なのかを理解させたうえで、シデスコ理論を学ぶ。学習した理論をベースに、シデスコ筆記試験対策を行う。筆記試験の傾向をとらえ学習させるとともに、例題問題を活用し模擬テストを行うなど、理解度の向上を図る授業展開を行う。
指導の要点及び留意点	すでに学習した理論知識と実習の関連性を認識させるべく、口頭質問を交えながら行い、学生の理解度を高め、応用力のある学生へと育成する。
評価の方法	学期末試験成績：１００点満点（配点未定）予定 出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	CIDESCO試験概要	板書&プリント ・試験の流れ ・試験タイムスケジュール ・モデル選定基準 ・試験までの提出物スケジュール	
2	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCOガイドライン 自然科学 （解説）	板書 ・CIDESCOガイドラインに沿った授業展開	
3	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCOガイドライン 自然科学 （解説&例題解答）	板書&プリント（例題問題） ・CIDESCOガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
4	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCOガイドライン 生理解剖学 （解説）	板書 ・CIDESCOガイドラインに沿った授業展開 ・細胞～循環器系	
5	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCOガイドライン 生理解剖学 （解説）	板書 ・CIDESCOガイドラインに沿った授業展開 ・消化器系～泌尿器系	

6	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 生理解剖学 （解説＆例題解答）	板書&プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・内分泌系～生殖器系 ・例題問題プリント使用	
7	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 生理解剖学 （例題解答）	プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
8	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 皮膚科学&皮膚病学 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
9	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 皮膚科学&皮膚病学 （解説＆例題解答）	板書&プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
10	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 衛生管理学 （解説＆例題解答）	板書&プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
11	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン エステティックトリートメント （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
12	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン エステティックトリートメント （解説＆例題解答）	板書&プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
13	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 化粧品学 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
14	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 化粧品学 （解説＆例題解答）	板書&プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
15	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 美容外科 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
16	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 美容外科 （解説＆例題解答）	板書&プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	

17	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 栄養学 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った 授業展開	
18	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 栄養学 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った 授業展開 ・例題問題プリント使用	
19	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 職業倫理 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った 授業展開 ・例題問題プリント使用	
20	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 経営学 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った 授業展開 ・例題問題プリント使用	
21	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
22	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
23	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
24	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
25	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
26	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策 ◇過去問題 （解説＆問題解答）	プリント（過去問題） ・過去問題プリント使用 ・解説＆問題解答	
27	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策 ◇過去問題 （解説＆問題解答）	プリント（過去問題） ・過去問題プリント使用 ・解説＆問題解答	
28	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用（過去問題 MIX）	
29	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用（過去問題 MIX）	
30	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用（過去問題 MIX）	
31	プリント	CIDESCO 理論	総復習（テスト対策）	

32	プリント	CIDESCO 理論 ◇テスト	筆記テスト	
33	プリント	CIDESCO 試験概要	板書&プリント ・試験の流れ詳細（筆記&実技） ・試験タイムスケジュール ・試験配点ポイント ・身だしなみ ・準備品確認	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 5 年度 1 年生	科　目	授業方法	総授業時数
	アロマテラピー I	講義	30 時間

配当時間	1 コマ 90 分　前･後期　　17 コマ	担当授業時数	34 時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）　・　無	実務経験概要	アロマインストラクター・経験 10 年

学習の目的	1、 アロマテラピーとは何か、日常での使用方法を正しく理解させる。 2、 香りを体験し、嗅ぎ分けることができるようにする。 3、 それぞれの精油の効果、効能を理解する。
指導目標	1、 アロマテラピーに関する正しい知識の取得 2、 日常でアロマテラピーが実践できるようにする。 3、 10 種類の精油を嗅ぎわけられるようにする。
指導の要点及び留意点	類似した精油の香り、効果効能を間違えずに理解させる。 日本におけるアロマテラピーは医療行為ではないことを理解させる。
評価の方法	授業態度 筆記試験：100 点満点（配分未定）予定

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter1　P8～12 アロマテラピーの基本 Capter2　P14～18 精油がもたらす作用	アロマテラピーの定義 10 種類の精油の香りイメージの作成 精油の定義	
2	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter2　P19～24 精油の抽出方法、選び方 精油と環境について	精油のそれぞれの抽出方法について学ぶ。 精油のもととなる植物について学ぶ	
3	アロマテラピー検定　公式テキスト	Capter3　P28～32 アロマテラピーの安全性	香りテスト 精油を安全に使用するための心得 精油の保管方法を学ぶ	
4	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter4　P35～40 アロマテラピーを実践する	香りテスト アロマテラピーで使用する基材と用具を学ぶ	
5	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter4　P42～49 アロマテラピーを実践する 利用法	香りテスト 芳香浴、沐浴、吸入法について学ぶ	
6	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter4　P50～54 アロマテラピーを実践する 利用法	香りテスト フェイシャルスチーム、湿布法、トリートメント法について学ぶ	
7	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P106.108	香りテスト オレンジ、ゼラニウム	

8	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P109.113	香りテスト ティートリー、フランキンセンス	
9	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P115.120	香りテスト ペパーミント、ユーカリ	
10	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P121.122	香りテスト ラベンダー、ユーカリ	
11	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P124,125	香りテスト ローズ、ローズオットー	
12	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P126	香りテスト ローズマリー アロマスプレー作成	
13	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter１～２	香りテスト 総復習、練習問題	
14	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter3～4	香りテスト 総復習、練習問題	
15	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール	香りテスト 総復習、練習問題	
16	アロマテラピー検定　公式問題集	2 級練習問題①	香りテスト 練習問題、解答解説	
17	アロマテラピー検定　公式問題集	2 級練習問題②	香りテスト 練習問題、解答解説	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	アロマテラピーⅡ	講義	30時間

配当時間	1コマ90分　　17コマ	担当授業時数	34時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	アロマインストラクター・経験10年

学習の目的	1、アロマテラピーのメカニズム、心身への作用を理解させる。 2、香りを体験し、嗅ぎ分けることができるようにする。 3、それぞれの精油の効果、効能を理解する。
指導目標	1、アロマテラピーを家族や周囲の人たちと楽しみ、健康維持のために用いる知識を身につける 2、17種類の精油を嗅ぎわけられるようにする。
指導の要点及び留意点	類似した精油の香り、効果効能を間違えずに理解させる。 日本におけるアロマテラピーは医療行為ではないことを理解させる。
評価の方法	授業態度 筆記試験：100点満点（配分未定）予定

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter1～2　P8～24 アロマテラピー基本 精油について、抽出方法	重要ポイントの確認、復習	
2	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter3～4　P28～54 アロマテラピーの安全性 アロマテラピーを実践する	重要ポイントの確認、復習	
3	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter5　P56～60 アロマテラピーのメカニズム	精油が心身に伝わる仕組み、嗅覚器から脳へ伝わる経路等を学ぶ	
4	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter6　P62～66 睡眠、ストレス、ホルモン	アロマテラピーと健康についての知識を深める	
5	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter6　P69～74 スキンケア	アロマテラピーと美容についての知識を深める	
6	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter 7　P76～80 アロマテラピーの歴史	古代、中世、近世～近代の歴史を理解させる	
7	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter7　P82～86 アロマテラピーの歴史	現代においてのアロマテラピーを理解させ、年表でさらに復習する	
8	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter8 P88～92 アロマテラピーに関する法律	アロマテラピーに関わる商品や施術についての法律を理解させる	
9	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール　P98～102	イランイラン、クラリセージ、グレープフルーツ、サイプレス、サンダルウッド	

10	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール　P103～107	ジャーマンカモミール、ジャスミン ジュニパーベリー、スイートオレンジ、マジョラム	
11	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール　P108～112	ゼラニウム、ティートゥリー、ネロリ、パチュリ、ブラックペッパー	
12	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール P113～117	フランキンセンス、ベチバー、ペパーミント、ベルガモット、ベンゾイン	
13	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール P118～122	ミルラ、メリッサ、ユーカリ、ラベンダー、レモン	
14	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール　P123～127	レモングラス、ローズ、ローズオットー、ローズマリー、ローマンカモミール	
15	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール	プロフィール復習、書き取り 練習問題	
16	アロマテラピー検定　公式問題集	１級練習問題①	練習問題 解答、解説	
17	アロマテラピー検定　公式問題集	１級練習問題②	練習問題 解答、解説	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティックⅠ	実習	110時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　　33コマ	担当授業時数	66時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	認定エステティシャン・経験15年

学習の目的	1、顔の骨格や筋肉、リンパ節などについてしっかり学び、各トリートメントの目的や効果を十分に理解させる。 2、マッサージの基本手技の手法、効果・作用を把握させ、実践する。相モデルで行うことで快・不快の感覚を学ぶ。 3、施術中の姿勢を正しく身に付けさせる。 4、お客様への気配り、心遣いを身につけさせ、衛生面にも配慮させる。
指導目標	1、筋肉の走行、血液やリンパの流れを理解し、正しい位置に施術を施せるようにする。 2、正しい姿勢を身につけ、施術者の体に負担のないように施術できるようにする。 3、クレンジング、マッサージの手順を覚え、手が止まることなく流れるように施術が行えるようにする。相モデルで行い、感想を言い合う。 4、お客様への気配り、心遣いを身につけさせる。
指導の要点及び留意点	1、お客様への細やかな心遣いを常に意識させる。 2、モデルになり施術を受けるている間も眠ることなく、お客様の立場に立った感覚を理解させる。 3、施術中の姿勢も乱れることがないよう、意識させる。
評価の方法	授業態度 実技試験：100点満点予定

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学　技術編Ⅰ	事前準備	配布物の確認、ベッド、ワゴンセッティング､ホットタオルのつくり方、モデル準備等	
2	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
3	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
4	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
5	新エステティック学　技術編Ⅰ	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目	

	P14～19		的、手法を理解させる。	
6	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
7	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
8	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
9	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
10	新エステティック学　技術編Ⅰ P36～37	マッサージ 軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
11	新エステティック学　技術編Ⅰ P36～37	マッサージ 軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
12	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 軽擦法、強擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
13	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 軽擦法、強擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
14	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 強擦法、揉捻法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
15	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 強擦法、揉捻法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
16	新エステティック学　技術編Ⅰ P38～39	マッサージ 揉捻法、打法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
17	新エステティック学　技術編Ⅰ P38～39	マッサージ 揉捻法、打法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
18	新エステティック学　技術編Ⅰ P39～40	マッサージ 打法、振動法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
19	新エステティック学　技術編Ⅰ	マッサージ 打法、振動法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	

20	新エステティック学　技術編Ⅰ P40～41	マッサージ 振動法、圧迫法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
21	新エステティック学　技術編Ⅰ P40～41	マッサージ 振動法、圧迫法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
22	新エステティック学　技術編Ⅰ P41	マッサージ 圧迫法、軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
23	新エステティック学　技術編Ⅰ P41	マッサージ 圧迫法、軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
24	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは10分で行う マッサージは手順を教科書を見ずにスムーズに行う。相モデル	
25	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは10分で行う マッサージは手順を教科書を見ずにスムーズに行う。相モデル	
26	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは10分で行う マッサージは手順を教科書を見ずにスムーズに行う。相モデル	
27	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは10分で行う マッサージは手順を教科書を見ずにスムーズに行う。相モデル	
28	新エステティック学　技術編Ⅰ	クレンジング～マッサージ	クレンジングは10分で行う マッサージは手順を教科書を見ずにスムーズに行う。相モデル	
29	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは10分で行う マッサージは手順を教科書を見ずにスムーズに行う。相モデル	
30	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは10分で行う マッサージは手順を教科書を見ずにスムーズに行う。相モデル	
31	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは10分で行う マッサージは手順を教科書を見ずにスムーズに行う。相モデル	
32	新エステティック学　技術編Ⅰ	期末テスト	手順だけでなく、身だしなみ、ベッドメイキングを含めた総合評価	
33	新エステティック学　技術編Ⅰ	期末テスト	手順だけでなく、身だしなみ、ベッドメイキングを含めた総合評価	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティックⅠ	実習	110時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　28コマ	担当授業時数	56時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	エステティシャン実務経験 CIDESCO取得 AJESTHE 認定上級エステティシャン

学習の目的	1. マッサージの基本手技の手法、効果、作用を把握させ実践する。相モデルで行うことで快、不快の感覚を学ぶ。 2. 機器の操作方法の習得 3. お客様への気配り、心遣いを身につけさせ、衛生面にも配慮させる。
指導目標	1. エステティック技術の基本的な流れや手法、効果、一つ一つの目的を理解させる。 2. 技術に欠かせない機器の操作方法の理解と禁忌事項の徹底 3. お客様への気配り、心遣いを身につけさせる。
指導の要点及び留意点	機器及び器具の操作方法、消毒方法、手入れ方法を身につけさせる。
評価の方法	出席状況や授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	準備（ベッドメイク、ホットタオル、衛生）、クレンジング	ベッドの高さ、ワゴンセッティング手順確認	
2	教科書 プリント	クレンジング、スチーマー、ブラシ、スプレー	ベッドの高さ、ワゴンセッティングデモンストレーション	
3	教科書 プリント	クレンジング、スチーマー、ブラシ、スプレー	ベッドの高さ、ワゴンセッティングウィッグを使用し手順確認	
4	教科書 プリント	3を相モデルにて反復	実習	
5	教科書 プリント	スチーマー、吸引、マッサージの復習	ベッドの高さ、姿勢の確認、ワゴンセッティング	
6	教科書 プリント	スチーマー、吸引、マッサージの復習	ベッドの高さ、ワゴンセッティングデモンストレーション	
7	教科書 プリント	スチーマー、吸引、マッサージの復習	ベッドの高さ、ワゴンセッティングウィッグを使用し手順確認	
8	教科書 プリント	7を相モデルにて反復	実習	
9	教科書 プリント	1～4を相モデルにて反復	実習 クレンジングの時間計測を行う	

10	教科書 プリント	9 を相モデルにて反復	実習	
11	教科書 プリント	5～8 を相モデルにて反復	実習	
12	教科書 プリント	11 を相モデルにて反復	実習	
13	教科書 プリント	アイオノス	ベッドの高さ、ワゴンセッティング	
14	教科書 プリント	アイオノス	ベッドの高さ、ワゴンセッティング デモンストレーション	
15	教科書 プリント	アイオノス	ベッドの高さ、ワゴンセッティング ウィッグを使用し手順確認	
16	教科書 プリント	15 を相モデルにて反復	実習	
17	教科書 プリント	アイオノス復習、ペルチェ	ベッドの高さ、ワゴンセッティング	
18	教科書 プリント	アイオノス復習、ペルチェ	ベッドの高さ、ワゴンセッティング デモンストレーション	
19	教科書 プリント	アイオノス復習、ペルチェ	ベッドの高さ、ワゴンセッティング ウィッグを使用し手順確認	
20	教科書 プリント	20 を相モデルにて反復	実習	
21	教科書 プリント	クレンジング、パター	ベッドの高さ、ワゴンセッティング クレンジングを時間内に行う	
22	教科書 プリント	クレンジング、パター	ベッドの高さ、ワゴンセッティング デモンストレーション	
23	教科書 プリント	クレンジング、パター	ベッドの高さ、ワゴンセッティング ウィッグを使用し手順確認	
24	教科書 プリント	24 を相モデルにて反復	実習	
25	教科書 プリント	総復習	相モデルにて実習	
26	教科書 プリント	総復習	相モデルにて実習	
27	教科書 プリント	総復習	相モデルにて実習	
28	教科書 プリント	総復習	相モデルにて実習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティックⅡ	実習	120時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　66コマ	担当授業時数	132時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	1年次で学んだ基礎技術及び知識をベースに、シデスコへ向けて、クライアントの肌に合わせた化粧品や機器の選択や、その効果&目的、メカニズム、禁忌、注意事項を深く理解させる。試験必須科目であるメイク、ネイル、ティンティングも学習させる。
指導目標	CIDESCO試験で行うエステティック技術すべての目的、手法、効果、メカニズム、禁忌、注意事項について深く理解させ、口頭質問に対応できる学生を育成する。カウンセリング力も高め、個別の肌分析からクライアントに合わせた化粧品、機器の選択ができるように指導する。化粧品においては、有効成分とその効果も習得させる。
指導の要点及び留意点	CIDESCO 試験に対応できる応用力のある学生の育成とともに、実践に向けてサロンで役立てるようクライアントケアや衛生面も含め、細かな部分に気配りのできる学生へと指導していく。
評価の方法	評価基準表による採点・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	技術編Ⅰ プリント	フェイシャルトレーニング （クレンジング～仕上げ）	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上	
2	技術編Ⅰ プリント	1の反復	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上	
3	技術編Ⅰ プリント	1、2の反復 ※クレンジングチェック含む	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上	
4	技術編Ⅰ プリント	1、2の反復 ※クレンジングチェック含む	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上	
5	技術編Ⅰ プリント	フェイシャル総合機器 ◇スチーム　◇フリマトール ◇スプレイ　◇ヴァキューム ※CIDESCO化粧品使用	相モデルトレーニング フェイシャル総合機器復習 ・各工程、使用化粧品説明	
6	技術編Ⅰ プリント	5の反復	相モデルトレーニング フェイシャル総合機器復習 ・各工程、使用化粧品説明	
7	技術編Ⅰ プリント	5、6の反復	相モデルトレーニング フェイシャル総合機器復習 ・各工程、使用化粧品説明 ・口頭質問	

8	技術編Ⅰ プリント	５、６の反復	相モデルトレーニング フェイシャル総合機器復習 ・各工程、使用化粧品説明 ・口頭質問	
9	技術編Ⅰ プリント	ディープクレンジング ◇ディスインクラステーション	相モデルトレーニング ディスインクラステーション ・メカニズム、使用化粧品説明	
10	技術編Ⅰ プリント	９の反復	相モデルトレーニング ディスインクラステーション ・メカニズム、使用化粧品説明	
11	技術編Ⅰ プリント	９、１０の反復	相モデルトレーニング ディスインクラステーション ・メカニズム、使用化粧品説明 ・口頭質問	
12	技術編Ⅰ プリント	９、１０の反復	相モデルトレーニング ディスインクラステーション ・メカニズム、使用化粧品説明 ・口頭質問	
13	プリント	ディープクレンジング ◇角質除去（化粧品）	相モデルトレーニング 角質除去（化粧品） ・粒子入、粒子無、酵素 ・化粧品成分及び使用法説明	
14	プリント	１３の反復	相モデルトレーニング 角質除去（化粧品） ・粒子入、粒子無、酵素 ・化粧品成分及び使用法説明	
15	プリント	１３、１４の反復	相モデルトレーニング 角質除去（化粧品） ・粒子入、粒子無、酵素 ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
16	プリント	１３、１４の反復	相モデルトレーニング 角質除去（化粧品） ・粒子入、粒子無、酵素 ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
17	技術編Ⅰ プリント	美容電気機器トリートメント ◇パター	相モデルトレーニング パター ・メカニズム、使用化粧品説明	
18	技術編Ⅰ プリント	１７の反復	相モデルトレーニング パター ・メカニズム、使用化粧品説明	

19	技術編Ⅰ プリント	１７、１８の反復	相モデルトレーニング パター ・メカニズム、使用化粧品説明 ・口頭質問	
20	技術編Ⅰ プリント	１７、１８の反復	相モデルトレーニング パター ・メカニズム、使用化粧品説明 ・口頭質問	
21	技術編Ⅰ プリント	美容電気機器トリートメント ◇イオントフォレーゼ	相モデルトレーニング イオントフォレーゼ ・メカニズム、使用化粧品説明	
22	技術編Ⅰ プリント	２１の反復	相モデルトレーニング イオントフォレーゼ ・メカニズム、使用化粧品説明	
23	技術編Ⅰ プリント	２１、２２の反復	相モデルトレーニング イオントフォレーゼ ・メカニズム、使用化粧品説明 ・口頭質問	
24	技術編Ⅰ プリント	２１、２２の反復	相モデルトレーニング イオントフォレーゼ ・メカニズム、使用化粧品説明 ・口頭質問	
25	プリント	美容電気機器トリートメント ◇低周波	相モデルトレーニング 低周波 ・メカニズム、筋肉名称 ・トリートメント方法	
26	プリント	２５の反復	相モデルトレーニング 低周波 ・メカニズム、筋肉名称 ・トリートメント方法	
27	プリント	２５、２６の反復	相モデルトレーニング 低周波 ・メカニズム、筋肉名称 ・トリートメント方法 ※アプローチ表情筋部位確認 ・口頭質問	
28	プリント	２５、２６の反復	相モデルトレーニング 低周波 ・メカニズム、筋肉名称 ・トリートメント方法 ※アプローチ表情筋部位確認 ・口頭質問	

29	プリント	美容電気機器トリートメント ◇高周波（３種）	相モデルトレーニング 高周波 ・ダイレクト法 ・インダイレクト法 ・閃光法 ・メカニズム、使用化粧品説明	
30	プリント	２９の反復	相モデルトレーニング 高周波 ・ダイレクト法 ・インダイレクト法 ・閃光法 ・メカニズム、使用化粧品説明	
31	プリント	２９、３０の反復 ※本来、直接法&閃光法はセットで行い、間接法は単体で行うことを理解させる。	相モデルトレーニング 高周波 ・ダイレクト法 ・インダイレクト法 ・閃光法 ・メカニズム、使用化粧品説明 ・口頭質問	
32	プリント	２９、３０の反復 ※本来、直接法&閃光法はセットで行い、間接法は単体で行うことを理解させる。	相モデルトレーニング 高周波 ・ダイレクト法 ・インダイレクト法 ・閃光法 ・メカニズム、使用化粧品説明 ・口頭質問	
33	プリント	マスク ◇肌別化粧品	相モデルトレーニング 肌別マスク化粧品 ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
34	プリント	３３の反復	相モデルトレーニング 肌別マスク化粧品 ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
35	プリント	３３、３４の反復	相モデルトレーニング 肌別マスク化粧品 ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
36	プリント	３３、３４の反復	相モデルトレーニング 肌別マスク化粧品 ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	

37	プリント	ティンティング ◇ティンティング ◇シェービング	相モデルトレーニング ・化粧品成分及び使用法説明	
38	プリント	３７の反復	相モデルトレーニング ・化粧品成分及び使用法説明	
39	プリント	３７、３８の反復	相モデルトレーニング ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
40	プリント	３７、３８の反復	相モデルトレーニング ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
41	参考資料	メイク ◇CIDESCO 対策メイク	相モデルトレーニング ・シデスコ対策メイク ・発色＆衛生面	
42	参考資料	４１の反復	相モデルトレーニング ・シデスコ対策メイク ・発色＆衛生面	
43	参考資料	４１、４２の反復 ※タイムを意識して作成	相モデルトレーニング ・シデスコ対策メイク ・発色＆衛生面	
44	参考資料	４１、４２の反復 ※タイムを意識して作成	相モデルトレーニング ・シデスコ対策メイク ・発色＆衛生面	
45	参考資料	４１、４２の反復 ※試験モデルにて作成	相モデルトレーニング ・シデスコ対策メイク ・発色＆衛生面 ・口頭質問	
46	参考資料	４１、４２の反復 ※試験モデルにて作成	相モデルトレーニング ・シデスコ対策メイク ・発色＆衛生面 ・口頭質問	
47	参考資料	ネイル ◇CIDESCO 対策ネイル ◇ネイル＆ペディキュア	相モデルトレーニング ・シデスコ対策ネイル ・ネイル＆ペディキュア ・赤カラー仕上がり＆衛生面 ・化粧品成分効果	
48	参考資料	４７の反復	相モデルトレーニング ・シデスコ対策ネイル ・ネイル＆ペディキュア ・赤カラー仕上がり＆衛生面 ・化粧品成分効果	

49	参考資料	４７、４８の反復 ※タイムを意識して作成	相モデルトレーニング ・シデスコ対策ネイル ・ネイル&ペディキュア ・赤カラー仕上がり&衛生面 ・化粧品成分効果	
50	参考資料	４７、４８の反復 ※タイムを意識して作成	相モデルトレーニング ・シデスコ対策ネイル ・ネイル&ペディキュア ・赤カラー仕上がり&衛生面 ・化粧品成分効果	
51	参考資料	４７、４８の反復 ※４名→ネイル ３名→ペディキュアの選定	相モデルトレーニング ・シデスコ対策ネイル ・ネイル&ペディキュア ・赤カラー仕上がり&衛生面 ・化粧品成分効果 ・口頭質問	
52	参考資料	４７、４８の反復 ※４名→ネイル ３名→ペディキュアの選定	相モデルトレーニング ・シデスコ対策ネイル ・ネイル&ペディキュア ・赤カラー仕上がり&衛生面 ・化粧品成分効果 ・口頭質問	
53	プリント 参考資料	マッサージ CIDESCO 対応として新しい 手技を学ぶ	デモンストレーション 相モデルトレーニング ・新マッサージ技術習得	
54	プリント 参考資料	５３の反復	デモンストレーション 相モデルトレーニング ・新マッサージ技術習得	
55	プリント 参考資料	フェイシャル総合 ◇CIDESCO 試験対策 ※クレンジングチェック	相モデルトレーニング ポイント～ディープクレンジング ・口頭質問 ・カウンセリングシートチェック	
56	プリント 参考資料	５３の反復 ※クレンジングチェック	相モデルトレーニング ポイント～ディープクレンジング ・口頭質問 ・カウンセリングシートチェック	
57	プリント 参考資料	フェイシャル総合 ◇CIDESCO 試験対策 ※メイクオフスタート	相モデルトレーニング 美容電気機器～マスク ・口頭質問	
58	プリント 参考資料	５５の反復 ※メイクオフスタート	相モデルトレーニング 美容電気機器～マスク ・口頭質問	

59	プリント 参考資料	フェイシャル総合 ◇CIDESCO 試験対策 ※メイクオフスタート	相モデルトレーニング マスク～ネイル～メイク ・口頭質問	
60	プリント 参考資料	５８の反復 ※メイクオフスタート	相モデルトレーニング マスク～ネイル～メイク ・口頭質問	
61	プリント 参考資料	フェイシャル総合 ◇CIDESCO 試験抜粋	相モデルトレーニング ・クレンジング ・コンサルテーション ・電気機器トリートメント ※技術確認及び口頭質問	
62	プリント 参考資料	５９の反復	相モデルトレーニング ・クレンジング ・コンサルテーション ・電気機器トリートメント ※技術確認及び口頭質問	
63	プリント 参考資料	フェイシャル総合 ◇CIDESCO 試験抜粋 ※メイクオフスタート	相モデルトレーニング ・電気機器トリートメント ・マスク～ネイル～メイク ※技術確認及び口頭質問	
64	プリント 参考資料	６３の反復	相モデルトレーニング ・電気機器トリートメント ・マスク～ネイル～メイク ※技術確認及び口頭質問	
65	プリント 参考資料	フェイシャル技術テスト	フェイシャル技術テスト	
66	プリント 参考資料	６５の反復	フェイシャル技術テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ボディエステティックⅠ	実習	90時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　49コマ	担当授業時数	98時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	エステティシャン実務経験 CIDESCO取得 AJESTHE 認定上級エステティシャン

学習の目的	1. 人体の構造などについてしっかり学び、トリートメントの目的や効果を十分に理解させる。 2. マッサージの基本手技の手法、効果、作用を把握させ実践する。相モデルで行うことで快、不快の感覚を学ぶ。 3. トリートメント中の姿勢を正しく身につけさせる。姿勢により、施術者が身体を痛めることがあることを理解させる。 4. お客様への気配り、心遣いを身につけさせ、衛生面にも配慮させる。
指導目標	1. 人体の構造などを理解させ、正しい位置にトリートメントを行えるようにする。 2. マッサージの手順を覚えさせ、スムーズにトリートメントが行えるようにする。 3. 正しい姿勢を身につけ、施術者の身体に負担のないようにトリートメントが行えるようにする。 4. お客様への気配り、心遣いを身につけさせる。
指導の要点及び留意点	1. マッサージの基本手技の技術を確実に身につけさせること。 2. モデルになりトリートメントを受けている間も、お客様の立場に立った感覚を理解させる。 3. トリートメント中も姿勢が乱れないよう、意識させる。
評価の方法	出席状況や授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	事前準備	ベッド、ワゴンセッティング、 ホットタオルの作り方、モデル準備等	
2	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前操作	ベッドの高さ、姿勢の確認 タオルの上から行う前操作背面全部	
3	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	２を相モデルにて反復	実習	
4	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前操作、下肢後面	ベッドの高さ、姿勢の確認 前操作、下肢後面軽擦法、足底強擦	

			法まで	
5	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	4 を相モデルにて反復	実習	
6	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前操作、下肢後面	ベッドの高さ、姿勢の確認 前操作、下肢後面軽擦法、足底強擦法、ふくらはぎ、揉燃法、打法まで	
7	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	6 を相モデルにて反復	実習	
8	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前操作、下肢後面	ベッドの高さ、姿勢の確認 前操作、下肢後面を通しで行う	
9	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	8 を相モデルにて反復	実習	
10	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢後面、臀部	ベッドの高さ、姿勢の確認 下肢後面復習、臀部	
11	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	10 を相モデルにて反復	実習	
12	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	臀部、腰背部	ベッドの高さ、姿勢の確認 臀部復習、肩回りの手技	
13	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	13 を相モデルにて反復	実習	
14	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	腰背部	ベッドの高さ、姿勢の確認 肩回りの手技、背中の手技	
15	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	14 を相モデルにて反復	実習	
16	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	腰背部	腰背部を通しで行う	
17	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	16 を相モデルにて反復	実習	
18	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢後面、臀部、腰背部	背面全部通しで復習	
19	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	18 を相モデルにて反復	実習 モデルへの心遣いを意識する	
20	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢前面	ベッドの高さ、姿勢の確認 手順確認	
21	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	20 を相モデルにて反復	実習	
22	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢前面	下肢前面通しで復習	
23	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	22 を相モデルにて反復	実習	

24	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	上肢	ベッドの高さ、姿勢の確認 上肢手順確認、通しで練習	
25	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	25 を相モデルにて反復	実習	
26	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	腹部	ベッドの高さ、姿勢の確認 腹部手順確認、通しで練習	
27	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	26 を相モデルにて反復	実習	
28	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢前面、上肢、腹部	ベッドの高さ、姿勢の確認 下肢前面、上肢、腹部通しで練習	
29	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	28 を相モデルにて反復	実習	
30	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	デコルテ、頸部、頭部	ベッドの高さ、姿勢の確認 デコルテ、頸部、頭部手順確認、通しで練習	
31	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	30 を相モデルにて反復	実習	
32	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前面全部	前面全部通しで練習 モデルへの心遣いを意識して行う	
33	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	32 を相モデルにて反復	実習	
34	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	後面全部	後面の手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
35	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	34 を相モデルにて反復	実習	
36	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前面全部	前面の手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
37	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	36 を相モデルにて反復	実習	
38	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	後面全部	後面の手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
39	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	38 を相モデルにて反復	実習	
40	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前面全部	前面の手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
41	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	40 を相モデルにて反復	実習	
42	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	全身	手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
43	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	42 を相モデルにて反復	実習	

44	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	全身	手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
45	新エステティック学　技術編Ⅰ	44 を相モデルにて反復	実習	
46	新エステティック学　技術編Ⅰ	全身	手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
47	新エステティック学　技術編Ⅰ	46 を相モデルにて反復	実習	
48	新エステティック学　技術編Ⅰ	全身	手順を暗記して行う	
49	新エステティック学　技術編Ⅰ	48 を相モデルにて反復	実習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ボディエステティックⅡ	実習	150時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　83コマ	担当授業時数	166時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	1年次で学んだ基礎技術及び知識をベースに、シデスコ必須ボディ機器4種、「G5、ガルバニック、低周波、サクション」を新たに学ぶ。サロントリートメントを想定し、クライアントボディ分析に合わせた化粧品や機器の選択、その効果&目的、メカニズム、禁忌、注意事項を深く理解させる。
指導目標	CIDESCO試験で行うボディエステティック技術すべての目的、手法、効果、メカニズム、禁忌、注意事項について深く理解させ、口頭質問に対応できる学生を育成する。カウンセリング力も高め、ボディ分析からクライアントに合わせた化粧品、機器の選択ができるように指導する。化粧品においては、有効成分とその効果も習得させる。
指導の要点及び留意点	CIDESCO 試験に対応できる応用力のある学生の育成とともに、実践に向けてサロンで役立てるようクライアントケアや衛生面も含め、細かな部分に気配りのできる学生へと指導していく。
評価の方法	評価基準表による採点・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	技術編Ⅰ プリント	ボディマッサージ （背面）	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上	
2	技術編Ⅰ プリント	1の反復	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上	
3	技術編Ⅰ プリント	ボディマッサージ （前面）	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上	
4	技術編Ⅰ プリント	3の反復	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上	
5	技術編Ⅰ プリント	ボディマッサージ（全身） ※CIDESCO試験化粧品使用	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上 ・化粧品成分効果、使用法	
6	技術編Ⅰ プリント	5の反復	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上 ・化粧品成分効果、使用法	
7	技術編Ⅰ プリント	ボディマッサージ（全身） ※CIDESCO試験化粧品使用	相モデルトレーニング 1つ1つの技術のクオリティ向上 ・化粧品成分効果、使用法 ・口頭質問	

8	技術編Ⅰ プリント	７の反復	相モデルトレーニング １つ１つの技術のクオリティ向上 ・化粧品成分効果、使用法 ・口頭質問	
9	技術編Ⅰ プリント	ボディマッサージ（全身） ※CIDESCO 試験化粧品使用 ※論文についての口頭質問	相モデルトレーニング １つ１つの技術のクオリティ向上 ・化粧品成分効果、使用法 ・口頭質問	
10	技術編Ⅰ プリント	９の反復	相モデルトレーニング １つ１つの技術のクオリティ向上 ・化粧品成分効果、使用法 ・口頭質問	
11	プリント	プレトリートメント ◇洗浄～ディープクレンジング ※CIDESCO 試験化粧品使用	相モデルトレーニング 洗浄～ディープクレンジング ・化粧品成分及び使用法説明	
12	プリント	１１の反復	相モデルトレーニング 洗浄～ディープクレンジング ・化粧品成分及び使用法説明	
13	プリント	プレトリートメント ◇洗浄～ディープクレンジング ※CIDESCO 試験化粧品使用	相モデルトレーニング 洗浄～ディープクレンジング ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
14	プリント	１３の反復	相モデルトレーニング 洗浄～ディープクレンジング ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
15	プリント	プレトリートメント ◇ヒートトリートメント ※CIDESCO 試験化粧品使用 ※赤外線	相モデルトレーニング ヒートトリートメント ・化粧品成分及び使用法説明 ・赤外線使用法及び効果	
16	プリント	１５の反復	相モデルトレーニング ヒートトリートメント ・化粧品成分及び使用法説明 ・赤外線使用及び効果	
17	プリント	プレトリートメント ◇ヒートトリートメント ※CIDESCO 試験化粧品使用 ※電気毛布	相モデルトレーニング ヒートトリートメント ・化粧品成分及び使用法説明 ・電気毛布使用方法及び効果	
18	プリント	１７の反復	相モデルトレーニング ヒートトリートメント ・化粧品成分及び使用法説明 ・電気毛布使用方法及び効果	

19	プリント	電気機器トリートメント ◇Ｇ５ （下肢背面）	相モデルトレーニング Ｇ５（下肢背面） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
20	プリント	１９の反復	相モデルトレーニング Ｇ５（下肢背面） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
21	プリント	電気機器トリートメント ◇Ｇ５ （背部）	相モデルトレーニング Ｇ５（背部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
22	プリント	２１の反復	相モデルトレーニング Ｇ５（背部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
23	プリント	電気機器トリートメント ◇Ｇ５ （下肢前面）	相モデルトレーニング Ｇ５（下肢前面） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
24	プリント	２３の反復	相モデルトレーニング Ｇ５（下肢前面） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
25	プリント	電気機器トリートメント ◇Ｇ５ （腹部）	相モデルトレーニング Ｇ５（腹部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
26	プリント	２５の反復	相モデルトレーニング Ｇ５（腹部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
27	プリント	電気機器トリートメント ◇Ｇ５ （背面）	相モデルトレーニング Ｇ５（背面・・下肢背面～背部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法 ・口頭質問	
28	プリント	２７の反復	相モデルトレーニング Ｇ５（背面・・下肢背面～背部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法 ・口頭質問	

29	プリント	電気機器トリートメント ◇Ｇ５ （前面）	相モデルトレーニング Ｇ５（前面・・下肢前面～腹部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法 ・口頭質問	
30	プリント	２９の反復	相モデルトレーニング Ｇ５（前面・・下肢前面～腹部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法 ・口頭質問	
31	プリント	２７、２８の反復	相モデルトレーニング Ｇ５（背面・・下肢背面～背部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法 ・口頭質問	
32	プリント	２７、２８の反復	相モデルトレーニング Ｇ５（背面・・下肢背面～背部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法 ・口頭質問	
33	プリント	電気機器トリートメント ◇ガルバニック （パディング・・前面数種）	相モデルトレーニング ガルバニック（前面数種） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法	
34	プリント	３３の反復	相モデルトレーニング ガルバニック（前面数種） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法	
35	プリント	電気機器トリートメント ◇ガルバニック （パディング・・後面数種）	相モデルトレーニング ガルバニック（後面数種） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法	
36	プリント	３５の反復	相モデルトレーニング ガルバニック（後面数種） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法	
37	プリント	電気機器トリートメント ◇ガルバニック （大腿部・・仰向け）	相モデルトレーニング ガルバニック（大腿部→仰向け） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	

38	プリント	３７の反復	相モデルトレーニング ガルバニック（大腿部→仰向け） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
39	プリント	電気機器トリートメント ◇ガルバニック （大腿部・・うつ伏せ）	相モデルトレーニング ガルバニック（大腿部→うつ伏せ） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
40	プリント	３９の反復	相モデルトレーニング ガルバニック（大腿部→うつ伏せ） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
41	プリント	３９、４０の反復	相モデルトレーニング ガルバニック（大腿部→うつ伏せ） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
42	プリント	３９、４０の反復	相モデルトレーニング ガルバニック（大腿部→うつ伏せ） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
43	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディ低周波 （パディング・・前面）	相モデルトレーニング ボディ低周波（前面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法	
44	プリント	４３の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（前面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法	
45	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディ低周波 （パディング・・後面）	相モデルトレーニング ボディ低周波（後面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法	
46	プリント	４５の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（後面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法	

47	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディ低周波 （パディング・・前面） ※腕＆大胸筋含むパディング例	相モデルトレーニング ボディ低周波（前面+腕+大胸筋） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法	
48	プリント	４７の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（前面+腕+大胸筋） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法	
49	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディ低周波 （パディング・・後面） ※背中を含むパディング例	相モデルトレーニング ボディ低周波（後面+背中） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法	
50	プリント	４９の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（後面+背中） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法	
51	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディ低周波 （パディング前面）	相モデルトレーニング ボディ低周波（前面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
52	プリント	５１の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（前面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
53	プリント	５１、５２の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（前面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
54	プリント	５１、５２の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（前面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
55	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディ低周波 （パディング後面）	相モデルトレーニング ボディ低周波（後面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	

56	プリント	５５の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（後面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
57	プリント	５５、５６の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（後面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
58	プリント	５５、５６の反復	相モデルトレーニング ボディ低周波（後面） ・メカニズム、筋肉名称 ・パディング方法 ・口頭質問＆タイム測定	
59	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディサクション （下肢）	相モデルトレーニング ボディサクション（下肢） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
60	プリント	５９の反復	相モデルトレーニング ボディサクション（下肢） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
61	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディサクション （腹部～臀部～背部）	相モデルトレーニング ボディサクション （腹部～臀部～背部）） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
62	プリント	６１の反復	相モデルトレーニング ボディサクション （腹部～臀部～背部） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
63	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディサクション （胸部～上肢）	相モデルトレーニング ボディサクション（胸部～上肢） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
64	プリント	６３の反復	相モデルトレーニング ボディサクション（胸部～上肢） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	

65	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディサクション （下肢）	相モデルトレーニング ボディサクション（下肢） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
66	プリント	６５の反復	相モデルトレーニング ボディサクション（下肢） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法	
67	プリント	電気機器トリートメント ◇ボディサクション （下肢）	相モデルトレーニング ボディサクション（下肢） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法 ・口頭質問	
68	プリント	６７の反復	相モデルトレーニング ボディサクション（下肢） ・メカニズム、使用化粧品説明 ・トリートメント方法 ・口頭質問	
69	プリント	ボディパック ◇ボディ分析別化粧品 ※CIDESCO 試験化粧品使用	相モデルトレーニング ボディ分析別化粧品（パック） ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
70	プリント	６９の反復	相モデルトレーニング ボディ分析別化粧品（パック） ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
71	プリント	ボディパック ◇ボディ分析別化粧品 ※CIDESCO 試験化粧品使用	相モデルトレーニング ボディ分析別化粧品（パック） ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
72	プリント	７１の反復	相モデルトレーニング ボディ分析別化粧品（パック） ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
73	プリント	ボディパック～仕上げ（保護） ◇ボディ分析別化粧品 ※CIDESCO 試験化粧品使用	相モデルトレーニング ボディ分析別化粧品（パック～保護） ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	
74	プリント	７３の反復	相モデルトレーニング ボディ分析別化粧品（パック～保護） ・化粧品成分及び使用法説明 ・口頭質問	

75	プリント	カウンセリングシート作成 ◇CIDESCO 試験用シート使用 ※前後半交代（45×2）	相モデルトレーニング（45×2） ・カウンセリングシート作成 ・プライムライン＆ボディ分析法 ・動線確認 ・カウンセリングシートチェック	
76	プリント 参考資料	ボディ総合 ◇CIDESCO 試験対策	相モデルトレーニング ボディ分析～プレトリートメント ・口頭質問 ・カウンセリングシートチェック	
77	プリント 参考資料	７６の反復	相モデルトレーニング ボディ分析～プレトリートメント ・口頭質問 ・カウンセリングシートチェック	
78	プリント 参考資料	ボディ総合 ◇CIDESCO 試験対策	相モデルトレーニング 電気機器トリートメント① 電気機器トリートメント② ・口頭質問	
79	プリント 参考資料	７８の反復	相モデルトレーニング 電気機器トリートメント① 電気機器トリートメント② ・口頭質問	
80	プリント 参考資料	ボディ総合 ◇CIDESCO 試験対策	相モデルトレーニング ボディ分析～ ボディパック～マッサージ～保護 ・口頭質問 ・カウンセリングシートチェック	
81	プリント 参考資料	８０の反復	相モデルトレーニング ボディ分析～ ボディパック～マッサージ～保護 ・口頭質問 ・カウンセリングシートチェック	
82	プリント 参考資料	ボディ技術テスト	ボディ技術テスト	
83	プリント 参考資料	８２の反復	ボディ技術テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	脱毛Ⅰ	講義＆実習	40時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　22コマ	担当授業時数	44時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	ワックス脱毛の効果と安全性に関する基礎、体毛の仕組みについて理解する。 ワックス脱毛技術の向上に努め、さらに使用する化粧品の成分や特徴、毛の構造や毛周期などの知識を持ち、脱毛するにあたり有効な施術が行えるようにする。
指導目標	ワックス脱毛に基本的な毛髪学概論と技術に関する基礎的な知識を習得させる。 安全かつ手際がよい技術が行えるようにするとともに、衛生面に留意したトリートメントが行えるように指導する。 ウォームワックスとホットワックスの違いや特性を理解させる。
指導の要点及び留意点	各部位に対する基本的なワックス脱毛技術を確実に身につけさせる。 手指や器具の消毒等、衛生面に対する意識を高めるよう指導する。
評価の方法	評価基準表による採点・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	技術編Ⅰ	Lesson1 体毛について	板書＆教本ライン ・毛髪学概論 ・毛の特色と分類 ・毛と毛包の構造	
2	技術編Ⅰ	Lesson1 体毛について Lesson2 ワックス脱毛概論	板書＆教本ライン ・毛周期 ・脱毛の種類 ・ワックス脱毛施術の流れ ・準備（ワゴン＆ベッド） ・禁忌事項、ホームケアアドバイス ・使用化粧品（成分知識）	
3	技術編Ⅰ	Lesson3 ワックス脱毛技術 ウォームワックス（膝下）	教本ライン ・ワックス脱毛の基本技術（流れ） ・ワゴン＆ベッドセッティング ・衛生面 ・デモンストレーション（膝下）	
4	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下	相モデルトレーニング（膝下）	
5	技術編Ⅰ	4の反復	相モデルトレーニング（膝下）	

6	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下	相モデルトレーニング（膝下）	
7	技術編Ⅰ	６の反復	相モデルトレーニング（膝下）	
8	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 大腿部	相モデルトレーニング（大腿部）	
9	技術編Ⅰ	８の反復	相モデルトレーニング（大腿部）	
10	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 上肢	相モデルトレーニング（上肢）	
11	技術編Ⅰ	１０の反復	相モデルトレーニング（上肢）	
12	技術編Ⅰ プリント	ホットワックス概論	板書 ・ワックス剤の種類 ・ホットワックスの特徴 ・ホットワックス施術の注意事項 ・工程&施術ポイント ・シデスコロ頭質問のポイント	
13	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ホット） 腋	デモンストレーション（腋） 相モデルトレーニング（腋）	
14	技術編Ⅰ	１３の反復	相モデルトレーニング（腋）	
15	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ホット） 腋	相モデルトレーニング（腋）	
16	技術編Ⅰ	１５の反復	相モデルトレーニング（腋）	
17	技術編Ⅰ	ワックス脱毛 （ウォーム&ホット） 膝下&腋	相モデルトレーニング （膝下&腋）	
18	技術編Ⅰ	１７の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋）	
19	技術編Ⅰ	ワックス脱毛 （ウォーム&ホット） 膝下&腋	・技術テスト対策（ポイント） 相モデルトレーニング （膝下&腋）	
20	技術編Ⅰ	１９の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋）	
21	技術編Ⅰ	脱毛技術テスト（ウォーム） 膝下	脱毛技術テスト	
22	技術編Ⅰ	２２の反復	脱毛技術テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	脱毛Ⅱ	講義＆実習	40時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　22コマ	担当授業時数	44時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	ワックス脱毛の効果と安全性に関する基礎、体毛の仕組みについて理解したうえで、ワックス脱毛技術の向上に努め、さらに使用する化粧品の成分や特徴、毛の構造や毛周期などの知識を持ち、脱毛するにあたり手際よく有効な施術が行えるようにする。
指導目標	ワックス脱毛に必要な毛髪学概論と技術に関する知識、化粧品成分、使用目的を習得させたうえで、安全かつ手際がよい技術が行えるようにするとともに、コスト面及び衛生面に留意したトリートメントが行えるように指導する。シデスコ口頭質問対策を行う。ウォームワックスとホットワックスの違いや特性を理解させる。
指導の要点及び留意点	各部位に対する安全かつ手際がよいワックス脱毛技術を確実に身につけさせる。 手指や器具の消毒等、衛生面や、コスト面に対する意識を高めるよう指導する。
評価の方法	評価基準表による採点・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	技術編Ⅰ	Lesson1 体毛について	板書＆教本ライン ・毛髪学概論 ・毛の特色と分類 ・毛と毛包の構造 ※口頭質問を交えながら理解度向上	
2	技術編Ⅰ	Lesson1 体毛について Lesson2 ワックス脱毛概論	板書＆教本ライン ・毛周期 ・脱毛の種類 ・ワックス脱毛施術の流れ＆準備 ・禁忌事項、ホームケアアドバイス ・使用化粧品（成分知識） ※口頭質問を交えながら理解度向上	
3	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下＆大腿部	相モデルトレーニング （膝下＆大腿部）	
4	技術編Ⅰ	3の反復	相モデルトレーニング （膝下＆大腿部）	
5	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下＆大腿部	相モデルトレーニング （膝下＆大腿部）	
6	技術編Ⅰ	5の反復	相モデルトレーニング （膝下＆大腿部）	

7	技術編Ⅰ 上肢	ワックス脱毛 上肢	相モデルトレーニング （上肢）	
8	技術編Ⅰ	７の反復	相モデルトレーニング （上肢）	
9	技術編Ⅰ プリント	ホットワックス概論	板書 ・ワックス剤の種類 ・ホットワックスの特徴 ・ホットワックス施術の注意事項 ・工程&施術ポイント ・シデスコ口頭質問のポイント	
10	技術編Ⅰ プリント	ワックス脱毛（ホット） 腋	デモンストレーション（腋） ※各自、自分の上肢&脚で練習	
11	技術編Ⅰ プリント	ワックス脱毛（ホット） 腋	相モデルトレーニング （腋）	
12	技術編Ⅰ プリント	１１の反復	相モデルトレーニング （腋）	
13	技術編Ⅰ プリント	ワックス脱毛（ホット） 腋	相モデルトレーニング （腋） ※Ｖライン施術方法口頭説明	
14	技術編Ⅰ プリント	１３の反復	相モデルトレーニング （腋） ※Ｖライン施術方法口頭説明	
15	技術編Ⅰ プリント	ワックス脱毛 （ウォーム&ホット） 膝下&腋	相モデルトレーニング （膝下&腋） ・口頭質問	
16	技術編Ⅰ プリント	１５の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋） ・口頭質問	
17	技術編Ⅰ プリント	ワックス脱毛 （ウォーム&ホット） 膝下&腋	相モデルトレーニング （膝下&腋） ・口頭質問 ・タイム測定	
18	技術編Ⅰ プリント	１７の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋） ・口頭質問 ・タイム測定	
19	技術編Ⅰ プリント	１７、１８の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋） ・口頭質問 ・タイム測定	

20	技術編Ⅰ プリント	１７、１８の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋） ・口頭質問 ・タイム測定	
21	技術編Ⅰ プリント	脱毛技術テスト （ウォーム&ホット） 膝下&腋	脱毛技術テスト（膝下&腋） ・口頭質問 ・タイム測定	
22	技術編Ⅰ プリント	２１の反復	脱毛技術テスト（膝下&腋） ・口頭質問 ・タイム測定	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅠ	講義	170時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　5コマ	担当授業時数	10時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	認定エステティシャン　歴15年

学習の目的	エステティックに関する基礎知識と、エステティックの本質となる「ソワンエステティック」について理解し、エステティシャンとして社会で働くうえで基礎的な心遣いを学ぶ。法令遵守の必要性を学び、実践することを理解させる。
指導目標	1、エステティックとは何か、エステティック業界の統一自主基準を理解させ、医療行為とは異なることを理解させる。 2、顔の筋肉やリンパ節の位置を理解させ、安全に施術が行えるよう知識を深める。
指導の要点及び留意点	日本におけるエステティックでは医療行為はできないことを理解させる。 フェイシャルエステティックでできる範囲をしっかり理解させる。
評価の方法	授業態度 筆記試験：100点満点（配分未定）予定

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書・教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学　技術編Ⅰ P7～22	Lesson1～Lesson4 フェイシャルエステティックとは	フェイシャルエステティックとは何かを理解させる。トリートメントの流れを理解させる。	
2	新エステティック学　技術編Ⅰ P23～32	Lesson5 エステティック機器について	エステティック機器の種類と使用方法、目的、禁忌事項を理解させる。	
3	新エステティック学　技術編Ⅰ P33～48	Lesson6 フェイシャルマッサージ	基本手技の手法、効果、作用を理解させる。リンパや筋肉の名称を覚える。	
4	プリント	フェイシャル実技理論練習問題 解答、解説	練習問題を実施し、理解を深める。	
5	プリント	フェイシャル実技理論 解答、解説	練習問題の解答、解説を行うことで理解を深め、できなかったところの復習をする。	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅠ (タイ古式)	実習	170時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　10コマ		担当授業時数	20時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師	
学習の目的	東洋医学の歴史や、仏教との関わりについても理解し、代替医療、予防医学としても大きな役割を果たしている「タイ古式マッサージ」について学び、基本的な施術ができるようになることを目的とする。			
指導目標	東洋医学の一つであるタイ王国の伝統医学として現代においても様々なマッサージ、エステティックケアのベースとしても応用される「タイ古式マッサージ」をその歴史と、施術法について学び、「タイ古式マッサージ」の基本手技を用いた施術ができるように指導する。			
指導の要点及び留意点	授業は講義と実技演習などを中心とする。相モデルを組み、施術者側、モデル側双方の立場になり、それぞれの立場に立って学生自らより良い技能を工夫できる授業を展開していく。			
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記および実技試験の結果を考慮して成績を評価する。			

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	タイ古式マッサージについて	講義	
2	プリント	注意事項 1、横向き	講義 デモンストレーション　実技練習	
3	プリント	1、横向き　復習	実技練習	
4	プリント	2、うつ伏せ	デモンストレーション 実技練習	
5	プリント	3、仰向け	デモンストレーション 実技練習	
6	プリント	4、あぐら座り～終了	デモンストレーション 実技練習	
7	プリント	トータル練習①	実技練習	
8	プリント	トータル練習②	実技練習	
9	プリント	実技テスト練習	実技練習	
10		テスト	実技テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅠ	講義&実習	170時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　57コマ	担当授業時数	114時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	幅広い知識と応用技術を学び、生活環境や年齢等の異なる方の肌に触れることで、エステティシャンスキルの高い人材を育成。また、接客業に大切なホスピタリティを学ぶことで、１人の社会人として必要とされる社会人基礎力を高める。
指導目標	エステティック基礎技術を基に、ストーンセラピーやタラソテラピー等、応用技術を学ばせるとともに、幅広い知識を習得させる。また、習得した応用技術を活用し、外部のお客様へエステティック施術を行うことで、より実践に近い環境で学ばせると共に、言葉遣いや心配りなど、ホスピタリティマインドも習得させる。
指導の要点及び留意点	お客様に喜んでいただける技術や知識向上とともに、言葉遣いや心配りなど、接客する姿勢にも留意して指導する。
評価の方法	出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	ストーンセラピー理論	・ストーンセラピーとは ・ストーンセラピーの歴史 ・ストーンについて ・ストーンセラピーの効果	
2	プリント	ストーンセラピー理論	・禁忌事項 ・チャクラについて ・ストーンの浄化方法 ・準備（ワゴン&ベッド） ・ストーン準備方法	
3	プリント	ストーンセラピー実技 ストーンレイアウト 下肢背面	・デモンストレーション（下肢背面） ・相モデルトレーニング（下肢背面）	
4	プリント	３の反復	・相モデルトレーニング（下肢背面）	
5	プリント	ストーンセラピー実技 下肢背面～背部	・デモンストレーション（背部） ・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	
6	プリント	５の反復	・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	

7	プリント	ストーンセラピー実技 下肢背面～背部	・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	
8	プリント	７の反復	・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	
9	プリント	ストーンセラピー実技 ストーンレイアウト 下肢前面	・デモンストレーション（下肢前面） ・相モデルトレーニング（下肢前面）	
10	プリント	９の反復	・相モデルトレーニング（下肢前面）	
11	プリント	ストーンセラピー実技 下肢前面～上肢	・デモンストレーション（上肢） ・相モデルトレーニング （下肢前面～上肢）	
12	プリント	１１の反復	・相モデルトレーニング （下肢前面～上肢）	
13	プリント	ストーンセラピー実技 全身	・相モデルトレーニング（全身）	
14	プリント	１３の反復	・相モデルトレーニング（全身）	
15	プリント	ストーンセラピー実技 全身	・相モデルトレーニング（全身） アロマオイルをブレンドして使用	
16	プリント	１５の反復	・相モデルトレーニング（全身） アロマオイルをブレンドして使用	
17	プリント	タラソテラピー概論	・生命の源「海」 ・タラソテラピーとは ・タラソテラピーの種類 ・タラソテラピーの要素 （海水、海藻）	
18	プリント	タラソテラピー概論	・タラソテラピーの要素 （海泥、海洋性気候） ・世界のスパ ・効果効能 ・禁忌事項 ・ホームケアアドバイス	
19	プリント	タラソテラピー実技 背部トリートメント	・デモンストレーション ・相モデルトレーニング （背部トリートメント）	
20	プリント	１９の反復	・相モデルトレーニング （背部トリートメント）	
21	プリント	１９、２０の反復	・相モデルトレーニング （背部トリートメント）	
22	プリント	１９、２０の反復	・相モデルトレーニング （背部トリートメント）	

23	プリント	タラソテラピー実技 レッグトリートメント	・デモンストレーション ・相モデルトレーニング （レッグトリートメント）	
24	プリント	２３の反復	・相モデルトレーニング （レッグトリートメント）	
25	プリント	２３、２４の反復	・相モデルトレーニング （レッグトリートメント）	
26	プリント	２３、２４の反復	・相モデルトレーニング （レッグトリートメント）	
27	プリント	タラソテラピー実技 背面全身トリートメント	・相モデルトレーニング （背面全身トリートメント）	
28	プリント	タラソテラピー実技 背面全身トリートメント	・相モデルトレーニング （背面全身トリートメント）	
29	プリント	学園祭対応特別授業 ハンドケア	・相モデルトレーニング （ハンドケア）	
30	プリント	２９の反復	・相モデルトレーニング （ハンドケア）	
31	プリント	２９、３０の反復	・相モデルトレーニング （ハンドケア）	
32	プリント	２９、３０の反復	・相モデルトリートメント （ハンドケア）	
33	プリント	学園祭対応特別授業 フットケア	・相モデルトレーニング （フットケア）	
34	プリント	３３の反復	・相モデルトレーニング （フットケア）	
35	プリント	３３、３４の反復	・相モデルトレーニング （フットケア）	
36	プリント	３３、３４の反復	・相モデルトレーニング （フットケア）	
37	プリント	スペシャル実習 ◇ショコラトリートメント	・デモンストレーション ・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ショコラトリートメント	
38	プリント	３７の反復	・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ショコラトリートメント	
39	プリント	スペシャル実習 ◇ハニートリートメント	・デモンストレーション ・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ハニートリートメント	
40	プリント	３９の反復	・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ハニートリートメント	

41	プリント	スペシャル実習 ◇背中スパトリートメント ◇ポリネシアンテクニック	・デモンストレーション ・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
42	プリント	４１の反復	・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
43	プリント	４１、４２の反復	・相モデルトレーニング ・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
44	プリント	４１、４２の反復	・相モデルトレーニング ・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
45	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇フェイシャル実技理論	解説＆解答 ・フェイシャル実技理論 （プリント使用）	
46	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇フェイシャル実技理論	解説＆解答 ・フェイシャル実技理論 （プリント使用）	
47	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇ボディ実技理論	解説＆解答 ・ボディ実技理論 （プリント使用）	
48	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇ボディ実技理論	解説＆解答 ・ボディ実技理論 （プリント使用）	
49	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇ワックス脱毛実技理論	解説＆解答 ・ワックス脱毛実技理論 （プリント使用）	
50	プリント 練習問題	筆記試験対策（模擬試験） 練習問題①②	プリント練習問題①②使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説	
51	プリント 練習問題	筆記試験対策（模擬試験） 練習問題③④	プリント練習問題③④使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説	
52	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 練習問題⑤ 過去問題	プリント練習問題⑤使用 プリント過去問題使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説	

53	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題 （練習問題①～⑤復習）	プリント過去問題使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	
54	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題 （練習問題①～⑤復習）	プリント過去問題使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	
55	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題＆練習問題	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	
56	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題＆練習問題	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	
57	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題＆練習問題	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅡ	講義＆実習	210時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　69コマ	担当授業時数	138時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	幅広い知識と応用技術を学び、生活環境や年齢等の異なる方の肌に触れることで、エステティシャンスキルの高い人材を育成。またシデスコ試験へ向けて、学んだ理論と実技をベースに、総合的に判断し安全かつ有効的なトリートメントが行えるよう指導する。
指導目標	ストーンセラピーやタラソテラピー、リフレクソロジー、スパトリートメント等、応用技術を学ばせるとともに、幅広い知識を習得させ、実践で活躍できる学生を育成する。また、シデスコ試験対策として、外部モデル実習も交えながら、個々のクライアントに合わせ、総合的に判断し、トリートメント選択及び技術が行える学生へと育てる。
指導の要点及び留意点	お客様に喜んでいただける技術や知識向上とともに、言葉遣いや心配りなど、接客する姿勢にも留意して指導する。口頭質問を交えながら理解度向上させるとともに、試験対策として、タイム測定も行い、時間内に手際よく行えるよう指導する。
評価の方法	出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント 練習問題	CIDESCO筆記試験 ◇MCQ対策	プリント練習問題①②使用 ・１００問×２パターン模擬試験	
2	プリント 練習問題	CIDESCO筆記試験 ◇MCQ対策	プリント練習問題③④使用 ・１００問×２パターン模擬試験	
3	プリント 練習問題	CIDESCO筆記試験 ◇MCQ対策	プリント練習問題⑤使用 プリントシデスコ資料①使用 ・１００問×２パターン模擬試験	
4	プリント 練習問題 過去問題	CIDESCO筆記試験 ◇MCQ対策	プリントシデスコ資料②使用 プリント過去問題使用 ・１００問×１パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	
5	プリント 練習問題 過去問題	ＭＣＱ対策	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験	
6	プリント 練習問題 過去問題	ＭＣＱ対策	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験	

7	プリント	ストーンセラピー理論	・ストーンセラピーとは ・ストーンセラピーの歴史 ・ストーンについて ・ストーンセラピーの効果	
8	プリント	ストーンセラピー理論	・禁忌事項 ・チャクラについて ・ストーンの浄化方法 ・準備（ワゴン&ベッド） ・ストーン準備方法	
9	プリント	ストーンセラピー実技 ストーンレイアウト ◇下肢背面～背部	・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	
10	プリント	９の反復	・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	
11	プリント	ストーンセラピー実技 ストーンレイアウト ◇下肢前面	・デモンストレーション（下肢前面） ・相モデルトレーニング（下肢前面）	
12	プリント	１１の反復	・相モデルトレーニング（下肢前面）	
13	プリント	ストーンセラピー実技 ◇下肢前面～上肢	・デモンストレーション（上肢） ・相モデルトレーニング （下肢前面～上肢）	
14	プリント	１３の反復	・相モデルトレーニング （下肢前面～上肢）	
15	プリント	ストーンセラピー実技 ◇全身	・相モデルトレーニング（全身） アロマオイルをブレンドして使用	
16	プリント	１５の反復	・相モデルトレーニング（全身） アロマオイルをブレンドして使用	
17	プリント	タラソテラピー概論	・生命の源「海」 ・タラソテラピーとは ・タラソテラピーの種類 ・タラソテラピーの要素 （海水、海藻）	
18	プリント	タラソテラピー概論	・タラソテラピーの要素 （海泥、海洋性気候） ・世界のスパ ・効果効能 ・禁忌事項 ・ホームケアアドバイス	

19	プリント	タラソテラピー実技 ◇全身スパトリートメント	・デモンストレーション ・スペシャル実習 ◇全身スパトリートメント	
20	プリント	１９の続き ※１９番同じ技術者による実習	・スペシャル実習続き （２コマ同じ技術者による実習）	
21	プリント	１９、２０の反復	・デモンストレーション ・スペシャル実習 ◇全身スパトリートメント	
22	プリント	２１の続き ※２１番同じ技術者による実習	・スペシャル実習続き （２コマ同じ技術者による実習）	
23	プリント	フットケア理論	・足の骨の構造と役割 ・アーチ形成 ・足の皮膚の構造と特徴 ・骨のトラブル ・皮膚のトラブル	
24	プリント	フットケア理論 リフレクソロジー理論	・爪のトラブル ・リフレクソロジーとは ・反射区 ・禁忌事項 ・リフレクソロジー工程説明	
25	プリント	リフレクソロジー実技 ◇オイルリフレクソロジー	・デモンストレーション ・相モデルトレーニング アロマオイルをブレンドして使用	
26	プリント	２５の反復	・相モデルトレーニング アロマオイルをブレンドして使用	
27	プリント	スペシャル実習 ◇全身スパトリートメント ◇ポリネシアンテクニック	・デモンストレーション ・スペシャル実習 ◇全身スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
28	プリント	２７の続き ※２７番同じ技術者による実習	・スペシャル実習続き （２コマ同じ技術者による実習）	
29	プリント	２７、２８の反復	・デモンストレーション ・スペシャル実習 ◇全身スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
30	プリント	２９の続き ※２９番同じ技術者による実習	・スペシャル実習続き （２コマ同じ技術者による実習）	
31	プリント	スペシャル実習 ◇全身スパトリートメント ◇ポリネシアンテクニック	・相モデルスペシャル実習 ◇全身スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	

32	プリント	３１の反復	・相モデルスペシャル実習 ◇全身スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
33	プリント	学園祭対応特別授業 ハンドケア	・相モデルトレーニング （ハンドケア＆ストレスケア）	
34	プリント	学園祭対応特別授業 フットケア	・相モデルトレーニング （フットケア）	
35	プリント	３４の反復	・相モデルトレーニング （フットケア）	
36	プリント	スペシャル実習 ◇ショコラトリートメント	・デモンストレーション ・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ショコラトリートメント	
37	プリント	３６の反復	・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ショコラトリートメント	
38	プリント	スペシャル実習 ◇ハニートリートメント	・デモンストレーション ・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ハニートリートメント	
39	プリント	３８の反復	・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ハニートリートメント	
40	プリント	フェイシャル総合（２コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ※試験同様のタイムスケジュールにて行う ※口頭質問 カウンセリングシートチェック	相モデルトレーニング ・クレンジング ・コンサルテーション ・ティンティング＆シェービング ・ディープクレンジング ・電気機器トリートメント	
41	プリント	４０の続き ※４０番同じ技術者による実習	相モデルトレーニング続き （２コマ同じ技術者による実習） ・マッサージ ・マスク ・マニキュア OR ペディキュア ・メイク	
42	プリント	フェイシャル総合（２コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ４０、４１の反復	相モデルトレーニング ・クレンジング ・コンサルテーション ・ティンティング＆シェービング ・ディープクレンジング ・電気機器トリートメント	

43	プリント	４２の続き ※４２番同じ技術者による実習	相モデルトレーニング続き （２コマ同じ技術者による実習） ・マッサージ ・マスク ・マニキュア OR ペディキュア ・メイク	
44	プリント	フェイシャル総合（２コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ※試験同様のタイムスケジュールにて行う ※口頭質問 カウンセリングシートチェック	相モデルトレーニング ・クレンジング ・コンサルテーション ・ティンティング＆シェービング ・ディープクレンジング ・電気機器トリートメント	
45	プリント	４４の続き ※４４番同じ技術者による実習	相モデルトレーニング続き （２コマ同じ技術者による実習） ・マッサージ ・マスク ・マニキュア OR ペディキュア ・メイク	
46	プリント	フェイシャル総合（２コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ４４、４５の反復	相モデルトレーニング ・クレンジング ・コンサルテーション ・ティンティング＆シェービング ・ディープクレンジング ・電気機器トリートメント	
47	プリント	４６の続き ※４６番同じ技術者による実習	相モデルトレーニング続き （２コマ同じ技術者による実習） ・マッサージ ・マスク ・マニキュア OR ペディキュア ・メイク	
48	プリント	ボディ総合（２コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ※試験同様のタイムスケジュールにて行う ※口頭質問 カウンセリングシートチェック	相モデルトレーニング ・コンサルテーション ・洗浄 ・プレトリートメント ・電気機器トリートメント	
49	プリント	４８の続き ※４８番同じ技術者による実習	相モデルトレーニング続き （２コマ同じ技術者による実習） ・マッサージ ・ワックス脱毛 （ウォーム・・膝下） （ホット・・腋）	

50	プリント	ボディ総合（２コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ４８、４９の反復	相モデルトレーニング ・コンサルテーション ・洗浄 ・プレトリートメント ・電気機器トリートメント	
51	プリント	５０の続き ※５０番同じ技術者による実習	相モデルトレーニング続き （２コマ同じ技術者による実習） ・マッサージ ・ワックス脱毛 （ウォーム・・膝下） （ホット・・腋）	
52	プリント	ボディ総合（２コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ※試験同様のタイムスケジュールにて行う ※口頭質問 カウンセリングシートチェック	相モデルトレーニング ・コンサルテーション ・洗浄 ・プレトリートメント ・電気機器トリートメント	
53	プリント	５２の続き ※５２番同じ技術者による実習	相モデルトレーニング続き （２コマ同じ技術者による実習） ・マッサージ ・ワックス脱毛 （ウォーム・・膝下） （ホット・・腋）	
54	プリント	ボディ総合（２コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ５２、５３の反復	相モデルトレーニング ・コンサルテーション ・洗浄 ・プレトリートメント ・電気機器トリートメント	
55	プリント	５４の続き ※５４番同じ技術者による実習	相モデルトレーニング続き （２コマ同じ技術者による実習） ・マッサージ ・ワックス脱毛 （ウォーム・・膝下） （ホット・・腋）	
56	プリント	模擬練習（４コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ※外部モデル実習 ※試験同様のタイムスケジュールにて行う ※口頭質問 カウンセリングシートチェック	CIDESCO 試験対策（模擬練習） ※外部モデル実習 ◇フェイシャル ・クレンジング ・コンサルテーション ・ティンティング＆シェービング ・ディープクレンジング ・電気機器トリートメント	

57	プリント	５６の続き ※全員技術者による実習	CIDESCO 試験対策（模擬練習） ※外部モデル実習 ◇フェイシャル続き ・マッサージ ・マスク ・マニキュア OR ペディキュア ・メイク	
58	プリント	５７の続き ※全員技術者による実習	CIDESCO 試験対策（模擬練習） ※外部モデル実習 ◇ボディ ・コンサルテーション ・洗浄 ・プレトリートメント ・電気機器トリートメント	
59	プリント	５８の続き ※全員技術者による実習	CIDESCO 試験対策（模擬練習） ※外部モデル実習 ◇ボディ続き ・マッサージ ・ワックス脱毛（ウォーム&ホット）	
60	プリント	模擬試験（４コマ使用） ◇CIDESCO 試験対策 ※シデスコ試験モデル実習 ※試験同様のタイムスケジュールにて行う ※口頭質問 カウンセリングシートチェック	CIDESCO 試験対策（模擬試験） ※試験モデル実習 ◇フェイシャル ・クレンジング ・コンサルテーション ・ティンティング&シェービング ・ディープクレンジング ・電気機器トリートメント	
61	プリント	６０の続き ※全員技術者による実習	CIDESCO 試験対策（模擬試験） ※試験モデル実習 ◇フェイシャル続き ・マッサージ ・マスク ・マニキュア OR ペディキュア ・メイク	
62	プリント	６１の続き ※全員技術者による実習	CIDESCO 試験対策（模擬試験） ※試験モデル実習 ◇ボディ ・コンサルテーション ・洗浄 ・プレトリートメント ・電気機器トリートメント	

63	プリント	６２の続き ※全員技術者による実習	CIDESCO 試験対策（模擬試験） ※試験モデル実習 ◇ボディ続き ・マッサージ ・ワックス脱毛（ウォーム&ホット）	
64	プリント	◇CIDESCO 試験対策 フェイシャル&ボディ実習	CIDESCO 試験対策（２コマ使用） 模擬試験での課題について各自実習 ※口頭質問対策	
65	プリント	６４の続き ※６４番同じ技術者による実習	CIDESCO 試験対策（２コマ使用） 模擬試験での課題について各自実習 ※口頭質問対策	
66	プリント	◇CIDESCO 試験対策 フェイシャル&ボディ実習	CIDESCO 試験対策（２コマ使用） 模擬試験での課題について各自実習 ※口頭質問対策	
67	プリント	６６の続き ※６６番同じ技術者による実習	CIDESCO 試験対策（２コマ使用） 模擬試験での課題について各自実習 ※口頭質問対策	
68	プリント	◇CIDESCO 試験対策 ※シデスコ試験モデル実習	CIDESCO 試験対策 ※試験モデル実習 ・モデル試験同意書 ・試験モデルケア ・最終モデル状態確認 ・カウンセリングシート作成	
69	プリント	６８の続き	CIDESCO 試験対策 ※試験モデル実習 ・カウンセリングシート作成 ・試験準備 ・当日の流れ及び準備品 ・モデルへの伝達事項	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 2年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅡ （インターンシップ実習）	実習	210時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　20コマ	担当授業時数	40時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO国際ライセンス AJESTHE認定講師 エステ経験20年

学習の目的	インターンシップ実習は、店舗での実務、接客、社会人としての態度や礼節など実践的な職場感覚を体得することと同時に、社会人としての人間性を養い、将来の適正について考える機会を与える。
指導目標	1．エステティシャンに必要な知識、技術を習得させる。 2．相モデル実習を通して、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身につけさせる。 3．現場の即戦力となれる様、エステティシャンとして必要不可欠な気遣い、おもてなしの心、丁寧な接客、笑顔、表現方法とともに、機転の利く行動力、個別のクライアントへの対応力を身につけさせる。
指導の要点及び留意点	インターンシップの目的、心得を理解させ、実践的職場実習の経験をさせることで、より一層の職業意識を高めさせる。
評価の方法	・実習店舗先による総合評価 ・実習先での出欠席

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
2	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
3	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
4	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
5	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	

6	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
7	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
8	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
9	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
10	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
11	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
12	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
13	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
14	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
15	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
16	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
17	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
18	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	
19	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	

20	業務日誌	・補助業務 ・接客 ・社会人としての態度、礼節	・店舗での実務実習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和５年度 ２年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅡ （インターンシップ＆就活指導）	実習	210 時間

配当時間	１コマ 90 分　前･後期　12 コマ	担当授業時数	24 時間

実務経験のある教員科目の有無	（有）・　無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年

学習の目的	インターンシップ実習へ向けて、社会人としての態度や礼節、人間性、また接客業に大切なポスピタリティマインドを高める。 就職相談および就職活動における社会人として求められる社会人基礎力を身につけさせる。
指導目標	１．面談を実施し、就職希望に基づく就職活動のサポートを実施。 ２．インターンシップ実習に向けて、受け入れ先の選定、連絡方法、実習における注意点、社会人としての態度や礼節等、社会人基礎力を指導する。
指導の要点及び留意点	インターンシップの目的、心得を理解させる。 就職希望サロンのリサーチを自主的に行う等、積極的な就職活動を実施するよう指導する。
評価の方法	出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	・インターンシップ指導	・受入サロン調査表 ・インターンシップの目的 ・インターンシップ全体の流れ	
2	プリント	・インターンシップ指導	・承諾書 ・問い合わせ注意点 ・電話連絡方法	
3	プリント	・インターンシップ指導	・１回目打合せについて ・社会人としての態度、礼節 ・自己紹介書作成	
4	プリント	・インターンシップ指導	・２回目打合せについて ・社会人としての態度、礼節 ・４０時間実習について	
5	プリント	・インターンシップ指導	・提出書類について ・インターン実習について ・日誌＆出欠表	
6	プリント	・インターンシップ指導	・インターン実習に向けての心構え ・社会人としての態度、礼節	

7	プリント	・インターンシップ指導	・インターン実習に向けての心構え ・社会人としての態度、礼節	
8	プリント	・インターンシップ指導	・インターン実習に向けての心構え ・社会人としての態度、礼節	
9	プリント	・インターンシップ指導	・実習後の提出物について ・お礼状	
10	プリント 参考資料	・就活指導	・社会人としての態度、礼節 ・サロン研究＆リサーチ	
11	プリント 参考資料	・就活指導	・社会人としての態度、礼節 ・サロン研究＆リサーチ	
12	プリント 参考資料	・就活指導 ・面接指導	・社会人としての態度、礼節 ・面接指導 ・履歴書チェック	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	メーキャップ技術理論Ⅰ	講　義	20時間

配当時間	1コマ90分　前期　11コマ	担当授業時数	22時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	メイクアップは生活環境のあらゆる場面に広がりをみせ、どんな人にも、どんな目的にも対応できる基本的なメイクアップ理論を学ぶことにより、感性や感覚だけのメイクアップではない理論をもとに成り立つ基本的なメイクアップを理解する。
指導目標	・メイクアップに必要な基礎的知識を習得し、メイクアップ検定3級取得をめざす。 ・メイクアップの技術、道具の使用方法、モデルへの接し方など、技術者のマナーを身につける。 ・メイクアップに必要な化粧品の特徴を理解し、さまざまな要望に応えられる知識を身につける。
指導の要点及び留意点	美容技術理論2の教科書にそって、メイクアップの基本知識を習得し、実習とリンクしやすいように進める。
評価の方法	期末試験で60点以上を合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	テキスト	光と影のメイクアップ	光と影のメイクアップの法則、キレイに見える陰影を理解する	
2	テキスト	メイクアップテクニック ・顔の構造 ・スキンケアの基礎知識 ・クレンジング	顔の構造を理解し、スキンケアメイクアップの知識と、テクニックを学ぶ。	
3	テキスト	メイクアップテクニック ・ベースメイクアップ	ベースメイクアップの基礎知識とテクニックを学ぶ。	
4	テキスト	メイクアップテクニック ・アイメイクアップ	アイメイクアップの基礎知識とテクニックを学ぶ。	
5	テキスト	メイクアップテクニック ・アイブロウメイクアップ	アイブロウメイクアップの基礎知識とテクニックを学ぶ。	
6	テキスト	メイクアップテクニック ・リップメイクアップ	リップメイクアップの基礎知識とテクニックを学ぶ。	

7	テキスト	メイクアップテクニック ・ブラッシュオンメイクアップ	ブラッシュオンメイクアップの 基礎知識とテクニックを学ぶ。	
8	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	
9	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	
10	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	
11	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ネイル技術理論Ⅰ	※講義もしくは実習	20時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期11コマ	担当授業時数	22時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 美容師免許

学習の目的	安全で安心なネイルサービスを提供できるように衛生や病気についての知識を身につけさせる 基本となるネイルケアの理論を学び、正しい技術を習得させる
指導目標	皮膚学や爪の構造を学び、健康な爪を維持するための理論を学ぶ
指導の要点及び留意点	ネイルに関する正しい知識及び、適切な技術を提供できるように理解させる
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カットスタイル ネイルケア ネイルケア技術体系	・板書　　・ｳｯﾄﾞｽﾃｨｯｸを削る ・用具用材の説明 ・ﾃｰﾌﾞﾙｾｯﾃｨﾝｸﾞ、ﾈｲﾙｹｱの手順を説明 ・ﾌｧｲﾙの角度、爪の形の違いを説明	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア 爪の構造と働き	・実際にﾃｰﾌﾞﾙｾｯﾃｨﾝｸﾞを行う ・爪の各部、名称を細かく学ぶ	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	爪の構造と働き ネイルの歴史	・プリントを使用し爪の各部、名称を覚える ・マニキュアの語源について	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルのための皮膚科学 ﾈｲﾙのための生理解剖学Ⅰ、Ⅱ 爪や皮膚の病気とトラブル	・皮膚の構造や働きを学ぶ。 ・骨の構造、骨の付属組織を説明 ・病気とトラブルについて	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	爪や皮膚の病気とトラブル 消毒法	・プリントを使用し爪や皮膚のトラブルの名称を記入 ・衛生に関することを理解させる	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	化粧品学（ネイル用化粧品） 色彩理論	・板書 ・化粧品の定義について理解させる ・色への理解を深めさせる	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑ・ﾈｲﾙｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ ネイルサロン環境 衛生基準と関係法規	・ﾌﾟﾛとしてお客様から信頼されるために必要な知識を伝える ・衛生基準や法規などを説明	

8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ﾄﾘｰﾄﾒﾝﾄ理論・ﾊﾝﾄﾞﾄﾘｰﾄﾒﾝﾄ リペア・チップラップ	・目的や効果を知り、基本手順を説明 ・ナチュラルネイルの修復及びイクステンションを知る	
9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	復習・まとめ	・練習問題を解く	
10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	復習・まとめ	・練習問題を解く	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	復習・まとめ	・練習問題を解く	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	秘書実務Ⅰ	講義	30時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期17コマ	担当授業時数	34時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	秘書検定1級。役員秘書歴5年。 マナー研修講師歴17年。
学習の目的	インターンシップや就職活動、入社後に新入社員として求められるコミュニケーションスキルや基礎的なビジネスマナーを身につける。		
指導目標	社会人に必要とされる電話応対、来客応対、ビジネス文書作成等のビジネスマナーを身に付け、2024年2月の秘書検定3級合格を目指す。		
指導の要点及び留意点	テキスト「新秘書特講」で基礎知識を身に付け、秘書検定3級実問題集で理解度を確認する。		
評価の方法	授業態度、演習の参加意欲、課題提出、期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新秘書特講 第4章	オリエンテーション あいさつ、身だしなみ 基本動作	テキストを使用して説明。	
2	新秘書特講 第4章	話し方、聞き方、接遇用語 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
3	新秘書特講 第4章	電話応対 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
4	新秘書特講 第4章	来客応対 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
5	新秘書特講 第4章	慶事、弔辞 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
6	新秘書特講 第4章	贈答、交際業務 第4章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
7	新秘書特講 第5章	会議 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
8	新秘書特講 第5章	ビジネス文書作成 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
9	新秘書特講 第5章	ビジネス文書の取扱い 問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
10	新秘書特講 第5章	資料管理、スケジュール管理	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
11	新秘書特講 第５章	環境整備 第５章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
12	新秘書特講 第１章	必要とされる資質 第１章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
13	新秘書特講 第２章	職務知識 第２章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
14	新秘書特講 第３章	一般知識、問題演習	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
15	新秘書特講 第３章	一般知識 第３章過去問題チェック	テキストを使用して説明。 過去問題演習。	
16	新秘書特講 模擬テスト	模擬テスト、答え合わせ	過去問題演習	
17	過去の本試験問題	模擬試験	模擬試験	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	パーソナルカラーコーディネートⅠ	※講義もしくは実習	30時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期17コマ	担当授業時数	34時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容部員経験4年 美容師免許 1級色彩コーディネーター パーソナルカラリスト1級 日本カラリスト協会 色彩指導員歴5年

学習の目的	色の理論を理解させ、理論に基づいた配色ができるようにする。 パーソナルカラーを意識する事で、お客様への的確なアドバイスを行えるような知識を身につける
指導目標	色のしくみを知り、色に対して興味を持つようにする
指導の要点及び留意点	実践で役立つ色の知識を身に付けさせる。
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	公式テキスト P14~17 P4~7.P8~13	第1章　色彩と文化 色と生活・四季の自然を表す色 日本の色の歴史	・身の回りにある身近なものを通して、日々色に触れていることを感じさせる ・歴史を学び、時代の色の持つ効果を知る	
2	公式テキスト P8~13	第1章　色彩と文化 日本の色の歴史	・歴史を学び、時代の色の持つ効果を知る ・時代の流れをつかむ	
3	公式テキスト P18~25	第1章　色彩と文化 色の種類	・色に対してのイメージを学び、心理に与える影響を学ばせる ・プリントに書き出す	
4	公式テキスト P18~25 P26~30	第1章　色彩と文化 色の種類 第2章　色彩心理　色のしくみ	・色に対してのイメージを学び、心理に与える影響を学ばせる ・色の感じる仕組みを学ぶ	
5	公式テキスト P31~40 P41~43. P44~43	第2章　色彩心理 色の感情効果 ＣＵＳ表色系・色の三属性と対比現象	・色相環を理解させる ・色々な配色を理解させる ・色の効果について学ぶ	
6	公式テキスト P41~43.	第2章　色彩心理 ＣＵＳ表色系	・色相環を理解させる ・色々な配色を理解させる	

	P44~43	色の三属性と対比現象 ＣＵＳ表色系	・色の効果について学ぶ	
7	公式テキスト P44~45 P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ表色系・色の三属性と対比現象 ＣＵＳ配色効果	・24 色相環を理解させる ・9 色調の名称を覚える	
8	公式テキスト P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ配色効果	・アンダートーン配色を学ぶ ・プリントを使い、色調との関連や理解を深める	
9	公式テキスト P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ配色効果	・アンダートーン配色を学ぶ ・プリントを使い、色調との関連や理解を深める	
10	公式テキスト P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ配色効果	・24 色相環の理解を深める為、3 色の絵の具を使い、24 色をつくる	
11	公式テキスト P48~57	第 2 章　色彩心理 ＣＵＳ配色効果	・24 色相環の理解を深める為、3 色の絵の具を使い、24 色をつくる	
12.	公式テキスト P59~65	第 3 章　色彩とファッション ファッション概論	・服飾文化やファッションの配色を学ぶ ・イメージ用語の基礎知識、配色を覚えるため、プリントに配色事例を作成する	
13	公式テキスト P66~70	第 3 章　色彩とファッション ブライダルと色彩	・ウェディングの歴史を学ぶ ・ウェディングに関連した配色調和を学ぶ	
14	公式テキスト P70~74	第 4 章　パーソナルカラー パーソナルカラー	・パーソナルカラーとは ・パーソナルカラーによってその人の魅力をより引き出すコーディネートを学ぶ ・イメージ用語との関連を学ぶ	
15	公式テキスト P70~74	第 4 章　パーソナルカラー パーソナルカラー	・パーソナルカラーとは ・パーソナルカラーによってその人の魅力をより引き出すコーディネートを学ぶ ・イメージ用語との関連を学ぶ	
16		色相環	･3 色の絵の具を使って 24 色相環を作る	
17		色相環	･3 色の絵の具を使って 24 色相環を作る	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックメーキャップⅠ	実習	40時間

配当時間	1コマ90分　前期　22コマ	担当授業時数	44時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験7年 ウエディングスタイリスト経験1年 美容専門学校メイク教員10年

学習の目的	本来持っている美しさを引き出す、ナチュラルなメイクアップを実際に表現する力を養い、感性や感覚だけのメイクアップではない、理論のもとに成り立つ基礎的なメイクアップを学びます。
指導目標	・メイクアップに必要な基礎的知識を習得し、メイクアップ検定3級取得をめざす ・メイクアップの技術、道具の使用方法、モデルへの接し方など、技術者のマナーを身につける ・メイクアップの技術に必要化粧品の特徴を理解し、お客様の肌の状態を最低限の範囲で考慮し、本来もっている自然な美しさをさらに引き出せるようなメイクアップ技術を学ぶ
指導の要点及び留意点	肌が敏感な場合は学生自身の化粧品等を使用し、なるべく負担のないよう、できるだけ相モデルで実習を行えるよう考慮する。
評価の方法	期末試験で60点以上を合格とする。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	テキスト	・事前準備のやり方 ・技術者の身だしなみやマナー	・道具や化粧品を機能的に配置でき、衛生的に使う方法や、お客様に対する基本的なマナーや清潔感のある身だしなみを学ぶ	
2	テキスト	・クレンジングの種類 ・スキンケアの工程	・オイルクレンジングの特徴及び手順やトーニング及びプロてくてぃんぐの目的やふき取りの手順を学ぶ	
3	テキスト	・ポイントクレンジング ・全体クレンジング ・スキンケアの工程	・マスカラ、リップのクレンジング方法や全体クレンジングの乳化方法を学ぶ	
4	テキスト	・ポイントクレンジング ・全体クレンジング ・スキンケアの工程	・全体クレンジング、ポイントクレンジングの復習及び、ふき取り、トーニングの特徴や注意点を学ぶ	
5	テキスト	・ベースメイクアップ ・地色とハイライトの色味 ・スポンジワーク	・モデルの肌色を見極め、適するファンデーションを選択し、スポンジテクニックを学ぶ	
6	テキスト	・ベースメイクアップ ・地色とハイライトの色味 ・スポンジワーク	・モデルの肌色を見極め、適するファンデーションを選択し、ファンデーションを塗るときのスポンジテクニッ	

			クを学ぶ	
7	テキスト	・ファンデーションの復習 ・パウダリングの目的、手順	・ファンデーションの特徴や、塗り方のテクニックを学び、パウダリングの目的や注意点を学ぶ。	
8	テキスト	・ファンデーションの復習 ・パウダリングの目的、手順 ・ポイントメイクアップ	・ベースメイクの復習やブラシの扱い方や目の周りのアイシャドーのつけ方や注意点を学ぶ	
9	テキスト	・ポイントメイクの注意点 ・カラー選択の注意点 ・アイメイクの種類	・アイシャドーのブラシワークやグラデーションの作り方や、アイラインの入れ方及び道具の選択を学ぶ	
10	テキスト	・ポイントメイクの注意点 ・カラー選択の注意点 ・アイメイクの種類	・アイシャドーのブラシワークやグラデーションの作り方や、アイラインの入れ方及び道具の選択を学ぶ	
11	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・アイブロウの描き方、種類	・アイライン、マスカラのやり方、アイブロウのシェーディングのやり方及び、効果	
12	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果	・アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、チークルージュの形、位置、入れ方を学ぶ	
13	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果	・アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、チークルージュの形、位置、入れ方を学ぶ	
14	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果 ・リップの形、印象	・アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類、及び使い方、ライン取りのテクニックを学ぶ	
15	テキスト	・ファンデーションの復習 ・ポイントメイクアップの復習 ・リップの形及び、注意点	・アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類、及び使い方、ライン取りのテクニックを学ぶ	
16	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習	・セッティングの復習及び、クレンジング 20 分で仕上げる練習 ベースメイクの仕上がり確認	
17	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習	・セッティングの復習及び、クレンジング 20 分で仕上げる練習 ベースメイクの仕上がり確認	
18	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習及びリップ	・クレンジング 20 分で仕上げる練習 ベースメイクの仕上がり確認及びポイントメイク、リップの仕上げ	
19	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取り	

20	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を50分でタイム取りし、全体バランスを確認	
21	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を50分でタイム取り	
22	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を50分でタイム取りし、全体バランスを確認	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックネイルI	※講義もしくは実習	60時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期7コマ	担当授業時数	14時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	ネイル道具を安全に使用し、ネイル検定3級合格を目指す。
指導目標	安全で安心なネイルサービスを提供できるように正しい技術を習得させる
指導の要点及び留意点	ネイルに関する正しい知識及び、適切な技術を提供できるように理解させる
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・道具の名称を覚えさせる セッティングの練習を行う	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア・カラーリング	一通りの流れを行う。 タイムを意識しながら行う。	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア・カラーリング	一通りの流れを行う。 タイムを意識しながら行う。	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	検定タイムを計りながら指導を行う	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	検定タイムを計りながら指導を行う	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	検定タイムを計りながら指導を行う	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	検定タイムを計りながら指導を行う	

教課指導案（シラバス）

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックネイルⅠ	実習	60時間

配当時間	1コマ90分　前・後期26コマ	担当授業時数	52時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	美容師免許　美容師歴3年 日本ネイリスト協会本部認定講師 全国美容生活衛生同業組合連合会 SBSネイル指導講師 日本美容講師会会員 日本理容美容教育センターまつ毛エクステンション指導員資格 ストーリージェル３６５エデュケーター資格 クリストリオ社シルバーエデュケーター資格 ネイルサロン経営(14年)

学習の目的	JNEC日本ネイリスト技能検定試験３級 ネイリストとしての基礎知識の習得 サロンワークに対応する技術の基礎とタイム管理
指導目標	ネイルに関連する基本的な道具と使い方の理解 ネイルケア、カラーの塗布、デザインなど総合的に習得する JNEC日本ネイリスト技能検定試験３級取得 検定取得に伴うネイル技術全般と、タイム管理を理解させる
指導の要点及び留意点	授業の準備物、内容を伝え徹底させる ネイルを通して、顧客の心理や時間の大切さ、楽しさを伝える
評価の方法	各学年末試験によって決定　　１００点満点(配点未定) 授業態度、意欲、出席も考慮対象とする

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学習活動	評価等
1	JNA テクニカルシステム	基本的なテーブルセッティング	使いやすさを目的とした配置 衛生的なセッティング確認	
2	P69-72	用具、用材と使用目的	洗浄方法と消毒衛生管理 各材料の使用方法	
3	P73-81	ネイルケアの手順	ネイルケアに必要な工程の理解	
4		消毒方法と手順	手記消毒方法の手順と汚物管理	
5		ネイルファイリング	爪の成型方法 エメリーボードの使い方と注意点	

6	P73-81	ネイルファイリング 爪の様々な形の理解	基本的な 5 種類の形を理解 正しいラウンドの削り方、揃え方	
7		ネイルケア メタルプッシャー	プッシャーの角度、強さの理解 プッシュバック、プッシュアップ	
8		ネイルケア プッシュアップ技術	ルースキューティクル、キューティクルの違い	
9		ネイルケア クリーンナップ	爪周りの汚れの処理	
10		ネイルケア ガーゼクリーン	ガーゼの使用目的	
11		ネイルケア キューティクルニッパー	持ち方、支え方	
12		ネイルケア ガーゼとニッパー	ルースキューティクルの処理方法	
13	P82-84	カラーリング 前処理と手順		
14		カラーリング 塗布方法		
15		カラーリング ブラシワーク		
16	P75	カラーリング カラー修正とポリッシュオフ		
17	P117-129	ネイルアート 用具用材と使用方法	アクリル絵の具とアートブラシの使用方法	
18		ネイルアート 基礎知識と描き方	筆の動かし方 色々なパーツの描き方	
19		ネイルアート デザイン考案	フラワーとその他のデザイン	
20		ネイルアート タイム管理	10 分間タイムトライアル	
21		ネイリスト検定３級対策	タイム管理	
22		ネイリスト検定３級対策	手順の総確認	
23		ネイリスト検定３級対策	タイムトライアル	
24		ネイリスト検定３級対策	タイムトライアル	
25		定期試験	ネイリスト検定３級に準ずる	
26		定期試験	ネイリスト検定３級に準ずる	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和５年度 １年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ウエルネス理論Ⅰ （皮膚科学）	講義	90 時間

配当時間	１コマ 90 分　前・後期 28 コマ	担当授業時数	56 時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年

学習の目的	エステティック技術の基本となる皮膚とスキンケアの関係を「皮膚の基本知識、美容上大切な皮膚の６つの働き、肌の美しさを損ねる要因、さまざまな肌状態、肌と環境、肌分析」という視点から理解する
指導目標	皮膚は私たちの身体を守るバリアとして、体表面全体を覆う最大の臓器であり、紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしていることを理解させる。 皮膚の働きと仕組みを理解し、美しく健康な肌へと導くスキンケア方法を学習させる。
指導の要点及び留意点	エステティック技術の基礎となる皮膚の構造と機能に関する基本的な知識を学ばせる。 肌状態の種類、肌の健康への阻害要因、具体的な例を交えて理解させる
評価の方法	学期末試験成績：１００点満点（配点未定）予定 出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基本知識	板書＆教本ライン ・皮膚の役割 ・３面鏡（美しい肌を保つ条件） ・皮膚の構造と働き	
2	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基本知識	板書＆教本ライン ・皮膚の３層構造 ・発生過程（外胚葉由来：皮脳同根） ・皮膚の断面図（A4 用紙に図示） ・表皮の付属器官（名称のみ）	
3	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基礎知識	板書＆教本ライン ・表皮の層構造 ・角質層、顆粒層、有棘層、基底層 ・透明層 ・角質層（バリア機能） ・角化作用とターンオーバー	
4	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基礎知識	板書＆教本ライン ・表皮の付属器官（構造と働き） ・真皮の構造と働き ・乳頭層と網状層 ・皮下組織の構造と働き	

5	理論編Ⅰ	Lesson2 美容上大切な皮膚の６つの働き １．皮脂膜	板書&教本ライン ・皮脂膜&皮脂腺 ・皮脂分泌過剰による肌状態 ・皮脂分泌量の変化（要因） ・皮脂の主成分	
6	理論編Ⅰ	Lesson2 美容上大切な皮膚の６つの働き ２．角質層バリア ３．表皮ターンオーバー	板書&教本ライン ・角質層バリア（レンガ構造） ・表皮ターンオーバー ・不全角化の要因	
7	理論編Ⅰ	Lesson2 美容上大切な皮膚の６つの働き ４．メラノサイトの働き	板書&教本ライン ・人種による肌色の違い ・メラニンの種類&量 ・日焼け反応 ・メラニン色素生成のメカニズム	
8	理論編Ⅰ	Lesson2 美容上大切な皮膚の６つの働き ５．毛細血管の働き ６．線維芽細胞 ７．皮膚の働きのバランス	板書&教本ライン ・毛細血管の働き ・線維芽細胞の働き ・線維芽細胞の老化（真皮の変化） ・皮膚の働きのバランス	
9	理論編Ⅰ	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 １．紫外線	板書&教本ライン ・紫外線（UVA、UVB、UVC） ・紫外線の肌への影響 ・紫外線量の変化（環境及び季節）	
10	理論編Ⅰ	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 ２．寒気 ３．乾燥 ４．エイジング	板書&教本ライン ・寒気 ・乾燥 ・エイジング 各要因の肌への影響について説明	
11	理論編Ⅰ	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 ５．女性のリズム ６．精神的ストレス ７．胃腸の不調 ８．生活習慣	板書&教本ライン ・月経、妊娠、更年期 ・精神的ストレス ・胃腸の不調（消化不良、便秘） ・生活習慣 各要因の肌への影響について説明	
12	理論編Ⅰ	Lesson4 さまざまな肌状態 １．肌意識の年代変化 ２．美しい肌	板書&教本ライン ・肌悩みの年代別変化 ・美しい肌の条件（うなはだけつ） ・美肌を損なう要因 ・美肌ケアの基本	
13	理論編Ⅰ	Lesson4 ３．衰えた肌	板書&教本ライン ・トラブル肌「老化」 ・老化の要因、メカニズム、肌変化	

14	理論編Ⅰ	Lesson4 ３．衰えた肌	板書＆教本ライン ・トラブル肌「老化」 ・肌変化（表皮＆真皮） ・シワの種類 ・老化要因及びお手入れ方法	
15	理論編Ⅰ	Lesson4 ４．色素沈着を起こした肌	板書＆教本ライン ・トラブル肌「シミ」 ・シミの要因、メカニズム、肌変化 ・シミの種類（先天性＆後天性） ・シミ要因及びお手入れ方法	
16	理論編Ⅰ	Lesson4 ５．ニキビ	板書＆教本ライン ・トラブル肌「ニキビ」 ・ニキビの発生過程 ・ニキビの種類（白、黒、赤、黄） ・ニキビ発生のメカニズム	
17	理論編Ⅰ	Lesson4 ５．ニキビ ６．肌荒れと敏感	板書＆教本ライン ・トラブル肌「ニキビ」 ・ニキビの要因及びお手入れ方法 ・ニキビ肌お手入れポイント ・トラブル肌「敏感」 ・敏感肌の分類	
18	理論編Ⅰ	Lesson4 ６．肌荒れと敏感	板書＆教本ライン ・トラブル肌「敏感」 ・アレルギー＆アトピー体質 ・バリア機能低下による敏感 ・敏感要因及びお手入れ方法	
19	理論編Ⅰ	パック概論	板書 ・皮膚の経皮吸収について ・経皮吸収を高める条件 ・衛生面の重要性	
20	理論編Ⅰ	Lesson5 肌と環境 Lesson6 肌分析	板書＆教本ライン ・肌と地域気候 ・肌と気象の季節区分 ・肌分析 ・肌タイプ（４分類） ・カウンセリングシート記入法例	
21	プリント	肌トラブル別一覧表	プリント＆ライン ・肌トラブルの特徴 ・推奨化粧品＆トリートメント ・ホームケアアドバイス	
22	理論編Ⅰ プリント	肌トラブル小論文作成	小論文作成 テーマ：肌トラブル	

23	理論編Ⅰ プリント	肌トラブル小論文作成	小論文作成 テーマ：肌トラブル	
24	理論編Ⅰ	ウエルネス ◇テスト	筆記テスト	
25	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説＆解答 ・皮膚科学（プリント使用）	
26	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説＆解答 ・皮膚科学（プリント使用）	
27	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説＆解答 ・皮膚科学（プリント使用）	
28	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説＆解答 ・皮膚科学（プリント使用）	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ウェルネス理論Ⅰ	講義	90時間

配当時間	1コマ90分　前・後期22コマ	担当授業時数	44時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	エステティシャン実務経験 CIDESCO取得 AJESTHE 認定上級エステティシャン

学習の目的	1. エステティックのトリートメントを正しく行うために、人体の構造や機能についてしっかり理解させる。 2. 美容へのより深い知識に結びつける。
指導目標	1. 人体の構造などを正しく理解させ、禁忌施術を防ぐ。 2. 美容への知識を深め個々のカウンセリングに役立てる。
指導の要点及び留意点	学び得た知識がエステティックトリートメントに活用できるように、グループワークも含め自主的な学習を促していく。
評価の方法	出席状況や授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学理論編Ⅰ	C1-L1　生命	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
2	新エステティック学理論編Ⅰ	L2　　ホメオスタシス	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
3	新エステティック学理論編Ⅰ	L3　　ホメオスタシスを制御するしくみ	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
4	新エステティック学理論編Ⅰ	L4　　ストレス	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
5	新エステティック学理論編Ⅰ	まとめと復習	プリント	
6	新エステティック学理論編Ⅰ	C2-L1　身体の基本 身体の構成	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
7	新エステティック学理論編Ⅰ	L2　　骨格系・筋系	板書 プリント 教科書及び専門書を活用し講義	
8	新エステティック学理論編Ⅰ	L3　　神経系 神経細胞	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
9	新エステティック学理論編Ⅰ	中枢神経系	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
10	新エステティック学理論編Ⅰ	末梢神経系	板書 教科書及び専門書を活用し講義	

11	新エステティック学 理論編Ⅰ	自律神経系	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
12	新エステティック学 理論編Ⅰ	L4　感覚 感覚の分類	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
13	新エステティック学 理論編Ⅰ	L5　内分泌系 内分泌の役割	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
14	新エステティック学 理論編Ⅰ	復習	プリント	
15	新エステティック学 理論編Ⅰ	L6・L7　呼吸器系・循環器系 血液、リンパ循環	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
16	新エステティック学 理論編Ⅰ	L7・L8　循環器系・消化器系 血液、リンパ循環	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
17	新エステティック学 理論編Ⅰ	L9・L10　泌尿器系・生殖器系	板書 教科書及び専門書を活用し講義	
18	新エステティック学 理論編Ⅰ	総復習	プリント	
19	新エステティック学 理論編Ⅰ	総復習	プリント	
20	新エステティック学 理論編Ⅰ	センター試験対策	プリント	
21	新エステティック学 理論編Ⅰ	センター試験対策	プリント	
22	新エステティック学 理論編Ⅰ	センター試験対策	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 5 年度 1 年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ボディエステティック理論 I	講義	20 時間

配当時間	1 コマ 90 分　　11 コマ	担当授業時数	22 時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師

学習の目的	日本エステティック協会認定エステティシャンの資格取得のためのボディ理論を学び、資格試験の合格を目指す。
指導目標	エステティック全般、及びボディエステティックの理論を習得させ、資格試験に合格できるよう指導する。
指導の要点及び留意点	要点をまとめて分かりやすく、かつ的確に指導する。
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記試験の結果を考慮して成績を評価する。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書	授業概要説明 L1、ボディエステティックとは	講義	
2	教科書	L2、流れ　L3、事前準備 L4、ボディトリートメント	講義	
3	教科書	L6、ボディマッサージ①	講義 プリント	
4	教科書	マッサージに必要なボディの知識	講義 プリント	
5	教科書	L6、ボディマッサージ②	講義 プリント	
6	教科書	L6、ボディマッサージ③	講義 プリント	
7	教科書	L6、ボディマッサージ④	講義 プリント	
8	教科書	L6、ボディマッサージ⑤	講義 プリント	
9	教科書	L7、ボディマッサージ⑥	講義 プリント	
10	教科書	まとめ	プリント	
11	プリント	センター試験対策	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	部長	部長代理	課長	担当教員

2023 年度 1 年生	科　目	授業方法	総授業時数
	インナービューティー関係論Ⅰ	講義	70 時間

配当時間	1 コマ 90 分　前･後期　38 コマ	担当授業時数	76 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師
学習の目的	基礎的な栄養学や生理学、物理的反応を学び、その学びから得た知識をエステティックへ応用できるようにする。		
指導目標	身体の内側、または内面の状態を栄養学、生理学、物理的反応などから正しく読み取れる力を身に着けさせ、また、お客様とのコミュニケーションの中で役立つアドバイスに繋がる知識を身につけ、エステティックの効果を更に高められるよう指導する。		
指導の要点及び留意点	授業は講義とグループワークや発表などを中心とする。学生が自身のこれまでの経験や知識を活用しながら、学生が自ら学ぶ授業となるよう展開していく。		
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記試験の結果を考慮して成績を評価する。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学① ・学ぶ目的（Ｐ７） Ｌ１．栄養学の基礎知識（Ｐ８～） １、栄養素の種類 ２、５大栄養素 １）蛋白質、アミノ酸	講義	
2	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学② ２）脂質	講義	
3	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学③ ３）炭水化物 ４）無機質と水	講義	
4	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学④ ５）ビタミン ３、栄養価（Ｐ２５～） １）エネルギー価	講義	
5	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑤ ２）蛋白質の栄養価 ４、栄養所要量（Ｐ２６～） １）基礎代謝 ２）１日に必要な栄養所要量	講義	

6	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑥ ５、食物摂取とその消化吸収 １）飲食物摂取量の調節 ２）飲食物の消化吸収	講義	
7	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑦ ６、栄養学からみた食品 １）食品の分類 ２）各食品の栄養学的特徴	講義	
8	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑧ Ｌ２．健康と栄養（Ｐ３９～） １、栄養状態の判定 １）栄養歴 ２）視診と身体検査 ２、肥満 １）体型バランス ２）体型バランスの表現法	講義	
9	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑨ ３）美しく見えるプロポーション ４）体型バランスの加齢変化 ５）肥満の原因	採寸・メジャー 講義	
10	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑩ ６）肥満の生理状態 ７）肥満の治療 ３、中・老年期の栄養 １）中・老年期の特徴 ２）生活習慣病と栄養 ４、美容と栄養 １）ボディライン作りの栄養 ２）美肌作りの栄養 Ｌ３．サプリメント Ｌ４．食品添加物（Ｐ５０～） 教科書まとめ・センター対策	講義 プリント	
11	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学① ・学ぶ目的（Ｐ５３） Ｌ１．化粧品概論（Ｐ５４～） １、化粧品、医薬部外品と薬事法 ２、化粧品の分類 ３、化粧品の品質と品質保証 ４、化粧品の取り扱い上の留意点	講義	

12	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学② Ｌ２．フェイシャル化粧品 １、目的と働き ２、洗顔化粧品	講義	
13	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学③ ３、整肌 ４、賦活	講義	
14	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学④ Ｌ３．ボディ化粧品 １、目的と働き ２、洗顔料 ３、シェイプアップ料 ４、サンケア料 ５、制汗、防臭料	講義	
15	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑤ ６、浴用料 ７、脱毛料 Ｌ４．メイクアップ化粧品 １、目的と働き ２、ベースメイクアップ ３、ポイント Ｌ５．ネイル化粧品 １、目的と働き ２、ネイルポリッシュ ３、ポリッシュリムーバー Ｌ６．ヘアケア Ｌ７．フレグランス	講義	
16	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑥ Ｌ８．化粧品の原料	講義	
17	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑦ Ｌ９．薬剤とその働き	講義	
18	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑧ まとめ	プリント	
19	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング① ・学ぶ目的（Ｐ１０７） Ｌ１．エステティックカウンセラーの役割 １、カウンセリングとコンサルティング ２、ソワンエステティックの担い手として ３、悩みを解決へと導く心理学療法 ４、ストレスにより「ホメオスタシス」も低下 ５、エステティックサロンに求められるもの	講義	

20	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング② Ｌ２．心のメカニズムと顧客心理 １、「意識」「情動」「欲求」 ２、「顧客心理」４つのポイント ３、聴き上手になろう ４、話し上手になろう	講義	
21	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング③ Ｌ３．カウンセリングの流れ １、受付での対応 ２、ビフォーカウンセリング ３、施術中のカウンセリング ４、アフターカウンセリング ５、退店での対応	講義	
22	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング④ Ｌ４．カウンセリング手順 １、サロン内の環境 ２、コンサルテーションシート ３、肌性及びトラブルに対する判断 ４、体型と体質の判断 ５、カウンセリング機器	講義	
23	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング⑤ まとめ	プリント	
24	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング⑥ センター試験対策	プリント	
25	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学① ・学ぶ目的（Ｐ１４５） Ｌ１．運動生理学とは（Ｐ１４６～） １、運動の必要性 ２、運動の効果 ３、筋肉について ４、筋収縮のエネルギー	講義	
26	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学② ５、筋疲労と超回復 ６、呼吸・心臓と運動 ７、血液と運動 Ｌ２．運動とアンチエイジング １、筋肉と老化 ２、呼吸・心臓と老化 ３、骨・関節と老化 ４、メタボリックシンドローム	講義	
27	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学③ ５、ストレスと運動	講義	

		Ｌ３．運動と代謝（Ｐ１５４～） １、エネルギー代謝とは ２、糖質と代謝 ３、脂質と代謝 ４、蛋白質と代謝 ５、基礎代謝と運動 ６、消費カロリー		
28	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学④ Ｌ４．運動プログラム（Ｐ１５７～） １、運動プログラムの作り方 ２、運動の種類 ３、運動・トレーニングの原則 ４、運動の強度 ５、運動の持続時間・頻度 ６、運動と消費カロリー Ｌ５．姿勢・ポジショニング １、姿勢の維持	講義	
29	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学⑤ １）重力と姿勢 ２）カウンターバランスと拮抗関係 ３）骨盤の役割 ４）股関節の重要性	講義	
30	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学⑥ ２、動作と姿勢の関係 １）動作がおよぼす技術への影響 ２）姿勢と故障の関係性 Ｌ６．運動の実際（Ｐ１７０～）	講義	
31	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学⑦ まとめ	プリント	
32	新エステティック学 理論編Ⅱ	総まとめ・センター試験対策	プリント	
33	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学① ・学ぶ目的（Ｐ１７５） Ｌ１．電気理論（Ｐ１７６～） １、電機の基礎知識 １）原子と自由電子 ２）化学結合の３種類 ３）電流と電子 ４）オームの法則、電力及び電気量	講義	
34	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学② ５）動電気と静電気	講義	

		6）電流の３大作用 7）直流と交流		
35	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学③ Ｌ２．人体と電気（Ｐ１８６～） １、「化学物質による情報伝達」と「電気的情報伝達」 ２、電気信号伝達のメカニズム 1）細胞の活動電位とイオンの移動 2）活動電位と情報の伝播	講義	
36	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学④ Ｌ３．エステティック機器の種類と原理 １、エステティック機器の種類と原理 ２、エステティック機器の原理 1）トリートメント機器の原理 2）カウンセリング機器の原理	講義	
37	プリント	教科書総まとめ	プリント	
38	プリント	テスト対策	テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ビューティビジネス理論Ⅰ	理論	50時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期28コマ	担当授業時数	56時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師

学習の目的	エステサロンビジネスの現状を理解し、より良いエステ業界、サロン経営について自ら考え、行動できる力を身に付ける。
指導目標	エステサロンビジネスにおいて必要な基礎的な知識、法律、衛生管理などを正しく理解させ、トラブルや、事故の起こらない、また、起こってしまった際に対応できる力を身に付けさせる。
指導の要点及び留意点	授業は講義とグループワークや発表などを中心とする。
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記試験の結果を考慮して成績を評価する。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論① ・学ぶ目的（Ｐ８） Ｌ１.エステティックの概念（Ｐ９～） １、エステティックとは何か ２、内面美容としてのエステティック Ｌ２．心のメカニズムと顧客心理 １、エステティックの語源と歴史 ２、エステティックの領域	講義	
2	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論② Ｌ３．ソワンエステティック １、ソワンエステティックの語源 ２、目的とされる効果 ３、スキンタッチの重要性 ４、五感美容	講義	
3	新エステティック学	エステティック概論③	講義	

	理論編Ⅲ	Ｌ４．美と健康 １、健康美は心身のバランスから ２、ウエルネス ３、アンチエイジング Ｌ５．エステティシャンとしての心構え １、エステティシャンの資質 ２、ホスピタリティーマインドの意義 Ｌ６．日本のエステティック １、歴史と業界の現状		
4	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論④ ２、エステティック市場の現状と展望 Ｌ７．世界のエステティック １、欧米における歴史と現状 ２、アジアにおける歴史と現状 ３、各国のエステティシャン	講義	
5	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論⑤ 教科書まとめ・センター試験対策	プリント	
6	新エステティック学 理論編Ⅲ	関連法規① ・学ぶ目的（Ｐ３７） Ｌ１．法の基礎知識（Ｐ３８～） １、社会生活と法 ２、法とは社会規範 ３、法の強制力 ４、法の原則 ５、日本の資格制度 ６、エステティックと法律 Ｌ２．消費者保護法 １、消費者政策 ２、エステティックに関連する消費者トラブル	講義	
7	新エステティック学 理論編Ⅲ	関連法規② ３、トラブル対応の心得 Ｌ３．人の身体に直接触れる職業に関連する法律 １、四つの衛生法規 ２、エステティックに関わりの深い衛生法規	講義	
8	新エステティック学	関連法規③	講義	

	理論編Ⅲ	Ｌ４．経済行為に関連する法律 １、商法 ２、集客 ３、個人情報の保護に関する法律 ４、民法 ５、消費者契約 ６、消費者契約法 ７、特定商取引に関する法律 ８、割賦販売法 ９、都道府県条例		
9	プリント	関連法規④ Ｌ５.エステティック業界の統一自主基準 １、自主基準策定の目的 ２、エステティックの定義 ３、日本エステティック振興協議会の倫理網領 ４、サロン遵守事項 教科書まとめ・センター試験対策	プリント	
10	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理① ・学ぶ目的（Ｐ７３） Ｌ１．公衆衛生（Ｐ７４～） １、公衆衛生とは何か ２、世界における公衆衛生の歴史 ３、日本における公衆衛生の歴史	講義	
11	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理② Ｌ２．衛生管理（Ｐ７７～） １、衛生管理全般 ２、消毒方法の種類とその基本的な使用方法 ３、消毒の準備・用具 １）物理的方法で消毒する場合の準備 ２）化学的方法で消毒する場合の準備 ３）消毒に必要な器具・備品類	講義	
12	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理③ ４、施術にかかわるものの消毒方法 １）施術で皮膚に接する器具・用具類の消毒方法 ２）そのほかの器具・用具 ３）サロン内の施設・設備 ４）エステティシャンの手指の消毒 Ｌ．３感染症（Ｐ８５～） １、感染のメカニズム	講義	
13	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理④ ２、エステティックに関連する感染症	講義	

		Ｌ４．衛生管理の実践（Ｐ９０～）		
14	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理⑤ 教科書まとめ・センター対策 ・学ぶ目的（Ｐ９５） Ｌ１．サロン開設のシュミレーション	講義・プリント	
15	新エステティック学 理論編Ⅲ	サロン経営① １、サロンコンセプトを打ち出す Ｌ２．サロンの運営と管理 １、就業規則を作る ２、資産管理	講義	
16	新エステティック学 理論編Ⅲ	サロン経営② ３、スタッフマネジメント ４、サロンの１日の流れ ５、顧客マネジメント	講義 プリント（レポート）	
17	新エステティック学 理論編Ⅲ	サロン経営③ Ｌ３．サロン繁栄のために １、繁栄するサロンとは ２、サロン経営者としての心構え 教科書まとめ・センター試験対策	プリント	
18	新エステティック学 理論編Ⅲ	接客マナー① ・学ぶ目的（Ｐ１０９） Ｌ１．笑顔・あいさつ（Ｐ１１０～） １、接客の基本 ２、心の持ちようが美しい笑顔を作る ３、言葉・表情・動作が一体化したあいさつが理想	講義	
19	新エステティック学 理論編Ⅲ	接客マナー② Ｌ２．身だしなみ １、第一印象が重要 ２、身だしなみは「無言の招待状」 Ｌ３．言葉遣い １、サロンにおける１５の接客基本用語 ２、言葉遣いにも心を込めて	講義	
20	新エステティック学 理論編Ⅲ	接客マナー③ Ｌ４．態度・振る舞い １、サロンの代表として振る舞う	講義	

		２、来客対応の美しい流れ ３、真心のある効率的なサービスを Ｌ５．電話対応の心得 １、電話は声と口調が頼り ２、電話対応の一連の流れ ３、電話をかけるときの注意点 Ｌ６．基本動作 Ｌ７．お客様への心遣い Ｌ８．クレーム処理 Ｌ９．サロン実習		
21	新エステティック学 理論編Ⅲ	救急法① ・学ぶ目的（Ｐ１４７） Ｌ１．救急法の基本（Ｐ１４８～） １、正しい救急法 ２、応急手当と一次救命処置 １）応急手当 ２）一次救命処置 ３、救助者の心構え ４、救助者が行ってはいけないこと	講義	
22	新エステティック学 理論編Ⅲ	救急法② Ｌ２.エステティシャンにかかわる救急法 １、事前準備が大切 ２、コンサルテーションで留意すること ３、救急の「記録帳」を用意する ４、サロンやスパなどで起こりうるアクシデント ５、救急車の適正な利用 Ｌ３.エステティシャンが行う「応急手当」 １、傷病者の見方と手当の方法 ２、応急手当で気をつけること ３、止血法の実際 ４、三角巾の活用法 ５、救急箱の設置 Ｌ４.エステティシャンが行う「一次救命処置」 １、「一次救命処置」とは ２、一次救命処置の方法 ３、「四つの連鎖行動」がキーポイント ４、手当の基本は「傷病者の反応の観察から」 ５、救命処置の「流れ」と「具体的な方法」 Ｌ５．傷病者の移動（Ｐ１７０～）	講義	
23	プリント	教科書まとめ・センター試験対策	プリント	

24	プリント	教科書総復習	プリント	
25	プリント	センター試験対策総まとめ①	プリント	
26	プリント	センター試験対策総まとめ②	プリント	
27	プリント	テスト対策	プリント	
28	プリント	テスト対策	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 5 年度 1 年生	科　目	授業方法	総授業時数
	アロマテラピー I	講義	30 時間

配当時間	1 コマ 90 分　　前・後期 17 コマ	担当授業時数	34 時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	アロマインストラクター・経験 10 年

学習の目的	1、アロマテラピーとは何か、日常での使用方法を正しく理解させる。 2、香りを体験し、嗅ぎ分けることができるようにする。 3、それぞれの精油の効果、効能を理解する。
指導目標	1、アロマテラピーに関する正しい知識の取得 2、日常でアロマテラピーが実践できるようにする。 3、10 種類の精油を嗅ぎわけられるようにする。
指導の要点及び留意点	類似した精油の香り、効果効能を間違えずに理解させる。 日本におけるアロマテラピーは医療行為ではないことを理解させる。
評価の方法	授業態度 筆記試験：100 点満点（配分未定）予定

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter1　P8～12 アロマテラピーの基本 Capter2　P14～18 精油がもたらす作用	アロマテラピーの定義 10 種類の精油の香りイメージの作成 精油の定義	
2	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter2　P19～24 精油の抽出方法、選び方 精油と環境について	精油のそれぞれの抽出方法について学ぶ。 精油のもととなる植物について学ぶ	
3	アロマテラピー検定　公式テキスト	Capter3　P28～32 アロマテラピーの安全性	香りテスト 精油を安全に使用するための心得 精油の保管方法を学ぶ	
4	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter4　P35～40 アロマテラピーを実践する	香りテスト アロマテラピーで使用する基材と用具を学ぶ	
5	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter4　P42～49 アロマテラピーを実践する 利用法	香りテスト 芳香浴、沐浴、吸入法について学ぶ	
6	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter4　P50～54 アロマテラピーを実践する 利用法	香りテスト フェイシャルスチーム、湿布法、トリートメント法について学ぶ	
7	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P106.108	香りテスト オレンジ、ゼラニウム	

8	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P109.113	香りテスト ティートリー、フランキンセンス	
9	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P115.120	香りテスト ペパーミント、ユーカリ	
10	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P121.122	香りテスト ラベンダー、ユーカリ	
11	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P124,125	香りテスト ローズ、ローズオットー	
12	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油のプロフィール P126	香りテスト ローズマリー アロマスプレー作成	
13	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter１～２	香りテスト 総復習、練習問題	
14	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter3～4	香りテスト 総復習、練習問題	
15	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール	香りテスト 総復習、練習問題	
16	アロマテラピー検定　公式問題集	2 級練習問題①	香りテスト 練習問題、解答解説	
17	アロマテラピー検定　公式問題集	2 級練習問題②	香りテスト 練習問題、解答解説	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティックⅠ	実習	110時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期33コマ	担当授業時数	66時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	認定エステティシャン・経験15年

学習の目的	1、顔の骨格や筋肉、リンパ節などについてしっかり学び、各トリートメントの目的や効果を十分に理解させる。 2、マッサージの基本手技の手法、効果・作用を把握させ、実践する。相モデルで行うことで快・不快の感覚を学ぶ。 3、施術中の姿勢を正しく身に付けさせる。 4、お客様への気配り、心遣いを身につけさせ、衛生面にも配慮させる。
指導目標	1、筋肉の走行、血液やリンパの流れを理解し、正しい位置に施術を施せるようにする。 2、正しい姿勢を身につけ、施術者の体に負担のないように施術できるようにする。 3、クレンジング、マッサージの手順を覚え、手が止まることなく流れるように施術が行えるようにする。相モデルで行い、感想を言い合う。 4、お客様への気配り、心遣いを身につけさせる。
指導の要点及び留意点	1、お客様への細やかな心遣いを常に意識させる。 2、モデルになり施術を受けるている間も眠ることなく、お客様の立場に立った感覚を理解させる。 3、施術中の姿勢も乱れることがないよう、意識させる。
評価の方法	授業態度 実技試験：100点満点予定

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学　技術編Ⅰ	事前準備	配布物の確認、ベッド、ワゴンセッティング､ホットタオルのつくり方、モデル準備等	
2	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
3	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
4	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	

5	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
6	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
7	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
8	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
9	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
10	新エステティック学　技術編Ⅰ P36～37	マッサージ 軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
11	新エステティック学　技術編Ⅰ P36～37	マッサージ 軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
12	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 軽擦法、強擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
13	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 軽擦法、強擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
14	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 強擦法、揉捻法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
15	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 強擦法、揉捻法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
16	新エステティック学　技術編Ⅰ P38～39	マッサージ 揉捻法、打法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
17	新エステティック学　技術編Ⅰ P38～39	マッサージ 揉捻法、打法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
18	新エステティック学　技術編Ⅰ P39～40	マッサージ 打法、振動法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	

19	新エステティック学　技術編Ⅰ	マッサージ 打法、振動法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
20	新エステティック学　技術編Ⅰ P40～41	マッサージ 振動法、圧迫法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
21	新エステティック学　技術編Ⅰ P40～41	マッサージ 振動法、圧迫法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
22	新エステティック学　技術編Ⅰ P41	マッサージ 圧迫法、軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
23	新エステティック学　技術編Ⅰ P41	マッサージ 圧迫法、軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
24	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
25	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
26	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
27	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
28	新エステティック学　技術編Ⅰ	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
29	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
30	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
31	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
32	新エステティック学　技術編Ⅰ	期末テスト	手順だけでなく、身だしなみ、ベッドメイキングを含めた総合評価	
33	新エステティック学　技術編Ⅰ	期末テスト	手順だけでなく、身だしなみ、ベッドメイキングを含めた総合評価	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティックⅠ	実習	110時間

配当時間	1コマ90分　前・後期28コマ	担当授業時数	56時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	エステティシャン実務経験 CIDESCO取得 AJESTHE 認定上級エステティシャン

学習の目的	1. マッサージの基本手技の手法、効果、作用を把握させ実践する。相モデルで行うことで快、不快の感覚を学ぶ。 2. 機器の操作方法の習得 3. お客様への気配り、心遣いを身につけさせ、衛生面にも配慮させる。
指導目標	1. エステティック技術の基本的な流れや手法、効果、一つ一つの目的を理解させる。 2. 技術に欠かせない機器の操作方法の理解と禁忌事項の徹底 3. お客様への気配り、心遣いを身につけさせる。
指導の要点及び留意点	機器及び器具の操作方法、消毒方法、手入れ方法を身につけさせる。
評価の方法	出席状況や授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	準備（ベッドメイク、ホットタオル、衛生）、クレンジング	ベッドの高さ、ワゴンセッティング手順確認	
2	教科書 プリント	クレンジング、スチーマー、ブラシ、スプレー	ベッドの高さ、ワゴンセッティングデモンストレーション	
3	教科書 プリント	クレンジング、スチーマー、ブラシ、スプレー	ベッドの高さ、ワゴンセッティングウィッグを使用し手順確認	
4	教科書 プリント	3を相モデルにて反復	実習	
5	教科書 プリント	スチーマー、吸引、マッサージの復習	ベッドの高さ、姿勢の確認、ワゴンセッティング	
6	教科書 プリント	スチーマー、吸引、マッサージの復習	ベッドの高さ、ワゴンセッティングデモンストレーション	
7	教科書 プリント	スチーマー、吸引、マッサージの復習	ベッドの高さ、ワゴンセッティングウィッグを使用し手順確認	
8	教科書 プリント	7を相モデルにて反復	実習	
9	教科書 プリント	1～4を相モデルにて反復	実習 クレンジングの時間計測を行う	

10	教科書 プリント	9 を相モデルにて反復	実習	
11	教科書 プリント	5～8 を相モデルにて反復	実習	
12	教科書 プリント	11 を相モデルにて反復	実習	
13	教科書 プリント	アイオノス	ベッドの高さ、ワゴンセッティング	
14	教科書 プリント	アイオノス	ベッドの高さ、ワゴンセッティング デモンストレーション	
15	教科書 プリント	アイオノス	ベッドの高さ、ワゴンセッティング ウィッグを使用し手順確認	
16	教科書 プリント	15 を相モデルにて反復	実習	
17	教科書 プリント	アイオノス復習、ペルチェ	ベッドの高さ、ワゴンセッティング	
18	教科書 プリント	アイオノス復習、ペルチェ	ベッドの高さ、ワゴンセッティング デモンストレーション	
19	教科書 プリント	アイオノス復習、ペルチェ	ベッドの高さ、ワゴンセッティング ウィッグを使用し手順確認	
20	教科書 プリント	20 を相モデルにて反復	実習	
21	教科書 プリント	クレンジング、パター	ベッドの高さ、ワゴンセッティング クレンジングを時間内に行う	
22	教科書 プリント	クレンジング、パター	ベッドの高さ、ワゴンセッティング デモンストレーション	
23	教科書 プリント	クレンジング、パター	ベッドの高さ、ワゴンセッティング ウィッグを使用し手順確認	
24	教科書 プリント	24 を相モデルにて反復	実習	
25	教科書 プリント	総復習	相モデルにて実習	
26	教科書 プリント	総復習	相モデルにて実習	
27	教科書 プリント	総復習	相モデルにて実習	
28	教科書 プリント	総復習	相モデルにて実習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ボディエステティックⅠ	実習	90時間

配当時間	1コマ90分　前・後期49コマ	担当授業時数	98時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	エステティシャン実務経験 CIDESCO取得 AJESTHE 認定上級エステティシャン

学習の目的	1. 人体の構造などについてしっかり学び、トリートメントの目的や効果を十分に理解させる。 2. マッサージの基本手技の手法、効果、作用を把握させ実践する。相モデルで行うことで快、不快の感覚を学ぶ。 3. トリートメント中の姿勢を正しく身につけさせる。姿勢により、施術者が身体を痛めることがあることを理解させる。 4. お客様への気配り、心遣いを身につけさせ、衛生面にも配慮させる。
指導目標	1. 人体の構造などを理解させ、正しい位置にトリートメントを行えるようにする。 2. マッサージの手順を覚えさせ、スムーズにトリートメントが行えるようにする。 3. 正しい姿勢を身につけ、施術者の身体に負担のないようにトリートメントが行えるようにする。 4. お客様への気配り、心遣いを身につけさせる。
指導の要点及び留意点	1. マッサージの基本手技の技術を確実に身につけさせること。 2. モデルになりトリートメントを受けている間も、お客様の立場に立った感覚を理解させる。 3. トリートメント中も姿勢が乱れないよう、意識させる。
評価の方法	出席状況や授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	事前準備	ベッド、ワゴンセッティング、 ホットタオルの作り方、モデル準備等	
2	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前操作	ベッドの高さ、姿勢の確認 タオルの上から行う前操作背面全部	
3	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	２を相モデルにて反復	実習	
4	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前操作、下肢後面	ベッドの高さ、姿勢の確認 前操作、下肢後面軽擦法、足底強擦	

			法まで	
5	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	4 を相モデルにて反復	実習	
6	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前操作、下肢後面	ベッドの高さ、姿勢の確認 前操作、下肢後面軽擦法、足底強擦法、ふくらはぎ、揉燃法、打法まで	
7	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	6 を相モデルにて反復	実習	
8	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前操作、下肢後面	ベッドの高さ、姿勢の確認 前操作、下肢後面を通しで行う	
9	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	8 を相モデルにて反復	実習	
10	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢後面、臀部	ベッドの高さ、姿勢の確認 下肢後面復習、臀部	
11	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	10 を相モデルにて反復	実習	
12	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	臀部、腰背部	ベッドの高さ、姿勢の確認 臀部復習、肩回りの手技	
13	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	13 を相モデルにて反復	実習	
14	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	腰背部	ベッドの高さ、姿勢の確認 肩回りの手技、背中の手技	
15	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	14 を相モデルにて反復	実習	
16	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	腰背部	腰背部を通しで行う	
17	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	16 を相モデルにて反復	実習	
18	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢後面、臀部、腰背部	背面全部通しで復習	
19	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	18 を相モデルにて反復	実習 モデルへの心遣いを意識する	
20	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢前面	ベッドの高さ、姿勢の確認 手順確認	
21	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	20 を相モデルにて反復	実習	
22	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢前面	下肢前面通しで復習	
23	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	22 を相モデルにて反復	実習	

24	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	上肢	ベッドの高さ、姿勢の確認 上肢手順確認、通しで練習	
25	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	25 を相モデルにて反復	実習	
26	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	腹部	ベッドの高さ、姿勢の確認 腹部手順確認、通しで練習	
27	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	26 を相モデルにて反復	実習	
28	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	下肢前面、上肢、腹部	ベッドの高さ、姿勢の確認 下肢前面、上肢、腹部通しで練習	
29	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	28 を相モデルにて反復	実習	
30	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	デコルテ、頸部、頭部	ベッドの高さ、姿勢の確認 デコルテ、頸部、頭部手順確認、通しで練習	
31	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	30 を相モデルにて反復	実習	
32	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前面全部	前面全部通しで練習 モデルへの心遣いを意識して行う	
33	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	32 を相モデルにて反復	実習	
34	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	後面全部	後面の手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
35	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	34 を相モデルにて反復	実習	
36	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前面全部	前面の手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
37	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	36 を相モデルにて反復	実習	
38	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	後面全部	後面の手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
39	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	38 を相モデルにて反復	実習	
40	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	前面全部	前面の手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
41	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	40 を相モデルにて反復	実習	
42	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	全身	手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
43	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	42 を相モデルにて反復	実習	

44	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	全身	手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
45	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	44 を相モデルにて反復	実習	
46	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	全身	手順を暗記して行う 姿勢、密着、リズムを意識する	
47	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	46 を相モデルにて反復	実習	
48	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	全身	手順を暗記して行う	
49	新ｴｽﾃﾃｨｯｸ学 技術編Ⅰ	48 を相モデルにて反復	実習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和５年度 １年生	科　目	授業方法	総授業時数
	脱毛 I	講義＆実習	40 時間

配当時間	１コマ 90 分　前・後期 22 コマ	担当授業時数	44 時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年

学習の目的	ワックス脱毛の効果と安全性に関する基礎、体毛の仕組みについて理解する。 ワックス脱毛技術の向上に努め、さらに使用する化粧品の成分や特徴、毛の構造や毛周期などの知識を持ち、脱毛するにあたり有効な施術が行えるようにする。
指導目標	ワックス脱毛に基本的な毛髪学概論と技術に関する基礎的な知識を習得させる。 安全かつ手際がよい技術が行えるようにするとともに、衛生面に留意したトリートメントが行えるように指導する。 ウォームワックスとホットワックスの違いや特性を理解させる。
指導の要点及び留意点	各部位に対する基本的なワックス脱毛技術を確実に身につけさせる。 手指や器具の消毒等、衛生面に対する意識を高めるよう指導する。
評価の方法	評価基準表による採点・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	技術編 I	Lesson1 体毛について	板書＆教本ライン ・毛髪学概論 ・毛の特色と分類 ・毛と毛包の構造	
2	技術編 I	Lesson1 体毛について Lesson2 ワックス脱毛概論	板書＆教本ライン ・毛周期 ・脱毛の種類 ・ワックス脱毛施術の流れ ・準備（ワゴン＆ベッド） ・禁忌事項、ホームケアアドバイス ・使用化粧品（成分知識）	
3	技術編 I	Lesson3 ワックス脱毛技術 ウォームワックス（膝下）	教本ライン ・ワックス脱毛の基本技術（流れ） ・ワゴン＆ベッドセッティング ・衛生面 ・デモンストレーション（膝下）	
4	技術編 I	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下	相モデルトレーニング（膝下）	
5	技術編 I	４の反復	相モデルトレーニング（膝下）	

6	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下	相モデルトレーニング（膝下）	
7	技術編Ⅰ	６の反復	相モデルトレーニング（膝下）	
8	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 大腿部	相モデルトレーニング（大腿部）	
9	技術編Ⅰ	８の反復	相モデルトレーニング（大腿部）	
10	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 上肢	相モデルトレーニング（上肢）	
11	技術編Ⅰ	１０の反復	相モデルトレーニング（上肢）	
12	技術編Ⅰ プリント	ホットワックス概論	板書 ・ワックス剤の種類 ・ホットワックスの特徴 ・ホットワックス施術の注意事項 ・工程&施術ポイント ・シデスコロ頭質問のポイント	
13	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ホット） 腋	デモンストレーション（腋） 相モデルトレーニング（腋）	
14	技術編Ⅰ	１３の反復	相モデルトレーニング（腋）	
15	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ホット） 腋	相モデルトレーニング（腋）	
16	技術編Ⅰ	１５の反復	相モデルトレーニング（腋）	
17	技術編Ⅰ	ワックス脱毛 （ウォーム&ホット） 膝下&腋	相モデルトレーニング （膝下&腋）	
18	技術編Ⅰ	１７の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋）	
19	技術編Ⅰ	ワックス脱毛 （ウォーム&ホット） 膝下&腋	・技術テスト対策（ポイント） 相モデルトレーニング （膝下&腋）	
20	技術編Ⅰ	１９の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋）	
21	技術編Ⅰ	脱毛技術テスト（ウォーム） 膝下	脱毛技術テスト	
22	技術編Ⅰ	２２の反復	脱毛技術テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅠ	講義	170時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期5コマ	担当授業時数	10時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	認定エステティシャン　歴15年

学習の目的	エステティックに関する基礎知識と、エステティックの本質となる「ソワンエステティック」について理解し、エステティシャンとして社会で働くうえで基礎的な心遣いを学ぶ。法令遵守の必要性を学び、実践することを理解させる。
指導目標	1、エステティックとは何か、エステティック業界の統一自主基準を理解させ、医療行為とは異なることを理解させる。 2、顔の筋肉やリンパ節の位置を理解させ、安全に施術が行えるよう知識を深める。
指導の要点及び留意点	日本におけるエステティックでは医療行為はできないことを理解させる。 フェイシャルエステティックでできる範囲をしっかり理解させる。
評価の方法	授業態度 筆記試験：100点満点（配分未定）予定

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書・教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学　技術編Ⅰ P7～22	Lesson1～Lesson4 フェイシャルエステティックとは	フェイシャルエステティックとは何かを理解させる。トリートメントの流れを理解させる。	
2	新エステティック学　技術編Ⅰ P23～32	Lesson5 エステティック機器について	エステティック機器の種類と使用方法、目的、禁忌事項を理解させる。	
3	新エステティック学　技術編Ⅰ P33～48	Lesson6 フェイシャルマッサージ	基本手技の手法、効果、作用を理解させる。リンパや筋肉の名称を覚える。	
4	プリント	フェイシャル実技理論練習問題 解答、解説	練習問題を実施し、理解を深める。	
5	プリント	フェイシャル実技理論 解答、解説	練習問題の解答、解説を行うことで理解を深め、できなかったところの復習をする。	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅠ (タイ古式)	実習	170時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期10コマ		担当授業時数	20時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師	
学習の目的	東洋医学の歴史や、仏教との関わりについても理解し、代替医療、予防医学としても大きな役割を果たしている「タイ古式マッサージ」について学び、基本的な施術ができるようになることを目的とする。			
指導目標	東洋医学の一つであるタイ王国の伝統医学として現代においても様々なマッサージ、エステティックケアのベースとしても応用される「タイ古式マッサージ」をその歴史と、施術法について学び、「タイ古式マッサージ」の基本手技を用いた施術ができるように指導する。			
指導の要点及び留意点	授業は講義と実技演習などを中心とする。相モデルを組み、施術者側、モデル側双方の立場になり、それぞれの立場に立って学生自らより良い技能を工夫できる授業を展開していく。			
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記および実技試験の結果を考慮して成績を評価する。			

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	タイ古式マッサージについて	講義	
2	プリント	注意事項 1、横向き	講義 デモンストレーション　実技練習	
3	プリント	1、横向き　復習	実技練習	
4	プリント	2、うつ伏せ	デモンストレーション 実技練習	
5	プリント	3、仰向け	デモンストレーション 実技練習	
6	プリント	4、あぐら座り～終了	デモンストレーション 実技練習	
7	プリント	トータル練習①	実技練習	
8	プリント	トータル練習②	実技練習	
9	プリント	実技テスト練習	実技練習	
10		テスト	実技テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和５年度 １年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅠ	講義&実習	170 時間

配当時間	１コマ 90 分　前・後期 57 コマ	担当授業時数	114 時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年

学習の目的	幅広い知識と応用技術を学び、生活環境や年齢等の異なる方の肌に触れることで、エステティシャンスキルの高い人材を育成。また、接客業に大切なホスピタリティを学ぶことで、１人の社会人として必要とされる社会人基礎力を高める。
指導目標	エステティック基礎技術を基に、ストーンセラピーやタラソテラピー等、応用技術を学ばせるとともに、幅広い知識を習得させる。また、習得した応用技術を活用し、外部のお客様へエステティック施術を行うことで、より実践に近い環境で学ばせると共に、言葉遣いや心配りなど、ホスピタリティマインドも習得させる。
指導の要点及び留意点	お客様に喜んでいただける技術や知識向上とともに、言葉遣いや心配りなど、接客する姿勢にも留意して指導する。
評価の方法	出席状況・授業態度

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	ストーンセラピー理論	・ストーンセラピーとは ・ストーンセラピーの歴史 ・ストーンについて ・ストーンセラピーの効果	
2	プリント	ストーンセラピー理論	・禁忌事項 ・チャクラについて ・ストーンの浄化方法 ・準備（ワゴン&ベッド） ・ストーン準備方法	
3	プリント	ストーンセラピー実技 ストーンレイアウト 下肢背面	・デモンストレーション（下肢背面） ・相モデルトレーニング（下肢背面）	
4	プリント	３の反復	・相モデルトレーニング（下肢背面）	
5	プリント	ストーンセラピー実技 下肢背面～背部	・デモンストレーション（背部） ・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	
6	プリント	５の反復	・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	

7	プリント	ストーンセラピー実技 下肢背面～背部	・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	
8	プリント	７の反復	・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）	
9	プリント	ストーンセラピー実技 ストーンレイアウト 下肢前面	・デモンストレーション（下肢前面） ・相モデルトレーニング（下肢前面）	
10	プリント	９の反復	・相モデルトレーニング（下肢前面）	
11	プリント	ストーンセラピー実技 下肢前面～上肢	・デモンストレーション（上肢） ・相モデルトレーニング （下肢前面～上肢）	
12	プリント	１１の反復	・相モデルトレーニング （下肢前面～上肢）	
13	プリント	ストーンセラピー実技 全身	・相モデルトレーニング（全身）	
14	プリント	１３の反復	・相モデルトレーニング（全身）	
15	プリント	ストーンセラピー実技 全身	・相モデルトレーニング（全身） アロマオイルをブレンドして使用	
16	プリント	１５の反復	・相モデルトレーニング（全身） アロマオイルをブレンドして使用	
17	プリント	タラソテラピー概論	・生命の源「海」 ・タラソテラピーとは ・タラソテラピーの種類 ・タラソテラピーの要素 （海水、海藻）	
18	プリント	タラソテラピー概論	・タラソテラピーの要素 （海泥、海洋性気候） ・世界のスパ ・効果効能 ・禁忌事項 ・ホームケアアドバイス	
19	プリント	タラソテラピー実技 背部トリートメント	・デモンストレーション ・相モデルトレーニング （背部トリートメント）	
20	プリント	１９の反復	・相モデルトレーニング （背部トリートメント）	
21	プリント	１９、２０の反復	・相モデルトレーニング （背部トリートメント）	
22	プリント	１９、２０の反復	・相モデルトレーニング （背部トリートメント）	

23	プリント	タラソテラピー実技 レッグトリートメント	・デモンストレーション ・相モデルトレーニング （レッグトリートメント）	
24	プリント	２３の反復	・相モデルトレーニング （レッグトリートメント）	
25	プリント	２３、２４の反復	・相モデルトレーニング （レッグトリートメント）	
26	プリント	２３、２４の反復	・相モデルトレーニング （レッグトリートメント）	
27	プリント	タラソテラピー実技 背面全身トリートメント	・相モデルトレーニング （背面全身トリートメント）	
28	プリント	タラソテラピー実技 背面全身トリートメント	・相モデルトレーニング （背面全身トリートメント）	
29	プリント	学園祭対応特別授業 ハンドケア	・相モデルトレーニング （ハンドケア）	
30	プリント	２９の反復	・相モデルトレーニング （ハンドケア）	
31	プリント	２９、３０の反復	・相モデルトレーニング （ハンドケア）	
32	プリント	２９、３０の反復	・相モデルトリートメント （ハンドケア）	
33	プリント	学園祭対応特別授業 フットケア	・相モデルトレーニング （フットケア）	
34	プリント	３３の反復	・相モデルトレーニング （フットケア）	
35	プリント	３３、３４の反復	・相モデルトレーニング （フットケア）	
36	プリント	３３、３４の反復	・相モデルトレーニング （フットケア）	
37	プリント	スペシャル実習 ◇ショコラトリートメント	・デモンストレーション ・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ショコラトリートメント	
38	プリント	３７の反復	・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ショコラトリートメント	
39	プリント	スペシャル実習 ◇ハニートリートメント	・デモンストレーション ・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ハニートリートメント	
40	プリント	３９の反復	・スペシャル実習（フェイシャル） ◇ハニートリートメント	

41	プリント	スペシャル実習 ◇背中スパトリートメント ◇ポリネシアンテクニック	・デモンストレーション ・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
42	プリント	４１の反復	・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
43	プリント	４１、４２の反復	・相モデルトレーニング ・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
44	プリント	４１、４２の反復	・相モデルトレーニング ・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
45	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇フェイシャル実技理論	解説＆解答 ・フェイシャル実技理論 （プリント使用）	
46	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇フェイシャル実技理論	解説＆解答 ・フェイシャル実技理論 （プリント使用）	
47	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇ボディ実技理論	解説＆解答 ・ボディ実技理論 （プリント使用）	
48	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇ボディ実技理論	解説＆解答 ・ボディ実技理論 （プリント使用）	
49	センター筆記 試験例題集 理論編Ｉ	筆記試験対策 ◇ワックス脱毛実技理論	解説＆解答 ・ワックス脱毛実技理論 （プリント使用）	
50	プリント 練習問題	筆記試験対策（模擬試験） 練習問題①②	プリント練習問題①②使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説	
51	プリント 練習問題	筆記試験対策（模擬試験） 練習問題③④	プリント練習問題③④使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説	
52	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 練習問題⑤ 過去問題	プリント練習問題⑤使用 プリント過去問題使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説	

53	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題 （練習問題①～⑤復習）	プリント過去問題使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	
54	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題 （練習問題①～⑤復習）	プリント過去問題使用 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	
55	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題＆練習問題	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	
56	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題＆練習問題	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	
57	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題＆練習問題	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験 ・解答＆解説（試験対策）	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ネイルケア理論	※講義もしくは実習	20時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期11コマ	担当授業時数	22時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	ネイリストに欠かすことの出来ないネイルケアを理解させ、実践力を身につけさせる 手及び足の爪の構造を学び、学術的裏づけをふまえ、将来安全で適切な技術が提供できるようにする
指導目標	ネイルテクニックの基本であるネイルケアを学ぶ
指導の要点及び留意点	爪の構造を理解させ、爪を美しく見せるための理論及び技術を身につけさせる
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア ファイリング	・爪の構造を理解し、適切なファイリングを覚える	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア ファイリング	・爪の構造を理解し、適切なファイリングを覚える	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・（ＰＨ）ペーハーを理解する ・キューティクルリムーバーの使用方法を覚える	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの角度に注意し、効率的にプッシュアップの方法を身につける	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの角度に注意し、効率的にプッシュアップの方法を身につける	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・正しいニッパーハンドリングを理解する ・的確な角度を身につける	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・正しいニッパーハンドリングを理解するため、繰り返し練習を行う	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾌｯﾄｹｱ	フットケア理論	・足の構造を理解させ、様々なトラブルに対応できる知識を身に着ける	

9	JNA テクニカルシステム フットケア	フットケア理論	・安全で安心な施術ができるように 爪や皮膚に関する知識を学ぶ	
10	JNA テクニカルシステム フットケア	フットケア理論	フットケアの手順を学ぶ。	
11	JNA テクニカルシステム フットケア	フットケア理論	フットケアの手順を学ぶ。	

教課指導案(シラバス)

部長	部長代理	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティック理論	実習	30時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期　17コマ	担当授業時数	34時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン、サロン勤務経験 子育て支援センター育児講座講師

学習の目的	日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャンの資格取得のための理論を学び、資格試験の合格を目指す。
指導目標	エステティック全般の理論、及びフェイシャルエステティックの理論を習得させ、資格試験に合格できるよう指導する。
指導の要点及び留意点	要点をまとめて分かりやすく、かつ的確に指導する。
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記および実技試験の結果を考慮して成績を評価する。

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	授業概要説明 C1　エステティックとは	講義	
2	教科書 プリント	C2　ホメオスタシスとは	講義	
3	教科書 プリント	C3　身体のしくみと働きⅠ	講義	
4	教科書 プリント	C5　皮膚のしくみと働きⅠ	講義	
5	教科書 プリント	C6　皮膚のしくみと働きⅡ	講義	
6	教科書 プリント	C7　エステティックカウンセリング	講義	
7	教科書 プリント	C8　化粧品の種類と働き	講義	
8	教科書 プリント	C9　栄養の知識	講義	
9	教科書 プリント	C10　衛生と消毒	講義	
10	教科書 プリント	C11　エステティックの基礎知識	講義	
11	教科書 プリント	C13　Fエステティックの基礎知識	講義	

12	教科書 プリント	まとめ①	プリント	
13	教科書 プリント	まとめ②	プリント	
14	教科書 プリント	まとめ③	プリント	
15	教科書 プリント	試験対策①	プリント	
16	教科書 プリント	試験対策②	プリント	
17	教科書 プリント	試験対策③	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ベーシックネイルⅡ	※講義もしくは実習	120時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期66コマ	担当授業時数	132時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	繰り返し行うことで高い技術力を身につけさせる
指導目標	一人ひとりの能力に合わせ、的確な指導を行う どんな環境においても実力が発揮できるメンタル面の向上
指導の要点及び留意点	タイム管理を意識させる
評価の方法	学期末試験成績

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・イクステンションを作るにあたってフォルムを理解させる ・道具の扱い方をレクチャー	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・チップ装着、サイズの確認及び適正な装着角度を学ぶ ・ラップ材の装着及びレジンの使用方法・操作方法を学ぶ	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・チップ装着、サイズの確認及び適正な装着角度を学ぶ ・ラップ材の装着及びレジンの使用方法・操作方法を学ぶ	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・ラップ材の装着及びレジンの使用方法 ・フォルムづくりを指導	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・ラップ材の装着及びレジンの使用方法 ・フォルムづくりを指導	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・ファイリング ・ファイルの持ち方及び爪に対しての角度を学ぶ ・アウトラインの取り方	

7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・ファイリング ・ファイルの持ち方及び爪に対しての角度を学ぶ ・厚み、形を整える	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・相モデルにて練習 ・手の扱い方に注意しながら行う ・爪に対しての角度や強さに注意	
9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・相モデルにて練習 ・手の扱い方に注意しながら行う ・爪に対しての角度や強さに注意	
10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・相モデルにて練習 ・手の扱い方に注意しながら行う ・爪に対しての角度や強さに注意	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・相モデルにて練習 ・手の扱い方に注意しながら行う ・爪に対しての角度や強さに注意	
12	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・手順を確認しながら復習する	
13	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップラップ	・手順を確認しながら復習する	
14	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング及びチップラップ	・手際良く行うように繰り返し行う	
15	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング及びチップラップ	・手際良く行うように繰り返し行う	
16	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング及びチップラップ	・手際良く行うように繰り返し行う	
17	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング及びチップラップ	・手際良く行うように繰り返し行う	
18	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アート	・テーマに沿ったアートを描く ・筆の使い方や繊細な線の描き方を指導	
19	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アート	・テーマに沿ったアートを描く ・筆の使い方や繊細な線の描き方を指導	
20	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アート	・テーマに沿ったアートを描く ・筆の使い方や繊細な線の描き方を指導	
21	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アート	・テーマに沿ったアートを描く ・筆の使い方や繊細な線の描き方を指導	

22	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
23	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
24	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
25	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる	
26	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる	
27	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング、メタルプッシャー及びニッパーハンドリングチェックを行う	
28	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング、メタルプッシャー及びニッパーハンドリングチェックを行う	
29	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング、メタルプッシャー及びニッパーハンドリングのチェックを行う	
30	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング、メタルプッシャー及びニッパーハンドリングチェックを行う	
31	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
32	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
33	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
34	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
35	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
36	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・それぞれの技術チェックを行い、全体の完成度を上げる	
37	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	
38	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	

39	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	
40	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	
41	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・全体の流れを把握し手際よく仕上げる練習を行う	
42	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・刷毛の角度に注意させる	
43	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・刷毛の角度に注意させる	
44	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・刷毛の角度に注意させる	
45	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・刷毛の角度に注意させる	
46	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・艶良く塗る指導	
47	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・艶良く塗る指導	
48	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・艶良く塗る指導	
49	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	カラーリング	・キューティクルラインをきれいに仕上げる塗り方の指導 ・艶良く塗る指導	
50	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング指導 ・爪に対するファイルの角度に気を付ける	
51	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング指導 ・爪に対するファイルの角度に気を付ける	
52	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング指導 ・爪に対するファイルの角度に気を付ける ・全体のバランスを考える	

53	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・ファイリング指導 ・爪に対するファイルの角度に気を付ける ・全体のバランスを考える	
54	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導	
55	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導	
56	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導	
57	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導 ・キューティクルラインを整える	
58	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導 ・キューティクルラインを整える	
59	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	ネイルケア	・メタルプッシャーの使い方指導 ・強さ、角度に注意しながら行う ・ニッパー指導 ・キューティクルラインを整える	
60	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
61	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
62	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
63	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	
64	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げる	

65	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げ	
66	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・タイムを意識しながら作品を仕上げる ・全体のバランスを見ながら仕上げ	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	エクステンションネイルⅠ	※講義もしくは実習	100時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期55コマ	担当授業時数	110時間

実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	ネイルの基本となる技術をしっかりと身につける
指導目標	ネイルケアの重要性を理解させ、様々な技術に展開させる カラーリングの技術の細やかな指導を行い、技術向上を目指す イクステンションの技術を身に付ける
指導の要点及び留意点	スムーズな器具の使い方を覚えさせる 安全に使用できるように指導する
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・筆の使い方及びマテリアルの扱い方を学ぶ	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・筆の使い方及びマテリアルの扱い方を学ぶ	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・筆の使い方及びマテリアルの扱い方を学ぶ	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・筆の使い方及びマテリアルの扱い方を学ぶ	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・フォームの理論を学ぶ ・正しいフォームの装着を学ぶ	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・フォームの理論を学ぶ ・正しいフォームの装着を学ぶ	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール目の操作を学ぶ	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール目の操作を学ぶ	
9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う	

10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う	
12	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・２、３ボール目の操作を学ぶ ・パウダーの特性を理解させる	
13	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・２、３ボール目の操作を学ぶ ・ﾋﾟﾝｸﾊﾟｳﾀﾞｰの扱い方をﾏｽﾀｰする	
14	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・２、３ボール目の操作を学ぶ ・パウダーの特性を理解させる	
15	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・２、３ボール目の操作を学ぶ ・ﾋﾟﾝｸﾊﾟｳﾀﾞｰの扱い方をﾏｽﾀｰする	
16	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・全体のフォルムの確認をする	
17	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・全体のフォルムの確認をする	
18	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・全体のフォルムの確認をする	
19	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・全体のフォルムの確認をする	
20	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・全体のフォルムの確認をする	
21	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・繰り返し練習を行う ・全体のフォルムの確認をする	
22	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ピンチの入れるタイミングを練習する ・サイズの選択を見極める	
23	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・ピンチの入れるタイミングを練習する	
24	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・ピンチの入れるタイミングを練習する	
25	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・１ボール～３ボールを一通り行う ・ピンチング	
26	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング ・フォルムの整え方を学ぶ	
27	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング ・フォルムの整え方を学ぶ	
28	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング ・ファイルのあたる角度、強さに注意する	

29	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	アクリルスカルプチュア	・ファイリング ・ファイルのあたる角度、強さに注意する	
30	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・正しいチップ装着を学ぶ ・段差の取り方を練習する	
31	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・ボールの操作方法を学ぶ	
32	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・ボールの操作方法を学ぶ ・ピンチング	
33	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	チップオーバーレイ	・ボールの操作方法を学ぶ ・ピンチング	
34	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・フォルムを揃える練習を行う	
35	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・フォルムを揃える練習を行う	
36	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・フォルムを揃える練習を行う	
37	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・フォルムを揃える練習を行う	
38	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・タイムトライラル ・タイムを意識しながら行う	
39	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	スカルプチュア及びチップオーバーレイ	・タイムトライラル ・タイムを意識しながら行う	
40	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・タイムトライラル ・タイムを意識しながら行う	
41	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・カラーパウダーの扱いを学ぶ	
42	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・カラーパウダーの扱いを学ぶ	
43	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・テーマに沿ったアートを考える	
44	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	３Ｄアート	・テーマに沿ったアートを考える	
45	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・時間配分を考える ・手際よく行う	
46	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・時間配分を考える ・手際よく行う	
47	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
48	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	

49	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
50	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
51	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
52	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
53	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
54	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	
55	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ﾍﾞｰｼｯｸ	タイムトライアル	・繰り返し行う	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ジェルネイルⅠ	実習	100時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期25　コマ	担当授業時数	50時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許　　美容師歴3年 日本ネイリスト協会本部認定講師 全国美容生活衛生同業組合連合会 SBSネイル指導講師 日本美容講師会会員 日本理容美容教育センターまつ毛エクステンション指導員資格 ストーリージェル３６５エデュケーター資格 クリストリオ社シルバーエデュケーター資格 ネイルサロン経営(14年)

学習の目的	JNAジェルネイル検定　　初級、中級の内容を伝授する サロンワークに対応するジェルネイル技術の基礎とタイム管理
指導目標	JNAジェルネイル検定　初級、中級の内容を伝授する また、その為に重要となるネイル技術全般を理解させる 就職に知識技術の伝達と、技術者として将来に役立つ知識の習得を目的とする
指導の要点及び留意点	授業の準備物、内容を伝え徹底させる ネイルを通して、顧客の心理や時間の大切さ、楽しさを伝える
評価の方法	各学期末試験によって決定　　１００点満点(配点未定) 授業態度、意欲、出席なども考慮対象とする

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA テクニカルシステム	オリエンテーション	ジェルの特徴と特性の説明 使用材料の説明	
2	P57-60	ジェル材料の説明 事前処理	ジェルの扱い方、セッティング ブラシワーク	
3	P82-83	ジェル検定初級	材料の説明、注意点 使い方、プレパレーション	
4		ジェルカラーリング	筆のメンテナンス、ジェルの塗り方 ブラシワーク	
5		ジェルカラーリング	カラージェルの塗り方 検定色【赤】	
6		ジェルプレパレーション	サンディングの重要性	

7	P82-83	ジェルオフ	正しいジェルの取り除き方	
8	P96-99	ジェルアート	カラーの色合わせ、ブラシワーク 手順、注意点	
9		ジェルアート	検定用ピーコックアート手順 色合わせと注意点	
10	P56-60	ジェルカラーリング ジェルアート	タイムトライアル	
11		ポリッシュカラーリング	復習	
12		ジェル検定初級対策	タイムトライアル	
13		ジェル検定初級対策	タイムトライアル	
14		定期試験	ジェル検定初級内容に準ずる	
15		ジェル検定中級対応	ジェル検定中級内容確認、説明	
16		ジェルアート	様々なピーコックアート	
17	P56-60	グラデーション	筆圧、ブラシワーク、手順	
18		グラデーション	塗布量、セルフレベリング	
19		フレンチ	フレンチとは、手順の確認 筆圧、ブラシワーク	
20		フレンチ	塗布量、セルフレベリング ラインの鮮明化	
21		フォームスカルプチュア	ジェルスカルプ、手順の確認 フォーム装着、アプリケーション	
22		フォームスカルプチュア	アプリケーション確認 ファイリングと仕上げ	
23	P62-66	ジェル検定中級対応	タイムトライアル	
24		ジェル検定中級対応	タイムトライアル	
25		定期試験	ジェル検定中級内容に準ずる	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ジェルネイルⅠ	※講義もしくは実習	100時間

配当時間	1コマ90分　前・後期30コマ	担当授業時数	60時間

実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	安全で安心なネイルサービスを提供するための基礎知識を身につけさせる
指導目標	ジェルネイルに関する知識を学び、信頼されるネイリストを目指す
指導の要点及び留意点	正しい施術方法を身につけさせることにより、ジェルネイルでのトラブルを起こさないように指導をする。
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルネイル材料の基礎理論	・テキストを使用し、ジェルに関する基礎を学ぶ	
2	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルネイル材料の基礎理論	・テキストを使用し、ジェルに関する基礎を学ぶ	
3	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルネイル材料の基礎理論 ジェルネイルの安全な操作方法	・ジェルの主要成分を説明 ・各ﾒｰｶｰのｼﾞｪﾙの特徴などを説明	
4	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルカラーリング	・ｼﾞｪﾙﾈｲﾙの硬化する仕組みを説明 ・用材に関する取扱いについて説明 ・ｱｸﾘﾙﾈｲﾙとｼﾞｪﾙﾈｲﾙの違いを説明 ・相モデルにて練習を行う	
5	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルカラーリング	・ｼﾞｪﾙｶﾗｰﾘﾝｸﾞの基礎的な手順を説明。ハンドを使用する ・正しい扱い方を覚えさせる	
6	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ソークオフジェルのオフ	・ｿｰｸｵﾌｼﾞｪﾙを除去する手順の説明 ・手際よくオフする練習を行う	
7	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルアート	・細筆でラインを描く練習を行う ・ﾗｲﾝを描く具体的なやり方をﾚｸﾁｬｰ	
8	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルアート	・細筆でラインを描く練習を行う ・ﾗｲﾝを描く具体的なやり方をﾚｸﾁｬｰ	
9	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	ジェルアート	・細筆でラインを描く練習を行う ・ﾗｲﾝを描く具体的なやり方をﾚｸﾁｬｰ	

10	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・ジェルカラーリング、アート、カラーポリッシュをタイムを計りながら行う。	
11	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・ジェルカラーリング、アート、カラーポリッシュをタイムを計りながら行う。	
12	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・ジェルカラーリング、アート、カラーポリッシュをタイムを計りながら行う。	
13	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・ジェルカラーリング、アート、カラーポリッシュをタイムを計りながら行う。	
14	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・デモンストレーション ・ムラにならないような筆圧を覚える	
15	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・透けや不均一にならないようにｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝの練習を行う	
16	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・透けや不均一にならないようにｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝの練習を行う	
17	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・５本が均等になることを目指す	
18	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	グラデーション	・５本が均等になることを目指す	
19	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・デモンストレーション ・スマイルラインの描き方	
20	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・スマイルラインの描き方 ・二種類の描き方を覚える	
21	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・５本のラインの幅、深さを揃える	
22	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	フレンチ	・５本のラインの幅、深さを揃える	
23	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・両手の流れを確認し、スムーズに行う	
24	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・両手の流れを確認し、スムーズに行う	
25	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・両手の流れを確認し、スムーズに行う	
26	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	
27	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	

28	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	
29	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	
30	JNA ﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑ ｼﾞｪﾙﾈｲﾙ	タイムトライアル	・タイムに入るように行う	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティック	実習	80時間

配当時間	1コマ90分　前･後期　33コマ	担当授業時数	66時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	認定エステティシャン・経験15年

学習の目的	1、顔の骨格や筋肉、リンパ節などについてしっかり学び、各トリートメントの目的や効果を十分に理解させる。 2、マッサージの基本手技の手法、効果・作用を把握させ、実践する。相モデルで行うことで快・不快の感覚を学ぶ。 3、施術中の姿勢を正しく身に付けさせる。 4、お客様への気配り、心遣いを身につけさせ、衛生面にも配慮させる。
指導目標	1、筋肉の走行、血液やリンパの流れを理解し、正しい位置に施術を施せるようにする。 2、正しい姿勢を身につけ、施術者の体に負担のないように施術できるようにする。 3、クレンジング、マッサージの手順を覚え、手が止まることなく流れるように施術が行えるようにする。相モデルで行い、感想を言い合う。 4、お客様への気配り、心遣いを身につけさせる。
指導の要点及び留意点	1、お客様への細やかな心遣いを常に意識させる。 2、モデルになり施術を受けている間も眠ることなく、お客様の立場に立った感覚を理解させる。 3、施術中の姿勢も乱れることがないよう、意識させる。
評価の方法	授業態度 実技試験：100点満点予定

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学　技術編Ⅰ	事前準備	配布物の確認、ベッド、ワゴンセッティング、ホットタオルのつくり方、モデル準備等	
2	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
3	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
4	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目的、手法を理解させる。	
5	新エステティック学　技術編Ⅰ	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	ウィッグで手順の確認 クレンジング、スチームタオルの目	

	P14～19		的、手法を理解させる。	
6	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
7	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
8	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
9	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～19	クレンジング、拭き取り、スチームタオル	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。	
10	新エステティック学　技術編Ⅰ P36～37	マッサージ 軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
11	新エステティック学　技術編Ⅰ P36～37	マッサージ 軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
12	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 軽擦法、強擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
13	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 軽擦法、強擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
14	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 強擦法、揉捻法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
15	新エステティック学　技術編Ⅰ P37～38	マッサージ 強擦法、揉捻法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
16	新エステティック学　技術編Ⅰ P38～39	マッサージ 揉捻法、打法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
17	新エステティック学　技術編Ⅰ P38～39	マッサージ 揉捻法、打法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
18	新エステティック学　技術編Ⅰ P39～40	マッサージ 打法、振動法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	
19	新エステティック学　技術編Ⅰ	マッサージ 打法、振動法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。	

20	新エステティック学　技術編Ⅰ P40～41	マッサージ 振動法、圧迫法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
21	新エステティック学　技術編Ⅰ P40～41	マッサージ 振動法、圧迫法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
22	新エステティック学　技術編Ⅰ P41	マッサージ 圧迫法、軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
23	新エステティック学　技術編Ⅰ P41	マッサージ 圧迫法、軽擦法	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意する。 ツボの位置と名称を覚える。	
24	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
25	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
26	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
27	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
28	新エステティック学　技術編Ⅰ	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
29	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
30	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
31	新エステティック学　技術編Ⅰ P14～41	クレンジング～マッサージ	クレンジングは 10 分で行う マッサージは手順を教科書を見ずに スムーズに行う。相モデル	
32	新エステティック学　技術編Ⅰ	期末テスト	手順だけでなく、身だしなみ、ベッドメイキングを含めた総合評価	
33	新エステティック学　技術編Ⅰ	期末テスト	手順だけでなく、身だしなみ、ベッドメイキングを含めた総合評価	

教課指導案(シラバス)

校長	部長	部長代理	課長	担当教員

2023年度 １年生	科　目	授業方法	総授業時数
	和装着物着付け	実習	３０時間

配当時間	１コマ９０分 前・後期　１７コマ	担当授業時数	３４時間
実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	美容師免許・着付け技能検定１級・ブライダル美容実務８年
学習の目的	着物の基本的知識を理解し、ブライダル美容業界で即戦力として活躍できる着付け技術を習得する。		
指導目標	１．着付け技術を行うにあたっての必要な基礎的知識、技術を習得させる。 ２．着付け技術を仕事として活かせる様に、用具の使用方法、モデルへの接し方及技術者のマナーを身につけさせる。 ３．現場の即戦力となれる様、モデルの体型に合った着付け技術とスピーディーな技術を身に付けさせる。		
指導の要点及び留意点	基礎的な着物、着付け用語を理解させると共にシーン、体型別に的確な着付けが出来る技術を習得させる。また、相モデルが不可な事由が起きた際にはボディにて行う。		
評価の方法	・学期末試験成績：１００点満点（配点未定）予定 ・授業態度及び出席率		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論２	・事前準備	・技術者の身だしなみ、マナー、用具の名称、用途、着物の部位の名称の説明	
2	美容技術理論２	・たたみ方 ・肌着、裾よけ、体型補整	・準備、補正技術の展示と実習	
3		・浴衣着付け	・補正、浴衣着付けの展示と実習	
4		・浴衣着付け ・帯結び（文庫）	・文庫結びの展示と実習 ・帯結びアレンジの展示	
5		・小紋着付け	・小紋と袋帯、小物の説明と技術展示	
6		・補正の作成	・ガーゼ補正の作成方法の実習 ・タオル補正のたたみ方の実習	
7		・小紋着付け	・補正の展示と実習 ・長襦袢着付けの展示と実習	
8		・小紋着付け	・小紋着付けの展示と実習	
9		・小紋着付け	・帯結び（二重太鼓）の展示と実習	
10		・小紋着付け	・帯結び（二重太鼓）の実習	

11		・小紋着付け	・補正～仕上げまでの実習	
12		・小紋着付け	・補正～仕上げまでの実習	
13		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	
14		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	
15		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	
16		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	
17		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和5年度 1年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルコーディネートI	※講義もしくは実習	170時間

配当時間	1コマ90分　　前・後期50コマ	担当授業時数	100時間

実務経験のある教員科目の有無	有（○）・　無	実務経験概要	ネイリスト経験10年 日本ネイリスト協会本部認定講師 ネイルケアマイスター 美容師免許

学習の目的	アートセンスを磨き、サロンワークに対応できるようにする
指導目標	アートテーマに沿って作品制作を目指す アートテクニックを向上させる
指導の要点及び留意点	アート技術を学び、お客様への対応力を身につけさせる
評価の方法	作品提出により評価 授業態度及び出席状況により判断

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1		フラットアート	・絵の具の特徴を理解する	
2		フラットアート	・絵の具の特徴を理解する ・筆の使い方を学ぶ	
3		アートチップ	・デッサン画を描く ・テーマに沿ったアートを考える	
4		アートチップ	・デッサン画を描く ・テーマに沿ったアートを考える	
5		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・絵の具の特徴を理解する ・筆の使い方を学ぶ	
6		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・絵の具の特徴を理解する ・筆の使い方を学ぶ	
7		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・絵の具の特徴を理解する ・筆の使い方を学ぶ	

8		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・チップの中にバランスを考えながらデザインを描く	
9		作品制作 アートチップ	・テーマにそったアートを描く ・チップの中にバランスを考えながらデザインを描く	
10		作品制作 アートチップ	・まとまりを考えながら作る	
11		作品制作 アートチップ	・まとまりを考えながら作る	
12.		作品制作 アートチップ	・ベースとなるポリッシュを選ぶ ・色合いを決める ・ﾍﾞｰｽｶﾗｰに対しﾊﾞﾗﾝｽ良く配色する	
13		作品制作 アートチップ	・ベースとなるポリッシュを選ぶ ・色合いを決める ・ﾍﾞｰｽｶﾗｰに対しﾊﾞﾗﾝｽ良く配色する	
14		作品制作 アートチップ	・テーマに沿ったデザインであるか ・繊細なアートに仕上げる	
15		３Ｄアート	・筆の使い方に注意させる	
16		３Ｄアート	・パウダーとリキッドの配合を理解させる	
17		３Ｄアート	・パウダーとリキッドの配合を理解させる	
18		３Ｄアート	・パウダーとリキッドの配合を理解させる	
19		３Ｄアート	・自分の好きなアートを作る	
20		３Ｄアート	・自分の好きなアートを作る	
21		エンボスアート	・筆の使い方に注意させる	
22		エンボスアート	・パウダーとリキッドの配合を理解させる	
23		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する	
24		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う	
25		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う	

			・様々な技法を使って練習を行う	
26		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う ・様々な技法を使って練習を行う	
27		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う ・様々な技法を使って練習を行う	
28		エンボスアート	・繊細な筆遣いを練習する ・繰り返し練習を行う ・様々な技法を使って練習を行う	
29		ミックスメディアアート	・様々な 技法を合わせて作る	
30		ミックスメディアアート	・様々な 技法を合わせて作る	
31		ミックスメディアアート	・様々な 技法を合わせて作る	
32		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
33		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
34		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
35		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
36		レジンアート	・レジンの使用方法をレクチャーし、作り方の手順を理解させる	
37		レジンアート	・レジンの使用方法をレクチャーし、作り方の手順を理解させる	
38		レジンアート	・色々な型を使って作品をつくる ・仕上がりを意識しながら埋め込む	
39		レジンアート	・色々な型を使って作品をつくる ・仕上がりを意識しながら埋め込む	
40		レジンアート	・色々な型を使って作品をつくる ・仕上がりを意識しながら埋め込む	
41		レジンアート	・色々な型を使って作品をつくる ・仕上がりを意識しながら埋め込む	
42		レジンアート	・ミール皿にデザインして埋め込む	
43		レジンアート	・ミール皿にデザインして埋め込む	

44		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
45		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
46		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
47		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
48		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
49		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	
50		作品制作	・様々な アートを駆使してテーマに沿った作品を作る	